西部地区小学校災害復旧工事

意匠図　　:106枚
構造図　　:22枚
電気設備図　:68枚
機械設備図　:43枚

西部地区小学校災害復旧工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書-1	A-31	平面図（増築棟）	A-61	既存改修 普通教室（既存1階職員室） 展開図-2	A-91	外構計画詳細図
A-02	特記仕様書-2	A-32	屋根伏図（増築棟）	A-62	既存改修 普通教室（既存1階職員室） 展開図-3	A-92	EV詳細図-1
A-03	特記仕様書-3	A-33	増築棟ピット平面図	A-63	既存改修　1階 会議室（既存1階和室） 平面詳細図・断面詳細図	A-93	EV詳細図-2
A-04	特記仕様書-4	A-34	立面図（増築棟）	A-64	既存改修　1階 会議室（既存1階和室） 展開図	A-94	EV詳細図-3
A-05	特記仕様書-5	A-35	断面図（増築棟）	A-65	既存改修 1階生徒昇降口平面詳細図	A-95	EV詳細図-4
A-06	特記仕様書-6	A-36	矩計図-1（増築棟）	A-66	既存改修 普通教室（既存2階会議室） 平面詳細図		
A-07	改修工事特記仕様書-1	A-37	矩計図-2（増築棟）	A-67	既存改修 普通教室（既存2階会議室） 展開図-1		
A-08	改修工事特記仕様書-2	A-38	矩計図-3（増築棟）	A-68	既存改修 普通教室（既存2階会議室） 展開図-2		
A-09	改修工事特記仕様書-3	A-39	矩計図-4（増築棟）	A-69	既存改修 WC改修図-1	法-01	各室面積表・防火区画面積表-1 （増築棟完成時）
A-10	改修工事特記仕様書-4	A-40	矩計図-5（増築棟）	A-70	既存改修 WC改修図-2	法-02	各室面積表・防火区画面積表-2 （増築棟完成時）
A-11	付近見取図	A-41	矩計図-6（増築棟）	A-71	既存改修 WC改修図-3	法-03	各室面積表（既存改修部）
A-12	工事工程概要書	A-42	天井伏図（増築棟）	A-72	既存改修 WC改修図-4	法-04	1階 防災計画図（増築棟完成時）
A-13	現況配置図	A-43	平面詳細図-1（増築棟）	A-73	既存改修 WC改修図-5	法-05	2階 防災計画図（増築棟完成時）
A-14	計画配置図	A-44	平面詳細図-2（増築棟）	A-74	既存改修 WC改修図-6	法-06	1階 防災計画図（最終）
A-15	敷地求積図	A-45	平面詳細図-3（増築棟）	A-75	既存改修 WC改修図-7	法-07	2階 防災計画図（最終）
A-16	面積表-1（既存校舎）	A-46	平面詳細図-4（増築棟）	A-76	既存改修 WC天井改修図	法-08	LVS計算表-1（増築棟）
A-17	面積表-2（既存校舎）	A-47	展開図-1（増築棟）	A-77	既存改修 WC改修部分詳細図	法-09	LVS計算表-2（既存改修部）
A-18	面積表-3（既存校舎）	A-48	展開図-2（増築棟）	A-78	天井伏図-1（既存校舎）	法-10	平均地盤算定図
A-19	面積表-4（増築棟）	A-49	展開図-3（増築棟）	A-79	天井伏図-2（既存校舎）		
A-20	増築棟　仕上表-1	A-50	展開図-4（増築棟）	A-80	既存改修 バスケットゴール改修図		
A-21	増築棟　仕上表-2	A-51	展開図-5（増築棟）	A-81	既存建具撤去、改修図（1）		
A-22	既存改修　仕上表-1	A-52	建具リスト（増築棟）	A-82	既存建具撤去、改修図（2）		
A-23	既存改修　仕上表-2	A-53	建具図-1（増築棟）	A-83	既存建具撤去、改修図（3）		
A-24	既存1階全体平面図	A-54	建具図-2（増築棟）	A-84	既存建具撤去、改修図（4）		
A-25	既存2階全体平面図	A-55	家具リスト（増築棟）	A-85	家具図（既存校舎）		
A-26	既存全体屋根伏図	A-56	家具図-1（増築棟）	A-86	部分詳細図-1		
A-27	既存ピット平面図	A-57	家具図-2（増築棟）	A-87	部分詳細図-2		
A-28	1階全体平面図	A-58	既存改修　矩計図（開口部改修）	A-88	現況外構配置図		
A-29	2階全体平面図	A-59	既存改修 普通教室（既存1階職員室） 平面詳細図	A-89	現況外構解体詳細図		
A-30	全体屋根伏図	A-60	既存改修 普通教室（既存1階職員室） 展開図-1	A-90	外構計画配置図		

最終改訂　令和７年１０月１日

建　築　工　事　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

１　工事場所　　輪島　市郡　門前　町　清水　地内

２　工事内容　（１）・本　体　工　事　（種別．棟別．構造．階．面積）
増築工事、職員棟、RC造、平屋、556.61 m2

（２）・屋外付帯工事
外構工事

（３）・電気設備工事

（４）・給排水衛生設備工事

３　完成期日　　令和　　年　　月　　日　（概成工期　令和　　年　　月　　日）
（余裕期間制度試行工事適用の場合は、上記を完成日の期限とする。）
（積算工期　：　○○か月）

４　別契約関連工事
・屋外付帯工事　　・植栽工事
・電気設備工事　　・給排水衛生設備工事
・暖房設備工事　　・冷房設備工事
・換気設備工事　　・空調設備工事
・昇降機設備工事　　・電話設備工事
・浄化槽設備工事　　・
・　　・

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

１　共　通　仕　様

１）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「標仕」という。）による。

２）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図、機械設備工事は（　／　）図による。

２　特　記　仕　様

１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

２）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

３）特記事項に記載の（　．　．　）内表示番号は、「標仕」の該当項目、当該図又は当該表を示す。

４）特記事項に記載の（別図ー　．　．　）は、「標仕」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。

５）特記事項に記載の［　．　．］内表示番号は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「改修標仕」という。）の当該項目、当該図又は当該表を示す。

６）G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。

７）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。

８）斜線で消去した章は適用しない。

１章　一　般　共　通　事　項

項目	特記事項
① 適用基準等	設計図書の他に、下記の図書の該当事項を適用する。 ○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和４年版） ・建築構造設計基準の資料（国土交通省大臣官房官庁営繕部　令和３年通知）のうち第３章 ○営繕工事写真撮影要領（令和３年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部） ・営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部　令和３年度版） ・建築物解体工事共通仕様書（令和４年度版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・公共建築木造工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成３１年版） ・屋根瓦工事共通仕様書（石川県土木部営繕課監修　令和５年版） ・鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修） ・壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修） ・鉄骨構造標準図（石川県土木部営繕課監修） ○石川県バリアフリー社会の推進に関する条例に基づく整備基準（施設整備の手引き） ・石川県公共事業景観形成ガイドライン
② 工事実績情報の登録	※登録する（但し工事請負代金額500万円以上の工事。）　(1.1.4)
3 発生材の処理	１）産業廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づく許可を得た処分場で処分する。 また、処分に際しては産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覧表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。 ２）発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に引き渡す。　(1.3.11) イ）引渡しを要するもの及び引渡し場所　・引渡を要するもの ・引渡し場所 ロ）特別管理産業廃棄物の有無　・有　・無 ハ）特別管理産業廃棄物の処理方法　※図面　番　図参照 ３）発生材のうち、現場で再利用を図るもの及び再資源化を図るものは、下記による。 ・現場で再利用を図るもの　・ ・再資源化を図るもの　・ ４）建設リサイクル法第11条に基づく「通知書」及び同法第18条に基づく「再資源化等報告書」の提出の有無 ・有　・無
4 電気保安技術者	※　適用する　(1.3.3)
⑤ 施工条件	○執務並行工事
⑥ 建築材料等	１）本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、又はこれらと同等のものとする。　(1.4.1)(1.4.2)(1.4.4) ①「評価名簿による」と特記されたものについては、「建築材料・設備機械等品質性能評価事業評価名簿（最新年版）」（(社)公共建築協会）によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、次の②に準じ監督員の承諾を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。 ②JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次のイ）からヘ）の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等品以上を使用するものとし、監督員の承諾を受けるものとする。 イ）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ロ）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ハ）安定的な供給が可能であること。 ニ）法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。 ホ）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ヘ）販売保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 ２）請負契約約款第６条の２第７項に基づき調達する石川県産の工事材料については、「使用材料確認願」により監督員の確認を受け、工事完了後は地元産品について「使用材料報告書」を提出する。 ３）請負契約約款第13条第２項に定める監督員等の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。 ※杭　・型枠類　・防水材料　・石材　・木材 但し、杭以外のJIS規格品は除く。 ４）請負契約約款第14条第１項に定める監督員等の立会いのうえ調合等をし使用すべき工事材料は次のものとする。 ※高強度コンクリート試し練り　・地盤改良材の調合　・土壁仕上げ材調合 ５）請負契約約款第14条第３項に定める見本は次のものとする。 ○金属製品　・合成樹脂製品　○木製建具　○塗装　・土壁仕上げ材調合 ・家具及び家具の金物　・畳　○内外装材料　・屋根材 なお、監督員が承諾した材料は、証明となる資料と使用箇所を付し、工事完成まで現場事務所に掲示する。ただし、掲示が困難な材料等はカタログ、その他に代えることができる。 ６）本工事に使用する建築材料等は、アスベスト含有建材を使用しないものとする。（「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行等について」（厚生労働省労働基準局長通達平成18年８月）参照）。安全データシート（SDS）等により確認を行った場合は、その写しを監督員に提出すること。
7 特別な材料の工法	「標仕」に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
⑧ 技能士等	適用する技能士等及び技能士の適用工事種別及び作業の種別は次の通りとする。 ※　技能士　(1.5.2) 適用工事種別 ／ 技能検定作業 仮設工事 ／ ・とび作業 鉄筋工事 ／ ○鉄筋組立て作業 コンクリート工事 ／ ○型枠作業　○コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 ／ ・構造物鉄工作業　・とび作業 ブロック・ALCパネル工事 押出成形セメント板工事 ／ ・コンクリートブロック工事作業　・エーエルシーパネル工事作業 防水工事 ／ ○アスファルト防水工事作業　・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業　・FRP防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業　・セメント系防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業　○シーリング防水工事作業 石工事 ／ ・石材加工作業　・石張り作業　・石積み作業 タイル工事 ／ ・タイル張り作業 木工事 ／ ・大工工事作業 屋根及びとい工事 ／ ・内外装板金作業　・かわらぶき作業 金属工事 ／ ○鋼製下地工事作業　・内外装板金作業 左官工事 ／ ・左官作業 建具工事 ／ ○ビル用サッシ施工作業　・自動ドア施工作業　・ガラス工事作業 カーテンウォール工事 ／ ・金属製カーテンウォール工事作業　・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 塗装工事 ／ ○建築塗装作業 内装工事 ／ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業　○木質系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業　・壁装作業 排水工事 ／ ○建築配管作業 植栽工事 ／ ・造園工事作業 ・「石川の伝統的建造技術を伝える会」のうち、金沢城公園整備工事従事者の認定を受けた者。
⑨ 完成図等	１）完成図　(1.7.1～3)(表1.7.1) 工事完成図は、A3版製本（※１部　○２部　・　部）を提出する。 ２）屋外付帯工事実測図　※提出する（１部）　・提出しない ３）保全に関する資料　※提出する（１部）　・提出しない 保全に関する資料のうち「建物等の利用に関する説明書」は、「管理者のための建築物保全の手引き(改訂版)」（（一財）建築保全センター）に建物の構造、機器、保全業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。 別契約の関連する設備工事等がある場合は、連携のうえ作成する。
⑩ 工事写真等の記録	１）工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領（令和３年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部）により整備し、下記により提出する。また、本仕様書の「第１章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。 各区分の写真はA4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。 ※写真帳 区分 ／ 分類 ／ 大きさ ／ 撮影枚数 ／ 部数 着工前 ／ ※カラー・ ／ ※100×148程度・ ／ ※　20景以上 ／ ※　１部 工事中 ／ ※カラー・ ／ ※85×115程度・ ／ 「営繕工事写真撮影要領」による ／ ※　１部 完成時 ／ ※カラー・ ／ ※100×148程度・ ／ ※　30景以上 ／ ※　１部 ○アルバム 区分 ／ 分類 ／ 大きさ ／ 撮影枚数 ／ 部数 完成時 ／ ※カラー・ ／ ※127×178程度・ ／ ※　30景以上 ／ ※　１部 ・写真パネル 区分 ／ 分類 ／ 大きさ ／ 仕様 ／ 部数 完成時 ／ ※カラー・ ／ ※457×560程度・ ／ ※木製枠ﾌｯｸ付き ／ ※　１部 ２）完成写真の撮影　○専門業者の撮影（撮影者を明記）　・専門業者以外の撮影 ３）原版の使用権を次の者に移譲する。　※発注者　○設計者 移譲を受けた者は、写真を撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。 撮影者が写真を使用する場合は、発注者・設計者の承諾を必要とする。 ４）中間検査または、監督員の指示により手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。
11 責任施工	特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下負請人の連帯責任とし保証書を提出する。
⑫ 工事報告書	工事の進捗度表、作業員の出面報告、工事箇所図及び工事現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末毎に提出する。
⑬ 設備工事との取合い	１）設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。 ２）設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所数等は下記による。 位置、大きさ、箇所数等 位置／大きさ ／ 100mm ／ 125mm ／ 150mm ／ 175mm ／ 200mm ／ 600mm 補強筋箇所数 梁 ／ 1 ／ 9 ／ 6 補強筋箇所数 壁 補強筋箇所数 床 ３）鉄骨部のスリーブ及び補強は本工事に含むものとする。 ４）軽鉄下地で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。なお箇所数は、下記による。 イ）天井部分　85箇所　ロ）壁部分　箇所 設備関連工事との取合いは下記による。 他工事との取合い ／ 建築工事 ／ 電気工事 ／ 機械工事 ／ 備考 機器の基礎、換気扇取付用枠 ／ ／ ／ ○ ／ 梁、床、壁貫通部の補強 ／ ○ ／ ／ ／ 梁、床、壁貫通部のスリーブ、型枠 ／ ／ ○ ／ ○ ／ 外気取付ガラリ、床下水槽マンホール蓋 ／ ○ ／ ／ ／ ガラリは立面図に図示 ステンレス流し台等 ／ ○ ／ ／ ／ 排水トラップ共 排気フード、レンジフードファン取り付け枠（鋼製）とも ／ ○ ／ ／ ／ 建築図に図示 ダクト接続は設備工事 天井、壁、床、点検口、ブロパンボンベ庫 ／ ○ ／ ／ ／ ／ 下流し、足洗場の給水、排水、玄関の排水 ／ ／ ／ ○ ／ ／ 小便器仕切板（陶器製）、タオル掛（下地共） ／ ／ ／ ○ ／ 下地補強は建築工事 洗面所、手洗所等の鏡 ／ ○ ／ ／ ○ ／ 特殊なものは建築工事 ボイラーの煙突 ／ ○ ／ ／ ○ ／ 鋼板製は機械設備工事 実験台に付属する設備機器 ／ ○ ／ ／ ／ ／ 実験台の配管等の接続 ／ ／ ○ ／ ○ ／ ／ 埋込み分電盤、端子盤等の壁補強 ／ ○ ／ ／ ／ ／ 埋込み分電盤、端子盤等の型枠 ／ ／ ○ ／ ／ ／ 天井、壁ボード類の下地補強 ／ ○ ／ ／ ／ 屋出し、ボード張切り込みは設備工事 簡易間仕切り（内装ﾊﾟﾈﾙ）内の位置ボックス及び配管の取付 ／ ○ ／ ／ ／ ／ 屋内・屋外に設置する発電機、配電盤、制御盤、受水槽、ポンプ等の基礎、防油堤 ／ ○ ／ ／ ／ ／ 屋上に設置するテレビアンテナ、避雷針等の設備基礎 ／ ○ ／ ／ ／ 屋根伏図に図示 配線ピット及び蓋 ／ ○ ／ ／ ／ ／ 照明器具幹線等の吊りボルト用インサート ／ ／ ○ ／ ／ ／ 身体障害者用の手すり ／ ○ ／ ／ ／ ／ 洗濯機用防水パン及びトラップ ／ ／ ／ ○ ／ ／ ＦＦ暖房機・クーラー等の配管用スリーブ ／ ○ ／ ／ ／ ／ 電話・テレビ等の配線用スリーブ ／ ／ ○ ／ ／ ／ クーラー取付ボルト用インサート ／ ○ ／ ／ ／ 建築図に図示 ユニットバス本体・付属品（シャワー金具・手すり・鏡・照明） ／ ○ ／ ／ ／ 配管接続以降は設備工事 ユニットバス用換気扇 ／ ／ ／ ○ ／ ／ 消火器 ／ ○ ／ ／ ／ 公共住宅に適用 自動扉、電動S、電動ルーバー、防火設備の閉鎖制御機器、感知器 ／ １次側配管配線 ／ ／ ○ ／ 機器は建築工事 自動扉、電動S、電動ルーバー、防火設備の閉鎖制御機器、感知器 ／ ２次側配管配線 ／ ○ ／ ／ ／ 機器は建築工事 地下タンク室 ／ ○ ／ ／ ／ ／
⑭ 設計ＧＬ	※図示　・設計ＧＬ＝現状ＧＬ
⑮ 建築基準法に基づき指定する条件	○地区の区分に応じた風速（Ｖ（m/sec））　30（県内全域） ○地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　○Ⅲ　・Ⅳ ○多雪地域の指定　垂直積雪量＿＿＿＿＿＿
⑯ 工事現場の掲示板	工事現場には、下記掲示板を設置する。（記入例）　(2.3.1) 90cm 工事名 工期自　年　月　日～至　年　月　日 発注者　輪島市教育委員会 上段の地色は、白色　（監　修） 文字は、青色　設　計 下段の地色は、青色　監　理　60cm（75cm） 文字は、白色　施　工　建　築（業者名を記入する） 電　気（業者名を記入する） 給排水（業者名を記入する） 暖　房（業者名を記入する） この工事は、週休２日に取り組んでいます （注意事項） ①（監　修）内は、監修を委託した場合。 ②業者名が多くなった場合でも、縦75cm以内とする。 ③工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、角ゴシック体とする。
17 総合評価時における技術提案	「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、受注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。なお、受注者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員に協議する。
⑱ 施工の検査等	監督員等の検査を受ける工種は次のものとする。　(1.5.5) ※敷地状況確認及び縄張り　※ベンチマーク　※遣方　※根切り掘削完了時 ※主要構造部の配筋　・型枠の組立て　・鉄骨原寸図　※鉄骨ボルト締付け　※鉄骨建方 その他監督員等の指示するもの
19 施工の立会い等	請負契約約款第14条第２項に定める監督員等の立会いのうえ施工するものは次のものとする。 ※杭打ち　・コンクリートのスランプ確認及び打込み　・屋外タイル接着力試験 ・地盤改良部試験体採取　その他監督員等の指示するもの　(1.5.7)
20 中間検査	中間検査の実施　※有　・無　(1.6.2) 実施時期　※躯体工事完了時　・
㉑ 公共事業労務費調査等に対する協力	・受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。 １）調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。 ２）調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。 ３）正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い、就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。 ４）対象工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者（当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請け人を含む。）が前各号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。 ５）本工事が「建設副産物実態調査」の対象となった場合、県の求めに対して速やかに調査票を作成し、県に提出しなければならない。
㉒ 保険	工事目的物、工事材料等に生ずる損害を填補する保険は、下記による。 ※建設工事保険または組立保険（工事対象物を全て解体する工事を除く） 加入期間　引渡しまで（引き渡しを要しない工事の場合は、工事完了まで）
㉓ 室内空気汚染対策	※実施する　・実施しない　(1.5.9) １）測定の有無等 イ）測定の有無　※有　・無 測定する場合は、下記のとおり揮発性有機化合物について室内濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 ロ）測定対象室 測定は原則として、内装仕上げ材料の仕様が大きく異なる居室毎に行う。ただし、居室の規模が著しく異なる場合は、それぞれ実施する。 内装工事を行った居室について測定を行う。 ハ）１室当たりの測定箇所数 室の床面積　Ａ（㎡） ／ Ａ≦50 ／ 50＜Ａ≦200 ／ 200＜Ａ≦500 ／ 500＜Ａ 測定個所数 ／ 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 全ての測定個所において、ニ）の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。 ニ）測定対象化学物質及び測定方法 測定対象化学物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンとし、同時に測定する。測定方法は、パッシブ型採取機器を用い、国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課長通知（平成２４年４月５日　国営整第４号）「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」により行う。 ホ）測定時期 測定は下記の時期に行うものとする。 ①測定対象化学物質が、関連工事による測定対象室への流入や急激な拡散がほぼなくなり、引き渡し後の室内空気環境と同程度になった時期。 ②別途工事又は家具の設置等が行われる前。 ③内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること。 ④中央式空気調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していること。 ヘ）測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合の措置 測定結果が厚労省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定を行う。 ト）その他採取、測定及び分析の方法は、上記ニ）の国土交通省通知によるほか、監督員の指示による。 ２）施工中・施工後の通風、換気 接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分管理し、適切な乾燥時間をとるようにする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図るものとする。 ３）引き渡し時 室内空気中に化学物質を発散するおそれのある建築材料等を使用している場合は、監督員の指示により、その使用状況の一覧表を提出する。 ４）揮発性有機化合物を放散させる建築材料等本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のイ)から ホ)の事項を満たすものとする。 イ）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗り材は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ロ）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ハ）接着剤は、フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシンを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ニ）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ホ）上記のイ)、ハ)、ニ)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ※「規制対象外」のもの ①JIS又はJASのＦ☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 ア）非ホルムアルデヒド系接着剤使用 イ）接着剤等不使用 ウ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料を使用 エ）ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 オ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 カ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ・「第三種」のもの ①JIS又はJASのＦ☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の７第３項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのＥＯ規格品 ③旧JASのＦＯ規格品
24 名札の着帯	現場代理人及び主任（監理）技術者は、工事期間中は次に定める様式例等による顔写真入り名札を着帯すること。（ただし、請負額1,000万円以上の工事） ○○建設（株）社員証 氏名　△△太郎 発行日　令和○年○月○日 代表者　□□建一　代表印 （顔写真）カラー写真貼付 55mm　17mm　10mm　10mm　18mm　7mm　40mm　8mm 13mm　42mm　30mm　2mm　2mm　2mm　91mm （注意事項） ①名札として使用する用紙（台紙）は白色、寸法は上図（名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm）のとおりとする。 ②顔写真（ｶﾗｰ写真）の寸法は縦4.0cm×横3.0cmとし、撮影する部分は胸から上の上半身とする。 ③ケースの寸法は上記①の用紙（台紙）が入る大きさとする。
㉕ 施工体制台帳の作成等	当該台帳を現場に備え付け、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げること。
㉖ 排出ガス対策型建設機械 G	次に掲げる指定建設機械は、排気ガス対策型とする。 １）バックホウ ２）トラクターショベル ３）発動発電機 ４）空気圧縮機 ５）ローラ類 ６）ホイールクレーン

設計	工事名	西部地区小学校災害復旧工事	
輪島市　教育委員会　教育総務課	図面名	建築工事仕様書　その１	図面番号　A-01

㉗	創意工夫等	工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。
㉘	保険の付与及び事故の補償	1）受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。 2）受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む） 3）受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結１ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。
㉙	電子納品	※行う（「電子納品仕様書」による。）　・行わない 電子納品仕様書 1　電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 名称：営繕工事電子納品要領（令和３年版）／官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和３年度版） 基準・要領類のダウンロード　http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html 2　工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にＣＤ－Ｒ、ＤＶＤ－Ｒ又はＢＲ－Ｄで１部納品する。 3　工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。 工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 4　発注者が行うＣＡＬＳ／ＥＣ電子納品に関する調査について協力を行うものとする。
㉚	騒音振動の防止	低騒音（G）、低振動型建設機械を使用する。
31	隣接建物又は工作物の調査	※行う　・行わない
32	敷地の状況確認	着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電話ケーブル、給排水管及び架設物がないか関係機関の協力を得て確認し、監督員に報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。
㉝	ダンプトラック等による過積載等の防止	1）積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 2）さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 3）過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。 4）取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5）建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 6）「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年８月月２日法律第131号。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 7）１から６につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。
34	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。
35	住宅瑕疵担保履行法に基づく資力確保措置	本建物の住宅瑕疵担保履行法に基づく資力確保措置は、本工事に含める。

２章　仮設工事

項目		特記事項
①	監督職員事務所	※設ける　・設けない　(2.3.1) イ）監督職員事務所の規模（単位：㎡） 種別号：・1号／・2号／・3号／・4号／・5号 面積程度：10程度／20程度／35程度／65程度／100程度 ロ）監督職員事務所に設ける備品等 ※保護帽　※墜落制止用器具　※長靴　※合羽　※原図大及びＡ３縮小の設計図面製本各２部 ※机　※椅子　※懐中電灯　・書棚　・黒板　・寒暖計　・
②	快適トイレ（快適トイレ実施要領に基づく）	・快適トイレを設置すること。 ※監督員へ提案･協議し、快適トイレを設置することができる。 快適トイレを設置した場合は設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。
③	工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
④	工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
⑤	指定仮設	指定仮設の適用　・仮囲い　・敷鉄板（※図示） 仮囲いは、下記により強風に対して倒壊、飛散しない堅固な構造とし、事前に施工図を提出して監督員の承諾を受けること。 イ）材料　・鋼板　・亜鉛波形鉄板　・ ハ）塗装　・する　・しない　・塗装品 ロ）高さ　・1.8m　・2.0m　・3.0m ニ）延長　120 m その他の指定仮設　・パネルゲート1ヶ所、敷鉄板　36㎡ （種別、規格、仕様）
⑥	工事用道路	工事用道路は、良好な維持管理を行い、使用後は受注者にて速やかに原形に復旧すること。
⑦	足場	1）足場の種類 ※枠組本足場（手すり先行足場）　(2.2.4) ・くさび緊結式足場（手すり先行足場） 足場を設ける場合は「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年４月発布）に規定する「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 2）建枠・布枠の寸法等 建枠：・1200枠／・900枠／・600枠 布枠：・500布枠×２枚／※500＋240布枠　・／・500布枠×１枚 3）防護シート等による養生 イ）防護シート等の有無　※設置する　・設置しない ロ）防護シート種類 ※ネット状養生シート又は養生シート（出入口等上部は必要に応じて防護柵を設ける。）
⑧	危険物貯蔵所	シンナー等有機溶剤を使用する場合は、特に火災及び盗難について管理を徹底する。　(2.3.2)

３章　土工事

項目		特記事項
①	埋戻し及び盛土	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土 G　(3.2.3)(表3.2.1) なお、処理に当たっては「建設発生土情報交換システム」等を活用する。
②	建設発生土の処理	・現場内で処理 ・構内指示の場所に堆積　・構内指示の場所に敷き均し　(3.2.5) ・構外搬出適正処理　（「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと） ・指定（想定）搬出先　受入場所：門前町地内　門前建設業協同組合管理処分地 受入時間帯：　時　分～　時　分 仮置き等： 運搬距離：5.5Km
3	六価クロム溶出試験	（1）「六価クロム溶出試験」の対象工事の有無　・有　・無 （2）本工事が「六価クロム溶出試験」の対象工事である場合は、下記の要領で「六価クロム溶出試験」を実施し、厚生労働省の定める指針値（0.05mg/l）以下であることを確認し、試験結果（計量証明書）を提出すること。 参照：「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領(案)」（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課長ほか　H13.4.20改正） 1）「六価クロム溶出試験」対象工種名及び検体数 イ）＿＿工＿＿工法 ・配合設計段階＿＿検体　・施工後段階＿＿検体 ロ）＿＿工＿＿工法 ・配合設計段階＿＿検体　・施工後段階＿＿検体 2）タンクリーチング試験対象工種名及び検体 イ）＿＿工＿＿工法＿＿検体 ロ）＿＿工＿＿工法＿＿検体
④	山留め	・存置する　・存置しない

４章　地業工事

項目		特記事項
1	既製コンクリート杭地業	1）種類 ※遠心力高強度プレストレストコンクリート杭　(4.3.1)(4.3.3) ・

	杭径（mm）	杭長（m）及び種別	継手数	セット数	備考
試験杭					
本　杭					

イ）杭頭の処理　※切断しない　・　(4.3.8)
ロ）先端部形状　※開放形　・閉そく平たん形　(4.3.3)
ハ）杭の継手　・アーク溶接　・機械式継手　(4.3.6)

2）施工法　(4.3.5)
・特定埋込杭工法（杭材料条件に適合するもの）

・

項目		特記事項
2	場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別、設計基準強度及びスランプ　(4.5.4)(表4.5.1) （　）種かつ（　）N/mm^{2}以上　スランプ（　） イ）鉄筋の種類　5章鉄筋工事の鉄筋の種類による　(4.5.4) ロ）掘削工法　・アースドリル工法（・安定液使用　・無水掘削）　(4.5.5) ・リバース工法 ・オールケーシング工法（孔内の水張　・行う　・行わない） ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法　(4.5.6) ・拡底杭工法（※安定液使用　・　） ハ）セメントの種類　※高炉セメントB種 G　・　(4.5.4) ニ）孔壁測定　・行う（　）　・行わない　(4.5.5)
③	砂利地業	※再生クラッシャラン G　・切込み砂利及び切込み砕石　(4.6.3)
④	床下防湿層	施工箇所　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）　(4.6.5)

５章　鉄筋工事

項目		特記事項
1	鉄筋の種類	(5.2.1)(表5.2.1) 種類の記号／呼び名(mm) ・SD295／※D16以下 ・SD345／※D19以上 ・
2	溶接金網	網目の形状、寸法等　(5.2.2) 形状、寸法等（縦×横）(mm)／鉄線の径又は呼び名(mm)／規格 ※100×100　・／※6.0　・／JIS G 3551による ・／・
3	鉄筋の継手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　(5.3.4) ※ガス圧接継手　・重ね継手　・機械式継手　・溶接継手
4	鉄筋の最小かぶり厚さ	1）鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地底から算定する。　(5.3.5) 2）塩害を受ける恐れのある部分等、耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 施工箇所／「標仕」表5.3.6の値に加える寸法(mm) 柱、梁、壁及び床などの外気に接する打放し面／※10　・20　・25
5	帯筋	※Ｈ形　・ＳＰ形　(別図2.2)
6	最上階柱頭補強	※行う　・行わない　(別図2.1)
7	壁開口部の補強	一般壁　※Ａ形　・Ｂ形　・図示　(別図4.3)(別表4.3～4) 耐震壁　※図示
8	梁貫通孔の補強形式	※Ｈ形　・ＭＨ形　・Ｍ形　(別図7.1)(別表7.1～3)
9	圧接完了後の試験	※超音波探傷試験　・引張試験　(5.4.10)

構造仕様書による

６章　コンクリート工事

項目		特記事項
1	コンクリートの種類及び強度等	普通コンクリートの設計基準強度　(6.2.1～2)(6.14.1)

設計基準強度Fc (N/m㎡)	スランプ (cm)	施工箇所
・18	・15　・18	・無筋コンクリート適用箇所
・21	※18　・	
・24	※18　・	

軽量コンクリートの設計基準強度　(6.2.1～2)(6.10.1)(表6.10.1)

設計基準強度Fc (N/m㎡)		種別	施工箇所
・21	・21　・	・１種　・２種	
・	・		

項目		特記事項
2	寒中コンクリート マスコンクリート 無筋コンクリート 流動化コンクリート	(6.11.1～6.15.4)

種類	適用箇所	備考（適用期間）
・寒中コンクリート		
マスコンクリート ・高炉セメントＢ種 G ・中庸熱ポルトランドセメント		
・無筋コンクリート		
・流動化コンクリート		

項目		特記事項
3	レディーミクストコンクリートの類別	※Ｉ類　・Ⅱ類　(6.2.1)(6.4.1～2)(表6.2.1) JISマーク表示認証製品を製造している工場で、かつ、コンクリート主任技士等が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場（全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）で製造したものとする。
4	セメントの種類	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種（マスコンクリートを除く） ・高炉セメントＢ種 G　(6.3.1)(表6.3.1) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 水和熱／7ｄ：350J/ｇ以下／28ｄ：400J/ｇ以下
5	骨材の品質	アルカリシリカ反応性による区分　(6.3.4)(6.5.4) ※Ａ　※　のアルカリ総量3.0kg/m3以下）
6	混和材料の種別	※混和剤　・混和材　(6.3.1～2)
7	構造体強度補正値	構造体強度補正値の決定に用いる「予想平均気温θ」は、気象庁金沢地方気象台発表の過去の平均値より決定する。　(6.3.2)(監理指針 表6.11.2)
8	型枠（せき板）の種別	1）塗装の有無　※無　・有 2）打放し仕上げの種別　(表6.2.4)

種別（表面の仕上り程度）	材料（せき板）	塗装	施工箇所
・Ａ種 目違い、不陸等の極めて少ない良好な面とする	厚さ12mmのJAS規格品による表面加工品又は同等と見なせる程度のもの	・有 ・無	
・Ｂ種 目違い、不陸等の極めて少ない良好な面とし、グラインダー掛け等により平滑に調整されたものとする	厚さ12mmのJAS規格品によるＢ－Ｃ又は同等と見なせて、ほとんど損傷のないもの	・有 ・無	
・Ｃ種 打放しのままで、目違いばらいを行ったもの	厚さ12mmのJAS規格品によるＢ－Ｃ又は同等と見なせて、使用上差支えのない程度のもの	・有 ・無	

項目		特記事項
9	コンクリートの打増し	仕上げその他の納まりによる打増しは下記による。 打増し(mm)／・／・ 施工箇所／外断熱取合い（図示）／
10	断熱材兼用型枠	適用箇所及び品質等は19章９断熱材による　(6.8.3)
11	コンクリート躯体の表面処理	外装タイル後張り面の躯体表面の処理　(6.8.3)(11.3.5) ＭＣＲ工法又は15.3.4(3)による目荒らし工法とする。なお、目荒らし工法の場合は、モルタルの接着に適した粗面に仕上げる工法を、1.2.2「施工計画」による品質計画で定める。 また、粗面の状態は、監督職員の承諾を受ける。 適用範囲は11章タイル工事　コンクリート素地面の処理による コンクリートの増打ち厚さ　※20mm

構造仕様書による

７章　鉄骨工事

項目		特記事項
1	鉄骨の製作工場	・監督職員の承諾する製作工場　(7.1.3) ※建築基準法第77条の56第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた㈱日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構により下記グレードとして国土交通省から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。 ・Ｓグレード以上　・Ｈグレード以上　・Ｍグレード以上　・Ｒグレード以上
2	施工管理技術者	※適用する　(7.1.3～4)(7.6.2)(7.12.2)
3	鋼材	鋼材の材質　(7.2.1)(7.2.10)(表7.2.1)

種類の記号	使用箇所	規格等
		※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による

項目		特記事項
4	普通ボルト	ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　※図示　(7.2.3)(7.3.2)
5	高力ボルト	1）ボルトの区分　(7.2.2)(7.3.2)(7.4.1～9) ※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト 2）ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　※図示 3）すべり係数試験　※行わない　・行う　試験方法等（　）
6	溶融亜鉛めっき高力ボルト	1）ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　※図示 2）摩擦面の処理　(7.2.2)(7.3.2)(7.12.4) ※　ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上） ・　リン酸塩処理 3）すべり耐力等の確認方法 ※　すべり耐力等の確認方法等　※図示
7	完全溶込み溶接部の試験	1）現場溶接　※全て　(7.6.12) 2）工場溶接 ＡＯＱＬ　※４.０％　・２.５％ 検査水準　※第６水準　・図示 (7.6.12)(表7.6.2～3)

検査の種別	試験箇所	試験方法
・超音波探傷試験		※「標仕」7.6.12(イ)による ・図示
・放射線試験		
・マクロ試験		

項目		特記事項
8	耐火被覆	(7.9.2～8)

種別		所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・	
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		
・耐火塗料		

項目		特記事項
9	アンカーボルトの保持及び埋込み工法	・構造用アンカーボルト（　） ・建方用アンカーボルト（・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種）　(7.10.3)(表7.10.1)
10	柱底均しモルタル工法	※Ａ種　・Ｂ種　(7.10.3)(表7.10.2)
11	溶融亜鉛めっき工法	(7.12.4)(表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	材料	適用部位
Ａ種	最低板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	
Ｂ種	最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
Ｃ種	最低板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 普通ボルト、アンカーボルト	

項目		特記事項
12	スカラップ	・改良型スカラップ　・ノンスカラップ　(7.6.7)
13	溶接条件	1）入熱、パス間温度の溶接条件 適用箇所　・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・ 2）鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	溶接材料の規格	溶接材料の種類	入熱	パス間温度
400N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	40kJ/cm以下	350℃以下
		YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下	450℃以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30kJ/cm以下	450℃以下
	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下
	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。		
	JIS Z 3315	YGA-50W, YGA-50P		
490N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下
		YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30kJ/cm以下	250℃以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下
	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下
	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。		
	JIS Z 3315	YGA-50W, YGA-50P		
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下	250℃以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		
400N級炭素鋼 （STKR, BCR及びBCPに限る。）	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下
		YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30kJ/cm以下	250℃以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下
490N級炭素鋼 （STKR及び BCPに限る。）	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下	250℃以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		

項目		特記事項
14	仮組	・行う　・行わない　(7.3.10)
15	錆止め塗装	耐火被覆材の接着する面の塗装　(7.8.2) ・行う（※「標仕」18.3.2による　・　）　・行わない

設計	工事名	西部地区小学校災害復旧工事
輪島市　教育委員会　教育総務課	図面名	建築工事仕様書　その２
	図面番号	A-02

8 章　コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント板工事

項目		特記事項
1	建築用コンクリートブロック	1）補強コンクリートブロック造　(8.2.2)

断面形状及び圧縮強さによる区分	厚さ（mm）	適用箇所
※空洞ブロックC(16)		
・空洞ブロックC(16)-W		

2）コンクリートブロック帳壁及び塀　(8.3.2)
※「標仕」表8.3.1及び下表による。

適用箇所			厚さ（mm）
・外壁			・
・間仕切壁			・
・地下二重壁			・
・塀	高さ	2ｍ以下	・120
		2ｍを超える	・150

2	ALCパネル		(8.4.2～6)(表8.4.2～4)

種類	単位荷量（N/㎡）	厚さ（mm）	取付け工法種別等
・外壁パネル ※平パネル ・意匠パネル	・1180　・1960	・100 ・120 ・	・Ａ種　・Ｂ種 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する
・間仕切壁パネル ※平パネル	――	・80　・100 ・	・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する
・屋根パネル	・960	・100　・	※Ｆ種 耐火性能　・有り （・１時間　・２時間）
・床パネル	・2350　・3530	・100　・150	

外壁と間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅
※　２０　・　図示による　(mm)

3	押出成形セメント板（ＥＣＰ）		(8.5.2～5)(表8.5.1～2)

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	ﾛｯｸｳｰﾙ充填	工法	耐火性能
・外壁パネル	※Ｆ	・50　・60		・有　・無	・Ａ種	・有り（　）
	・Ｄ	・50　・60		・有　・無	・Ｂ種	・無し
	・Ｔ	・60		・有　・無		
・間仕切壁パネル	※Ｆ			・有　・無	・Ｂ種	・有り（　）
	・Ｄ			・有　・無	・Ｃ種	・無し
	・Ｔ			・有　・無		

製造所 JIS A 5441による

4	外壁パネル工法	外壁パネルの取り付け工法　(8.4.3)(8.5.3)	

パネルの取り付け工法は図示による。なお、建築基準法に定める風圧力に対応した工法（建設省告示第109号による）を、1.2.2（施工計画書）による品質計画で定める。

9 章　防水工事

項目		特記事項
1	アスファルト防水	1）種別及び施工箇所　(9.2.2～3)(表9.2.3～9)

種別	施工箇所
※ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・ＢＩ－２	床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ
・Ｄ－１	屋上
・	

2）アスファルト　※３種　・４種　(9.2.2)

3）断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※25　・　(9.2.2)
ただし、オゾン層破壊物質を含まないもの。

4）立ち上り部の保護材　(9.2.2)
・乾式保護材
・れんが　※市販品れんが、又は市販品のれんが形コンクリートブロック（見え隠れ部分）

乾式保護材の種類		厚さ（mm）	適用
・押出成形セメント板（窯業系パネル）	※Ⅰ類 ・Ⅱ類	・約15×300 ・約26×600 ・	※無石綿に限る
・金属複合板		・約12×900	

製造所 JIS規格又は「評価名簿」による

2	改質アスファルトシート防水	種別及び施工箇所　(9.3.2～3)(表9.3.1～3)	

種別	施工箇所
・ＡＳ－Ｔ１	
・ＡＳ－Ｔ２	
・	

3	合成高分子系ルーフィングシート防水	1）種別及び施工箇所　(9.4.2～3)(表9.4.1～2)	

種別	厚さ（mm）	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	※非歩行
・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・			・軽歩行
・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・		・シルバー　・カラー	
・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・			

2）PCコンクリート部材下地　(9.4.4)
目地処理（接着工法）　※図示
入隅部の増張り（S-F1，SI-F1及びS-C1工法の場合）　※行わない　・行う（幅　mm程度）

4	塗膜防水	1）種別及び施工箇所　(9.5.2～3)(表9.5.1～2)	

種別	施工箇所	備考
・Ｘ－１		仕上げ塗料塗り
・Ｘ－２	機械基礎天端	・シルバー　・カラー
・Ｙ－１	地下外壁防水	Ｙ－２工法の保護シート
・Ｙ－２	屋内防水	※適用する　・適用しない

2）種別Ｘ－１の脱気装置　・設ける

種類	材料	設置数量
・平面部脱気型	※製造所標準仕様 ・ステンレス製　・アルミ製又はアルミ鋳物	・製造所指定数量 ・１箇所／約50㎡当たり
・立上がり部脱気型	※製造所標準仕様	・製造所指定数量 ・１箇所／約10m間隔

5	シーリング	1）下表以外は、「標仕」表9.7.1による。　(9.7.2)(表9.7.1)	

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
建具取合	MS-2
コンクリート誘発目地	PU-2

2）接着性試験　※簡易接着性試験　・引張接着性試験（施工部位　　）(9.7.5)

6	防水工事保証年限	防水工事は責任施工とし、下記により保証書を提出する。	

施工箇所	種別	保証年限	備考
アスファルト露出防水	Ｄ－１	・10年　・	
ウレタン塗膜防水	Ｘ－２	・10年　・	
		・10年　・	

10 章　石工事

項目		特記事項
1	天然石張り	1）石の品質　(10.2.1)

イ）床用石材　※２等品　・１等品（施工箇所　　）
ロ）壁及びその他の石材　※１等品　・２等品（施工箇所　　）
2）石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)(表10.2.1～2)

施工箇所	種類	産地・名称	厚さ（m）	仕上げの種類
玄関上框	御影石		50×150	本磨き

2	テラゾ張り	1）種石の種類　※大理石　・　(10.2.1)	
		2）表面仕上げ　※本磨き　・　(表10.2.2)	
3	壁の石張り工法	1）外壁石張り　(10.2.2)(10.3.2～3)	

①工法　(10.5.2～3)(表10.2.4)
・外壁湿式工法（※流し筋工法　・　）
・外壁乾式工法（・スライド方式　・ロッキング方式）
※外壁乾式工法の場合は、「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を、1.2.2（施工計画書）による品質計画で定める。
②あと施工アンカー　材質　※ステンレス（SUS304）　・
③石裏面処理　※行う（・小口共）　・行わない
④裏打ち処理　※行う　・行わない
⑤ドレインパイプ　※樹脂ネット製パイプ25～30φ（クロスメッシュ巻）
・ステンレス（SUS304）

2）内壁石張り　(10.2.2)(10.4.2～3)(10.5.2～3)
①工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）
・乾式工法　（・スライド方式　・ロッキング方式）
②あと施工アンカー　材質　※ステンレス（SUS304）　・
③石裏面処理　※行う（・小口共）　・行わない
④裏打ち処理　※行う　・行わない

4	床及び階段の石張り	1）床石張りの石裏面処理　※行う　・行わない　(10.6.2)	
		2）階段石張りの裏面の処理　※行う　・行わない　(10.6.3)	
		3）屋内のワックス掛け　※行う　・行わない　(10.1.5)	

11 章　タイル工事

項目		特記事項
1	セラミックタイル	1）タイルの種類　(11.2.2)(11.3.2)

施工箇所	形状寸法（mm）	再生材の適用	G	吸水率による区分 Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	釉薬 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	備考
コロネード	300角			・	・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。
役物：標準曲がり　（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする

2）タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）

3）原料に再生材料を用いる再生材利用タイルの品質
イ）20章　ユニット及びその他工事の「石川県リサイクル認定製品」を使用すると特記されている場合は、特記による。
ロ）イ）以外は、再生材料を用い焼成されたタイルとし、再生材料利用率は総原材料の重量比で20%以上（複数の再生材料を用いる場合は、その合計）使用されているものとし、再生材に用いる原料の種類及び焼成前処理方法は下表による。ただし、再生材料は通常製造している同一工場からの廃材は除くものとする。（グリーン購入法「特定調達品目」判断基準）

再生材に用いる原料の種類	焼成前処理方法
採石及び窯業廃土、無機珪砂、鐵鋼スラグ、非鉄スラグ、鋳物砂、陶磁器屑、石灰廃、廃プラスチック、建設廃材（汚泥を除く）、廃ゴム、廃ガラス、製紙スラッジ、アルミスラッジ、磨き砂汚泥、石材屑、上水道汚泥、湖沼等の汚泥	前処理によらず対象
都市ゴミの焼成灰	熔解スラグ化
下水道汚泥	焼成灰化又は溶融スラグ化

2	壁タイル張りの工法	1）内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・改良積上げ張り　(11.2.6)(11.3.5)(表11.2.3)(表11.3.2)	
		2）外装タイル　・密着張り　・マスク張り　・改良圧着張り　・接着剤張り	
		3）下地モルタル塗り　※「標仕」15.2.2～5	
		4）タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）(11.2.2)(11.1.4)	
		5）既調合モルタルの品質及び性能　(11.2.3)	

項目	単位容積質量（kg／l）	保水率（%）	接着強さ（N／mm2） 標準時	温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N／mm2）
品質・項目	1.8以上	70.0以上	0.6以上	0.4以上	0.2以上	4.0以上

3	コンクリート素地面の処理	・ＭＣＲ工法　・目荒らし工法　(11.2.6)(11.3.5)(6.8.3)(15.2.3) 施工範囲　※図示　・	

12 章　木工事

項目		特記事項
1	県産材の使用	能登ヒバ、杉は、県産材とし、代用樹種は認めない。
2	木材の品質	木材の材質等は、下記による。　(12.2.1)

1）現場搬入時の含水率　※Ａ種　・Ｂ種

2）木材の品質
（イ）製材 G　・日本農林規格　・一般建築用材
（ロ）保存処理木材の適用箇所　※「標仕」12.4.1(2)による。
日本農林規格に規定する保存処理K3以上とし、木材保存剤はクレオソート油を除く。
※JAS1083（木質材料の加圧式保存処理方法）による防腐処理木材
（ハ）下地材の等級は２級とする　(12.2.1(2)(ｱ))
（ニ）造作材の材面の品質　※Ａ種　・Ｂ種
（ホ）壁板類の品質　・無節　・上小節　・小節　・

3）樹種

	土台、水掛り枠類	見え掛り部分	見え隠れ部分	備考
下地材（柱等を含む）	・檜・能登ヒバ・草槙	・松・檜・杉	・松・杉	
造作材	・檜・能登ヒバ・草槙	・松・檜・杉・能登ヒバ・ラワン無節	――	・ラワン材 防虫処理
板材	・	・	・	

（イ）代用樹種（県産材を除く）　※認める　・認めない
（ロ）堅木と図示のあるものの樹種は、ナラ、シオジ、セン、タモ、とし等級は１等とする。
（ハ）断面の割増し
代用樹種を使用する場合は、建築基準法施行令第89条の規定の許容応力度に基づき断面を検討し、監督員の承諾を得て使用する。

3	集成材 G	1）造作用集成材　(12.2.1)	

品名	見付け材面の品質	樹種名
	※１等　・２等	※たも　・なら　・しおじ
	※１等　・２等	※たも　・なら　・しおじ

2）化粧ばり造作用集成材

品名	見付け材面の品質	化粧薄板樹種名	化粧薄板の厚さ（mm）
	※１等　・２等		
	※１等　・２等		
	※１等　・２等		

3）造作用単板積層材

品名	表面の品質	防虫処理
	・天然木化粧 ・塗装加工あり　・化粧加工なし（　等）	・する　・しない

4	合板等 G	ホルムアルデヒドの放散量　(12.2.1) ※規制対象外　・第三種	
5	接着剤	1）接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　(12.2.2)	
		2）ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第三種	
6	防腐・防蟻処理	1）防腐処理　・薬剤加圧注入　・薬剤塗布（適用範囲　）　(12.3.1)	
		2）防蟻処理　・薬剤加圧注入　・薬剤塗布（適用範囲　）	
		3）防腐・防蟻剤は、クロルピリホス等を含有しない非有機リン系の表面処理用木材保存材とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督職員に提出し承諾を受ける。	
		4）防腐・防蟻処理の方法 現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に、現場にて表面処理用木材保存材を塗布することとする。　(12.3.2)	
7	防虫処理	ラワン材を使用する場合は、JAS1083-6（製材－第６部：広葉樹製材）による保存処理の性能区分K1の防虫処理を行う。	
8	出荷証明及び県産材使用証明 G	木材及び合板等は、品質や出荷量等を記録した出荷証明書を提出する。　(12.2.1) また、設計図書において、県産材の使用が明記されている場合は、工事受注者（資材の発注者）は、合法木材供給事業者の認定を受けた納品書が発行する「県産材産地及び合法木材証明書」及び「納品書」（合法木材団体認定番号及び産地名が（石川県産）と明記されたもの）を監督員に提出する。	

13 章　屋根及びとい工事

項目		特記事項
1	長尺金属板葺	(13.2.2～3)(表13.2.1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
・ ・	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150）	※0.4 ・

建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法（建設省告示第109号による）を1.2.2（施工計画書）による品質管理で定める。
保証年限　・10年　・15年　・20年
※塩害保証条件により素材を決定すること。

2	折板葺	1）折板葺の形式等　(13.2.2～3)(表13.2.1)	

形式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）	山高（　）山ピッチ（　）板厚※0.6　・0.8
材料（規格等）	※塗装溶融亜鉛－５%アルミニウム合金めっき鋼板（CZACCR-20-Y25） ・塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板（CGLCCR-20-AZ150） ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別：　厚さ：　mm）　・無し
耐火性能	※30分耐火　・無し　その他　材料はJIS規格に基づく

建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法（建設省告示第109号による）を1.2.2（施工計画書）による品質管理で定める。

2）保証年限　・10年

3	粘土瓦葺	(13.4.2)	

形状による区分	寸法による区分	製法による区分	備考
※Ｊ形	※53Ａ　・	・ゆう薬がわら	色調（　）
・Ｓ形	・49Ａ　・49Ｂ	・いぶしがわら	
・Ｆ形	・40	・無ゆうがわら	役物瓦（図示）

建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法（建設省告示第109号による）を、1.2.2（施工計画書）による品質管理で定める。
（イ）産地　※指定無し　・
（ロ）下地コンクリートの場合の特殊モルタル
①材料の使用量（１㎥当たり）セメント480kg、川砂0.45㎥、水280kg
特殊パーライト560㎥（メーカ仕様による）
②水セメント比60%、スランプ15cm
③４週保釘力40kg/本以上

4	とい	1）材　種　(13.5.2)(表13.5.1)	

・配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管 G　・アルミ製

2）鋼管製といの防露　※「標仕」表13.5.4による　(13.5.2)(表13.5.3～4)

3）防露材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種

4）掃除口　※有り　・無し

14 章　金属工事

項目		特記事項
1	あと施工アンカーの引抜き耐力試験	※適用する　・適用しない　(14.1.3)
2	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14.2.1)(表14.2.1)

種別	色合い	施工箇所
・ＢＢ－１種	無着色	
・ＢＢ－２種	・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー	

3	鉄鋼の亜鉛めっき	(14.2.2)(表14.2.2)	

表面処理方法	種別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

4	軽量鉄骨天井下地	天井材の質量が20kg/㎡を超える天井、水平でない天井、システム天井は図示による。これら以外は以下による。	

1）野縁等の種類　屋外　※25型　・19型　(14.4.2)(表14.4.1)
屋内　※19型　・25型

2）屋外の場合の形式及び寸法　(14.4.3～4)(表14.4.2)
※下記以外は、「標仕」14.4.3及び表14.4.2による。

下地材の間隔（mm） 野縁受、吊りボルト、ｲﾝｻｰﾄ 中央部	周辺部	野縁	施工箇所

3）天井下地材における耐震性を考慮した補強　※行う　補強箇所　※図示　(14.4.4)

5	金属成形板張り		(14.6.2)

形状	製法	材種	寸法（mm）	厚（mm）	表面処理	色合い
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・			・BB－１種	無着色
					・BB－２種 ・	・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー
・パネル形	※プレス ・					

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）　(14.6.3)

6	アルミニウム製笠木		(14.7.2～3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種類	最小呼称肉厚（mm）	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
・250形	1.6以上	※ＡＢ－１又はＢＢ－１種 無着色 ＢＢ－２種 （・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）	・「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法を、1.2.2（施工計画書）による品質管理で定める。
・300形	1.8以上		
・350形	2.0以上		

隅角部及び突当り部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

7	体育館の鋼製床下地	体育館の鋼製床下地は、JIS A 6519（体育館用鋼製床下地構成材）による。	

15 章　左官工事

項目		特記事項
1	モルタル塗り材料	1）防水剤（モルタルに混入する防水剤）の品質　(15.3.2)

項目	混合割合	凝結及び安定性（JIS R 5201） 凝結時間	安定性	曲げ及び圧縮強度比（%）	吸水比（%）	透水比（%）
品質	セメント質量の５%以下	始発１時間以上 終結10時間以内	収縮性、膨張性のひび割れ・そりがないこと	70以上	95以下	80以下

2）既製目地材　※適用しない　・適用する（形状　）　(15.3.2)

2	床コンクリートの直均し仕上げ	下表以外は「標仕」表6.2.5及び「標仕」15.4.2による。　(表6.2.5)(15.4.1～2)	

施工箇所	平たんさ（mm）	備考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（パネル構法）範囲	１mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（溝構法）範囲	３mにつき７以下	

3	セルフレベリング材塗り	1）せっこう系　施工箇所及び厚さ　※図示　(15.5.2) 2）セメント系　施工箇所及び厚さ　※図示	
4	仕上塗材仕上げ	1）仕上塗材の種類等　(15.6.2)(表15.6.1)	

種類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・着色骨材砂壁状　・ゆず肌
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状　・さざ波状　・凹凸状
	・外装薄塗材Ｓ	砂壁状
	・内装薄塗材Ｃ	・
	・内装薄塗材Ｌ	・
	・内装薄塗材Ｓｉ	・
	・内装薄塗材Ｅ	砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材Ｗ	京壁状じゅらく
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状　・凸部処理　※凹凸模様
	※複層塗材ＲＥ	耐候性　※３種　・
	・複層塗材Ｓｉ	上塗材
	・複層塗材Ｅ	溶媒　※水系　・溶剤系
	・可とう形複層塗材ＣＥ	樹脂　※アクリル系 ・ポリウレタン系
	・防水形複層塗材ＣＥ	
	・防水形複層塗材ＲＥ	外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック
	・防水形複層塗材Ｅ	防水形の増塗材　※行う
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

2）建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種

3）防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。　(15.6.2)

5	ロックウール吹付け	厚さ（mm）　※図示　（・仕上表　・平面詳細図　・矩計図 ）　(15.12.3)	

設計	工事名	図面番号
輪島市　教育委員会　教育総務課	西部地区小学校災害復旧工事	A-03
	図面名　建築工事仕様書　その３	

16 章　建　具　工　事

項目	特記事項
1 見本の製作等	・特殊な建具の仮組等（建具番号：　　）　(16.1.4)
2 防犯建物部品	※建具表による　(16.1.6)
③ アルミニウム製建具	1）外部に面する建具の性能値等　(16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	※Ａ－３	※Ｗ－４	※70（(注)共）	
⊙Ｂ種	Ｓ－５	・	・	・	
・Ｃ種	Ｓ－６	・Ａ－４	・Ｗ－５	・100	

(注)引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスの時は、100mmとする。

2）表面処理　(16.2.4)(表14.2.1)

施工箇所	種別	色合い等
外部建具	※ＢＢ－１種	無着色
	・ＢＢ－２種	※標準色(・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)
	⊙ＢＡ－１種	無着色
内部建具	※AC－１種又はBB－１種	無着色
	・AC－２種又はBB－２種	※標準色(・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)

3）防音ドアセット　※適用は建具表による

4）断熱ドアセット　※適用は建具表による

5）耐震ドアセット　※適用は建具表による

4 樹脂製建具　1）外部に面する建具の性能値等　(16.3.2)(16.3.4)(表16.3.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	・Ａ－４	※Ｗ－４	・60　・80	
・Ｂ種	Ｓ－５		・Ｗ－５	・100	
・Ｃ種	Ｓ－６			・125	

2）表面色　※白色　・（　　）

3）ガラス　※複層ガラス　・単層ガラス　・三重ガラス　(16.3.3)

⑤ 網戸　防虫網　(16.2.3)
イ）網の種別　・合成樹脂製　⊙ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
ロ）形　式　※外部可動式　・固定式

⑥ 鋼製建具　1）簡易気密型ドアセット性能値　(16.4.2)(表16.4.1)
※適用する（適用箇所は建具表による）

2）外部に面する建具の耐風圧性　(16.4.2)(表16.2.1)
・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
※施工箇所は建具表による

3）鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さ2,400mmを越える場合）
※下表以外は表16．4．2による。　(16.4.4)(表16.4.2)

区分		使用箇所	厚さ（mm）
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

・図示

7 標準型鋼製建具　1）簡易気密型ドアセット性能値　(16.4.2)(16.4.6)(表16.4.1)
※適用する（適用箇所は建具表による）

2）外部に面する建具の耐風圧性
・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
※施工箇所は建具表による

⑧ 鋼製軽量建具　簡易気密型ドアセット性能値の適用は建具表による　(16.5.2)

9 標準型鋼製軽量建具　簡易気密型ドアセット性能値の適用は建具表による　(16.5.2)(16.5.6)

10 ステンレス製建具　1）簡易気密型ドアセット性能値　(16.4.2)(16.6.2)(表16.4.1)
※適用する（適用箇所は建具表による）

2）外部に面する建具の耐風圧性
・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
※施工箇所は建具表による

3）表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・No８鏡面仕上げ　・　(16.6.4)

4）曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり）　(16.6.5)

⑪ 木製建具　1）建物内部の木製建具に使用する表面剤及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

2）フラッシュ戸の表面材の種類　(16.7.2)(表16.7.2)(表16.7.6)
※難燃合板　⊙メラミン化粧板

3）かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　）

4）ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度　・鳥の子

5）枠及び靴ずりの材料
枠　※木枠　・
靴ずり　※ステンレス　・木製

⑫ 建具用金物　1）マスターキー　※製作する　・製作しない　(16.8.4)

2）建具用金物　(表16.8.1)

金物の種類	製造所
シリンダー箱錠　シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
ドアクローザ、ヒンジクローザ、フロアヒンジ	

13 自動ドア開閉装置　1）自動ドアの開閉機構　(16.9.2～3)(表16.9.1～6)

開閉方法	検出装置の種類
※スライディングドア ・スイングドア	※光線(反射)センサー　・電波センサー　・タッチスイッチ ・熱線センサー　・音波センサー　・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ　・光電センサー

2）凍結防止措置　※行わない　・行う（　　）　(16.9.3)

3）製造所　大型回転自動ドア機構のみ「評価名簿」による。

⑭ 自閉式上吊り引戸装置　製造所「評価名簿」による　(16.10.2)

15 重量シャッター　1）外部に面するシャッターの耐風圧強度　(16.11.2)
耐風圧性能（　　）N/m²

2）開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　(16.11.2)(表16.11.1)

3）危害防止機構　※危害防止装置　(16.11.2)
・

4）一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　(16.11.2)

⑯ 軽量シャッター　1）開閉形式　※手動式　⊙上部電動式（手動併用）　(16.12.2)(表16.12.1)

2）外部に面するシャッターの耐風圧強度　(16.12.2)
耐風圧性能（　　）N/m²

3）スラット　厚さ（mm）　※0.5　・0.8　⊙1.2　(表16.12.2)
材質　※JIS G3312(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)　(16.12.3)
・JIS G3322(塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　(16.12.4)

4）ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製ＳＵＳ３０４　(表16.12.2)
厚さ　※1.0　・1.5

17 オーバーヘッドドア　(16.13.2～3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能（　　）N/m²　(16.13.2)

18 ガラス　ガラスの厚さ・構成等は建具表により、その他ガラス性能等は下記による。　(16.14.2)
1）合わせガラス
特性による種類　※Ⅱ－１類（JIS R 3205）

2）強化ガラス

材料板ガラスによる種類	衝撃特性による種類（JIS R 3206）
※フロート強化ガラス ・型板強化ガラス	Ⅲ類（曲面はⅠ類）

3）熱線吸収板ガラス

板ガラスによる種類	日射熱取得率	色調
・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入磨き板ガラス	※２種	・ブルー　・グレー　・ブロンズ ・グリーン

4）複層ガラス

種類	断熱性、日射遮へい性による区分（JIS R 3209）
※断熱複層ガラス	※Ｕ３－１　・Ｕ３－２　・Ｕ１　・Ｕ２
・日射熱遮へい複層ガラス	・Ｅ４　・Ｅ５

5）熱線反射板ガラス

品質	反射皮膜面	材料板ガラスの種類	映像調整
※熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス	※内面・外面 内面	・フロート板ガラス ・熱線吸収フロート板ガラス ・強化ガラス ・倍強度ガラス ・	※行わない ・行う ただし、メタルカーテンウォール工事は17章による

6）倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
※フロート倍強度ガラス	
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー　・ブルー　・ブロンズ　・

19 ガラス留め材及び溝　ガラス留め材　(16.14.2)(表9.7.1)

建具の種類	材種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材
樹脂製	※シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材）

ただし、防火戸は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による。

板ガラスをはめ込む溝の大きさ　(16.14.3)(図16.14.1)
※「標仕」図16.14.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を監督員に提出し、承認を受ける。

20 ガラスブロック積み　ガラスブロック　(16.14.5)

寸法（mm）		表面形状		性能等	
呼び寸法	厚さ	色調	パターン	防火性能	耐火性能
		※クリア ・		※無し ・	※無し ・

壁用金属枠及び補強材　(16.14.5)

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製	※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による ・

化粧目地モルタルの色　※モルタル色　・

シーリング材料
下記以外は「標仕」表9.7.1による。　(9.7.2)(表9.7.1)

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分

ただし、防火区画等に用いる場合は、建築基準法に基づく規定に定められたもの、又は認定を受けた条件による。
製造所等 JIS A 5212によるもの又は「評価名簿」による。

21 ガラス用フィルム

名称	記号	張り面
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	ＧＩ	※内張り　・外張り
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	ＧＤ	
・		

品質　ＪＩＳ Ａ５７５９による。

17 章　カーテンウォール工事

項目	特記事項
1 メタルカーテンウォール	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による。

カーテンウォール材料の種類　(17.2.2)

種類	規格等
※アルミニウム製	※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
・方立方式
・バックマリオン方式（・単純２辺支持構法　・ＳＳＧ構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式（・ノックダウン方式　・ユニット方式）

シーリング材及びガラス取付け材料
下記以外は「標仕」表9.7.1による。　(17.2.2)(9.7.2)(表9.7.1)

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造ガスケット　※適用しない　(17.2.2)
・適用する（施工箇所：　　）

断熱材 Ⓖ　※適用しない　(17.2.2)
・適用する（種類：　　厚さ（mm）　：施工箇所※図示）

製品の寸法許容差　※下記以外は「標仕」表17.2.1による。　(17.2.3)(表17.2.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による。

アルミニウムの表面処理　(17.2.3)(表17.2.1)

種別	色合い等
・ＡＢ－１種　・ＢＢ－１種	無着色
・ＡＢ－２種　・ＢＢ－２種	※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜　塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク	

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²以上及び負圧　N/m²以上に対して安全であること。

主要部材のたわみ

支点間距離（ｈ）	たわみ量	状態
※４ｍ以下	※±（1/150）×ｈ かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、残留変形 有害な変形が起らないこと
・４ｍを超える		

耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　水平方向（K_H）　※1.0　・
垂直方向（K_V）　※0.5　・

構造種別	許容層間変位量（ｈ＝支点間距離）	変位後の状態
鉄骨造	※±（1/100）×ｈ以上 ・	※部材・ガラス等の損傷、破損及び脱落が起こらないこと 主要部材に有害な歪みが起こらないこと シーリングの損傷は補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×ｈ以上 ・	

水密性　・Ｗ－４　・Ｗ－５　(17.1.3)(表16.2.1)

気密性　・Ａ－３　・Ａ－４　(17.1.3)(表16.2.1)

耐火性能　※適用しない　・適用する（　　時間、施工箇所：図示）

映像調整　※行わない　・行う（建具表による）

2 ＰＣカーテンウォール　設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による。　(17.3.2)
コンクリートの種類及び品質
※「標仕」17.3.2による。
・下表による。ただし下表以外は17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Ｆｏ）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※SD295　・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質
下記以外はカーテンウォール製作所の仕様による。　(17.3.2)(14.2.2)(表14.2.2)

金物種類及び部位	内部	外部
PC版打込み金物	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
PC版打込み取付けボルト	※Ｅ種　・	※ステンレスボルト
２次ファスナー	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
取付けボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
レベル調整ボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
	・	・

シーリング材料
下記以外は「標仕」表9.7.1による。　(17.2.2)(9.7.2)(表9.7.1)

施工箇所	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材 Ⓖ　※適用しない
・適用する（種類：　　厚さ（mm）　：施工箇所※図示）

製品の寸法許容差　※下記以外は「標仕」表17.3.1による。　(17.3.3)(表17.3.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による。

表面仕上げ　（　　）

耐火材料

施工部位	種別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²以上及び負圧　N/m²以上に対して安全であること。

耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　水平方向（K_H）　※1.0　・
垂直方向（K_V）　※0.5　・

構造種別	許容層間変位量（ｈ＝支点間距離）	変位後の状態
鉄骨造	※±（1/100）×ｈ以上	※部材・ガラス等の損傷、破損及び脱落が起こらないこと シーリングの損傷は破損程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×ｈ以上	

18 章　塗　装　工　事

項目	特記事項
1 材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いたホルムアルデヒドの放散量　(18.1.3) ※規制対象外　・第三種 屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
② 素地ごしらえ	木部の素地ごしらえ　不透明塗料塗り　※Ａ種　・Ｂ種　(18.2.2)(表18.2.1) 透明塗料塗り　・Ａ種　※Ｂ種 鉄鋼面の素地ごしらえ　・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種　(表18.2.2) 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　(表18.2.3) モルタル及びプラスター面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種　(表18.2.4) コンクリート面、ＡＬＣパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ ・Ａ種　※Ｂ種　(表18.2.5～6) せっこうボード及びその他ボード面の素地ごしらえ　(表18.2.7) 継目処理工法の場合　※Ａ種　・Ｂ種 その他の場合　・Ａ種　※Ｂ種
③ 錆止め塗料塗り	錆どめ塗料種別 ・鉄鋼面　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(18.3.2)(表18.3.1) ・亜鉛めっき鋼面　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　(表18.3.2) 錆止め塗料塗り（SOP、EP-Gの場合） ⊙鉄鋼面　見え掛り　※Ａ種　・Ｂ種　(18.3.3)(表18.3.3) 見え隠れ　・Ａ種　※Ｂ種 ⊙亜鉛めっき鋼面　鋼製建具　※Ａ種　・Ｂ種　(表18.3.5) その他　・Ａ種　※Ｂ種
④ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP	塗料の種別　※１種　・２種　(18.4.2) ・鉄鋼面種別　・Ａ種　※Ｂ種　(18.4.3)(表18.4.2)
⑤ クリヤラッカー塗り(CL)	種別　・Ａ種　※Ｂ種　(18.5.2)(表18.5.1)
6 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	種別　・Ａ種　※Ｂ種　(18.6.2)(表18.6.1)
7 耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面　(18.7.2～3) 等級　・１級　・２級　・３級 コンクリート面及び押出成形セメント板面　(18.7.4)(表18.7.3) 種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
8 つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G)	種別　・Ａ種　※Ｂ種　(18.8.2)(表18.8.1) (18.8.4)(表18.8.3)
⑨ 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP)	種別　・Ａ種　※Ｂ種　(18.9.2)(表18.9.1)
10 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	種別　・Ａ種　※Ｂ種　(18.10.2)(表18.10.1)
11 木材保護着色塗料塗り（WP）	種別　・Ａ種　※Ｂ種　(18.12.2)(表18.12.1)

19 章　内　装　工　事

項目	特記事項
① 材料	(19.2.2)(19.3.2)(19.4.2)(19.5.2)(19.7.2)(19.8.2)(19.9.2) 壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤、塗料、フェノールフォーム保温材のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種 ※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
② ビニル床シート張り Ⓖ	(19.2.2)

種類	ＪＩＳの記号	色柄	厚さ（mm）
※発泡層のないもの	※ＦＳ　・	※無地　・マーブル	※2.0　・2.5
・発泡層のあるもの	・ＨＳ	※柄物　・無地	
・			
・			

再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されていること。
（ＫＳの場合を除く）
工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　）　(19.2.3)

③ ビニル床タイル張り Ⓖ　(19.2.2)

種類	JISの記号	厚さ（mm）	寸法（mm）	備考
※コンポジションビニル床タイル [接着形]	ＫＴ	※2.0 ・	・300×300 ⊙450×450	
・複層ビニル床タイル [接着形]	ＦＴ	※2.0 ・	・300×300 ・450×450	

再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されていること。

4 帯電防止床タイル張り　(19.2.2)

種類	厚さ（mm）	性能
・コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値（JIS K 6911による） $1.0\times10^{9}\Omega$以下、または、 漏洩抵抗値（JIS A 1454による） $1.0\times10^{10}\Omega$未満
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は5.0	
・	・	
・	・	

⑤ ビニル幅木　高さ（mm）　※60　⊙75　(19.2.2)

設計	工事名	西部地区小学校災害復旧工事	
輪島市　教育委員会　教育総務課	図面名	建築工事仕様書　その４	図面番号　A-04

⑥ カーペット敷き G

防炎性能は、消防法で定める防炎性能を有し、登録されているものとする。 (19.3.1)

・織じゅうたん (19.3.2～3) (表19.3.1)

種 別	織り方	パイル形状	色柄等	帯電性
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	※単一色（無地） ・柄物（標準色） ・	人体帯電圧 ※3kv以下 ・

・タフテッドカーペット (19.3.2～3) (表19.3.2)

パイル形状	パイル長 (mm)	工 法	帯電性
・カットパイル	※５～７ ・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	人体帯電圧 ※３kv以下 ・
・マルチレベルループ	※４～６ ・		
・レベルループパイル	※４ ・		
・カット、ループ併用	・		

・ニードルパンチカーペット (19.3.2)
厚さ(mm) ・帯電性 人体帯電圧 ３kv以下 備考

・タイルカーペット (19.3.2)

種 別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	帯電性	備考
※第一種 ・第二種	※ループパイル ・カットパイル ・ｶｯﾄ/ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※500×500 ・	※6.5 ・	人体 耐電圧 ３kv以下	

7 合成樹脂塗り床

(19.4.2～3) (表19.4.1～8)

	種 別	仕上げの種類
厚膜型	・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
	・エポキシ樹脂系塗床材	※薄膜流し展べ工法（※平滑 ・防滑） ・厚膜流し展べ工法（※平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル工法（※平滑 ・防滑）
薄膜型	・エポキシ樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・

8 床用塗料塗り

材質 ウレタン樹脂系塗料（※標準色 ・ ）
仕上種別 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ
塗布量 プライマー塗のうえ主剤２回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m²以上とする。

9 防塵用塗料塗り

材質 水性アクリル系樹脂塗料（※標準色 ・ ）
仕上種別 コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量 主剤２回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m²以上とする。

⑩ フローリング張り

(19.5.2～6) (表19.5.1～6)

品 名	樹 種	工 法	種 別	仕上塗装等
※天然木化粧複合フローリング G	・なら ・ひのき ・能登ひば ・かば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート
・	・	・	・	・

11 畳敷き

(19.6.2) (表19.6.1)

下地の種類	畳の種別
「標仕」表12.6.1による床組	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種（・ ・ ）
ポリスチレンフォーム床下地	・Ｃ種 ※Ｄ種（・ ・ ）

12 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地 厚さ (mm) ※40 ・65 ・80
フローリング類下地 厚さ (mm) ※80 ・95

13 特殊合板等の種類

特殊合板の仕上げの種類などは、下記による。 (19.7.2)

施工箇所		
仕上げの種類	・天然木化粧合板（・ ）	・特殊加工化粧合板（・ ）
防火性能	・難燃 ・準不燃 ・不燃	・難燃 ・準不燃 ・不燃
表面の品質	・１等 ・２等 ・３等	・１等 ・２等 ・３等
接着剤の種類	・１種 ・２種 ・３種	・１種 ・２種 ・３種
工 法	・Ａ種 ・Ｂ種 ・釘打 ・タッピング	・Ａ種 ・Ｂ種 ・釘打 ・タッピング
目地処理	・目透し・突付け・Ｖ目地・底目地	・目透し・突付け・Ｖ目地・底目地

⑭ 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類 紙製	繊維(織物)	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ(ﾋﾞﾆﾙ)	無機質製	その他	防火性能の級別	備 考
職員室	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃	
職員GWC	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃	
職員LWC	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃	
廊下	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃	

素地ごしらえ (19.8.3) (表18.2.4～5、7)
モルタル、プラスター、コンクリート面 ※Ｂ種 ・Ａ種（施工箇所： ）
せっこうボード面 ※Ｂ種 ・Ａ種（施工箇所： ）

⑮ 断熱材 G

断熱材は、原則として「グリーン購入法」における特定調達品目を使用する。
ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 (19.9.2)
(19.9.2) (19.9.3)

種 類		施工箇所	厚さ (mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※２種ｂ	※一般部	・25 ・50	特定フロンを使用しないもの G
	※３種ｂ（スキン層付）	・接地部分 ・	・25 ・	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	―――	特定フロンを使用しないもの 難燃性 ※３級 ・２級
		・一般部	・15	
		・外周部	・50	
		製造所 JIS A 9526又は「評価名簿」による		
・断熱材兼用型枠		・壁（図示の範囲） ・	・40以下 ・	断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝0.676以上 （m²・K/w）

16 体育館のフローリング張り

体育館のフローリング張りは、下記による。
（イ）材種 下張り（組床式の場合）・１類ラワン合板（厚15）・構造用合板１類２級（厚15）
上張り ・かば桜18mm ・
（ロ）工法 下張りとは、鋼製下地にタッピングビス止め。上張りは、下張り材に接着剤と釘打ち併用とする。
上張り材と他の材料との取合いは、ネオプレンゴムとし、コートラインは、上塗り前に、監督員の指示により施工する。

17 浴室天井材

市販品

材 質	表面仕上げ	性 能	幅 (mm)	備 考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	準不燃品	※200 ・100	回り縁は樋付きとし、製造所の標準品とする。
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調		※300 ・100	

⑱ せっこうボードその他のボード張り

(19.7.2) (表19.7.1)

種 類	ＪＩＳの記号	厚さ（mm）、規格等	
・硬質木毛セメント板 G	HW	・15 ・20 ・25	再生の木質材又は植物繊維の質量比割合が50%以上であること。ただし、体積比20%以下の接着材、混和剤等の質量は除くことができる。
・普通木毛セメント板 G	NW	・15 ・20 ・25	
・ミディアムデンシティファイバーボード G	MDF	・	
・パーティクルボード G		・	
・けい酸カルシウム板	0.8ＦＫ	タイプ２（無石綿）	
・ロックウール化粧吸音板	ＤＲ	※フラットタイプ（※９ ・12 ・ ） ・凹凸タイプ（※12 ・15 ・19 ・ ）	
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）		※フラットタイプ９（（個）不燃） ・凹凸タイプ（※12 ・15）（（個）不燃）	
・せっこうボード	ＧＢ－Ｒ	・12.5（不燃） ・9.5 （テーパーエッジボード施工箇所は図示）	
・不燃積層せっこうボード	ＧＢ－ＮＣ	9.5（不燃） ・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）	
・シージングせっこうボード	ＧＢ－Ｓ	12.5（（個）不燃）	
・強化せっこうボード	ＧＢ－Ｆ	※12.5（不燃） ・15.0（不燃）	
・せっこうラスボード	ＧＢ－Ｌ	9.5	
・化粧せっこうボード（木目）	ＧＢ－Ｄ	12.5（不燃） 幅440mm程度 模様（※柾目 ・板目）専用下地材付き	
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2	
・難燃合板 G			
・化粧せっこうボード	ＧＢ－Ｄ	・12.5（不燃）	

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2) (表19.7.1)
※適用する ・適用しない

19 吸音材

(表19.7.1)

種 類	記 号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード１号	RW－B	※25 ・
※グラスウール吸音ボード２号32K	GW－B	※25 ・

⑳ 乾式耐火間仕切壁

耐火性能	下地材	構造方法	仕上げ材等
60分耐火（非耐力壁）	軽量鉄骨壁下地	両面	・強化せっこうボード（厚さ15mm）下張り ＋せっこうボード系（厚さ12.5mm） ・強化せっこうボード（厚さ12.5mm）二重張り ・けい酸カルシウム板系（厚さ８mm） ＋せっこうボード系（厚さ12.5mm）
		片面	・強化せっこうボード系（厚さ21mm二重張り）

品質・規格 建築基準法に基づく耐火構造の通則的指定及び個別的指定を受けたもの。

㉑ 誘導用及び注意喚起用床材

視覚障害者用タイル (19.2.2)

適用箇所	種 類	寸法（mm）	形 状
屋 内	・塩化ビニル系	※300×300 ・	ブロックパターンはJIS T 9251による
	・磁器又はせっ器タイル	・	
屋 外	・コンクリート系	※300×300×60 ・300×300×30	
	・レジンコンクリート系	※300×300 ・	
	・磁器又はせっ器タイル	・	

20 章 ユニット及びその他工事

項 目	特 記 事 項

1 耐震スリット

方 向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型	・有り
・水平方向	・部分スリット	・非耐火型	・無し

目 地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※20×10 ・	※20×10 ・

② ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｼﾞｮｲﾝﾄ金物

材 質	クリアランス	防火性能	防水性能
・アルミ ・ステンレス	・50 ・100 ・150 ・	・あり ・なし	・あり ・なし

3 止水板

形 状 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式
施工箇所 ※図示

④ フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能（注１）	表面仕上げ材（注２）
相談室	・パネル構法 ・溝構法	150	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
職員室	・パネル構法 ・溝構法	150	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット

注１ 耐荷重性能5,000Ｎについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等のものとする。
注２ 表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。

構成材の材質 ・アルミニウム ・鋼製 ・
スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様（ただし、構成材は「標仕」による） ・図示
コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル ※配線取り出し開口：パネル１枚につき40mm×80mm程度の開口１ヶ所以上

フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント ・
空調用吹き出しパネル ※無し
・有り（※固定式 ・可変式 ：施工箇所は図示）

5 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	仕上げ	遮音性（透過損失）	不燃材料の認定
※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※鋼板 （※0.5 ・ ） ・	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・	・15dB程度 ・30dB程度 ・36dB以上 ・	・あり

製造所等 JIS A 6512によるもの又は「評価名簿」によるもの

6 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ（注２）	操作方法	施工箇所
・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	
・遮音タイプ（注１）		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	

注１ JIS A 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。
注２ 表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事 14壁紙張りによる。
パネル圧接装置操作方法 ※製造所標準仕様 ・

⑦ トイレブース

(20.2.5)

表面仕上げ材	脚部の形状・材質		ドアエッジの形状・材質	
※メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・アルミニウム	・フラット形	※アルミニウム製
・ポリエステル樹脂系化粧板	・支柱タイプ	・ステンレス	・曲面形	・ステンレス製

8 手すり

(20.2.6)

材料の種別	表 面 処 理
※ステンレスSUS304	※ＨＬ程度 ・鏡面程度 ・
・鉄	亜鉛めっき 外部 ※Ｃ種 ・ 内部 ※Ｅ種 ・

9 階段滑止め

(20.2.7)
材種 ステンレスSUS304
形状 ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド ※有り（・ステンレス製 ※ビニル製） ・無し
幅（mm） 約35
取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法

10 階段手すり

種 別	仕上げ等	手すり径等 (mm)	施工箇所
・集成材（市販品）	※クリアラッカー	・45 ・	
・ビニル製ハンドレール ※アルミ製 塩ビ被覆	・耐候性タイプ ・	・50（幅） ・34 ・40	
・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ	・ＨＬ ・	・40 ・	

⑪ 黒板及びホワイトボード

(20.2.9)

種 類		寸法 (mm)	備 考
・黒板	・焼付け		※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
・ホワイトボード	・ほうろう	1,800×1,200	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
		2,700×1,200	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分

12 表示標識

(20.2.11)
衝突防止表示 ※図示
（市販品 ※ステンレス製 径 約30mm ・ ）
・無し
法令に基づく表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所 監督職員の承諾する製造所

13 タラップ

(20.2.12)

材料の種別	表 面 処 理
※ステンレスSUS304	※研磨なし ・
・鉄	亜鉛めっき 内外部 ※Ｃ種 ・ ・

14 煙突用成形ライニング材

(20.2.13)
適用安全使用温度 ※400℃ ・650℃
製造所「評価名簿」による。

15 ブラインド

(20.2.14)

形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
・縦型	・１本操作コード ・２本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

⑯ ブラインドボックス及びカーテンボックス

※市販品（アルミニウム製 押出し型材）

使用区分	溝幅×深さ (mm)
・横型ブラインド	※90×150 ・120×150 ・
・縦型ブラインド	※120×80 ・150×80 ・
・カーテン（又はレース共）	※150×80 ・180×80 ・
・カーテン＋横型ブラインド	※180×150 ・

色彩 ※Ｂ－１ ・Ｂ－２（※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） ・図示

17 ロールスクリーン

(20.2.15)

操作方法	スクリーンの種類	品質等
・プルコード式（ストッパー付）	・無地	
・ワンタッチチェーン式	・柄物	
・チェーン式	・遮光タイプ	
・電動式		

製造所

⑱ カーテン及びカーテンレール

(20.2.16)

施工箇所	形式 片引	引分	装置 電動	ひも引	手引	名称・品質	ひだの種類	備 考
職員室	・	・	・	・	・	ドレープ	片ひだ	
校長室	・	・	・	・	・	ドレープ	片ひだ	
会議室	・	・	・	・	・	ドレープ	片ひだ	
男子更衣室	・	・	・	・	・	ドレープ	片ひだ	
女子更衣室	・	・	・	・	・	ドレープ	片ひだ	
	・	・	・	・	・			

⑲ ピクチャーレール

レール 材 質 アルミニウム製（シルバー）
形 式 先付け天井埋込型（見切縁兼用）
ランナー 材 質 本体：真鍮性 フック：ステンレス製（可動式）
耐荷重 25kg程度/個
個 数 ２個/レール１ｍ

⑳ 天井点検口

目地形状	運用箇所	寸法（mm）
額縁タイプ	下記以外全て	※450×450 ・600×600
目地タイプ	※図示 ・天井仕上げ材がＤＲの範囲	・

品質及び性能等 (表14.2.1)

項 目	材料の品質・規格及び性能	
内外枠の材質	アルミニウム合金押出型材（表面処理：Ｃ－１種又はＣ－２種による）	
内外の仕上げ材留付け金具	アルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板類及び同等の性能を有するもの	
コーナービス及び取付け金物等	鋼材に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの	
寸法許容差	枠の許容差	±0.5mm以内
	外枠と内枠のクリアランス	2.0mm以内

㉑ 床点検口

本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法（mm）
※アルミ製 ・ステンレス製	※アルミ ・ステンレス ・黄銅	下記以外全て	※600×600 ・

品質及び性能等

材 質	品質・規格及び性能	
アルミ合金押出型材	JIS H 4100 A6063Sによる	表面処理 Ａ－１種又はＡ－２種による
アルミニウム板	JIS H 4000 A1100PH24による	
ステンレス製	JIS G 4305（目地材はG 4308も含む）のSUS304による	表面処理 ＨＬ又はＮｏ２Ｂ程度
寸法許容差（mm）	受け枠寸法の許容差	±0.5
	蓋枠寸法の許容差	±0.5
	受け枠と蓋枠のクリアランス（片側）	2.0以内
耐荷重性能	荷重Ｐｎ＝1,000Ｎにおける蓋中央部の残留たわみ	点検口有効径の0.08%以内
	耐破壊荷重	荷重値Ｐｎの２倍以上

㉒ 収納家具・書架・物品棚

	品質	主要構造部材の材料	形状寸法(mm)	備 考
・収納家具	JIS S1033(ｵﾌｨｽ用収納家具)による	・鋼製 ・木製	・図示 ・	
・書架	JIS S1039(書架物品棚)による	・鋼製 ・	・図示 ・	JIS S1039による種類 ・１種 ・２種 ・３種
・物品棚		・鋼製 ・	・図示 ・	JIS S1039による種類 ・５種 ・６種 ・７種
・移動式 書架・物品棚		・図示 ・木製	・図示 ・	

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

㉓ かぎ箱

市販品
形 式 ・30組用 ・60組用 ・120組用

24 くつふきマット

市販品
材 質 ・塩化ビニル製（コイル状 ステンレス製受枠）
・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも）
・ステンレス製（受枠とも）

㉕ 流し台ユニット

種 類	寸法（Ｌ＝mm）	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200 ・1500 ・1650	2口IHヒーター付	※優良住宅部品 (ｾｸｼｮﾅﾙｷｯﾁﾝⅠ型) ・
・コンロ台	※600 ・700 ・	バックガード ※有り	
・つり戸棚	※1200 ・900 ・800		
・水切り棚	※1200 ・900	ステンレス製 ※１段式	※市販品

26 屋内掲示板

枠の材質 ※アルミニウム製 ・スチール
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・焼付塗装

㉗ 洗面カウンター

材 種 ・メラミン樹脂化粧張り（心材：集成材） ・人工大理石（仕様は図示）
奥行き（mm） ・約450 ・約600

28 防煙垂れ壁

・固定式

材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考
・網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き
・線入り磨板ガラス	・	・	

・可動式

種 類	材 質	高さ (mm)	備 考
・垂直降下式（巻取り型）	不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）
品質、規格 (財)日本建築センターの防災性能評定品

29 敷地境界石標

・かこう岩（文字記号等入り）
※コンクリートブロック製の市販品程度

30 旗竿

材 質 ※アルミニウム合金製
形 式 ※テーパー型 ・同一断面型
地上高さ（ｍ） ・６ ・８ ・10 ・12
操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式
固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式

31 旗竿受金物

材 種 ステンレス製SUS304

32 フェンス

・耐雪型 ・一般型
・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス

33 屋外掲示板

照明器具 ※有り ・無し
施 錠 ※有り ・無し
製造所

34 車止め支柱

・ステンレス製（上下式鎖内蔵型、反射テープ付き） 径114.3mm ｔ＝2.5mm Ｈ＝ＧＬ＋700mm
※スプリング付 ・スプリング無し
・図示

35 建築銘板

建築銘板の設置等は、下記による。
（イ）設置 ・設置する ・設置しない
（ロ）材料、大きさ ・黒又は白御影石水磨き仕上げ（450×600×25）
・アクリル樹脂板（450×600×10）
（ハ）記入内容（参考）

45（60）
60（45）

工事名
完成 令和 年 月 日
（監修）
設計
監理
建築 （業者名を記入する）
電気 （業者名を記入する）
給排水 （業者名を記入する）
空調 （業者名を記入する）
合併処理（業者名を記入する）
昇降機 （業者名を記入する）

設 計	工事名	西部地区小学校災害復旧工事		
輪島市 教育委員会 教育総務課	図面名	建築工事仕様書 その５	図面番号	A-05

36 リサイクル製品の使用

(1)リサイクル製品は、「石川県エコ・リサイクル認定製品」を優先的に使用すること。
石川県エコ・リサイクル認定製品　・使用する

使用箇所	製　品	備考
・		
・		
・		

「石川県エコ・リサイクル認定製品」は、石川県のホームページを参照する。
http://www.pref.ishikawa.jp/（石川県 生活環境部 資源循環推進課）
(2)その他、リサイクル製品の使用に努めるものとする。
(3)建設副産物リサイクル製品を使用した場合、下記掲示板を設置する。（但し、工事請負代金が1,000万円以上のもの）
看板の寸法は90cm×60cm程度とする。

この建築工事ではリサイクル製品として
○○○○○○○○、○○○○○○○○○
を使用しています。
R
石川県土木部営繕課
建設副産物リサイクル
シンボルマーク

（注）建設副産物シンボルマークのデザインは監督員に確認すること

37 伝統産業工芸品の使用

使用箇所	製　品	備考
・		
・		
・		

21 章　排　水　工　事

項目	特記事項

① 排水管

排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※１種　・２種）	Ｂ形（ゴム接合）
・硬質ポリ塩化ビニル管	※ＶＰ　・ＶＵ	
・ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ三層管 G	※ＲＳ－ＶＵ	

② 排水桝及びふた (21.2.1)

種　類	適用荷重	鍵
・水封形　・密閉形（テーパー・パッキン式） ・簡易気密形（パッキン式） ・中ふた付密閉形（テーパー・パッキン式）	・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－20用	・あり ・なし

グレーチングふた (21.2.1)

材　質	形　式	種　類	適用荷重	ﾒｯﾊﾟｰﾋﾟｯﾁ	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	※受枠付き ・ ボルト固定 ※無し ・図示	・溝ふた用（横断） ・溝ふた用（縦断） ・桝ふた用 ・かき上げ用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－14用 ・Ｔ－20用	※細目 ※普通目 ・細目	※凹凸形 ※平形 ・凹凸形

③ 埋戻し土　※Ｂ種　・建設汚泥から再生した処理土 G (21.2.1)

22 章　舗　装　工　事

項目	特記事項

① 盛土に用いる材料 (22.2.3)(表3.2.1)
・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土 G

② 凍上抑制層の材料 ※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　・切り込み砂利 (22.2.3)

③ 路床
1）路床安定処理 (22.2.2～3)(表22.2.1)
※添加材料による安定処理
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントＢ種
・高炉セメントＢ種 G　・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
添加量　kg／㎥（目標ＣＢＲ　※５以上　・　　）
・ジオテキスタイルによる安定処理
ジオテキスタイルの品質
単位面積質量　60ｇ／㎡以上
厚さ（mm）　0.5～1.0
引張り強さ　98Ｎ／５cm（10kgf／５cm）以上
透水計数　1.5×10cm／sec以上
2）透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ (22.2.2)
車道部　※150mm　・（　　）
歩道部　※50mm　・（　　）
3）路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱さない土） (22.2.5)
4）路床締固め度の試験　※行う (22.2.5)
5）砂の粒度試験　※行う (22.2.5)

④ 路盤
1）材料 G
※再生クラッシャラン（ＲＣ－40） (22.3.3)(表22.3.1)
・クラッシャラン鉄鋼スラグ（ＣＳ－40）
2）路盤の厚さ (22.3.2)

舗装の種類	路盤の厚さ（mm） 車道部				歩道部
アスファルト舗装	・100	・50	・250	・300	・100
コンクリート舗装	・50				・00
カラー舗装	・100	・150	・250	・300	・100
透水性アスファルト舗装					・100
インターロッキングブロック舗装	・100	・50	・250		・100

3）路盤の締固め度試験　※行う (22.3.5)

⑤ アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2)

部位	舗装の厚さ（mm） 基層	表層
車道部（基層なし）		・50　・
車道部（基層あり）	・50　・	・30　・
歩道部		・30　・

アスファルト　※再生アスファルト G　・ストレートアスファルト (22.4.3)

再生加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4)

区分	・一般地域	※寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13Ｆ）

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　　） (22.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)

⑥ コンクリート舗装
早強セメント　※使用しない　・使用する (22.5.3)
注入材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.2)
溶接金網　※有り　・無し (22.5.3～4)
厚さ試験　※行う　・行わない (22.5.6)

7 カラー舗装
カラー舗装の種類 (22.6.2～4)(表22.6.1～2)

種　類	車道部の基層	着色骨材等	顔料の添加量等	カラー舗装の厚さ（mm）
※アスファルト混合物	※なし	・有色骨材（焼成）	・５～７％	※50
・石油樹脂系混合物	・あり	・着色骨材（樹脂被覆）	・　％	・30　・
・樹脂系混合物		・自然石		５～10
・ニート工法		・エメリー ・着色磁器質骨材		３～５
・塗布工法				１程度以下

8 透水性アスファルト舗装
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.7.6)

⑨ ブロック系舗装
・コンクリート平板舗装 (22.8.2～3)

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材	表面加工
※普通平板（Ｎ）	※300角	※60	※砂	・研ぎ出し　・洗い出し
・透水平板（Ｐ）	・		・モルタル	・たたき出し

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2～3)

種　類	曲げ強度	厚さ（mm）	表面加工及び色彩等
※普通タイプ ・誘導、注意喚起用タイプ	5N/mm²以上	車道部　※80　・ 歩道部　※60　・	※標準タイプ ・表面化粧タイプ 誘導、注意喚起用は黄色とする
・透水性タイプ	3N/mm²以上		
・植生タイプ	4N/mm²以上	※100　・80	

製造所 JIS A 5371による。

・舗石舗装 (22.8.2～3)

種　類	厚さ（mm）	施工方法	基　層
※小舗石（花こう岩）	※80～100	※うろこ張り	※コンクリート舗装
・	・	・	・アスファルト舗装

⑩ 区画線
路面表示用塗料

規格番号	種　類	施工時の条件	適　用	寸法（mm）	色　彩
JIS K 5665	・１種 G	常　温	液状	幅　※150　・100 厚さ　※1.0　・	※　白 ・　黄
	・２種 G	加　熱			
	※３種１号	溶　融	粉体状		

揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して５％以下とする。

23 章　植　栽　工　事

項目	特記事項

1 土壌の酸度、塩分量試験 ※行う (23.1.3)

2 樹木の植栽基盤整備
芝及び地被類 (23.2.2～3)(表23.2.1～2)

適　用	有効土層の厚さ（cm）	工　法	整備範囲
※行う　・行わない	※20　・	※Ｂ種　・	※植栽範囲　・図示

樹木 (23.2.2～3)(表23.2.1～2)

樹木の樹高（m）	有効土層の厚さ（cm）	工　法	整備範囲
・12以上	※100　・	※Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種	※葉張りの範囲 ただし、低木は植栽範囲 ・図示
・７以上～12未満	※80　・		
・３以上～７未満	※60　・		
・３未満	※50　・		

工法Ｄ種以外の工法で現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

3 植込み用土　※現場発生土の良質土　・客土（※畑土　・黒土） (23.2.3)

4 土壌改良材 G
※適用する (23.2.3～4)
施工箇所　※植栽範囲　・図示
・バークたい肥

有機物の含有量（乾物）	：70%以上
炭素窒素比（Ｃ／Ｎ比）	：35以下
陽イオン交換容量（乾物）	：70meq／100g以上
ｐＨ	：5.5～7.5
水分	：55～65%
幼植物試験の結果	：生育阻害その他の異常が認められない
窒素全量（現物）	：0.5%以上
りん酸全量（現物）	：0.2%以下
カリ全量（現物）	：0.1%以上

・発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。

ひ素	：0.005%以下
カドミウム	：0.0005%以下
水銀	：0.0002%以下
ニッケル	：0.03%以下
クロム	：0.05%以下
鉛	：0.01%以下
有機物の含有量（乾物）	：35%以上
炭素窒素比（Ｃ／Ｎ比）	：20以下
ｐＨ	：8.5以下
水分	：50%以下
窒素全量（現物）	：0.8%以上
りん酸全量（現物）	：1.0%以上
アルカリ分（現物）	：15%以下

5 支柱材　※丸太又は間伐材 G　・竹 (23.3.2)

6 幹巻き用材料　※幹巻き用テープ　・わら及びこも (23.3.2)

7 芝張り　種類　※こうらい芝　・野芝 (23.4.2)

8 枯補償　※１年　・ (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)(23.5.5)

9 吹付けは種
種子の種類　※洋芝類又はクローバー（採取後２年以内） (23.4.2)
種子の量　※発芽率80%以上

10 屋上緑化 G
植栽基盤及び材料 (23.5.2～3)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示
保水・排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　　）　・板状成型品
植込み用土　※改良土　・人工軽量土
樹木の材種、寸法、株立数、寸法等　※図示
・屋上緑化軽量システム (23.5.3)
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示 (23.5.4)
固定方法は、「建築基準法に基づき指定する条件」により。建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を1.2.2（施工計画書）による品質計画で定める。
支柱　・設置する（種類　・図示　・　　）
かん水装置　・設置する（工事区分は図示による）

24 章　そ　の　他

項目	特記事項

① いしかわ週休２日工事
工事現場において週休２日に取り組む「いしかわ週休２日工事」（以下、「週休２日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。
なお、週休２日工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室ＨＰの「いしかわ週休２日工事　実施要領」を参照すること。

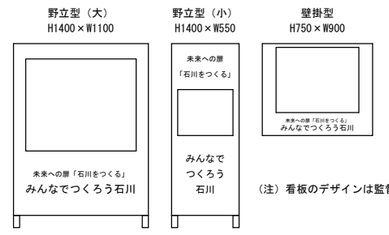
（１）当初設計において、週単位の週休２日にかかる補正係数を乗じている。
（２）受注者は、工事現場に週休２日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。
（３）受注者は、現場着手前に休日取得［計画］表を作成し、監督員に提出・共有すること。
（４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得［計画］表を修正し、監督員に提出・共有すること。
（５）受注者は、工期最終日までに、休日取得［実績］表を記入し、監督員に提出すること。
（６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて１日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。
（７）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、週単位の週休２日に満たない場合は、月単位の週休２日（４週８休相当）の補正に減額するものとし、月単位の週休２日（４週８休相当）に満たない場合は、補正分を減額するものとする。
なお、週休２日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。

2 余裕期間制度試行工事
1）余裕期間制度対象工事の内容
（１）本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。
（２）受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。
（３）受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。
（４）工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。
（５）受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。
（６）受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。
（７）受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。
（８）受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。
（９）余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。
（10）その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。

（着工日の期限）　契約締結日から起算して○ヶ月以内

3 イメージアップ看板
・設置する
・設置しない（別途工事で設置等）
※監督員へ提案・協議し、設置することができる（設置費は受注者負担とする）

【参考図】



（注）看板のデザインは監督員に確認すること

4 情報共有システム
石川県建設工事情報共有システム実施要領（営繕工事編）に基づく。
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/kijun/kijun.html
・利用する（発注者指定型）
※現場着手前に発注者と協議し、利用することができる（施工者希望型）

改訂履歴
平成10年４月１日
平成10年11月１日
平成12年４月１日
平成13年４月１日
平成14年４月１日
平成15年４月１日
平成15年７月１日
平成15年10月１日
平成16年４月１日
平成16年８月20日
平成17年４月１日
平成17年６月１日
平成19年10月１日
平成20年４月１日
平成21年４月１日
平成21年８月１日
平成22年４月６日
平成23年４月１日
平成24年４月１日
平成25年４月１日
平成26年４月１日
平成27年４月１日
平成28年４月１日
平成29年４月１日
平成29年７月１日
平成30年４月１日
令和２年４月１日
令和３年４月１日
令和３年５月１日
令和４年４月１日
令和５年４月１日
令和６年７月１日
令和６年10月１日
令和７年４月１日
令和７年10月１日

設　計
輪島市　教育委員会　教育総務課

工事名	西部地区小学校災害復旧工事
図面名	建築工事仕様書　その６
図面番号	A-06

最終改訂　令和７年１０月１日

建築改修工事仕様書

Ⅰ　工事概要

1　工事名　　西部地区小学校災害復旧工事

2　工事場所　　輪島市門前町清水10の21番地

3　工事種目

学校再編の伴う内部改修工事
別途工事

4　完成期日　　令和　　年　　月　　日　（概成工期　令和　　年　　月　　日）
（余裕期間制度試行工事適用の場合は、上記を完成日の期限とする。）
（積算工期　：　○○か月）

5　別契約
関連工事
・屋外付帯工事　・植栽工事
・電気設備工事　・給排水衛生設備工事
・暖房設備工事　・冷房設備工事
・換気設備工事　・空調設備工事
・昇降機設備工事　・電話設備工事
・浄化槽設備工事　・

Ⅱ　建築工事仕様

1　共　通　仕　様

1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「改修標仕」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）」（以下「解体共仕」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「標仕」という。）による。

2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図、機械設備工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2　特　記　仕　様

1）項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。

2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（　．　．　）内表示番号は、「標仕」の該当項目、当該図又は当該表を示す。

4）（別図ー　．　．　）は、「標仕」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。

5）特記事項に記載の［　．　．　］内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

6）Ⓖ 印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。

7）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（　）内は製品名を示す。

8）斜線で消去した章は適用しない。

1章　一般共通事項

項目	特記事項
① 適用基準等	設計図書の他に、下記の図書の該当事項を適用する。 ⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和４年版） ・建築構造設計基準の資料（国土交通省大臣官房営繕部　令和３年通知）のうち第３章 ⊙営繕工事写真撮影要領（令和３年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部） ・営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部令和３年度版） ・公共建築木造工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和４年版） ・屋根瓦工事共通仕様書（石川県土木部営繕課監修　平成２９年版） ・鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修） ・壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修） ・鉄骨構造標準図（石川県土木部営繕課監修） ・石川県バリアフリー社会の推進に関する条例（施設整備の手引き） ・石川県公共事業景観形成ガイドライン
2　工事実績情報の登録	※登録する（但し工事請負代金額500万円以上の工事。）　[1.1.4]
③ 発生材の処理	1）産業廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づく許可を得た処分場で処分する。 また、処分に際しては産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覧表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。 2）発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に引き渡す。　[1．3．12] イ）引渡しを要するもの及び引渡し場所　・引渡を要するもの　・引渡し場所 ロ）特別管理産業廃棄物の有無　・有　⊙無 ハ）特別管理産業廃棄物の処理方法　※図面　番　図参照 3）発生材のうち、現場で再利用を図るもの及び再資源化を図るものは下記による。 ・現場で再利用を図るもの　・ ・再資源化を図るもの　・ 4）せっこうボードの処理（有害物質非含有のものに限る）　[1.3.12] ・最終処分　・再資源化 5）ＰＣＢ含有シーリング材　[1.3.12] 分析調査　・する　※しない 6）建設リサイクル法第11条に基づく「通知書」及び同法18条に基づく「再資源化等報告書」の提出の有無 ・有　・無
4　電気保安技術者	※　適用する　[1.3.3]
⑤ 施工条件	⊙執務並行工事　[1.3.5]
⑥ 施工調査	施工数量調査　[1.6.2] 調査範囲　⊙施工範囲（各図面を確認のこと） ・ 調査方法 調査破壊部分の補修方法　・

項目	特記事項
⑦ 建築材料等	[1.4.2][1.4.4] 1）本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、又はこれらと同等のものとする。 ①「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料等品質性能評価事業建築材料評価名簿（最新年版）」（（社）公共建築協会）によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、次の②に準じ監督員の承諾を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。 ②JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次のイ）からヘ）の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等以上を使用する場合は、監督員の承諾を受ける者とする。 イ）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ロ）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ハ）安定的な供給が可能であること。 ニ）法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。 ホ）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ヘ）販売保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出し承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 2）請負契約約款第６条の２第７項に基づき調達する石川県産の工事材料については、「使用材料確認願」により監督員の確認を受け、工事完了後は地元産品について「使用材料報告書」を提出すること。 3）請負契約約款第13条第２項に定める監督員の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。 ※杭　・型枠類　・防水材料　・石材　・木材　但し、杭以外のJIS規格品は除く。 4）請負契約約款第14条第１項に定める監督員等の立会いのうえ調合等をし使用すべき工事材料は次のものとする。　※高強度コンクリート試し練り 5）請負契約約款第14条第３項に定める見本は次のものとする。 ⊙金属製品　・合成樹脂製品　⊙木製建具　⊙塗装 ・家具及び家具の金物　・畳　⊙内外装材料　・屋根材料 なお、監督員が承諾した材料は、証明となる資料と使用箇所を付し、工事完成まで現場事務所に掲示する。ただし、掲示が困難な材料等はカタログ、その他にたえることができる。 6）本工事に使用する建築材料等は、アスベスト含有建材を使用しないこと。（「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行等について」（厚生労働省労働基準局長通達平成18年８月）参照）。安全データシート（SDS）等により確認を行った場合は、その写しを監督員に提出すること。
8　特別な材料の工法	「標仕」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
⑨ 技能士等	※　技能士　[1.7.2]

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	・とび作業
鉄筋工事	⊙鉄筋組立て作業
コンクリート工事	・型枠作業　・コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	・構造物鉄工作業　・とび作業
ブロック・ALCパネル工事	・コンクリートブロック工事作業　・エーエルシーパネル工事作業
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・セメント系防水工事作業　・FRP防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業　・ウレタンゴム塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
石工事	・石材加工作業　・石張り作業　・石積み作業
タイル工事	・タイル張り作業
木工事	・大工工事作業
屋根及びとい工事	・内外装板金作業　・かわらぶき作業
金属工事	・鋼製下地工事作業　・内外装板金作業
左官工事	・左官作業
建具工事	⊙ビル用サッシ施工作業　・自動ドア施工作業　・ガラス工事作業
カーテンウォール工事	・金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業　・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業　・ｶﾞﾗｽ工事作業
塗装工事	・建築塗装作業
内装工事	⊙プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業　⊙木質系床仕上げ工事作業 ⊙ボード仕上げ工事作業　⊙壁装作業
排水工事	・建築配管作業
植栽工事	・造園工事作業

・「石川の伝統的建造技術を伝える会」のうち、金沢城公園整備工事従事者の認定を受けた者。

⑩ 完成図等	※作成する　[1.9.1～3][表1.9.1] 工事完成図は、Ａ３版製本（※１部　⊙２部　・　部）を提出する。 屋外付帯工事実測図　※提出しない　・提出する（１部） 保全に関する資料　※提出しない　・提出する（１部） 保全に関する資料のうち「建物等の利用に関する説明書」は、「管理者のための建築物保全の手引き(改訂版)」（(一財)建築保全センター）に建物の構造、機器、保安業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。 なお別契約の設備工事等がある場合は、連携の上作成する。
⑪ 工事写真等の記録	1）工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領（令和３年版）(国土交通省大臣官房官庁営繕部）により整備し、下記により提出する。また、本仕様書の「第１章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。 各区分の写真は、A4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。

区分	分類	大きさ	撮影枚数	部数
着工前	※カラー ・	※100×148程度 ・	※ 10 景以上	※　１部
工事中	※カラー ・	※85×115程度 ・	「営繕工事写真撮影要領」による	※　１部
完成時	※カラー ・	※100×148程度 ・	※ 10 景以上	※　１部 ・

2）完成写真の撮影　⊙専門業者の撮影（撮影者を明記）　・専門業者以外の撮影

3）原版の使用権を次の者に移譲すること。　※発注者　⊙設計者
移譲を受けた者は、写真を撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。撮影者が写真を使用する場合は、発注者・設計者の承諾を必要とする。

4）中間検査または、監督員の指示により手直しを命ぜられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。

12　責任施工	特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下請負人の連帯責任とし、保証書を提出する。
⑬ 工事報告書	工事の進捗度表、作業員の出面報告、工事箇所図及び工事現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末毎に提出する。
14　設備工事との取合い	1）設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。 2）設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所等は、下記による。

位置／大きさ		100mm	125mm	150mm	175mm	200mm			
補強筋箇所数	梁								
	壁								
	床								

鉄骨部のスリーブ及び補強は本工事に含むものとする。
軽鉄下地で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。なお箇所数は、下記による。
イ）天井部分　　箇所　　ロ）壁部分　　箇所

他工事との取合い	建築工事	電気工事	機械工事	備考
機器の基礎、換気扇取付用枠			○	
梁、床、壁貫通部の補強	○			
梁、床、壁貫通部のスリーブ、型枠		○	○	
外気取付ガラリー、床下水槽マンホール蓋	○			ｶﾞﾗﾘｰは、立面図に図示
ステンレス流し台等	○			排水トラップ共
換気フード、レンジフードファン 取付枠（鋼製）とも	○			建築図に図示 ダクト接続は設備工事
天井、壁、床、点検口、プロパンボンベ庫	○			
下流し、足洗場の給水、排水、玄関の排水			○	
小便器仕切板（陶器製）、タオル掛（下地共）			○	
洗面所、手洗所等の鏡	○		○	特殊なものは、建築工事
ボイラーの煙突	○		○	鋼板製は、機械設備工事
実験台に付属する設備機器	○			
実験台の配管等の接続		○	○	
埋込み分電盤、端子盤等の壁補強	○			
埋込み分電盤、端子盤等の型枠		○		
天井、壁ボード類の下地補強	○			墨出し、ﾎﾞｰﾄﾞ類切り込みは、設備工事
簡易間仕切り（内装パネル）内の位置ボックス及び配管の取付	○			
屋内・屋外に設置する発電機、配電盤、制御盤、受水槽、ポンプ等の基礎、防油堤	○			
屋上に設置するテレビアンテナ・避雷針等の設備基礎	○			屋根伏図に図示
配線ピット及び蓋	○			
照明器具幹線等の吊りボルト用インサート		○		
身体障害者用の手すり	○			
洗濯機用防水パン及びトラップ			○	
ＦＦ暖房機・クーラー等の配管用スリーブ	○			
電話・テレビ等の配線用スリーブ		○		
クーラー取付ボルト用インサート	○			建築図に図示
ユニットバス本体・付属品（シャワー金具・手すり・鏡・照明）	○			配管接続以降は設備工事
ユニットバス用換気扇			○	
消火器	○			公共住宅に適用
自動扉、電動Ｓ、電動ルーバー、防火設備の閉鎖制御機器、感知器　１次側配線		○		機器は建築工事
防火設備の閉鎖制御機器、感知器　２次側配線	○			
地下タンク室	○			

⑮ 設計ＧＬ	※図示　⊙設計ＧＬ＝現状ＧＬ
16　建築基準法に基づき指定する条件	・地区の区分に応じた風速（Ｖ（m/sec））　30（県内全域） ・地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ ・多雪地域の指定　垂直積雪量
⑰ 工事現場の掲示板	工事現場には、下記掲示板を設置する。　（記入例）

90cm

工事名	
工期自年月日～至年月日	
発注者	石川県輪島市
（監　修）	
設　計	
監　理	
施　工　建　築	（業者名を記入する）
電　気	（業者名を記入する）
給排水	（業者名を記入する）
暖　房	（業者名を記入する）
この工事は、週休２日に取り組んでいます	

上段の地色は、白色
文字は、青色
下段の地色は、青色
文字は、白色
60cm（75cm）

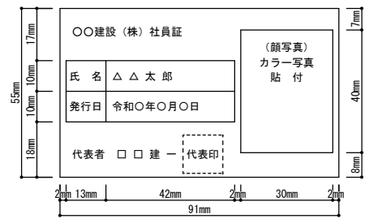
（注意事項）
①（監　修）内は、監修を委託した場合。
②業者名が多くなった場合でも、縦75cm以内とする。
③工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、角ゴシック体とする。

⑱ 施工の検査等	監督員等の検査を受ける工種は次のものとする。　[1.7.5] ※根切り掘削完了時　※主要構造部の配筋　・型枠の組立て その他監督員が指示するもの
19　施工の立会い等	請負契約約款第14条第２項に定める監督員等の立会いのうえ施工するものは次のものとする。 ※杭打ち　・コンクリートスランプ確認及び打込み　・屋外タイル圧着試験　[1.7.7] その他監督員等の指示するもの
20　中間検査	中間検査の実施　※有　・無　[1.8.2] 実施時期　※躯体工事完了時　・
㉑ 公共事業労務調査等に対する協力	・受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。 1）調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。 2）調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。 3）正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い、就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。 4）対象工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者（当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請け人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。 ・本工事が「建設副産物実態調査」の対象である場合、工事完了後速やかに調査票を作成し、監督員に提出しなければならない。
㉒ 保　険	工事目的物、工事材料等に生ずる損害を填補する保険は、下記による。 ※建設工事保険又は組立保険（工事対象物を全て解体する工事を除く） 加入期間　引渡しまで（引き渡しを要しない工事の場合は、工事完了まで）
23　室内空気汚染対策	室内空気の汚染対策の実施　※実施する　・実施しない　[1.7.9] 1）測定の有無等 測定する場合は、下記の通り揮発性有機化合物について室内濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 イ）測定の有無　※有　・無 ロ）測定対象室 測定は原則として、内装仕上げ材料の仕様が大きく異なる居室毎に行う。ただし、居室の規模が著しく異なる場合は、それぞれ実施する。 内装改修等を行った居室について測定を行う。 ハ）１室当たりの測定箇所数

室の床面積　Ａ（㎡）	Ａ≦50	50＜Ａ≦200	200＜Ａ≦500	500＜Ａ
測定箇所数	1	2	3	4

全ての測定箇所において、ニ）の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。
ニ）測定対象化学物質及び測定方法
測定対象化学物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンとし、同時に測定する。測定方法は、パッシブ型採取機器を用い、国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課長通知（平成24年４月５日国営整第４号）「官庁営繕部における ホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」により行う。
ホ）測定時期
測定は下記の時期に行うものとする。
①測定対象化学物質が、関連工事による測定対象室への流入や急激な拡散がほぼなくなり、引き渡し後の室内空気環境と同程度になった時期。
②別途工事又は家具の設置等が行われる前。
③内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること。
④中央式空気調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していること。
ヘ）測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合の措置
測定結果が厚労省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定を行う。
ト）その他、採取、測定及び分析の方法は、上記ニ）の国土交通省通知によるほか、監督員の指示による。
2）施工中・施工後の通風、換気
接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分管理し、適切な乾燥時間をとるようにする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図るものとする。
3）引き渡し時
室内空気中に化学物質を発散するおそれのある建築材料等の使用状況の一覧表を提出する。
4）揮発性有機化合物を放散させる建築材料等本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のイ）から ホ）の事項を満たすものとする。
イ）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗り材は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ロ）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ハ）接着剤は、フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシンを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ニ）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ホ）上記のイ）、ハ）、ニ）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。
※「規制対象外」のもの
①JIS又はJASのＦ☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の７第４項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
ア）非ホルムアルデヒド系接着剤使用
イ）接着剤等不使用
ウ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料を使用
エ）ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
オ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
カ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
・「第三種」のもの
①JIS又はJASのＦ☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の７第３項による国土交通大臣認定品
③旧JISのＥ０規格品

㉔ 名札の着帯	現場代理人及び主任（監理）技術者は、工事期間中は次に定める様式例等による顔写真入り名札を着帯すること。（但し、請負額1,000万円以上の工事）



（注意事項）
①名札として使用する用紙（台紙）は白色、寸法は上図（名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm）のとおりとする。
②顔写真（カラー写真）の寸法は縦4.0cm×横3.0cmとし、撮影する部分は胸から上の上半身とする。
③ケースの寸法は上記①の用紙（台紙）が入る大きさとする。

25　施工体制台帳の作成等	当該台帳を現場に備え付け、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げること。

設　計 輪島市　教育委員会　教育総務課	工事名	西部地区小学校災害復旧工事	
	図面名	建築改修工事仕様書　その１	図面番号　A-07

㉖ 排出ガス対策型建設機械 G

次に掲げる指定建設機械は、排気ガス対策型とする。
1）バックホウ
2）トラクターショベル
3）発動発電機
4）空気圧縮機
5）ローラ類
6）ホイールクレーン

㉗ 創意工夫等

工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

㉘ 保険の付与及び事故の補償

1）受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

2）受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む）

3）受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結１ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。

㉙ 電子納品

※行う（「電子納品仕様書」による。）　・行わない
電子納品仕様書
1　電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。
ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

名　称
営繕工事電子納品要領（令和３年版）
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和３年版

基準・要領類のダウンロード　http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html
2　工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-R、DVD-RXはBR-Dで１部納品する。
3　工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。
工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。
4　発注者が行うCALS/EC電子納品に関する調査について協力を行うものとする。

㉚ 騒音振動の防止

低騒音（G）、低振動型建設機械を使用する。

31 隣接建物又は工作物の調査

※行う　・行わない

㉜ 敷地の状況確認

着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電話ケーブル、給排水管及び架設物がないか関係機関の協力を得て確認し、報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。

㉝ 総合評価時における技術提案

「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、受注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出のうえ、履行状況の確認を受ける。なお、受注者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員に協議する。

㉞ ダンプトラック等による過積載等の防止

1）積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。

2）さし枠装着、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。

3）過積載車両、さし枠装着、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けること等、過積載を助長することのないようにすること。

4）取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

5）建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

6）「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年８月２日法律第131号。）の目的に鑑み、法第１２条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体への加入者の使用を促進すること。

7）１から６につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

㉟ 景観への配慮

当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。

２章　仮　設　工　事

項　目	特　記　事　項
① 工事用水	構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　※利用できない
② 工事用電力	構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　※利用できない
③ 工事用道路	工事用道路（敷地内外）は良好な維持管理を行い、使用後は請負者において速やかに原形に復旧すること。
④ 指定仮設	指定仮設の適用　・仮囲い　・敷鉄板（※図示） 仮囲いは、下記により強風に対して倒壊、飛散等しない堅固な構造とし、事前に施工図を提出して監督員の承諾を受けること。 イ）材料　・鋼板　・亜鉛波形鉄板　・単管バリケード ロ）高さ　・1.8m　・2.0m　・3.0m ハ）塗装　・する　・しない　・塗装品 ニ）延長　・　m その他の指定仮設　・ （種別、規格、仕様）
⑤ 足場その他	1）外部足場　[2.2.1] (1)足場の種類 ※枠組本足場（手すり先行足場） ・くさび緊結式足場（手すり先行足場） 足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月）の「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 (2)　建枠・布枠

建　枠	・1,200枠	・900枠	・600枠
布　枠	・500布枠×２枚	※500＋240布枠 ・500布枠×１枚	・500布枠×１枚

(3)　防護シート等による養生
※設置する　※ネット状養生シート又は養生シート
・防音パネル　なお、出入口等の上部は必要に応じて防護棚を設ける。
・設置しない

2）内部足場　[2.2.1]
種別　・　・　※きゃたつ、足場板等

3）材料、撤去材の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1]
・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種

⑥ 既存部分の養生	既存部分の養生方法　・　※ビニールシート等　[2.3.1] 既存家具等の養生　・　※ビニールシート等 既存ブラインド・カーテン等の養生方法、保管場所　・図示 固定された備品、机、ロッカー等の移動　・行う（図示）
⑦ 仮設間仕切	1)　仮設間仕切り種別　[2.3.2][表2.3.1]

種　別	下　地	仕上げ材（厚さmm）	充填材(mm)	塗　装
・Ａ種	※軽量鉄骨	※せっこうボード（※9.5　・　）	厚さ（　）	※無し
・Ｂ種	・木造	・合板（※９　・　）		・有り
※Ｃ種	単管	防炎シート		
仮設扉	※木製扉 ・	合板張り程度	・行う 厚さ（　）	※無し ・有り

⑧ 監督員事務所	※設ける　・既存建物の一部を使用　・設けない　[2.4.1] 監督員事務所の規模（m^2）

種　別	・１号	・２号	・３号	・４号	・５号
面　積	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

監督職員事務所に設ける備品等
※保護帽　※墜落防止用器具　※長靴　※合羽　※原図大及びＡ３縮小の設計図面製本各２部
※机　※椅子　※懐中電灯　・書棚　・黒板　・寒暖計　・

⑨ 快適トイレ（快適トイレ実施要領に基づく）	・ 快適トイレを設置すること ※ 監督員へ提案･協議し、快適トイレを設置することができる 快適トイレを設置した場合は設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。
⑩ 危険物貯蔵所	シンナー等有機溶剤を使用する場合は、特に火災及び盗難について管理を徹底する。　[2.4.2]
11 仮設物撤去他	原形復旧の方法・内容　・　[2.5.1]
⑫ 公衆災害防止等	建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）及び建設副産物適正処理推進要綱等関係規定を順守して災害の防止に努めることとする。

３章　防　水　改　修　工　事

項　目	特　記　事　項
① 一般事項	降雨等に対する養生　・　[3.1.3] 改修工法の種類　・　[表3.1.1]
② アスファルト防水	1）防水改修工法の種類　[3.3.3]

	防水改修工法の種類	施　工　箇　所	新規防水工法の種別
保護防水	・Ｐ１Ｂ ・Ｐ１Ｂｉ　・Ｔ１Ｂｉ ・Ｐ２Ａｉ ・Ｐ２Ａ		・Ｂ－１　※Ｂ－２ ・Ｂｉ－１　※Ｂｉ－２ ・Ａｉ－１　※Ａｉ－２　・Ａｉ－３ ・Ａ－１　※Ａ－２　・Ａ－３
露出防水	・Ｍ４Ｃ ・Ｐ０Ｄ ・Ｐ０Ｄｉ　・Ｍ４Ｄｉ		・Ｃ－１　※Ｃ－２　・Ｃ－３　・Ｃ－４ ・Ｄ－１　※Ｄ－２ ・Ｄｉ－１　※Ｄｉ－２
屋内防水	・Ｐ１Ｅ　・Ｐ２Ｅ		・Ｅ－１　※Ｅ－２

2）アスファルトの種類　※３種　・４種　[3.2.2][3.3.2]
3）二重ドレン　・設ける（・ＰＯＤ工法　・ＰＯＤＩ工法）　[3.2.5]
4）既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去（Ｍ４Ｃ工法、Ｍ４ＤＩ工法）・行う　[3.2.6]
5）断熱工法の断熱材の厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2]
断熱材はグリーン購入法における特定調達品目を使用すること
6）立上り部防水層保護　[3.3.2]
・市販品のれんが、又はれんが形コンクリートブロック（見え隠れ部分）
・乾式保護材
7）仕上げ塗料塗り（Ｃ－１、Ｃ－３、Ｄ－１、Ｄ－３、ＤＩ－１、ＤＩ－２）
※有り（・シルバー　・カラー）　使用量は製造所標準仕様
8）屋上排水溝　・図示（水勾配は1/200以上とする）

③ 改質アスファルトシート防水　1）防水改修工法の種類　[3.4.3][表3.4.1～3]

	防水改修工法の種類	施　工　箇　所	新規防水工法の種別
密着工法	・Ｍ４ＡＳ		・ＡＳ－Ｔ１ ・ＡＳ－Ｔ２ ・ＡＳ－Ｊ２
絶縁工法	・Ｍ３ＡＳ ・ＰＯＡＳ		・ＡＳ－Ｔ３ ・ＡＳ－Ｔ４ ・ＡＳ－Ｊ１ ・ＡＳ－Ｊ３
断熱工法	・Ｍ３ＡＳＩ ・Ｍ４ＡＳＩ ・ＰＯＡＳＩ		・ＡＳＩ－Ｔ１ ・ＡＳＩ－Ｊ１

2）二重ドレン　[3.2.5]
・設ける（・ＰＯＡＳ工法　・ＰＯＡＳＩ工法）
3）既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去（Ｍ４ＡＳ工法、Ｍ４ＡＳＩ工法）　[3.2.6]
・行う
4）断熱工法の断熱材の厚さ(mm)　[3.4.2]
※25　・
5）下地に部分的に密着又は接着を行う工法　[3.4.4]
※製造所の標準仕様

④ 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　1）防水改修工法の種類　[3.5.3]

	防水改修工法の種類	施　工　箇　所	新規防水工法の種別
接着工法	・ＰＯＳ ・Ｓ４Ｓ ・Ｓ３Ｓ ・Ｍ４Ｓ ・Ｐ１Ｓ		・Ｓ－Ｆ１ ・Ｓ－Ｆ２ ・Ｓ－Ｃ１
機械的固定方法	・ＰＯＳ ・Ｓ４Ｓ ・Ｓ３Ｓ ・Ｍ４Ｓ		・Ｓ－Ｍ１ ・Ｓ－Ｍ２ ・Ｓ－Ｍ３
断熱工法	・ＰＯＳＩ ・Ｓ４ＳＩ ・Ｓ３ＳＩ ・Ｍ４ＳＩ		・ＳＩ－Ｆ１ ・ＳＩ－Ｆ２ ・ＳＩ－Ｍ１ ・ＳＩ－Ｍ２

2）仕上げ塗料塗り(Ｓ－Ｆ１、ＳＩ－Ｆ１、Ｓ－Ｍ１、ＳＩ－Ｍ１の場合)
・シルバー　・カラー
3）新規防水層の仕様分類
・非歩行　・軽歩行
4）断熱材はグリーン購入法における特定調達品目を使用すること。G　[3.5.2]
・架橋形発泡ポリエチレンフォーム　厚さ(　)mm
・押出法ポリエチレンフォーム３種Ｂ　厚さ(　)mm
5）PCｺﾝｸﾘｰﾄ部材下地　[3.5.4]
目地処理（接着工法）　※図示
入隅部の増張り(種別Ｓ－Ｆ１の場合)　・行う（幅　mm程度）
6）二重ドレイン（ＰＯＳ、ＰＯＳＩ）　※設ける

⑤ ウレタン系塗膜防水　1）防水改修工法の種類　[3.1.4][表3.1.1][3.6.3][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施　工　箇　所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り
・ＰＯＸ		※Ｘ－１　・Ｘ－２	・シルバー
・Ｌ４Ｘ		・Ｘ－１　※Ｘ－２	・カラー

2）二重ドレン（・ＰＯＸ工法の場合）・設ける　[3.2.5]
3）既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去（Ｌ４Ｘ工法の場合）　・行う　[3.2.6]

⑥ シーリング　1）改修方法の種類　[3.1.4][表3.1.2][3.7.4～7]

改修方法の種類	施　工　箇　所
・シーリング充填工法	
・シーリング再充填工法	
・拡幅シーリング再充填工法	
・ブリッジ工法	

2）ボンドブレーカー張り及びエッジング材張り（ブリッジ工法の場合）　[3.7.7]
3）シーリング材の種類及び施工箇所　[3.7.2][表3.7.1]
下表以外は、改修標仕表３．７．１を標準とする

施　工　箇　所	シーリング材の種類（記号）

4）接着性試験　※簡易接着性試験（対象部位　）　[3.7.8]
5）撤去既存ｼｰﾘﾝｸﾞの処理
事前調査等
現場においてサンプルを採取し、専門分析機関で分析を行う。
採取箇所　※外壁目地　・建具周囲目地　・図示
採取箇所数　・部位が異なる毎に１箇所　・図示
分析によりＰＣＢの含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理を行う。
施工調査等
調査範囲　※今回改修工事範囲全て　・図示
調査内容　シーリング使用部位及び長さの確認
施工範囲と工事管理区分の確認
仮設計画
廃棄物等の搬出方法

⑦ 防水工事の保証　防水工事は責任施工とし、下記による保証書を提出する。

施工箇所	種　別	年　限	施工箇所	種　別	年　限
屋　根		１０年			
洗面、浴室、便所		５年			

⑧ とい

1）材種　[3.8.2][表3.8.1]
※配管用鋼管　・硬質塩化ビニル管（・ＶＰ　・ＲＦ－ＶＰ）　G
2）鋼管製といの防露巻き　[3.8.3][表3.8.3～4]
※「改修標仕」表3.8.4による
3）防露材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種　・次の箇所は行わない（　）
4）たてとい受け金物の取付け　[3.8.3]
※図示　・「標仕」13.5.2(2)及び13.5.3(4)(ｲ)による

⑨ アルミニウム製笠木　1）オーブン形式アルミニウム製笠木の種類　[3.9.2～3][表3.9.1]

種　類	板厚(mm)	表面処理及び色合い	固定間隔	下地補修
・100型	・1.5以上	※A-1又はB-1種(無着色)	建築基準法に基づき指定する条件により施工計画書に定める	※行う（図示）
・250型	・1.6以上	B-2種		・行わない
・300型	・1.8以上	・ブラウン系		
・350型	・2.0以上	・ブラック		
		・ステンカラー		

2）既存笠木等の撤去　・行う（範囲　※図示　・　）
3）板材折曲げ形アルミニウム製笠木の取付方法
固定金具は「改修標仕」3.9.3(2)(ｱ)とし、それ以外の取付方法は図示による。

４章－１　外　壁　改　修　工　事　共　通　事　項

項　目	特　記　事　項
1 調査	調査範囲　※外壁全面　・図示の範囲　[1.6.2] ・既存外壁仕上げ材等撤去後の躯体面（仕上げ材等撤去範囲） 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 コンクリート、モルタル及びタイル等のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 また、欠損部の寸法形状等を調査する。 モルタル及びタイルの浮き部分を壁面に表示する。 仕上げ塗材等の劣化部分、はく落部分等を壁面に表示する。 また、既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※２部
2 改修使用材料	可とう性エポキシ樹脂　[4.2.4][4.3.5][4.4.5]

項目	引張り強さ(N/mm^2)	伸び（%）	引張り接着性	
			最大引張り応力(N/mm^2)	破断時の伸び(%)
常温特性	1.0以上	30.0以上	1.0以上	10.0以上
低温性	1.0以上	30.0以上		
加熱変化	1.0以上	30.0以上		

比　重	表示値：±0.10
押出し性	60秒　以下
スランプ	3.0mm　以下
加熱減重	5.0%　以下
その他	1）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2）対象とする被着体を浸さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 3）常温常湿（温度5℃～35℃、湿度45%～85%）において製造所の指定する期間又は製造後６か月間保存した後にあっても、品質・性能の各項目に適合していること。

ポリマーセメントモルタル　[4.2.4][4.3.5][4.4.5]

項　目	曲げ強さ(N/mm^2)	圧縮強さ(N/mm^2)	接着強さ(N/mm^2)		
			標準時	湿潤時	低温時
性　能	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態	だれの下がり量は5mm以内かつ、ひび割れの発生がないこと。
透水性	裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。
その他	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙに用いる高分子ｴﾏﾙｼｮﾝは、常温常湿において製造後６ヶ月保存しても変質しないこと。

パテ状エポキシ樹脂　[4.2.4][4.3.5][4.4.5]

項　目	初期硬化性(N/mm^2)	接着強さ(N/mm^2)	圧縮強さ(N/mm^2)	曲げ強さ(N/mm^2)	硬化収縮率(%)
品　質	標準：2.0以上	標準：6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下

その他	1）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2）対象とする被着体を浸さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 3）常温常湿（温度5℃～35℃、湿度15%～85%）において製造所の指定する期間又は製造後６か月間保存した後にあっても、品質・性能の各項目に適合していること。 4）　試験方法はJIS A6024（建築補修用注入ｴﾎﾟｷｼ樹脂）に準ずる。

エポキシ樹脂モルタル　[4.2.4][4.3.5][4.4.5]

項　目	接着強さ(N/mm^2)	圧縮強さ(N/mm^2)	曲げ強さ(N/mm^2)
品　質	1.0以上	20.0以上	10.0以上

その他	1）こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 2）形状に異常がなく、だれが生じない。 3）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4）「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 5）常湿常湿（温度20±1.5℃、湿度65±20℃）において製造所の指定する期間又は製造後６か月間保存した後にあっても、品質・性能の各項目に適合していること。

ポリマーセメントスラリー　[4.2.4][4.3.5][4.4.5]

項目	注入性		保水性	長　さ	引張り接着性	曲げ性能	吸水性	耐久性
	広がり速度(cm/s)	粘調整(粘調係数)	(保水係数)	変化率(収縮)(%)	(28日材齢)(N/mm^2)	(28日材齢)(N/mm^2)	(72時間)(%)	(劣化曲げ強さ)(N/mm^2)
品質	3以上	0.05～1.00	0.35～0.55	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

吸水調整材　[4.2.4][4.3.5][4.4.5]

項　目	全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度(N/mm²)	界面破断率（%）
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

既製調合モルタル　[4.2.4][4.3.5][4.4.5]

項　目	保水率(%)	単位容積質量(kg／ｌ)	接着強さ(N/mm^2)		長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm^2)
			標準時	湿冷繰返し後		
品質・性能	70.0以上	1.8以上	0.6以上	0.4以上	0.2以下	4.0以上

４章－２　コ　ン　ク　リ　ー　ト　打　放　し　仕　上　げ　外　壁　改　修　工　事

項　目	特　記　事　項
1 ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法　[4.1.4][4.2.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ	0.2以上～1.0以下	※200～300	※
樹脂注入工法		・	・
・手動式エポキシ	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70
・機械式エポキシ	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130
樹脂注入工法		・	・

注入材料　[4.2.4]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A6024低粘度形又は中粘度形）
検査（コア抜取り）　[4.2.5]
※行わない
・行う　抜取り部の補修方法
※充填工法（・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ　・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ）　[4.2.8]
・Ｕカットシール材充填工法　[4.1.4][4.2.4][4.2.6]

充填材料	種　別	備　考
・シーリング材	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂	4.2.4による	

・シール工法　[4.1.4][4.2.4][4.2.7]
シール材料
・パテ状エポキシ樹脂　(4.2.4による)
・可とう性エポキシ樹脂（4.2.4による）

2 欠損部改修工法	※充填工法　[4.1.4][4.2.4][4.2.8] 充填材料 ・エポキシ樹脂モルタル　(4.2.4による) ・ポリマーセメントモルタル（4.2.4による）

４章－３　モ　ル　タ　ル　塗　り　仕　上　げ　外　壁　改　修　工　事

項　目	特　記　事　項
1 既存モルタル塗りの撤去	・行う（※全面　・図示の範囲） ・既存モルタル撤去工法（範囲は図示　撤去部分の補修は、３．欠損部改修工法による）
2 ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法　[4.1.4][4.3.2][4.3.6]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ	0.2以上～1.0以下	※200～300	※
樹脂注入工法		・	・
・手動式エポキシ	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70
・機械式エポキシ	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130
樹脂注入工法		・	・

注入材料　[4.3.5]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A6024低粘度形又は中粘度形）
検査（コア抜取り）　[4.2.5]
※行わない
・行う　抜取り部の補修方法
※充填工法（・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ　・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ）　[4.2.8]
・Ｕカットシール材充填工法　[4.1.4][4.2.6][4.3.5][4.3.7]

充填材料	種　別	備　考
・シーリング材	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂	4.3.5項改修使用材料による。	

・シール工法　[4.1.4][4.2.7][4.3.5][4.3.8]
シール材料
・パテ状エポキシ樹脂　(4.3.5による)
・可とう性エポキシ樹脂（4.3.5による）

3 欠損部改修工法	・充填工法　[4.1.4][4.2.8][4.3.5][4.3.9] 充填材料　※　ポリマーセメントモルタル（4.3.5による） ・モルタル塗替え工法　[4.1.4][4.2.8][4.3.5][4.3.10] 塗替え材料　※　「改修標仕」4.3.5（5）による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※適用する（範囲は図示） ※ステンレス製アンカーピンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレスラス等を張る。 ・図示 既製目地材　・適用する　（形状　※図示　・　）　[4.3.5]

設　計 輪島市　教育委員会　教育総務課	工事名	西部地区小学校災害復旧工事	
	図面名	建築改修工事仕様書　その２	図面番号　A-08

4 浮き部改修工法　モルタルを撤去しない場合　[4.1.4][4.3.5][4.3.11～16][表4.3.5～6]

改修工法の種類	アンカーピンの本数（本/m²） 一般部	指定部	注入口の箇所数（箇所/m²） 一般部	指定部	充填量又は注入量（ml/箇所）
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・			※25 ・
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・			※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・

アンカーピン
材質　※ステンレスSUS304、呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの　[4.3.5]
注入口付アンカーピン
材質　※ステンレスSUS304、呼び径外径６mm　[4.3.5]

４章－４　タイル張り仕上げ外壁改修工事

項目	特記事項
1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面　・図示の範囲 撤去範囲　※下地モルタルまで　・張付けモルタルまで
2 ひび割れ部改修工法	改修箇所　※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面（・コンクリート面　・モルタル面） ※樹脂注入工法　[4.1.4][4.2.5][4.4.5～6]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300 ・	※ ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40
	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5超え～1.0以下	※150～250 ・	※130 ・

注入材料　[4.4.5]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A6024低粘度形又は中粘度形）
検査（コア抜取り）　※行わない　[4.2.5]
・行う（抜取り部の補修方法：　）
・Uカットシール材充填工法（既存タイル張り撤去面）
[4.1.4][4.2.4][4.2.6]

充填材料	種別	備考
・シーリング材	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂	4.2.4による	

3 欠損部改修工法	・タイル部分張替え工法 張付け材料 ※ポリマーセメントモルタル ・接着剤（JIS A 5557に基づく一液反応硬化形の変成シリコーン樹脂系） ・タイル張替え工法 張付け材料 ・張付けモルタル（・現場調合　・既調合） ・接着剤（JIS A 5557に基づく一液反応硬化形の変成シリコーン樹脂系）
4 浮き部改修工法	タイルを撤去しない場合　[4.1.4][4.4.5][4.4.9～15][表4.3.5～6]

改修工法の種類	アンカーピンの本数（本/m²） 一般部	指定部	注入口の箇所数（箇所/m²） 一般部	指定部	充填量又は注入量（ml/箇所）
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・			※25 ・
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・			※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	・	・	・

アンカーピン
材質　※ステンレスSUS304、呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの　[4.3.5]
注入口付アンカーピン
材質　※ステンレスSUS304、呼び径外径６mm　[4.3.5]

４章－５　仕上塗材仕上げ外壁改修工事

項目	特記事項
1 既存塗膜等の除去及び下地処理	既存塗膜の劣化部の除去及び下地処理の工法　[4.5.4][4.5.4～7]

工法	処理範囲	ひび割れ部等の補修
※サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・	・ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・	・浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・	・欠損部改修工法
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・	

2 下地調整材	※下地調整塗材　・ポリマーセメントモルタル　[4.5.4]
3 マスチック塗材塗り	種別及び凸面処理仕上げ　[4.6.2][表4.6.1]

種別	仕上げ	仕上材塗り
・A種	・凸面処理仕上げ	・アクリル樹脂エナメル
・B種	・	・つや有合成樹脂エマルションペイント

５章　建具改修工事

項目	特記事項
1 一般事項	①改修工法　・かぶせ工法　・撤去工法　[5.1.3] 新規建具周囲の補修工法及び範囲　・ ②防犯建物部品　※建具表による　[5.1.7] ③防火戸　[5.1.4] 防火性能　・防火設備　（建具番号　） ・特定防火設備　（建具番号　） 防火戸の閉鎖機構　・自動閉鎖機構　（建具番号　） ・ヒューズ装置と連動　（建具番号　） ・熱感知器と連動　（建具番号　） ・煙感知器と連動　（建具番号　）
	④見本の製作等　[5.1.5] ・建具見本の製作　（建具番号　） ・特殊な建具の仮組　（建具番号　） ⑤建具回り等の充填モルタル 防水剤（モルタルに混入する防水剤の品質）　[6.15.3]

項目	混合割合	凝結及び安定性（JIS R 5201） 凝結時間	安定性	曲げ及び圧縮強度比(%)	吸水比(%)	透水比(%)
品質	セメント質量の５%以下	始発1時間以上 終結10時間以内	収縮性、膨張性のひび割れそりがないこと	70以上	95以下	80以下

⑤取付け調整等　[5.1.6]
・ブラインド　：
・カーテンボックス　：

2 アルミニウム製建具	外部に面する建具の性能等級　[5.2.2][5.2.4][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・A種	S－3	※A－3 ・	※W－4 ・	※70((注)共) ・	
・B種	S－5				
・C種	S－6	A－4	W－5	100	

防音ドアセット　※適用は建具表による
断熱ドアセット　※適用は建具表による
耐震ドアセット　※適用は建具表による
表面処理　[5.2.4][表5.2.2]

施工箇所	種別	色合い等
外部建具	※BB－1種	無着色
	・BB－2種	※標準色（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
	・	・
内部建具	※AC-1種又はBB-1種	無着色
	・AC-2種又はBB-2種	※標準色（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

3 網戸	防虫網　[5.2.3～4] 網の種別　・合成樹脂製　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316） 形式　※外部可動式　・固定式
4 樹脂製建具	1）外部に面する建具の性能値等　[5.3.2][5.3.4][表5.3.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・A種	S－4		※W－4	・60　・80	
・B種	S－5	A－4	W－5	・100	
・C種	S－6			・125	

2）表面色　※白色　・（　）　[5.3.4]
3）ガラス　※複層ガラス　・単層ガラス　・三重ガラス　[5.3.3]

5 鋼製建具	1）簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　[5.4.2][表5.4.1] ※適用する（適用箇所は建具表による） 2）外部に面する建具の耐風圧性　[5.4.2][表5.2.1] ・S－4　・S－5　・S－6 3）材料　※JIS G3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ 4）鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効開口幅 950mm、又は有効高さ 2,400mmを越える場合） ※下表以外は表５．４．２による　[5.4.4][表5.4.2]

区分		使用箇所	厚さ（mm）
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

・　図示

6 標準型鋼製建具	簡易気密型ドアセットの性能値の適用は建具表による　[5.4.2][5.4.6] ・適用する（適用箇所は建具表による）　[表5.4.1] 外部に面する建具の耐風圧性　[5.4.2][5.4.6][表5.2.1]

耐風圧性	施工箇所
・S－4	
・S－5	
・S－6	

7 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの性能値の適用は建具表による　[5.5.2]
8 標準型鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの性能値の適用は建具表による　[5.5.2][5.5.6]
9 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの性能値の適用は建具表による　[5.4.2][5.6.2] 外部に面する建具の耐風圧性　[表5.4.1][表5.2.1]

耐風圧性	施工箇所
・S－4	
・S－5	
・S－6	

10 木製建具	建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　[5.7.2] ※規制対象外　・第三種 フラッシュ戸の表面材の種類 ※天然木化粧合板 かまち戸の樹種　かまち（　）　鏡板（　）　[16.7.2] ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度　・鳥の子　[表5.7.3] 枠及び靴ずりの材料　[5.7.2] 枠　※ 木製枠　・鋼製枠 靴ずり　・木製　・ステンレス製
11 建具金物	1）材質、形状及び寸法　[5.8.2][表5.8.1] シリンダーサイド　外側　・　※シリンダー 内側　・　※サムターン 軸吊りヒンジの自閉装置機能　・適用する　・適用しない ドアクローザーのディレードアクション　・適用する　・適用しない 戸当りのあおり止めの付き　・適用する　・適用しない レバーハンドルのバックセット　・　※64mm 2）鍵　[5.8.4] マスターキー　・製作する　※製作しない（但し既設マスターキーに合わせる） 3）鍵箱　・適用する
12 自動ドア開閉装置	自動ドアの開閉機構　[5.9.2][表5.9.4]

開閉方法	検出装置の種類
※スライディングドア ・スイングドア	※光線（反射）センサー　・電波センサー　・タッチスイッチ ・熱線センサー　・音波センサー　・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ　・光電センサー

凍結防止措置　・行う（　）　・行わない　[5.9.2]

13 重量シャッター	1）形式及び機構　[5.11.2][表5.11.1]

種類	開閉機構	危害防止機構	ｼｬｯﾀｰｹｰｽ
・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター	※上部電動式 （手動併用） ・上部手動式	※障害物感知装置 （自動閉鎖型） ・	※設ける ・設けない

外部に面するシャッターの耐風圧強度　・耐風圧性能　N/m²

14 軽量シャッター	開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　[5.12.2][表5.12.1] 外部に面するシャッターの耐風圧強度 耐風圧性能（　）N/m²　[5.12.2] スラット　厚さ（mm）　※0.5　・0.8　[5.12.3][表5.12.2] 材質　※ JIS G3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯） ・ JIS G3322（塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） 形状　※ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形　[5.12.4] ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）　[表5.12.2]
15 オーバーヘッドドア	形式及び機構　[5.13.2～3][表5.13.1]

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 （SUS304）

耐風圧性能（　）N/m²

16 ガラス	[5.13.2] ガラスの厚さ・構成等については建具表により、その他ガラス性能等は下記による。 ・合わせガラス 特性による種類　※Ⅱ－１類　・　（JIS R 3205） ・強化ガラス

材料板ガラスによる種類	衝撃特性による種類（JIS R 3206）
※フロート強化ガラス ・型板強化ガラス	Ⅲ類　（曲面は Ⅰ類）

・熱線吸収板ガラス

板ガラスによる種類	日射熱取得率	色調
※熱線吸収フロート板ガラス	２種	・ブルー　・グレー　・ブロンズ ・グリーン

・複層ガラス

種類	断熱性、日射遮へい性による区分
・断熱複層ガラス	※Ｕ３－１　・Ｕ３－２　・Ｕ１　・Ｕ２
・日射熱遮へい複層ガラス	・Ｅ４　・Ｅ５

・熱線反射板ガラス

品種		反射皮膜面	材料板ガラスの種類	色調	映像調整
※熱線反射ガラス	※内面　・外面		・フロート板ガラス	・ブルー	※行わない
・高性能熱線反射ガラス	内面		・熱線吸収フロート板ガラス ・強化ガラス ・倍強度ガラス	・グレー ・ブロンズ ・シルバー	・行う

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
※ フロート倍強度ガラス	――
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー　・ブルー　・ブロンズ

17 ガラス留め材	[5.13.2][表3.7.1]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

18 ガラス溝	板ガラスをはめ込む溝の大きさ　[5.14.3] ※「改修標仕」図5.14.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。
19 ガラスブロック積み	ガラスブロック　[5.14.5]

寸法（mm） 呼び寸法	厚さ	表面形状 色調	パターン	性能等 防火性能	耐火性能
		※クリア	・	※無し ・	※無し ・

壁用金属枠及び補強材　[5.14.5]

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製 ・	※ 改修共仕5.2.3のアルミニウム製建具の材料による ・

化粧目地モルタルの色　※モルタル色　[5.14.5]
シーリング材料　[5.14.5][3.7.2][表3.7.1]
下表以外は改修標仕表3.7.1による

被着体の組合せ		シーリング材の種別 記号	主成分による区分	耐久性による区分

ただし、防火区画等に用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの、または認定を受けた条件による。

20 ガラス用フィルム	

名称	記号	張り面
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	ＧＩ	※内張り　・外張り
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	ＧＤ	
・		

品質　JIS A 5759による

６章　内装改修工事

項目	特記事項
1 床改修一般事項	1）工法　[6.2.2] (1)ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも）　・下地モルタルとも（※図示の範囲　・除去範囲全て） 合成樹脂塗り床材の除去工法 ・機械的除去工法　・目荒工法 (2)改修後の床清掃範囲　※改修箇所の室内　・
2 壁改修一般事項	1）工法　[6.1.3][6.3.2] (1)既存壁撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 (2)天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 (3)間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・モルタル塗り 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ・適用する（範囲は図示） ※ステンレス製アンカーピンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る ・図示 2）新設壁下地　・木製壁下地　・軽量鉄骨壁下地
3 天井改修一般事項	1）工法　[6.1.3][6.4.2] (1)天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま　・図示の範囲 2）新設天井下地　・木製天井下地　・軽量鉄骨天井下地
4 ビニル床シート張り G	材料　[6.8.2]

種類	JISの記号	色柄	厚さ・高さ（mm）
※発泡層のないもの	※ＦＳ　・	※無地　・マーブル柄	※2.0　・2.5
・発泡層のあるもの	・ＨＳ	※柄物　・無地	・
・	・		・
・	・		・
・ビニル幅木			※60　・

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　）　[6.8.3]

5 ビニル床タイル張り G	材料　[6.8.2] ビニル床タイル

種類	JISの記号	厚さ・高さ（mm）
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	ＫＴ	※2　・
・複層ビニル床タイル	ＦＴ	・
・ビニル幅木		※60　・

視覚障がい者用床タイル
※塩化ビニル系　※300×300　ブロックパターンは
・磁器又はせっ器タイル　・　JIS T 9251による
帯電防止床タイル

種類	厚さ	性能
・コンポジションビニル床タイル	※2.0	体積抵抗値（JIS K 6911による）
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	1.0×10⁹Ω以下、または、
・		漏えい抵抗値（JIS A 1454による）
		1.0×10¹⁰Ω未満

6 接着剤	[6.5.3～4][6.8.2][6.9.3] 木工事に使用する接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。 壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第三種　[6.11.4～5][6.13.2][6.14.2][6.16.4]
7 床板張り用合板等 G	ホルムアルデヒドの放散量　[6.5.2] ※規制対象外　・第三種 下張り用床板及び畳下床板の材料　[6.5.2][表6.5.8]

使用区分	材料	厚さ（mm）
下張り用床板の材料	※合板 G	※12
畳下床板	・パーティクルボード G	・
	・繊維板（ＭＤＦ） G	・

8 合成樹脂塗り床	[6.10.3][表6.10.4～8]

	種別	仕上げの種類
厚膜型	・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
	・エポキシ樹脂系塗床材	※薄膜流し展べ工法（※平滑　・防滑） ・厚膜流し展べ工法（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル工法（※平滑　・防滑）
薄膜型	・エポキシ樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・

9 フローリング張り G	材料、工法　[6.11.2～6][表6.11.1～6]

品名	樹種	工法	厚さ(mm)	大きさ寸法（mm）	種別
・フローリングボード	・なら ・ひのき ・ぶな	・釘留め工法（根太張） ・釘留め工法（直張り） ・接着工法	・5 ・12以上 ・8以上	・巾75 長さ400以上 ・	
・フローリングブロック	・能登ひば	緩衝材裏打	・	・	
・複合フローリング	・かば		・A種　・B種　・C種		

10 畳敷き	材料　[6.12.2][表6.5.8][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
「改修標仕」表6.5.8による床組	・A種　・B種　・C種　・D種（畳床・　）
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・D種（畳床・　）

11 カーペット敷き G	材料　[6.9.2～3] 防炎性能は、消防法で定める防炎性能を有し、登録されたものとする。 ・織じゅうたん　[6.9.3][表6.9.1]

織り方	種別	パイル形状	色柄	帯電圧
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・A種 ・B種 ・C種	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	※単一色（無地） ・柄物（標準色） ・	人体帯電圧 ※3kV以下 ・

・タフテッドカーペット　[6.9.3][表6.9.2]

パイル形状	パイル長（mm）	工法	帯電圧
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	人体帯電圧 ※3kV以下 ・
・ループパイル	※4～6　・		
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用	・		

・タイルカーペット　[6.9.3][表6.9.2]

種別	パイル形状	寸法（mm）	総厚さ（mm）	帯電圧
※第一種 ・第二種	※ループパイル ・カットパイル ・カット/ループパイル	※500×500 ・	※6.5 ・	人体帯電圧 ※3kV以下 ・

12 木下地等 G	1）県産材の使用　[6.5.2] 能登ヒバ、杉は、県産材とし、代用樹種は認めない 2）木材の品質　※「改修標仕」6.5.2による　・市販品　[6.5.2] 保存処理木材の適用箇所は「改修標仕」6.5.6(1)(ｲ)による　[表6.5.2] 樹種

	土台、水掛り枠類	見え掛り部分	見え隠れ部分	備考
下地材（柱等を含む）	・檜・能登ヒバ・草槙	・松　・檜　・杉	・松　・杉	
造作材	・檜・能登ヒバ・草槙	・松　・檜　・杉 ・能登ヒバ　・ラワン無節		・ラワン材 防虫処理
板材	・	・	・	

3）集成材　[6.5.2][表6.5.1]
造作用集成材

品名	見付け材面の品質	樹種名
木製建具枠　敷居	※１等　・２等	※たも　・なら　・しおじ　・松（敷居）

化粧ばり造作用集成材

品名	見付け材面の品質	化粧薄板樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)
	※１等　・２等		

造作用単板積層材

品名	表面の品質	防虫処理
	・天然化木化粧 ・塗装加工あり　・化粧加工なし（　等）	・する ・しない

設計	工事名	図面番号
輪島市　教育委員会　教育総務課	西部地区小学校災害復旧工事	
	図面名　建築改修工事仕様書　その３	A-09

4）防腐・防蟻処理 [6.5.5]
防腐処理　・薬剤加圧注入　・薬剤塗布（適用範囲　　）
防蟻処理　・薬剤加圧注入　・薬剤塗布（適用範囲　　）
防腐・防蟻剤は、クロルピリホス等含まない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督職員に提出し承諾を受ける。
防腐・防蟻処理の方法
現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。

5）防虫処理 [6.5.5]
ラワン材を使用する場合は、「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分Ｋ１の防虫処理を行う。
6）県産材使用証明 G [6.5.2]
木材及び合板等は、品質や出荷量等を記録した出荷証明書を提出する。
また、設計図書において、県産材の使用が明記されている場合は、工事受注者（資材の発注者）は、合法木材供給事業者の認定を受けた納品者が発行する「県産材産地及び合法木材証明書」及び「納品書」（合法木材団体認定番号及び産地名が（石川県産）と明記されたもの）を監督員に提出するものとする。

⑬ 軽量鉄骨天井下地
1）形式及び寸法　ダブル野縁　・　mm [6.6.3]
ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を1.2.2［施工計画書］による品質計画で定める。 [6.6.4]

2）工法 [6.6.4]
引抜き試験　・適用する　・適用しない
屋外の場合の試験
荷重　・400N
箇所数　・当該階において３箇所程度　・図示 [6.6.4]
天井下地材における耐震性を考慮した補強　・行う　補強箇所　※　図示　・
補強方法　※　図示　・

⑭ 軽量鉄骨壁下地
1）形式及び寸法 [6.7.3][表6.7.1]
スタッド、ランナーの種類　⊙50形　⊙65形　⊙90形　・100形
※スタッドの高さによる区分に応じた種類

⑮ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張り [6.13.2][表6.13.1]

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板 G	HW	・15　・20　・25
・普通木毛セメント板 G	NW	・15　・20　・25
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ G	MDF	・
・パーティクルボード G		・
・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ２（無石綿）
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（※9　・12　・　　） ・凹凸タイプ（※12　・15　・19　・　）
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）		※フラットタイプ 9（（個）不燃） ・凹凸タイプ　（※12 ・15）（（個）不燃）
⊙せっこうボード	GB-R	12.5(不燃)　9.5 （テーパーエッジボード施工箇所は図示）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃) 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5（（個）不燃）　9.5
・強化せっこうボード	GB-F	※12.5（不燃）・15.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	GB-D	12.5（不燃）幅440mm程度 模様（※柾目　・板目）専用下地材付き
⊙メラミン樹脂化粧板		JIS K6903による　厚さ1.2
・難燃合板 G		
・化粧せっこうボード（木目）	GB-D	12.5(不燃)

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 [6.13.2][表3.7.1]
※適用する　・適用しない

⑯ 壁紙張り
施　工 [6.14.3]
素地ごしらえ [表7.3.4][表7.3.7]

下地の種類	素地ごしらえの種別
モルタル及びプラスター面	・A種　※B種
せっこうボード面	・A種　※B種

17 モルタル塗り
既製目地材　※適用しない　・適用する [6.15.3]

7章　塗　装　改　修　工　事

項　目	特　記　事　項
① 材料	屋内の壁・天井仕上げ材は、防火材料とする。
② 下地調整	既存塗膜の除去範囲（塗替えで「改修標仕」表7.2.1～表7.2.7のＲＢ種の場合）[7.2.1] ・　※劣化部分 下地調整 [表7.2.1～7]

下 地 の 種 類	種　別	施工箇所
木部	・RA種　※RB種　・RC種	
鉄鋼面	・RA種　※RB種　・RC種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種　※RB種　・RC種	
モルタル及びプラスター面	・RA種　※RB種　・RC種	
コンクリート面等	・RA種　※RB種　・RC種	
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ及びその他のﾎﾞｰﾄﾞ面	・RA種　※RB種　・RC種	

既存モルタル下地等のひび割れ部の補修
・行う（補修範囲及び補修方法は図示）　※行わない

③ 素地ごしらえ
素地ごしらえ [表7.3.1～7]

下 地 の 種 類	種　別	施工箇所
木部	・A種　⊙B種	
鉄鋼面	・A種　・B種　※C種	
亜鉛めっき鋼面	・A種　⊙B種	
モルタル及びプラスター面	・A種　※B種	
コンクリート面等	・A種　※B種	
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ及びその他のﾎﾞｰﾄﾞ面	・A種　・B種	

4 錆止め塗料塗り
ＳＯＰまたはＥＰ－Ｇの場合 [7.4.3][表7.4.3][表7.4.5]

下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別	
鉄鋼面	・A種　・B種　※C種	見え掛り	※A種　・B種
		見え隠れ	・A種　※B種
亜鉛めっき面	・A種　・B種　※C種	鋼製建具等	※A種　・B種
		その他	・A種　※B種

ＤＰの場合 [7.4.3][表7.4.4][表7.4.6]

下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別
鉄鋼面	・A種　・B種　・C種	※A種　・B種　・C種
亜鉛めっき面	・A種　・B種　※C種	表7.4.6による

⑤ 合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ） [7.5.3～5][表7.5.1～3]

下地の種類	塗替えの種別			新規塗りの種別		
木部	・A種	※B種	・C種	※A種	・B種	下地調整は各表の注意書きによる
鉄鋼面	・A種	※B種	・C種	・A種	※B種	
亜鉛めっき面	鋼製建具等	※A種	・B種　・C種	※A種	・B種	
	その他	・A種	※B種　・C種			

⑥ ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り（ＣＬ）
塗替えの種別　・Ａ種　※Ｂ種 [7.6.2][表7.6.1]
新規塗りの種別　・Ａ種　※Ｂ種

7 アクリル樹脂系非水分散形塗料（ＮＡＤ） [7.7.2][表7.7.1]

下地の種類	工程等	塗替えの種別		新規塗りの場合
コンクリート、モルタル面等	下地調整	・RA種	※RB種　・RC種	「塗料その他」の欄による
	塗り種別	・A種	※B種	・A種　※B種

8 耐候性塗料塗り（ＤＰ） [表７．８．１～３]

下地の種類	塗替えの種別			新規塗りの場合		
・鉄鋼面	表7.8.1による					
・亜鉛めっき鋼面	表7.8.2による					
・コンクリート面 押出成形セメント板面	・A-1種 ・B-1種	・A-2種 ・B-2種		・A-1種	・B-1種	・C-1種
	・C-1種	・C-2種				

上塗り塗料　・１級　・２級　・３級

9 つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（ＥＰ－Ｇ） [7.9.2～5][表7.9.1～4]

下地の種類	塗替えの種別			新規塗りの場合	
・ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面等	・A種	※B種	・C種	・A種	※B種
・木部	・A種	※B種	・C種	※A種	・B種
・鉄鋼面	・A種	※B種	・C種	※A種	
・亜鉛めっき鋼面	※A種	・B種		※A種	

10 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（ＥＰ）
塗替えの種別　・A種　※B種　・C種 [7.10.2][表7.10.1]
新規塗りの種別　・A種　※B種

11 ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り（ＯＳ） [7.12.2]

適　用　箇　所	塗　料
・	・油性　・水性
・	・油性　・水性

12 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り（ＵＣ）
塗替えの種別　・A種　※B種 [7.11.2][表7.11.1]
新規塗りの種別　・A種　※B種

12 木材保護塗料塗り（ＷＰ）
種別　・A種　※B種 [7.13.2][表7.13.1]

8章　環　境　配　慮　改　修　工　事

項　目	特　記　事　項
① 石綿含有建材の処理	1）事前調査 [1.5.1] あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 目視及び貸与する設計図書等により石綿含有建材の有無について調査する。 調査範囲　・　・図示 貸与資料　⊙事前調査資料

2）分析による石綿含有建材の調査　・行う　・行わない
分析方法

材　料　名	定性分析方法	定量分析方法
	・JIS A 1481-1 ・JIS A 1481-2	・JIS A 1481-3 ・JIS A 1481-4
	・　箇所	・　箇所
	・　箇所	・　箇所
	・　箇所	・　箇所

3）石綿粉じん濃度測定 [9.1.1]
・行う（下表による）　・行わない
測定室（　　）

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・各２点　・各３点　（注１）
・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	・各２点（大気）
・	測定３	処理作業中	処理作業室内	・各２点
※	測定４		セキュリティーゾーン入口	・各１点
※	測定５		負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置　・各１点
・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	・４方向各１点
※	測定７	処理作業後（隔離シート撤去前）	処理作業室内	・各２点
・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	・４方向各１点（大気）

（注１）各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは2点、300㎡以下までは3点とする。
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。

測定方法
・自動測定機による測定

測定名称	測　定　方　法
・測定４ ・測定５	粉じん相対湿度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀ直径（mm）	試料の吸引流量（L/min）	試料の吸引時間（min）
・測定４ ・測定５ ・	25	5	・30 ・120
・測定 ・	45	10	・120
・測定 ・	45	10	・240
・測定 ・			

2 石綿含有吹付け材の除去
除去工法 [9.1.3]
・　※改修標仕9.1.3（2）(ｱ)による工法

3 石綿含有保温材等の除去
除去工法 [9.1.4]
※手ばらし　・切断又は破砕

4 石綿含有成形板等の除去
養生　・不要　・要（方法：　　） [9.1.5]

5 石綿含有仕上塗材の除去
除去工法 [9.1.6]
・高圧水洗工法（　　）
・剥離剤を用いる工法（　　）
・電気グラインダー等を用いる工法（　　）
・その他（　　）

6 石綿含有建材の処分
・安定型 [9.1.3～6]

種　類	受入施設の名称等	所在地
・石綿含有成形板等		

（注）施設の名称については、受注者が別に選定することを妨げるものではない。

・管理型 [9.1.3～6]

種　類	受入施設の名称等	所在地
・石綿含有吹付け材等		

（注）施設の名称については、受注者が別に選定することを妨げるものではない。

9章　リ　サ　イ　ク　ル　製　品

項　目	特　記　事　項
1 リサイクル製品の使用	1）リサイクル製品を使用するものは「石川県エコ・リサイクル認定製品」を優先的に使用すること。 石川県エコ・リサイクル認定製品　・使用する

使用箇所	製品	備考

「石川県エコ・リサイクル認定製品」は、石川県のホームページを参照する。
http://www.pref.ishikawa.jp/（石川県　生活環境部　資源循環推進課）
2）その他、リサイクル製品の使用に努めるものとする。
3）建設副産物リサイクル製品を使用した場合、下記掲示板を設置する。（但し、工事請負代金が1,000万円以上のもの）
看板の寸法は９０ｃｍ×６０ｃｍ程度とする。

この建築工事ではリサイクル製品として
○○○○○○○○○、○○○○○○○○○
を使用しています。
R
建設副産物リサイクル
シンボルマーク
石 川 県 土 木 部 営 繕 課

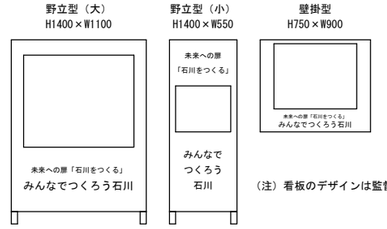
（注）建設副産物シンボルマークのデザインは監督員に確認すること

10章　そ　の　他

項　目	特　記　事　項
① いしかわ週休２日工事	工事現場において週休２日に取り組む「いしかわ週休２日工事」（以下、「週休２日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。 なお、週休２日工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室ＨＰの「いしかわ週休２日工事　実施要領」を参照すること。 （１）当初設計において、週単位の週休２日にかかる補正係数を乗じている。 （２）受注者は、工事現場に週休２日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （３）受注者は、現場着手前に休日取得［計画］表を作成し、監督員に提出・共有すること。 （４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得［計画］表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （５）受注者は、工期最終日までに、休日取得［実績］表を記入し、監督員に提出すること。 （６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて１日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 （７）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、週単位の週休２日に満たない場合は、月単位の週休２日（４週８休相当）の補正に減額するものとし、月単位の週休２日（４週８休相当）に満たない場合は、補正分を減額するものとする。 なお、週休２日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。
2 余裕期間制度試行工事	1）余裕期間制度対象工事の内容 （１）本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。 （２）受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 （３）受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 （４）工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。 （５）受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 （６）受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 （７）受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。 （８）受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 （９）余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 （10）その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。 （着工日の期限）　契約締結日から起算して○ヶ月以内

3 イメージアップ看板
・設置する
・設置しない（別途工事で設置等）
※監督員へ提案・協議し、設置することができる（設置費は受注者負担とする）

【参考図】

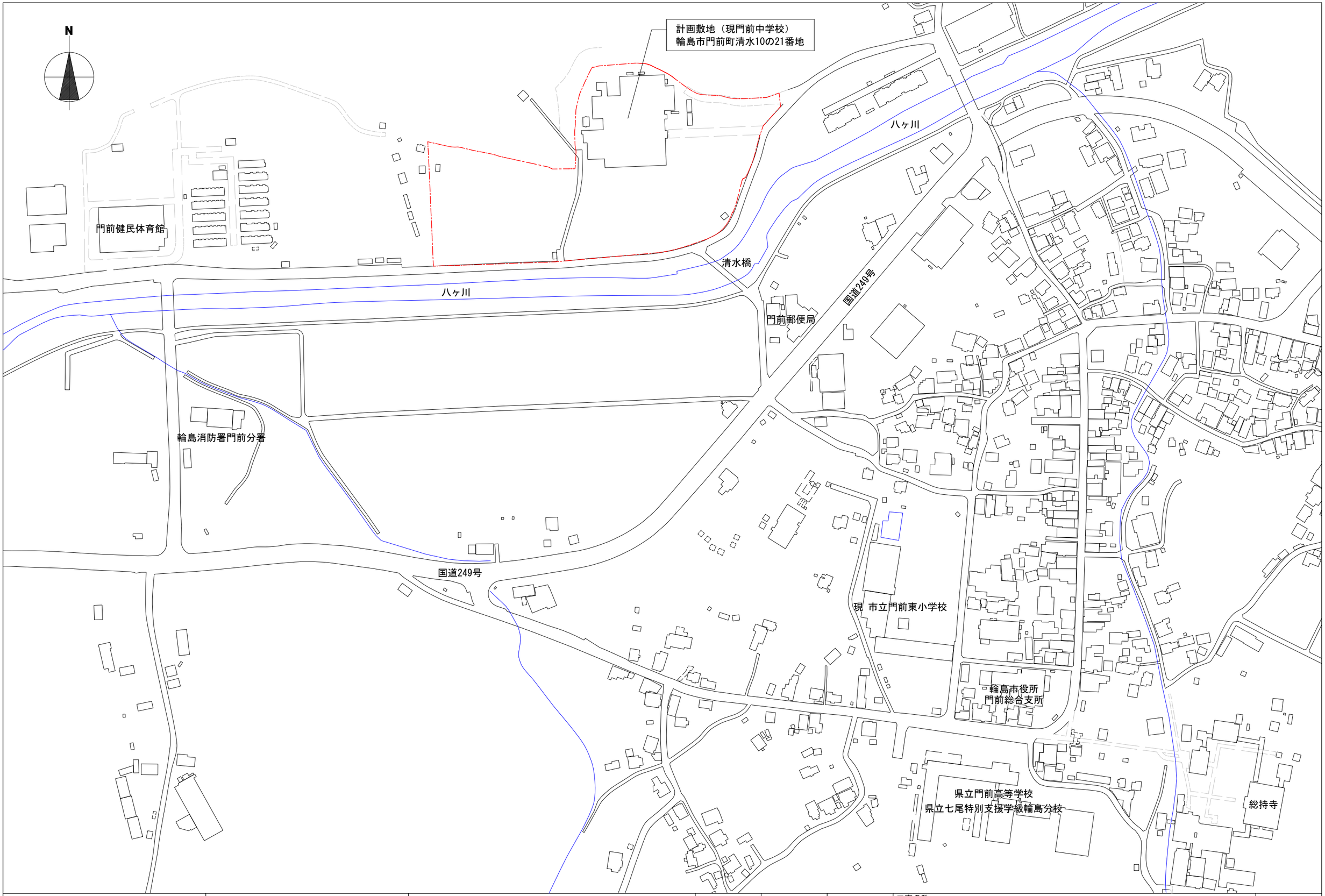


（注）看板のデザインは監督員に確認すること

4 情報共有システム
石川県建設工事情報共有システム実施要領（営繕工事編）に基づく。
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/kijun/kijun.html
・利用する（発注者指定型）
※現場着手前に発注者と協議し、利用することができる（施工者希望型）

改訂履歴
平成14年４月１日
平成15年７月１日
平成15年10月１日
平成16年４月１日
平成17年４月１日
平成17年６月１日
平成18年４月12日
平成18年７月３日
平成19年10月１日
平成20年４月１日
平成21年４月１日
平成21年８月１日
平成22年４月６日
平成23年４月１日
平成24年４月１日
平成25年４月１日
平成26年４月１日
平成27年４月１日
平成28年４月１日
平成29年４月１日
平成29年７月１日
平成30年４月１日
令和２年４月１日
令和３年４月１日
令和３年５月１日
令和４年４月１日
令和５年４月１日
令和６年７月１日
令和６年10月１日
令和７年４月１日
令和７年10月１日

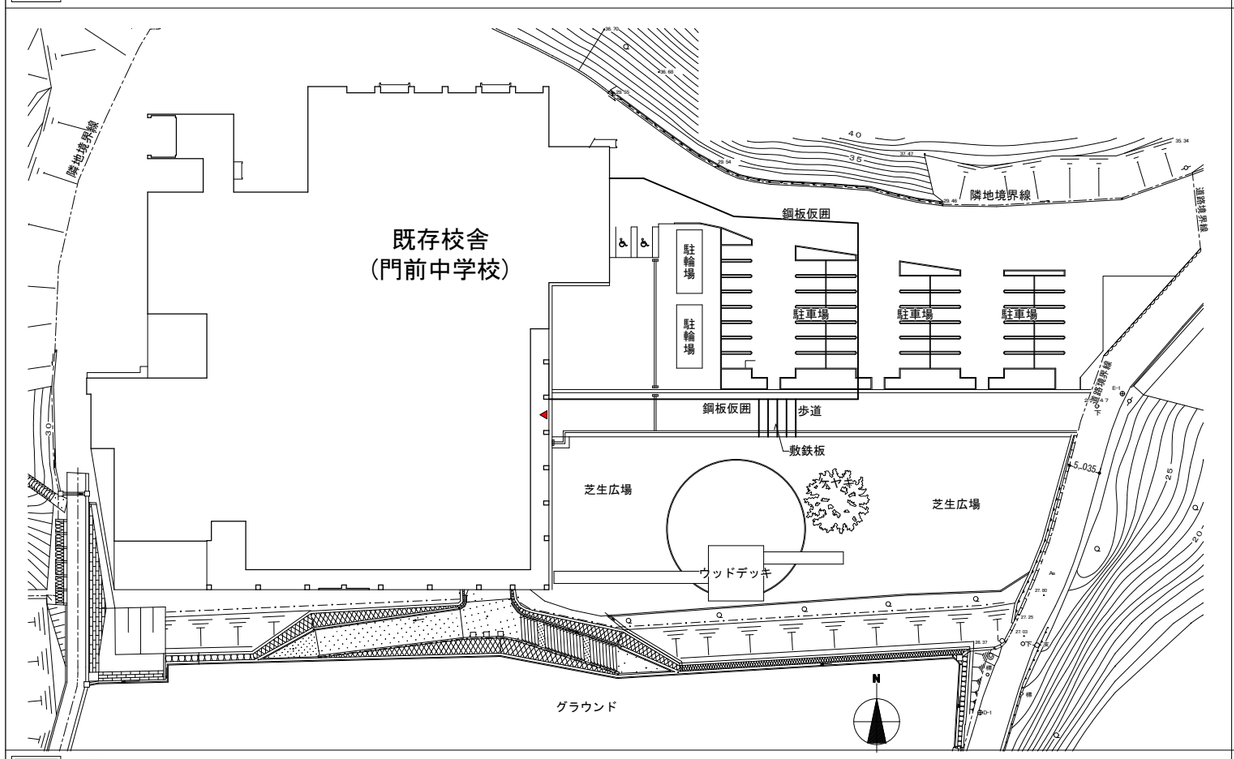
設　計	工事名	西部地区小学校災害復旧工事	
輪島市　教育委員会　教育総務課	図面名	建築改修工事仕様書　その４	図面番号　A-010



株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-11	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1/3000
						図面名称 付近見取図	

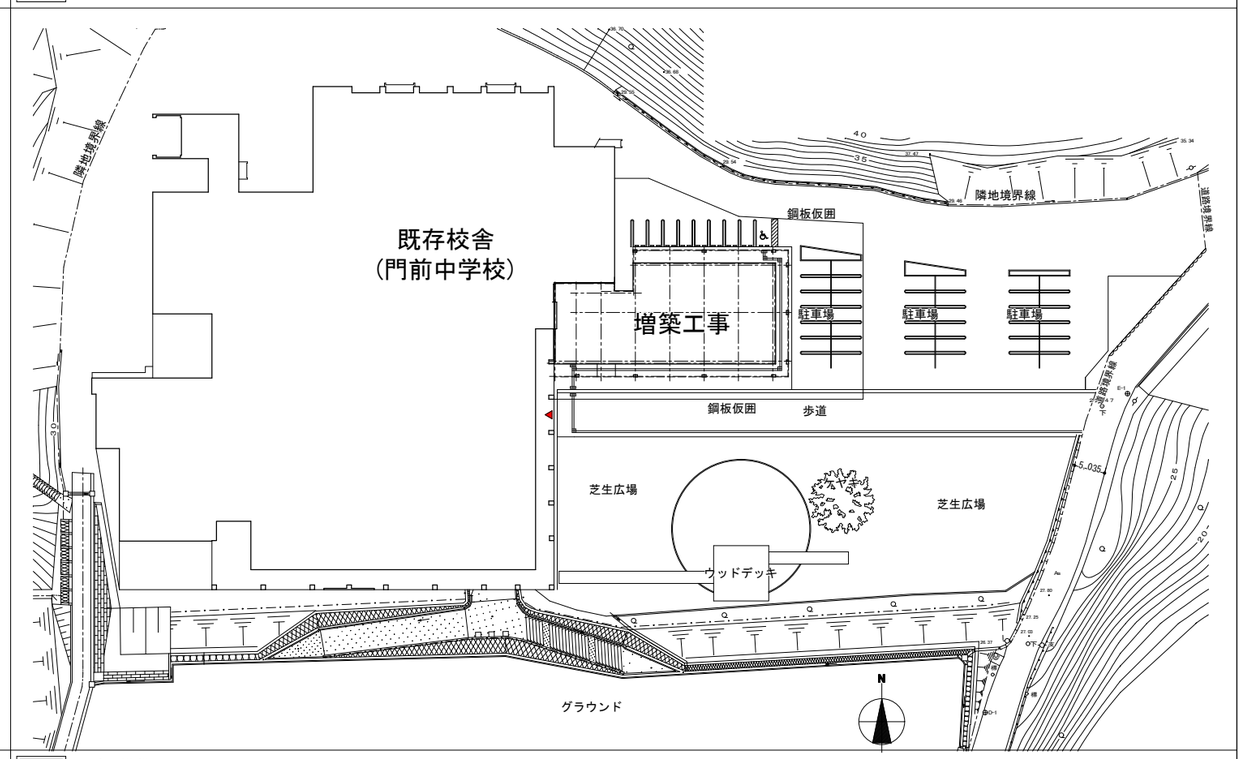
1 準備工事

工事範囲仮囲ゲート設置
増築部分の既存表層仕上、工作物、駐輪場棟解体撤去
電気設備（受電経路改修）、機械設備（給排水経路改修）



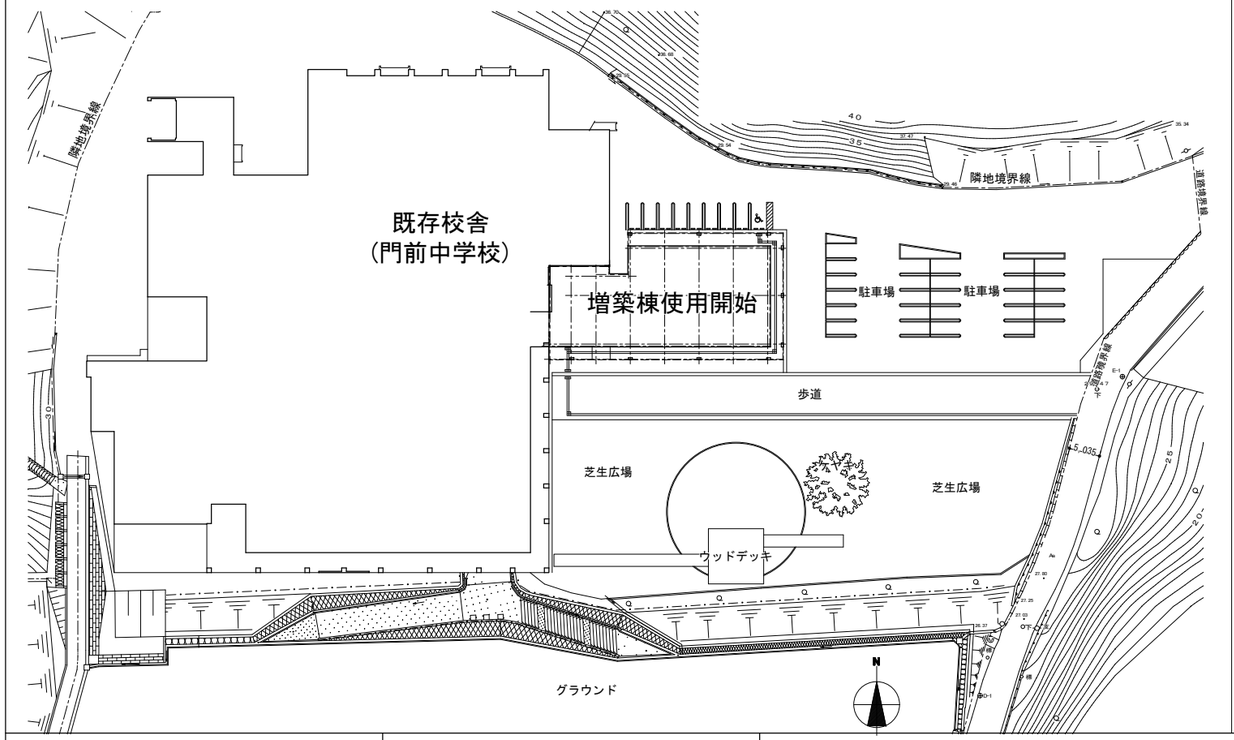
2 増築工事

増築工事（RC造、平屋）
既存校舎内昇降機設備改修工事
上記工事完了時に確認審査機関による完了検査



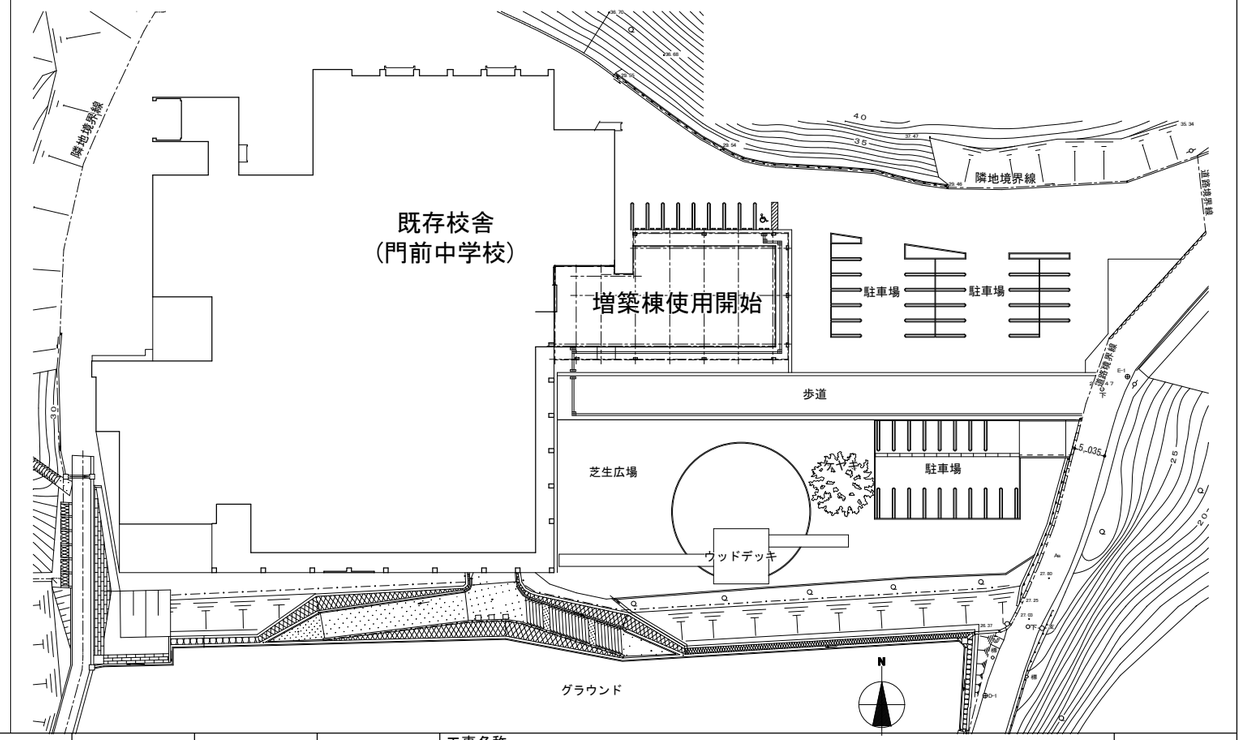
3 既存改修工事

増築工事使用開始後（什器備品移動）
外構駐車場部分及び送迎部分外構整備工事
既存校舎内部改修工事

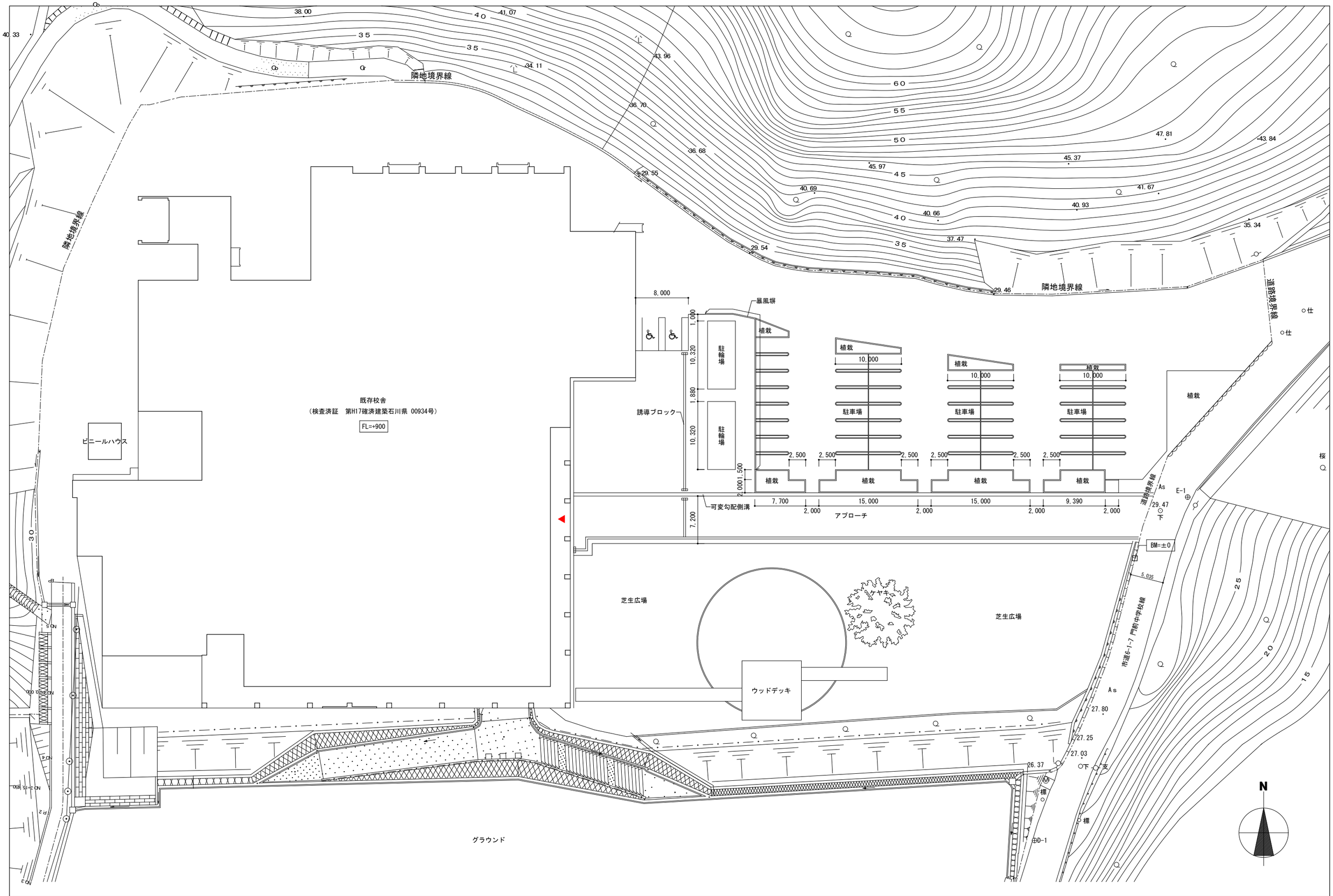


4 外構整備工事

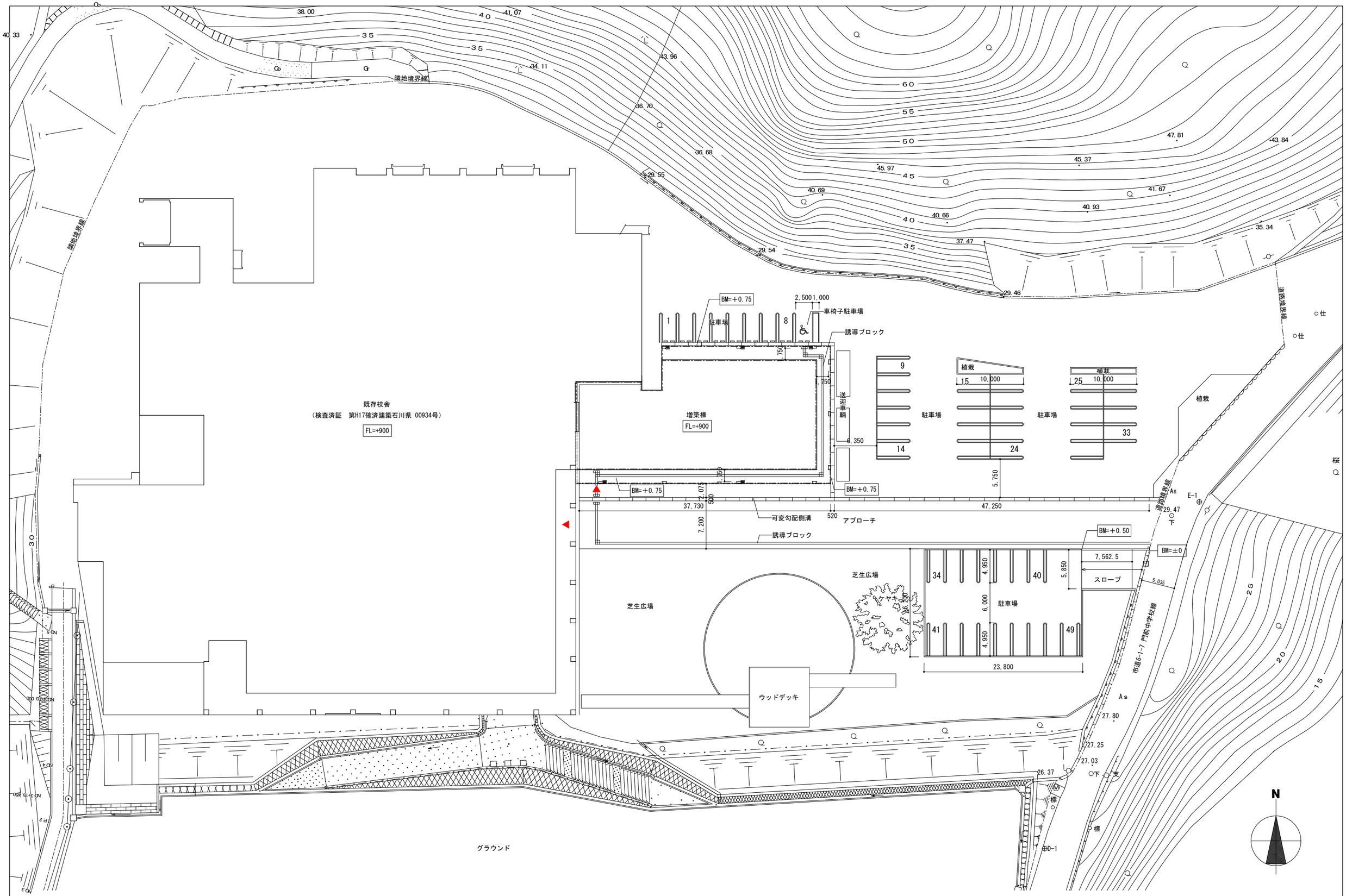
駐車場整備工事
外構整備工事



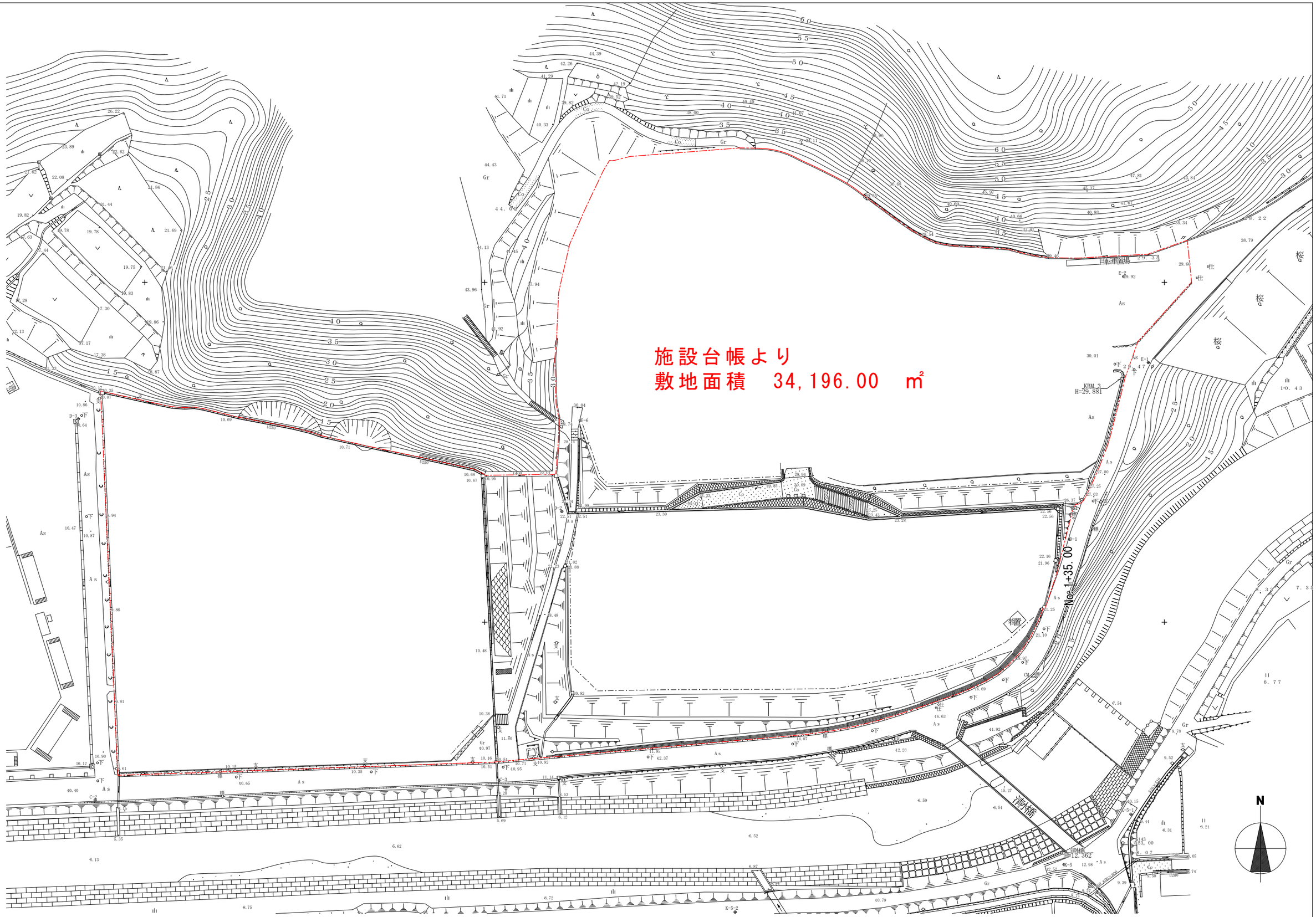
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-12	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事
						図面名称 工事工程概要書
						縮尺 1:1000



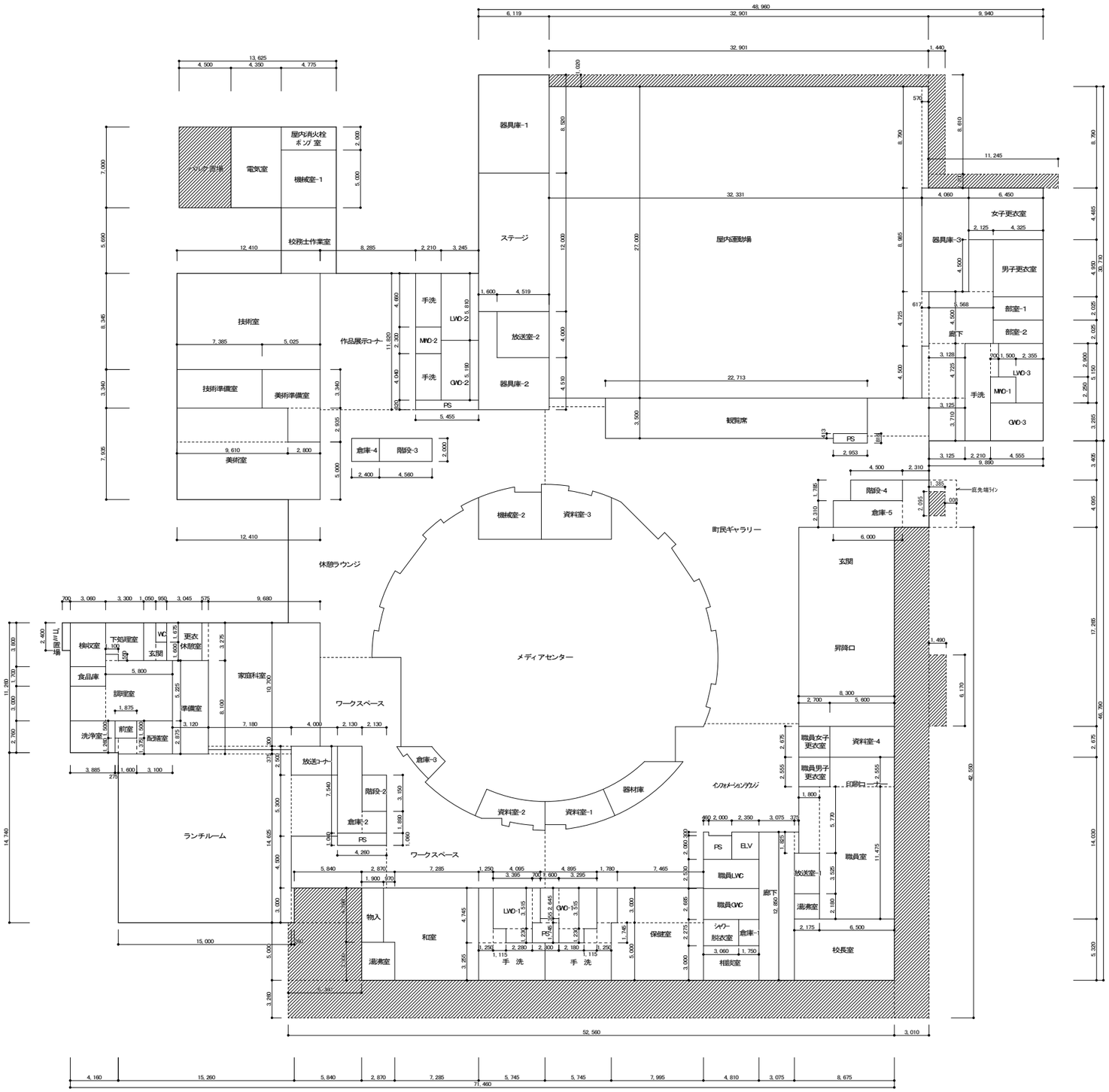
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-13	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:500
						図面名称 現況配置図	



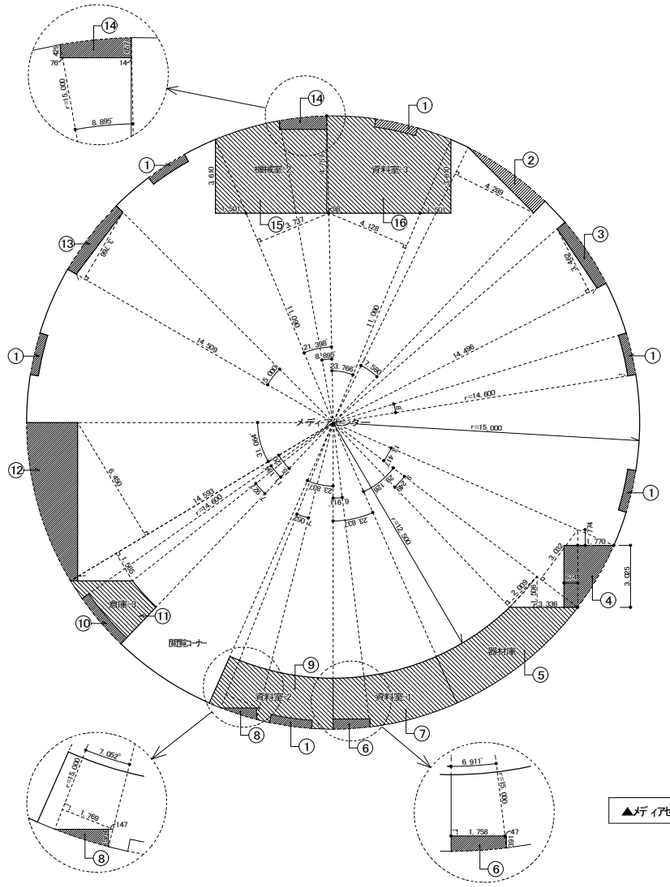
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 25.12	設計番号 25_42	図面番号 A-14	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 計画配置図	縮尺 1:500



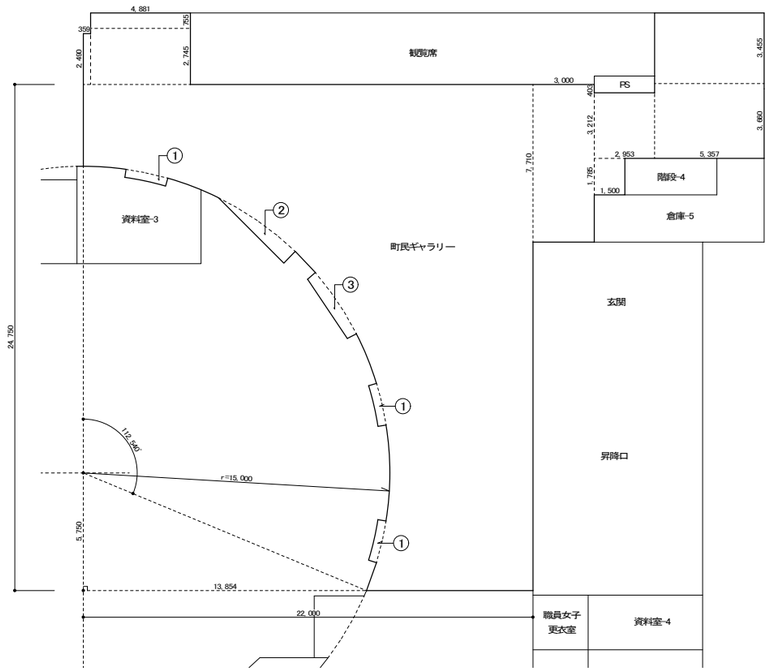
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-15	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:1000
						図面名称 敷地求積図	



▲１階平面図1/400



▲メディアセンター平面図1/150



▲町民ギャラリー平面図1/150

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-16	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 図示
						図面名称 面積表-1（既存校舎）	

		室　名	計　算　式	面　積
校舎	1階	①	= 3. 141*15. 000*15. 000*8/360 − 3. 141*14. 600*14. 600*8/360 0. 8265	0. 83
		②	= 3. 141*15. 000*15. 000*17. 580/360 − 15. 000*4. 289/2 2. 3442	2. 34
		③	= 3. 141*15. 000*15. 000*13. 816/360 − 14. 496*3. 462/2 2. 0300	2. 03
		④	= 3. 141*15. 000*15. 000*13. 417/360 − 15. 000*3. 032/2 − 1. 770*0. 774/2 + 0. 674*3. 025 4. 9531	4. 95
		⑤ 器材庫	= 3. 141*15. 000*15. 000*29. 126/360 − 3. 141*12. 500*12. 500*29. 126/360 − 3. 336*1. 506/2 − 12. 500*2. 009/2 + 3. 141*12. 500*12. 500*9. 249/360 15. 0118	15. 01
		⑥	= 3. 141*15. 000*15. 000*6. 911/360 − 14. 500*1. 758/2 + 0. 047*0. 391/2 0. 8309	0. 83
		⑦ 資料室-1	= 3. 141*15. 000*15. 000*23. 837/360 − 3. 141*12. 500*12. 500*23. 837/360 −⑥ 13. 4676	13. 47
		⑧	= 3. 141*15. 000*15. 000*7. 052/360 − 15. 000*1. 769/2 − 0. 570*0. 147/2 0. 5346	0. 53
		⑨ 資料室-2	= 3. 141*15. 000*15. 000*23. 837/360 − 3. 141*12. 500*12. 500*23. 837/360 −① −⑧ 12. 9374	12. 94
		⑩	= 3. 141*15. 000*15. 000*11. 184/360 − 3. 141*14. 600*14. 600*11. 184/360 1. 1554	1. 16
		⑪ 倉庫-3	= 3. 141*15. 000*15. 000*15. 120/360 − 15. 000*1. 565/2 − 3. 141*12. 500*12. 500*7. 927/360 −⑩ 5. 9829	5. 98
		⑫	= 3. 141*15. 000*15. 000*31. 064/360 − 6. 450*14. 593/2 + 0. 349*0. 210/2 13. 9567	13. 96
		⑬	= 3. 141*15. 000*15. 000*15. 000/360 − 14. 509*3. 766/2 2. 1265	2. 13
		⑭	= 3. 141*15. 000*15. 000*8. 895/360 − 14. 565*2. 218/2 − 0. 657*0. 014/2 + 0. 429*0. 076/2 1. 3211	1. 32
		⑮ 機械室-2	= 3. 141*15. 000*15. 000*21. 398/360 − 11. 090*3. 737/2 − 4. 757*0. 098/2 −⑭ + 3. 610*1. 501/2 22. 4403	22. 44
		⑯ 資料室-3	= 3. 141*15. 000*15. 000*23. 766/360 − 11. 090*4. 128/2 −① + 3. 610*1. 501/2 + 4. 757*0. 098/2 25. 8817	25. 88
	2階	⑰	= 6. 000*8. 977 − 3. 141*15. 000*15. 000*23. 578/360 + 15. 000*5. 499/2 48. 8179	48. 82
	1階	メディアセンター	= 3. 141*15. 000*15. 000 −①*6 −②−③−④−⑤−⑥−⑦−⑧−⑨−⑩−⑪−⑫−⑬−⑭−⑮−⑯ 576. 7920	576. 79
		町民ギャラリー	= 24. 750*22. 000 − 3. 141*15. 000*15. 000*112. 540/360 − 13. 854*5. 750/2 + 4. 881*2. 745 + 4. 881*0. 755 + 2. 490*0. 359 + 7. 710*3. 000 + 1. 785*1. 500 + 2. 953*3. 212 + 5. 375*3. 660 + 5. 375*3. 455 +①*3 +②+③ 382. 1063	382. 11
		インフォメーションデスク	= 14. 250*13. 740 + 8. 260*9. 400 + 2. 000*0. 300 − 3. 141*15. 000*15. 000*67. 460/360 + 5. 750*13. 854/2 +④+⑥ 187. 2208	187. 22
		休憩テラス	= 19. 500*21. 490 − 3. 141*15. 000*15. 000*90. 000/360 − 2. 400*2 − 4. 560*2 + 2. 760*10. 690 +①*2 +⑬+⑭ 263. 0587	263. 06
		ワークスペース	= 13. 740*12. 260 − 3. 141*15. 000*15. 000*58. 936/360 + 12. 849*7. 740/2 + 7. 000*7. 700 + 0. 040*3. 370 + 2. 130*2. 460 + 4. 260*3. 700 + 4. 000*4. 500 +①+⑧+⑩ 198. 0323	198. 03
	2階	廊下-1	= 5. 357*2. 490 + 2. 953*2. 077 + 3. 000*30. 500 + 1. 000*6. 887 + 30. 760*2. 490 +0. 300*8. 880 197. 1157	649. 28
		廊下-2	= 3. 000*11. 500 + 0. 800*5. 475 + 3. 450*2. 360 + 6. 235*0. 615 + 8. 260*4. 875 + 9. 245*3. 000 + 4. 495*2. 725 + 1. 505*0. 275 +⑧+⑰ 180. 8717	
		廊下-3	= 7. 740*3. 000 + 4. 260*6. 700 + 3. 282*2. 890 + 4. 000*11. 850 108. 6469	
		廊下-4	= 3. 200*8. 520 + 2. 760*18. 740 + 0. 685*2. 625 + 1. 970*4. 900 + 10. 360*3. 300 + 5. 455*2. 490 + 2. 220*11. 010 162. 6506	

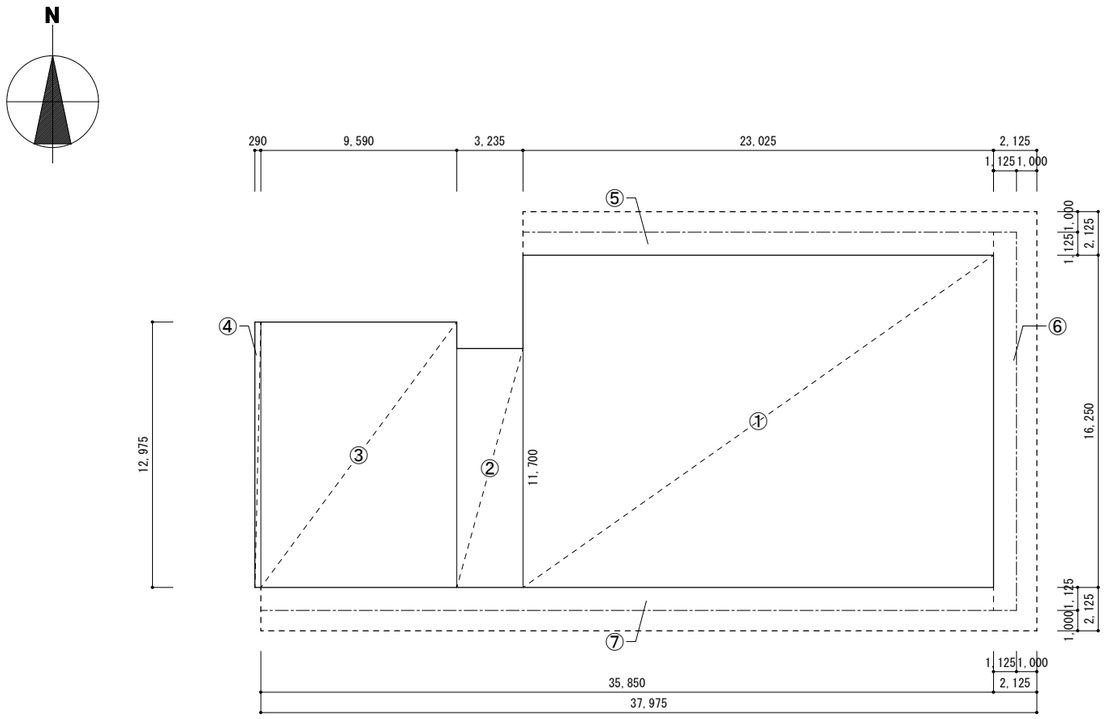
		室　名	計　算　式	面　積
校舎	1階	玄関、昇降口	8. 300*17. 265	143. 30
		職員室	6. 500*11. 475 + 5. 600*2. 555 + 1. 800*5. 770	99. 28
		資料室-4	5. 600*2. 675	14. 98
		職員女子更衣室	2. 700*2. 675	7. 22
		職員男子更衣室	2. 700*2. 555	6. 90
		放送室-1	2. 175*3. 525	7. 67
		湯沸室	2. 175*2. 180	4. 74
		校長室	8. 675*5. 320	46. 15
		職員WC	4. 810*2. 530	12. 17
		職員OWC	4. 810*2. 685	12. 91
		保健室	7. 995*5. 000 + 7. 465*3. 000	62. 37
		相談室	4. 810*3. 000	14. 43
		シャワー脱衣室	3. 060*2. 275	6. 96
		倉庫-1	1. 750*2. 275	3. 98
		OWD-1	3. 295*3. 515 + 2. 180*1. 230 + 1. 600*2. 645	18. 50
		手洗（ OWD-1）	1. 780*3. 000 + 1. 250*1. 745 + 1. 115*1. 230 + 5. 745*3. 255	27. 59
		LWD-1	3. 395*3. 515 + 0. 700*3. 000 + 2. 280*1. 230	16. 84
		手洗（ LWD-1）	1. 250*4. 745 + 1. 115*1. 230 + 5. 745*3. 255	26. 00
		和室	7. 285*8. 000*0. 970*4. 700	62. 84
		物入	1. 900*4. 700	8. 93
		湯沸室	2. 870*3. 300	9. 47
		倉庫-2	2. 130*1. 890 + 2. 130*7. 540	20. 09
		家庭科室	9. 680*10. 700 + 7. 180*0. 300 + 0. 575*3. 275	107. 61
		準備室（ 家庭科室）	3. 120*8. 100	25. 27
		美術室	12. 410*5. 000 + 9. 610*2. 935	90. 26
		美術準備室	2. 800*2. 935 + 5. 025*3. 340	25. 00
		技術室	12. 410*8. 345	103. 56
		技術準備室	7. 385*3. 340	24. 67
		LWD-2	3. 245*5. 810	18. 85
		手洗（ LWD-2）	2. 210*4. 660	10. 30
		OWD-2	3. 245*5. 190	16. 84
		手洗（ OWD-2）	2. 210*4. 040	8. 93
		MWD-2	2. 210*2. 300	5. 08
		校務士作業室	4. 775*5. 690	27. 17
		機械室-1	4. 775*5. 000	23. 88
		屋内消火栓ポンプ室	4. 775*2. 000	9. 55
		電気室	4. 350*7. 000	30. 45
		メディアセンター	別式参照	576. 79
		器材庫	⑤	15. 01
		資料室-3	⑯	25. 88
		倉庫-3	⑪	5. 98
		資料室-1	⑦	13. 47
		資料室-2	⑨	12. 94
		機械室-2	⑮	22. 44
		階段-2	2. 130*3. 150	6. 71
		階段-3	4. 560*2. 000	9. 12
		階段-4	4. 500*1. 785	8. 03
		倉庫-4	2. 400*2. 000	4. 80
		倉庫-5	2. 310*4. 095 + 6. 000*2. 310	23. 32
		町民ギャラリー	別式参照	382. 11
		インフォメーションデスク	別式参照	187. 22
		休憩テラス	別式参照	263. 06
		ワークスペース	別式参照	198. 03
		作品展示コーナー	8. 285*11. 820	97. 93
		観覧席	22. 713*3. 500 − 2. 953*0. 413	78. 28
		ELV	2. 350*2. 360	5. 55
		PS	2. 953*0. 816 + 2. 460*2. 060 + 0. 460*0. 300 1. 600*0. 355 + 2. 300*1. 745 + 4. 260*1. 060 + 5. 455*0. 820	21. 19
		廊下	0. 375*1. 825 + 3. 075*12. 850	40. 20
	給食・ランチルーム	ランチルーム	15. 000*14. 625 + 0. 260*3. 000 + 7. 180*0. 375 + 4. 000*5. 300	244. 05
		放送コーナー	4. 000*2. 500	10. 00
		配膳室	3. 100*2. 875 + 1. 600*1. 375 + 0. 275*1. 260	11. 46
		前室	1. 875*1. 500	2. 81
		洗浄室	3. 885*2. 760	10. 72
		調理室	5. 800*5. 225 + 1. 100*0. 550 + 3. 060*3. 000	40. 09
		下処理室	3. 300*3. 275 − 1. 100*0. 550	10. 20
		検収室	3. 060*3. 800	11. 63
		食品庫	3. 060*1. 700	5. 20
		ゴミ置場	0. 700*2. 400	1. 68
		玄関	1. 050*3. 275 + 0. 950*1. 600	4. 96
		WC（ 調理）	0. 950*1. 675	1. 59
		更衣休憩室	3. 045*3. 275	9. 97
			給食・ランチルーム関係床面積合計	（ 364. 36 ）
		校舎1階延床面積		3, 523. 16

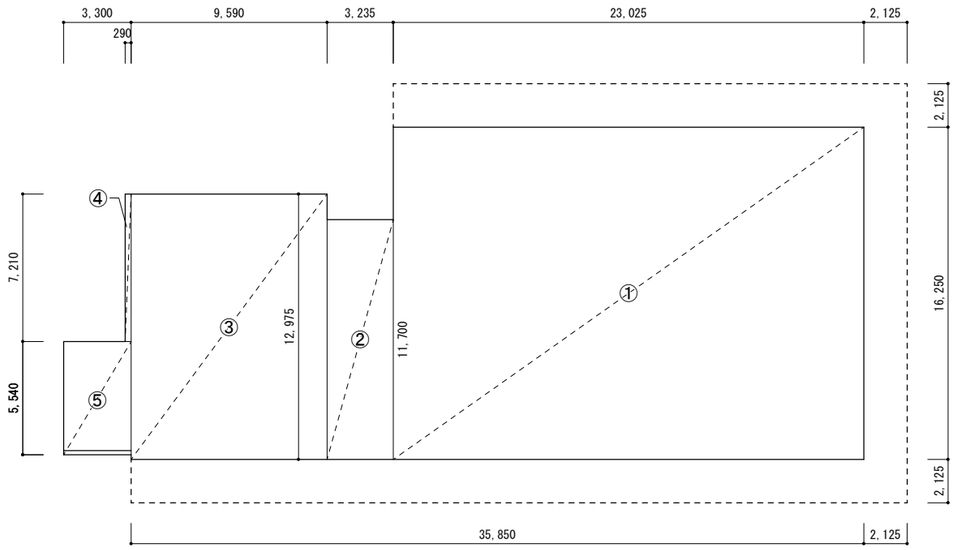
		室　名	計　算　式	面　積
校舎	2階	会議室	8. 310*9. 150	76. 04
		資料室-7	8. 310*2. 560	21. 27
		特殊学級	6. 110*8. 880	54. 26
		倉庫-6	1. 900*3. 555	6. 75
		シャワー（ 特殊学級）	1. 900*1. 125	2. 14
		脱衣室（ 特殊学級）	1. 900*1. 900	3. 61
		WC（ 特殊学級）	1. 900*2. 300	4. 37
		資料室-6	8. 310*2. 685	22. 31
		CR	8. 260*8. 260	68. 23
		CR	8. 260*8. 260	68. 23
		CR	8. 260*8. 260	68. 23
		CR	8. 260*8. 260	68. 23
		OWD-4	3. 395*3. 420 + 1. 600*1. 385 + 4. 480*1. 675	21. 33
		手洗（ OWD-4）	1. 245*4. 820 + 1. 115*1. 675 + 5. 740*3. 440	27. 61
		LWD-4	3. 395*3. 420 + 0. 600*1. 385 + 2. 280*1. 675	16. 26
		手洗（ LWD-4）	1. 245*4. 820 + 1. 115*1. 675 + 5. 740*3. 440	27. 61
		理科室、準備室	15. 260*8. 620	131. 54
		音楽室	9. 370*8. 710 + 0. 965*2. 600	84. 12
		収蔵庫-1	10. 335*2. 975	30. 75
		収蔵庫-2	2. 935*6. 110	17. 93
		LWD-2	3. 245*5. 810	18. 85
		手洗（ LWD-2）	2. 210*4. 660	10. 30
		OWD-2	3. 245*5. 190	16. 84
		手洗（ OWD-2）	2. 210*4. 040	8. 93
		MWD-2	2. 210*2. 300	5. 08
		学習室-1	10. 800*8. 520	92. 02
		学習室-2	14. 000*6. 170	86. 38
		進路相談室	6. 070*8. 760	53. 17
		資料室-5	3. 141*15. 000*15. 000*47. 674/360 − 3. 141*12. 500*12. 500*47. 674/360 −⑧ 28. 06	
		生徒会・テラス	8. 310*5. 960+1. 490*6. 170	58. 72
		階段-1	3. 141*17. 000*17. 000*38. 410/360 − 3. 141*15. 000*15. 000*38. 410/360	21. 45
		階段-2	4. 260*5. 040 + 2. 130*1. 940	25. 60
		階段-3	9. 700*2. 000	19. 40
		階段-4	7. 310*3. 675	26. 86
		掃除用具入	0. 978*2. 890	2. 83
		ELV	2. 350*2. 360	5. 55
		PS	2. 953*0. 816 + 2. 460*2. 360 + 2. 025*0. 615 2. 200*2. 035 + 4. 260*1. 060 + 5. 455*0. 820	22. 93
		廊下	別式参照	649. 28
		2 階延床面積		1, 973. 07
	PH階			
		階段-4	8. 610*4. 095	35. 26

		室　名	計　算　式	面　積
屋内運動場	1階	屋内運動場	32. 331*27. 000 + 0. 570*8. 790 + 0. 617*4. 725	880. 86
		ステージ	6. 119*12. 000	73. 43
		器具庫-1	6. 119*8. 520	52. 13
		器具庫-2	6. 119*4. 510 + 1. 600*4. 000	34. 00
		器具庫-3	4. 160*8. 985	37. 38
		放送室-2	4. 519*4. 000	18. 08
		女子更衣室	6. 350*4. 485	28. 48
		男子更衣室	4. 325*4. 950	21. 41
		部室-1	4. 325*2. 025	8. 76
		部室-2	4. 325*2. 025	8. 76
		LWD-3	3. 855*2. 900 + 2. 355*2. 250	16. 48
		GWD-3	4. 555*3. 285	14. 96
		MWD-1	2. 200*2. 250	4. 95
		手洗	2. 210*8. 435 + 0. 700*2. 900	20. 67
		廊下-3	2. 025*4. 500 +5. 568*4. 500 +3. 125*3. 710 +3. 128*4. 725 +0. 617*4. 500	60. 17
		1 階延床面積		1, 283. 65
	2階	トレーニングスペース	10. 600*18. 200 + 5. 330*0. 756 + 0. 710*0. 500	197. 30
		部室-3	4. 560*3. 710	16. 92
		廊下-5	5. 330*2. 954 + 33. 310*0. 510	32. 73
		2 階延床面積		246. 95

		計　算　式	面　積
建築面積	校舎建築面積	3, 523. 16 + 5. 840*3. 000 + 6. 360*5. 000 + 2. 095*1. 385 + 52. 560*3. 260 + 3. 010*42. 550 + 1. 490*6. 170 + 4. 500*7. 000	3, 915. 49
	屋内運動場建築面積	1, 283. 65 + 32. 901*1. 020 + 1. 440*8. 610 + 11. 245*1. 200	1, 343. 10
	建築面積		5, 258. 59
延床面積	1 階延床面積	3, 523. 16 + 1, 283. 65	4, 806. 81
	2 階延床面積	1, 973. 07 + 246. 95	2, 220. 02
	P H 階延床面積		35. 26
	校舎延床面積	3, 523. 16 + 1, 973. 07 + 35. 26	5, 531. 49
	屋内運動場延床面積	1, 283. 65 + 246. 95	1, 530. 60
	延床面積	5, 531. 49 + 1, 530. 60	7, 062. 09

株式会社　釣谷建築事務所	1級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生	製作年月日 26. 03	設計番号 25_42	図面番号 A-18	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 図示
					図面名称 面積表-3（既存校舎）	





【建蔽率算定用建築面積】

既存棟			既存建築面積表より					5,258.59
増築棟	校舎	①	23.045	×	16.250	=	374.481	625.04
		②	3.235	×	11.700	=	37.850	
		③	9.590	×	12.975	=	124.430	
		④	0.290	×	12.975	=	3.763	
	外部通路	⑤	23.025	×	1.125	=	25.903	
		⑥	1.125	×	16.250	=	18.281	
		⑦	35.850	×	1.125	=	40.331	
小計								5,883.63
建蔽率算定用建築面積								5,883.63 m2

・・・確認申請書第三面【7.建築面積 ロ】内容

【容積率算定用延床面積面積表】

既存棟		既存延床面積表より					7,062.09
増築棟	①	23.025	×	16.250	=	374.156	556.80
	②	3.235	×	11.700	=	37.850	
	③	9.590	×	12.975	=	124.430	
	④	0.290	×	7.210	=	2.091	
	⑤	3.300	×	5.540	=	18.282	
小計							7,618.89
建蔽率算定用建築面積							7,618.89 m2

・・・確認申請書第三面【11.延べ面積 ヨ】内容

・・・確認申請書第四面 棟番号－0【12.床面積】内容

・・・確認申請書第五面【7.用途別面積 イ】内容

【敷地面積表】

敷地面積	施設台帳より	34,196.00 m2

・・・確認申請書第三面【7.敷地面積 イ】内容

【敷地面積表】

敷地面積	施設台帳より	34,196.00 m2

・・・確認申請書第三面【7.敷地面積 イ】内容

【建蔽率】

建蔽率	5,883.63 / 34,196.00 =	17.21 %

・・・確認申請書第三面【10.建築面積 ハ】内容

【容積率】

容積率	7,618.89 / 34,196.00 =	22.29 %

・・・確認申請書第三面【11.延べ面積 タ】内容

株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-19	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:300
					図面名称 面積表	

外部仕上表

部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
屋上	アスファルト露出防水（D-1）　コンクリート直均し下地 竪樋開放部分防水保護用コンクリート平板敷	外部巾木	コンクリート打放補修（増打t25）、フッ素樹脂塗装仕上	雨水排水工事	可変勾配側溝
笠木	アルミ押出成型 W200　アルマイト処理	軒裏 （コロネード）	LGS下地、フレキシブルボードt8.0 目透張、EP塗装	シーリング	PS-2（外壁誘発目地）、MS-2（笠木、建具等）
ルーフドレン	鋳鉄製　縦型 Φ100用	土間 （コロネード）	再生クラッシャン、土間コンクリート t150　直均し木ゴテ 雨水枡 300角、鋼製グレーチング400角		
竪樋	アルミ製バンドレスタイプ　丸型 Φ100	Exp.j金物	エラストマータイプ　見切縁　クリアランス100㎜ 止水シート付		
機械基礎	コンクリート基礎　W350、D800、H水上450 基礎天端:ウレタン系塗膜防水、コンクリート直均し下地 屋上防水立上：アスファルト露出防水（D-1）	外構	駐車場　表層：密粒度アスコン t50 路盤：再生砕石路盤（RC-40）、地盤改良（固定材80kg/m3）t300 駐車ライン引き：溶融式、ダブルタイプ 車止めブロック（アンカー式・反射板） アプローチ　表層：インターロッキングブロック t60（曲げ強度3.0N/mm2） 路盤：敷砂 t30、再生砕石路盤（RC-40） 点字・誘導ブロック：インターロッキング（300×300×60） 点字・誘導ブロック：磁器質タイル（300×300×12）		
ハト小屋	屋上防水立上：アスファルト露出防水（D-1） 株式会社ジェス「HATOCOT　ＶＨ－Ⅱ型」同等品				
外壁	コンクリート打放補修（増打t25）、外装薄塗材E吹付（ゆず肌） フッ素樹脂塗装仕上（コロネード柱部）				

内部仕上表

階	室名	床			巾木		壁		天井			天井高	室名札 責任者札	カーテンBOX カーテン類	備考
		下地	仕上	FL	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上	廻縁				
増築棟1階	職員室	コンクリート直均し OAフロアH150（一部）	タイルカーペット t6.5 一部：ビニル床シート t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 耐火ウォール：LGS下地、GB-F t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装 柱部：ビニルクロス	LGS下地 GB-R t12.5	ロックウール化粧板 t9.0	塩ビ製	2700	○ ○	木製（ナラ）W150×H80 着色CL塗装 ドレープカーテン	窓下収納棚、収納棚、掃除用具入れ ホワイトボード、受付カウンター、郵便受け、 コンパクトキッチンW1650、 床見切：ステンレス製W6×H15
	相談室	コンクリート直均し OAフロアH150	タイルカーペット t6.5	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+GB-NCt9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地 GB-R t12.5	ロックウール化粧板 t9.0	塩ビ製	2700	○ ○	―	建設省告示第1436号四項へ(5) …壁、天井仕上げ・下地→不燃
	放送室	コンクリート直均し	タイルカーペット t6.5	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+GB-NCt9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地 GB-R t12.5	ロックウール化粧板 t9.0	塩ビ製	2700	○ ○	―	建設省告示第1436号四項へ(5) …壁、天井仕上げ・下地→不燃
	校長室	コンクリート直均し	タイルカーペット t6.5	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地 GB-R t12.5	ロックウール化粧板 t9.0 折り下げ部：EP塗装	塩ビ製	2700 1975	○ ○	木製（ナラ）W150×H80 着色CL塗装 ドレープカーテン ピクチャーレール	洗面収納棚、収納棚、窓下収納棚、 クローゼット
	会議室	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+GB-NCt9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地 GB-R t12.5	ロックウール化粧板 t9.0	塩ビ製	2700	○ ○	木製（ナラ）W150×H80 着色CL塗装 ドレープカーテン ピクチャーレール	建設省告示第1436号四項へ(5) …壁、天井仕上げ・下地→不燃
	職員玄関	コンクリート直均し	豆砂利洗い出し t30	-50～-100	SUS巾木 HL仕上	75	吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地 GB-R t12.5	ロックウール化粧板 t9.0	塩ビ製	2600	○ ○	―	受付カウンター、下足箱、 上框：御影石本磨W50 H50~80
	職員GWC	コンクリート直均し	ビニール床シート t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 GB-R直貼 t12.5 LGS下地、GB-Rt12.5（ライニング部）	ビニルクロス メラミン化粧板 メラミン不燃化粧板t3.0	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	―	汚垂石（セラミックタイル） ライニング天板：ポストフォーム 洗面カウンター：ポストフォーム 天井裏：グラスウール敷込（t100　32kg/m3）
	職員LWC	コンクリート直均し	ビニール床シート t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 GB-R直貼 t12.5 LGS下地、GB-Rt12.5（ライニング部）	ビニルクロス メラミン化粧板 メラミン不燃化粧板t3.0	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	―	プライベートボックス ライニング天板：ポストフォーム 洗面カウンター：ポストフォーム 天井裏：グラスウール敷込（t100　32kg/m3）

内部仕上表

階	室名	床			巾木		壁		天井			天井高	室名札	カーテンBOX	備考
		下地	仕上	FL	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上	廻縁		責任者札	カーテン類	
増築棟1階	男子更衣室	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装 メラミン化粧板	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	カーテンレール、 ドレープカーテン	洗面カウンター：ポストフォーム
	女子更衣室	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装 メラミン化粧板	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	カーテンレール、 コントラクトカーテン	洗面カウンター：ポストフォーム
	教材室-1	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	―	
	教材室-2	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	―	
	教材室-3	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	―	
	物入	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	―	
	廊下	コンクリート直均し 下地モルタル t25	フローリングボード 直貼 t15	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 耐火ウォール：LGS下地、GB-F t12.5+t12.5 耐火ウォール：LGS下地、GB-F t21+t21 GB-R直貼 t12.5、掲示板：合板下地t5.5	EP塗装 メラミン化粧板 掲示板掲示板クロス	LGS下地 GB-R t12.5	ロックウール化粧板 t9.0	塩ビ製	2600 2900	―	―	EXP金物(エラストマータイプ　止水シート付)、収納棚、洗面カウンター（設備工事）、ホワイトボード、一部壁（掲示板）：塩ビ見切（四方先付）
	外部物入	―	コンクリート直均し	±0	コンクリート 打放補修 （増打t25）	200	コンクリート打放補修（増打t25）	―	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2700	○ ○	―	

共通事項

下地・仕上 認定番号

【不燃・準不燃】	
GB-R t9.5	QM-9828
GB-R t12.5	NM-8619
GB-NC t9.5	NM-0441
GB-F t21.0	NM-8615
GB-D t9.5	NM-1864
ロックウール化粧吸音板 t9.0	NM-8599
EP塗装	NM-8585
ビニールクロス	NM-3991
メラミン不燃化粧板	NM-2183
【間仕切り壁　1時間耐火】	
LGS下地＋両面GB-F t12.5二重張り（耐火ウォール）	FP060NP-0483(1)
LGS下地＋片面GB-F t21.0二重張り（耐火ウォール）	FP060NP-0497
【1時間耐火構造】	
壁：第1二　鉄筋コンクリート造　厚7cm以上	H12建設省告示第1399号
柱：第2三　鉄筋コンクリート造	H12建設省告示第1399号
床：第3二　鉄筋コンクリート造　厚7cm以上	H12建設省告示第1399号
梁：第4三　鉄筋コンクリート造	H12建設省告示第1399号
屋根：第5一　鉄筋コンクリート造	H12建設省告示第1399号

その他

●断熱材仕様：発泡プラスチック断熱材＋防湿シート t0.15＋敷砂 t30
＋再生クラッシャン t100（1Fスラブ下埋戻し部）
吹付硬質ウレタンフォーム A種1H（ピット上部、屋上スラブ裏、外周壁部）
スタイロフォーム（既存校舎－増築棟　躯体間）
断熱材範囲は平面詳細図、断面図参照。
●遮音材として天井裏にグラスウール（t100 32kg/m3）を敷き込む。
グラスウール敷込範囲は天井伏図参照。
●石膏ボード使用箇所で、塗装仕上・ビニールクロス貼りなど、
継目処理を必要とする所はテーパーエッジボードを使用すること。
●外部ガラスは内側に飛散防止フィルムを張る。
● 内装材・接着剤・塗装等：F☆☆☆☆、天井裏等：F☆☆☆☆とする。
●カーテン、タイルカーペットは防炎仕様とし、防炎表示を設けること。
●OAフロア(H150)　－　スチール製　独立支柱　3000Nタイプ
●天井点検口　－　450角目地タイプ、450角額縁タイプ
天井点検口の種類・位置は天井伏図参照。
●床点検口　－　600角（密閉型）
●ビニールクロス　－　AA級
●ピクチャーレール　－　天井埋込み型　カラビナ付きフック(2個/m)　耐荷重30kg/m

材料仕様

EXP金物	
外部　床－床	エラストマータイプ
外部　壁－壁	エラストマータイプ
外部　天井－天井	エラストマータイプ
外部　屋根－屋根	アルミ製水切りタイプ
内部　床－床	エラストマータイプ
内部　壁－壁	エラストマータイプ
内部　天井－天井	エラストマータイプ
インターロッキング	同等品
ビニル床シート t2.0	(株)サンゲツ「Sフロア / PM-24349」同等品
ビニル床タイル t2.0	(株)サンゲツ「FLOOR TILE / IS-2071-C」同等品
タイルカーペット t6.5	(株)サンゲツ「NT-700 / NTP-70908」同等品
ビニルクロス	(株)サンゲツ「FAITH / PROGRESS WOOD」同等品
メラミン化粧板	アイカ工業(株)「メラミン化粧板」同等品
メラミン不燃化粧板 t3.0	アイカ工業(株)「セラール」同等品
汚垂石	TOTO(株)「ハイドロセラ・フロアPU」同等品
外装薄塗材E吹付	アイカ工業(株)「ジョリパット JQ-500」同等品

◆内部仕上表

階	室名		床 下地	床 仕上	床 FL	巾木 仕上	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 廻縁	天井高	カーテンボックス	カーテンドレープ	備考
1階 既存改修	校長室	現状	コンクリート 直均し	タイルカーペット貼	±0	木製	75	LGS壁下地t9.5+12.5GB-R 木軸下地t9.0ラワン合板捨貼	EP塗 t12木板貼　CL塗	LGS下地 t9.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600	○	○	
	↓	撤去		タイルカーペット撤去		木製巾木撤去			壁：t12.0木板撤去 一部下り壁撤去:LGS下地 t9.5＋12.5GB-R撤去		t9.5GB-R下地撤去 t9.0岩綿吸音板撤去			既存 撤去	既存 撤去	窓下収納家具、壁面収納家具撤去 アルミ建具部分撤去 敷居部テーパー床見切:t1.5(50mm)SUS304
	普通教室	改修		t15.0 フローリングボード直貼		ビニール	75	新設壁:LGS壁下地t12.5+12.5GB-R 既存塗装壁　下地調整 掲示板:t5.5合板下地	ＥＰ塗（新設ボード面） 既存塗装壁EP塗替え 掲示板：掲示板クロス貼	t12.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600	木製 CL塗装 120×80	○	上下式曲面黒板、掲示板、生徒用ロッカー、生徒用フック 掃除用具入れ
	職員室・更衣室 放送室・湯沸室 資料室-4	現状	コンクリート 直均し OAフロアー	職員室：タイルカーペット貼	±0	木製	75	LGS下地t9.5+12.5GB-R貼 外壁面t12.5GB-R直貼	ＥＰ塗	LGS下地 t9.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600	○	○	
	↓	撤去	各室仕上材撤去　更衣室,資料室:t2.0ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ 放送室：ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ、湯沸室：t2.0ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ 職員室OAフロアー撤去			木製巾木撤去		更衣室、放送室、湯沸室 間仕切壁撤去		更衣室,湯沸室,資料室 LGS下地t9.5GB-D撤去	職員室,放送室 t9.5GB-R下地撤去 t9.0岩綿吸音板撤去	塩ビ		湯沸室 2400 放送室 2400 更衣室 2400	既存 撤去	窓下収納棚、行事白板、掲示板、日程白板：撤去 掃除用具入：撤去　　湯沸室流し台：撤去
	普通教室	改修	下地調整	t15.0 フローリングボード直貼		ビニール	75	新設壁:LGS壁下地t12.5+12.5GB-R 既存塗装壁　下地調整 掲示板:t5.5合板下地	ＥＰ塗（新設ボード面） 既存塗装壁EP塗替え 掲示板：掲示板クロス貼	一部LGS下地 t12.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600	CL塗替	○	上下式曲面黒板、掲示板、生徒用ロッカー、生徒用フック 掃除用具入れ 敷居部テーパー床見切:t1.5(50mm)SUS304
	和室 物入・湯沸室	現状	木軸下地 t12.0合板下地 踏込	畳敷、t15フローリングボード張 踏込:t15フローリングボード直貼	±0 +200	木製巾木 畳寄席、雑巾摺	75	LGS壁下地t9.5+12.5GB-R t12.5GB-R直貼	ビニールクロス貼 物入、湯沸室:EP塗	LGS下地	t9.5GB-D張り	木製廻り縁 塩ビ	2,600 （物入 2,400）	—	—	
	↓	撤去	和室、物入、湯沸室：木軸下地撤去 仕上:畳敷、フローリングボード撤去 和室踏込：フローリングボード直貼撤去			木製巾木　撤去 畳寄席、雑巾摺　撤去			間仕切壁撤去 既存直貼GB-Rはそのまま	LGS下地	t9.5GB-D張り 天井下地仕上共撤去					湯沸室:流し台、吊り棚、フード撤去 和室造作材撤去（付け柱、雑巾摺、廻り縁、敷居、鴨居）
	会議室	改修	木軸下地撤去部 モルタル下地 下地調整	t2.5ビニール床シート貼	±0	ビニール	75	間仕切壁及びふかし壁 LGS壁下地t9.5+12.5GB-R t12.5GB-R直貼	ビニールクロス貼 物入、湯沸室:EP塗、直貼部：EP塗替 一部t3.0抗菌メラミン化粧板張り	LGS下地　t12.5GB-D捨張り 物入、湯沸室:LGS下地	t9.0岩綿吸音板貼 物入、湯沸室:t9.5GB-D張り	塩ビ	2,750 （湯沸室 物入 2,400）	木製 CL塗装 120×80	○	湯沸室:流し台、吊り棚 床点検口（化粧蓋新設）
	昇降口	現状	モルタル下地	豆砂利洗い出し t15.0 フローリングボード貼	-50～ -100 ±0	御影石 木製CL塗	75	t12.5GB-R直貼 柱型コンクリート打放補修	ＥＰ塗 ＡＥ塗	LGS下地 t9.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600	—	—	
	↓	撤去		部分撤去 コロネード床(昇降口改修部分) t30特殊弾性樹脂舗装撤去		部分撤去				部分撤去（昇降口建具撤去部分）	部分撤去（昇降口建具撤去部分） 昇降口から屋内運動場部分の廊下 W600×L13000　天井撤去					昇降口アルミ建具部分撤去 外部コロネード天井材（下地共）撤去:Y7～Y8 t8.0フレキシブルボード目透張　EP塗
		改修	一部嵩上ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾓﾙﾀﾙ下地	豆砂利洗い出し t15.0 フローリングボード直貼	-50～ -100 ±0	御影石 木製CL塗	75	一部既存塗装壁　下地調整	一部既存塗装壁EP塗替え	一部LGS下地 t12.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600	—	—	章典棚新設:家具番号6参照
2階 既存改修	会議室、資料室-7	現状	コンクリート 直均し	t15.0 フローリングボード直貼 資料室:ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ貼	±0	木製CL塗 ビニール	75	LGS壁下地t9.5+12.5GB-R 木軸下地t9.0ラワン合板捨貼	EP塗 t12木板貼　CL塗	LGS下地 t9.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼 t9.5GB-D（資料室）	塩ビ	3,000 （資料室 2,600）	○	○	
	↓	撤去		仕上材撤去				部分撤去	部分撤去	会議室:t9.5GB-R下地撤去 資料室:LGS天井下地撤去	t9.0岩綿吸音板貼撤去 t9.5GB-D（資料室）撤去				既存 撤去	窓下収納、上下式白板、テレビハンガー、スクリーンボックス：撤去
	普通教室	改修	下地調整	t15.0 フローリングボード直貼	±0	木製CL塗	75	新設壁:LGS壁下地t12.5+12.5GB-R 既存塗装壁　下地調整　　一部直貼 掲示板:t5.5合板下地	ＥＰ塗（新設ボード面） 既存塗装壁EP塗替え 掲示板：掲示板クロス貼	LGS下地 t12.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	3,000	CL塗替	○	上下式曲面黒板、掲示板、生徒用ロッカー、生徒用フック 掃除用具入れ
	生徒会ラウンジ	現状	コンクリート 直均し	t15.0 フローリングボード直貼	±0	木製巾木 着色CL塗	75	LGS下地t9.5+12.5GB-R貼 外壁面t12.5GB-R直貼	ＥＰ塗	LGS下地 t9.5GB-R捨貼	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	3,000	○	○	
	↓	撤去		仕上材撤去				部分撤去	部分撤去	t9.5GB-R下地撤去	t9.0岩綿吸音板撤去				既存 撤去	
	普通教室	改修	下地調整	t15.0 フローリングボード直貼	±0	木製CL塗	75	新設壁:LGS壁下地t12.5+12.5GB-R 既存塗装壁　下地調整　　一部直貼 掲示板:t5.5合板下地	ＥＰ塗（新設ボード面） 既存塗装壁EP塗替え 掲示板：掲示板クロス貼	t12.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	3,000 一部 2,600	CL塗替	○	上下式曲面黒板、掲示板、生徒用ロッカー、生徒用フック 掃除用具入れ
	特殊学級 倉庫-6	現状	コンクリート 直均し	t15.0 フローリングボード直貼 倉庫-6:ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ貼	±0	木製巾木 着色CL塗 倉庫-6:ビニール	75	LGS下地t9.5+12.5GB-R貼 RC壁面t12.5GB-R直貼	ＥＰ塗	LGS下地 t9.5GB-R捨貼	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600			
	↓	撤去		部分撤去 倉庫-6:ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ貼撤去				部分撤去	部分撤去	t9.5GB-R捨貼撤去 倉庫-6：天井LGS下地撤去	t9.0岩綿吸音板貼撤去 倉庫-6：天井t9.5GB－D撤去					天井撤去範囲:既存壁仕上より500mm範囲を撤去
	特殊学級	改修	下地調整	t15.0 フローリングボード直貼	±0	木製CL塗	75	新設壁:LGS壁下地t12.5+12.5GB-R	ＥＰ塗（新設ボード面）	t12.5GB-R下地 既存倉庫分： LGS天井下地t9.5GB-R捨貼	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600			
共通 既存改修	廊下 1階 職員室前廊下 2階 会議室前廊下	現状	コンクリート 直均し	t15.0 フローリングボード直貼	±0	木製巾木 着色CL塗	75	LGS下地t9.5+12.5GB-R貼 RC壁面t12.5GB-R直貼 木軸下地t9.0ラワン合板捨貼	ＥＰ塗 (職員室前)t12木板貼　CL塗	LGS下地 t9.5GB-R捨貼	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600			
	↓	撤去		部分撤去				部分撤去	部分撤去	部分撤去	部分撤去					天井撤去範囲:既存壁仕上より600mm範囲を撤去
		改修	下地調整	t15.0 フローリングボード直貼	±0	木製CL塗	75	新設壁:LGS壁下地t12.5+12.5GB-R 既存塗装壁　下地調整	ＥＰ塗（新設ボード面） 既存塗装壁EP塗替え	LGS下地 t12.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600			

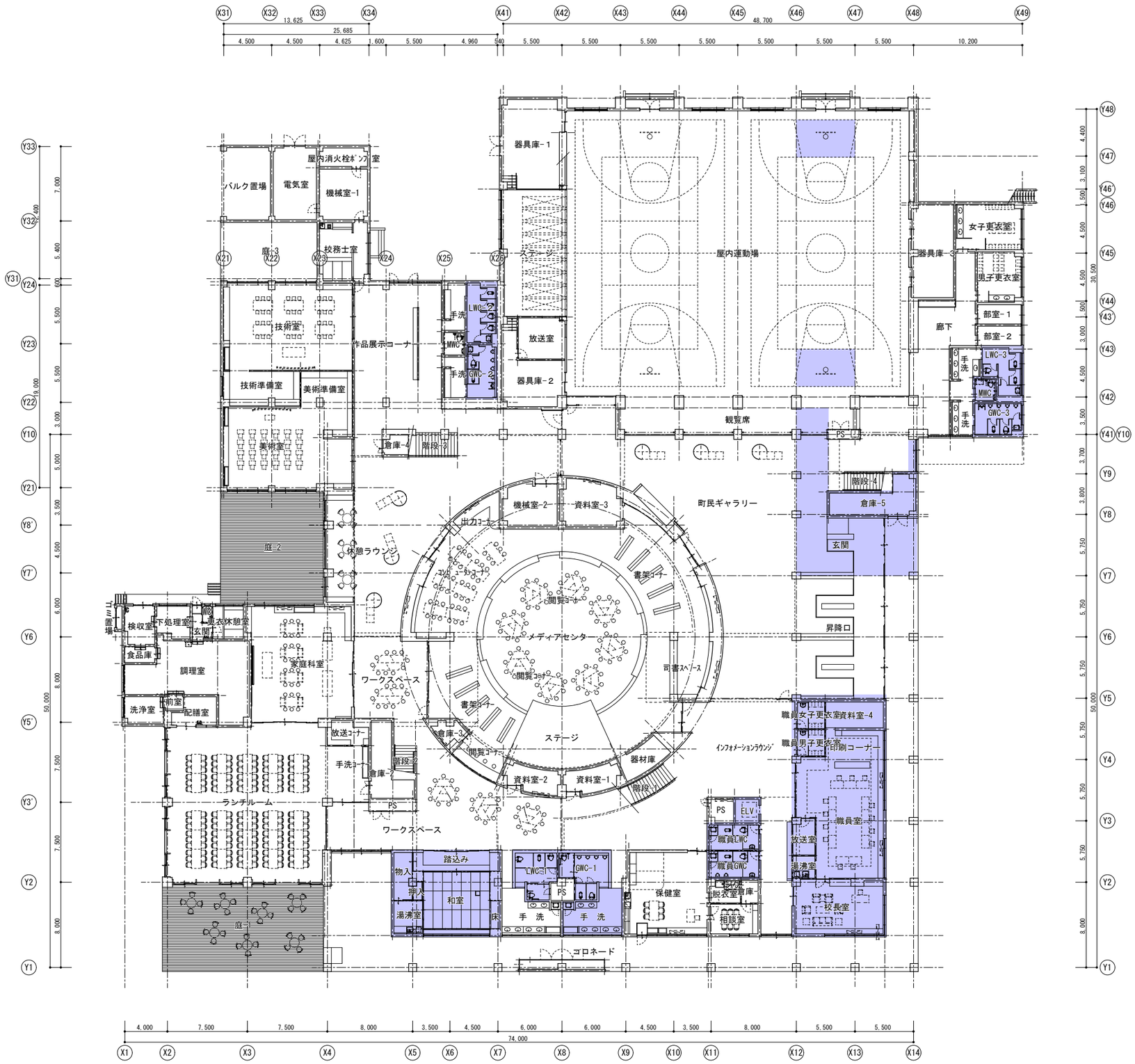
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-22	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 仕上表-1（既存校舎）	縮尺 NO SCALE

◆内部仕上表

階	室名		床 下地	床 仕上	床 FL	巾木 仕上	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 廻縁	天井高	カーテンボックス	カーテンドレープ	備考
WC 既存改修	WC ↓ WC	現状	アスファルト防水 保護モルタル タイル下地モルタル	磁器質50角タイル	±0	—	—	タイル下地モルタル 一部ボード下地	陶器質100角タイル貼	LGS下地	t9.5GB-D張り	塩ビ	2,600	—	—	
		撤去								一部撤去	一部撤去					既存ブース取外し
		改修	カチオン系 樹脂モルタル塗	t2.0ビニール床シート貼	＋15	—	—	タイル下地モルタル 一部ボード下地	既存壁のまま 陶器質100角タイル貼	LGS下地	t9.5GB-D張り	塩ビ	2,600	—	—	既存ブース取付（床及び壁取り合い金物新設）
	職員WC ↓ WC	現状	モルタル下地	t3.0ビニール床タイル貼 踏込み部分 フローリングボード直貼		—	—	LGS下地t9.5+12.5GB-S貼 t12.5GB-S直貼	t3.0抗菌メラミン化粧板貼	LGS下地	t9.5GB-D張り	塩ビ	2,400	—	—	
		撤去		t3.0ビニール床タイル貼撤去												
		改修	下地調整RB種	t3.0ビニール床タイル貼		—	—	既存壁のまま LGS下地t9.5+12.5GB-S貼 t12.5GB-S直貼	t3.0抗菌メラミン化粧板貼	LGS下地	既存仕上のまま t9.5GB-D張り	塩ビ	2,400	—	—	
屋内運動場	屋内運動場	撤去		—		—			既存バスケットゴール背面壁仕上 胴縁下地、板張り撤去 W1800 ×H1000 2ヶ所		—			—	既存バスケットゴール(1対)撤去 既存建具撤去:アルミ建具W4120×H1405 ガラスブロック共
		改修							バスケットゴール取付後 胴縁下地、t12ラワン合板貼 CL塗装 W1800 ×H1000 2ヶ所							新設バケットゴール:ジャバラ式上下昇降式バスケットゴール(手動) 既存一文字幕、袖幕取替 既存建具撤去部:LGS壁下地65型t21+21GB-R二重貼EP塗装

	校章 :ホワイトブロンズ 600φ 既存撤去、新設	既存校舎改修工事 天井点検口新設 450角 額縁タイプ 7ヶ所、 目地タイプ 12ヶ所	
	校名板:ホワイトブロンズ 240×1,500 既存撤去、新設		
		昇降機設備改修工事 昇降機設備技術基準 2016年対応 EV詳細図1～4 図中既設品活用以外はすべて既存撤去のうえ新設とする。	

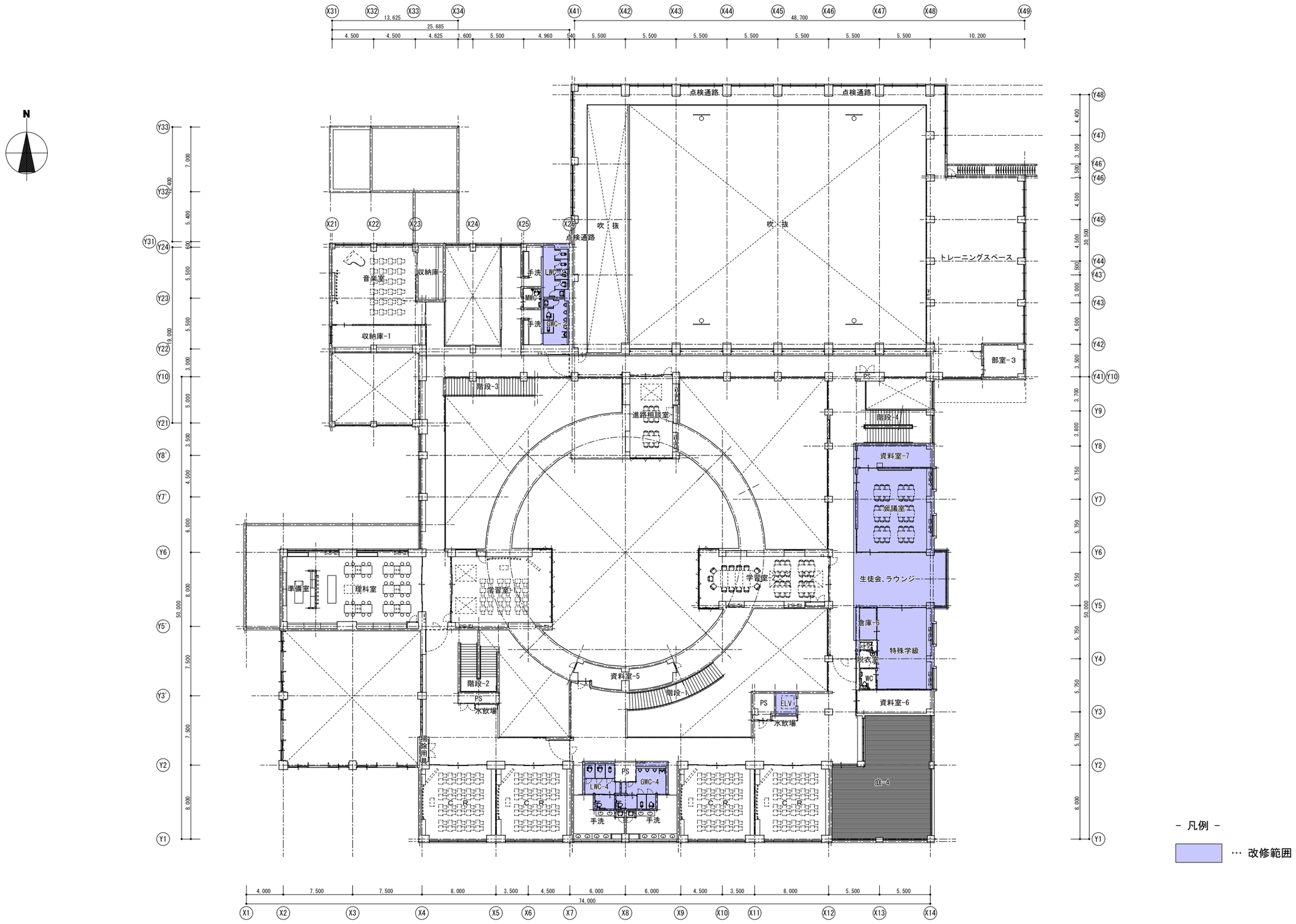
株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-23	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	図面名称 仕上表-2（既存校舎）	縮尺 NO SCALE



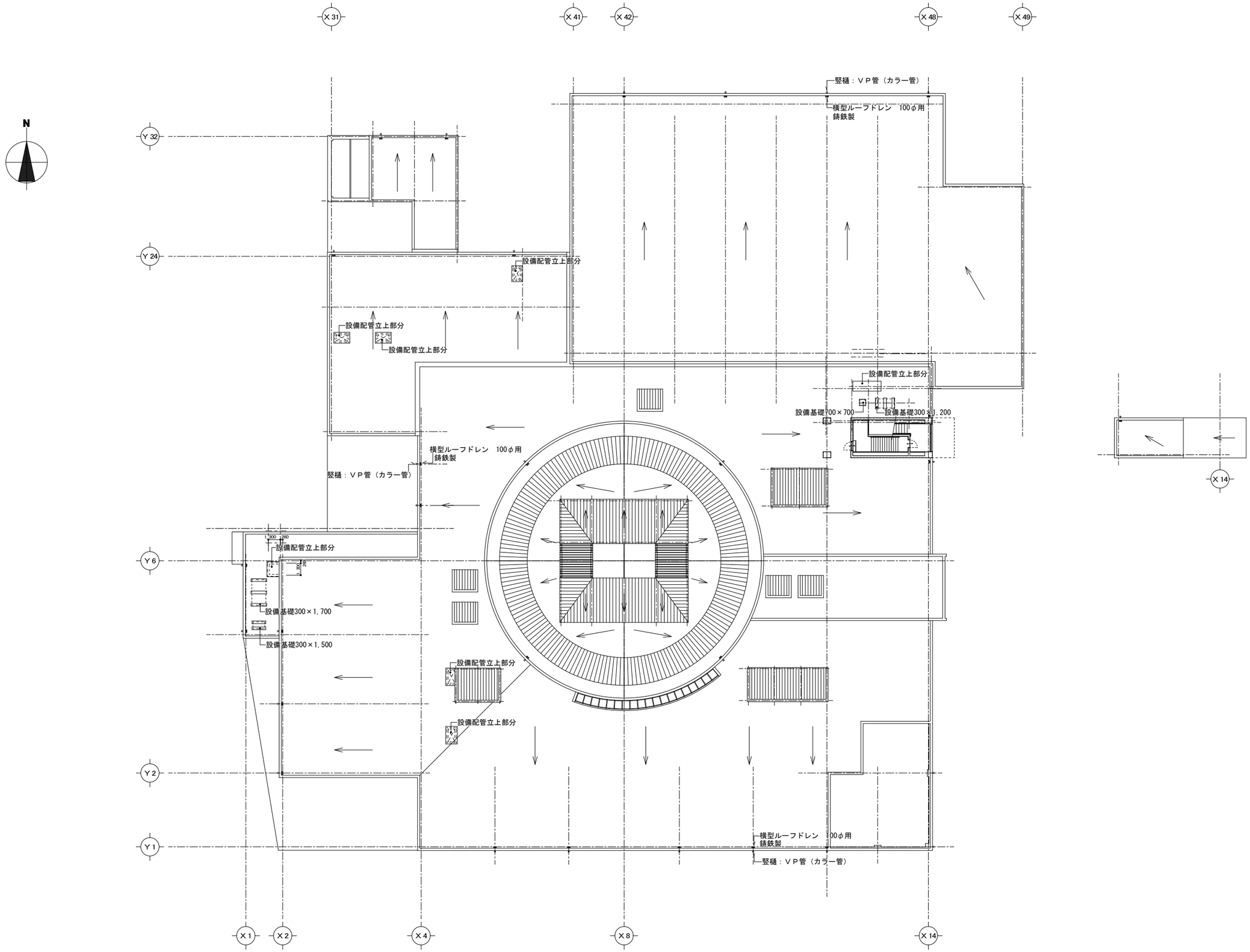
- 凡例 -

… 改修範囲

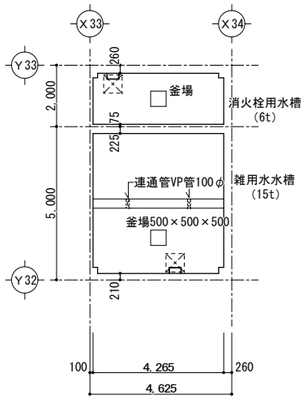
株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-24	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:400
						図面名称 既存1階全体平面図	



株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-25	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:400
						図面名称 既存2階全体平面図	

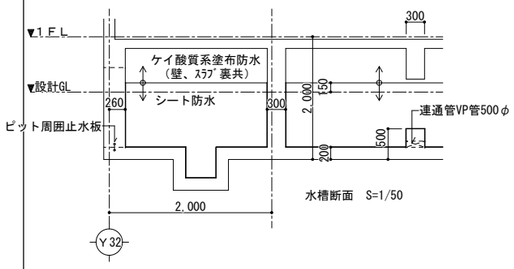


株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-26	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:400
						図面名称 既存全体屋根伏図	

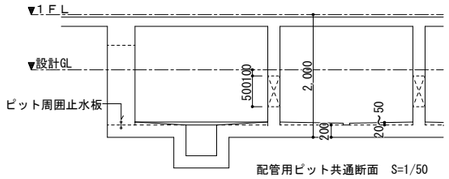


配管用ピット凡例

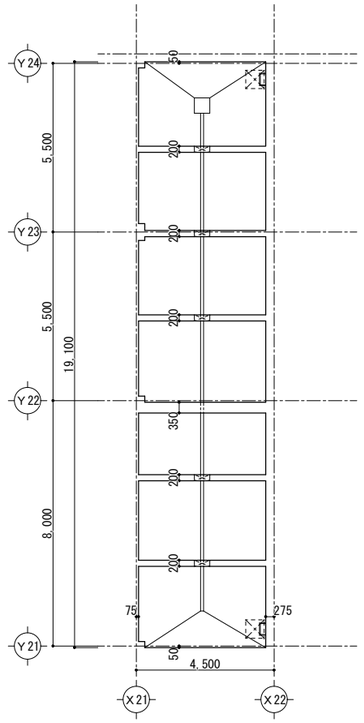
図示	仕様・仕上
	排水溝　コンクリート直均成形
	連通管　100φ／2
	人通孔　500φ
	床点検口　600角（防水、防臭）モルタル充填　鍵付 ステンレスタラップ　22φＢＡ仕上　3段
	ポンプ排水用釜場　500×500×500

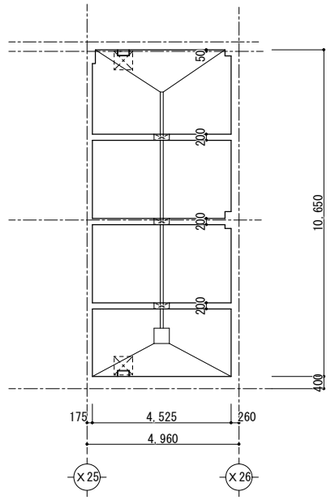


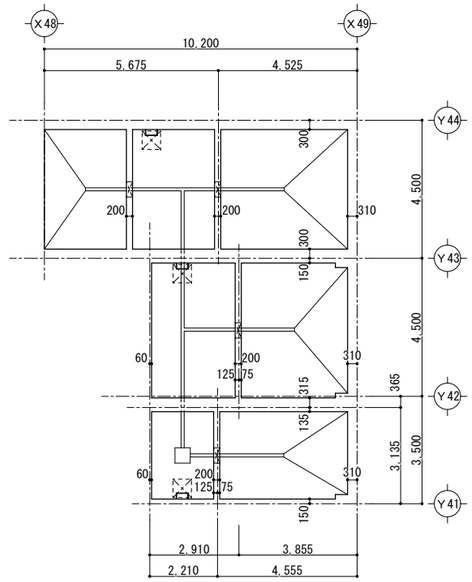
水槽断面　S=1/50

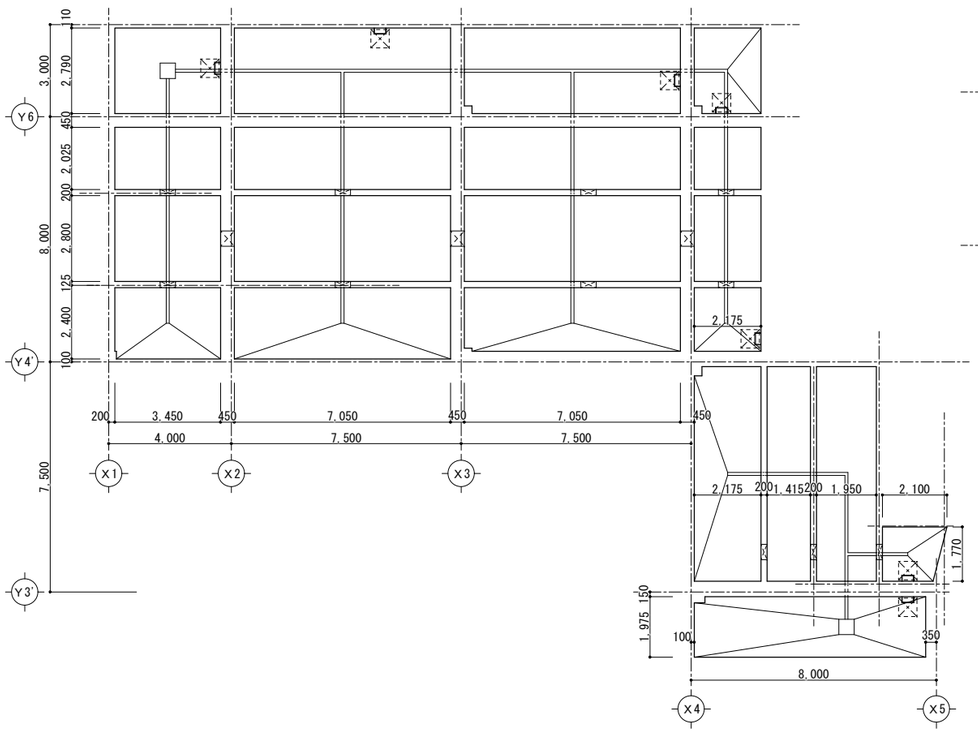


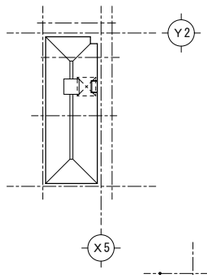
配管用ピット共通断面　S=1/50

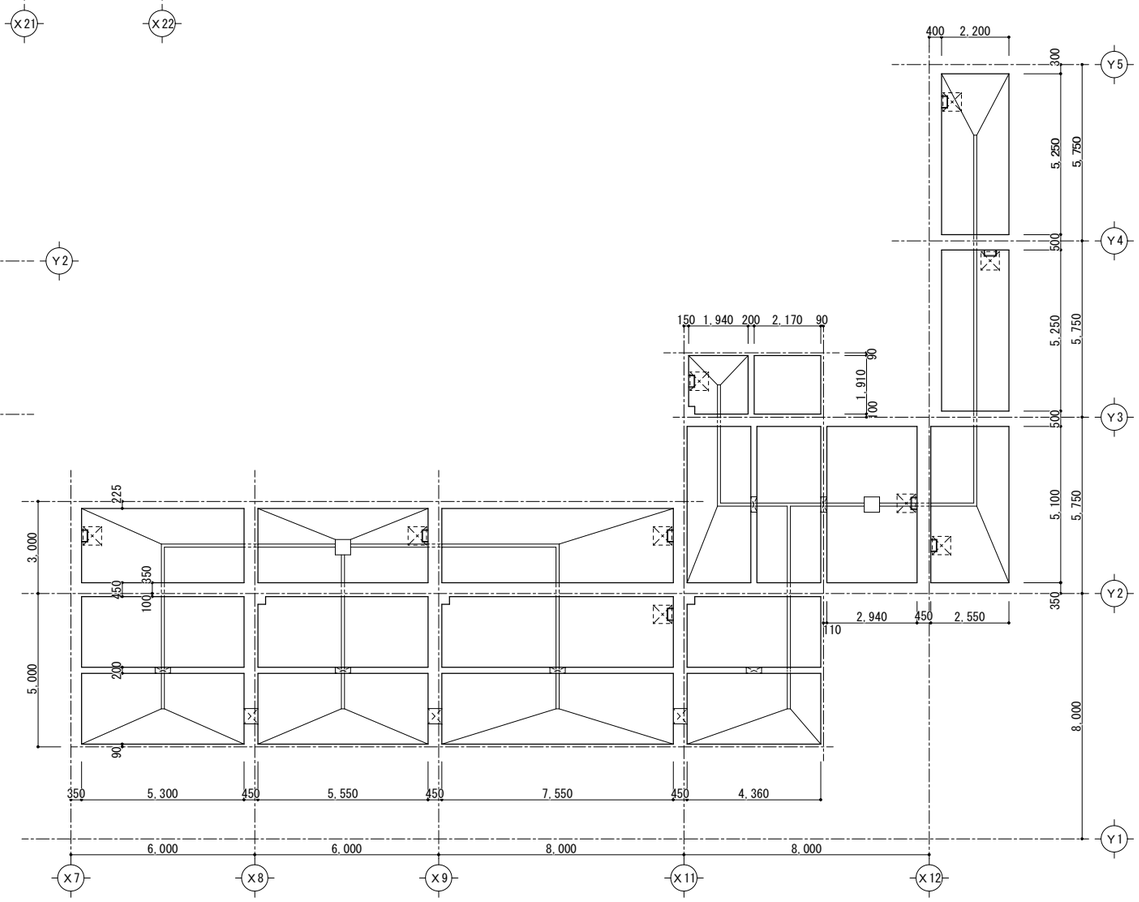




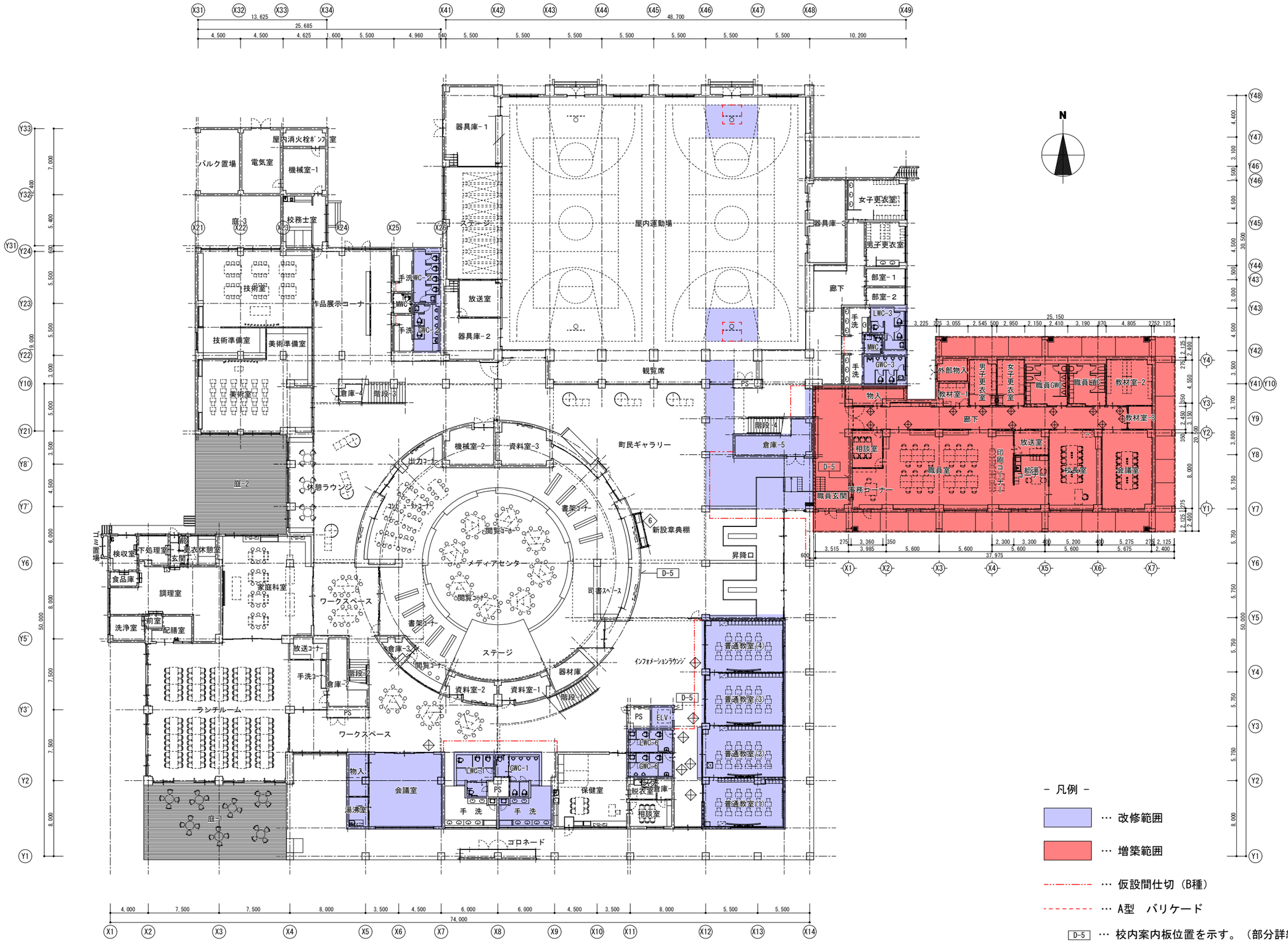








株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-27	工事名称 図面名称	西部地区小学校災害復旧工事 既存ピット平面図	縮尺 1:100



- 凡例 -

… 改修範囲

… 増築範囲

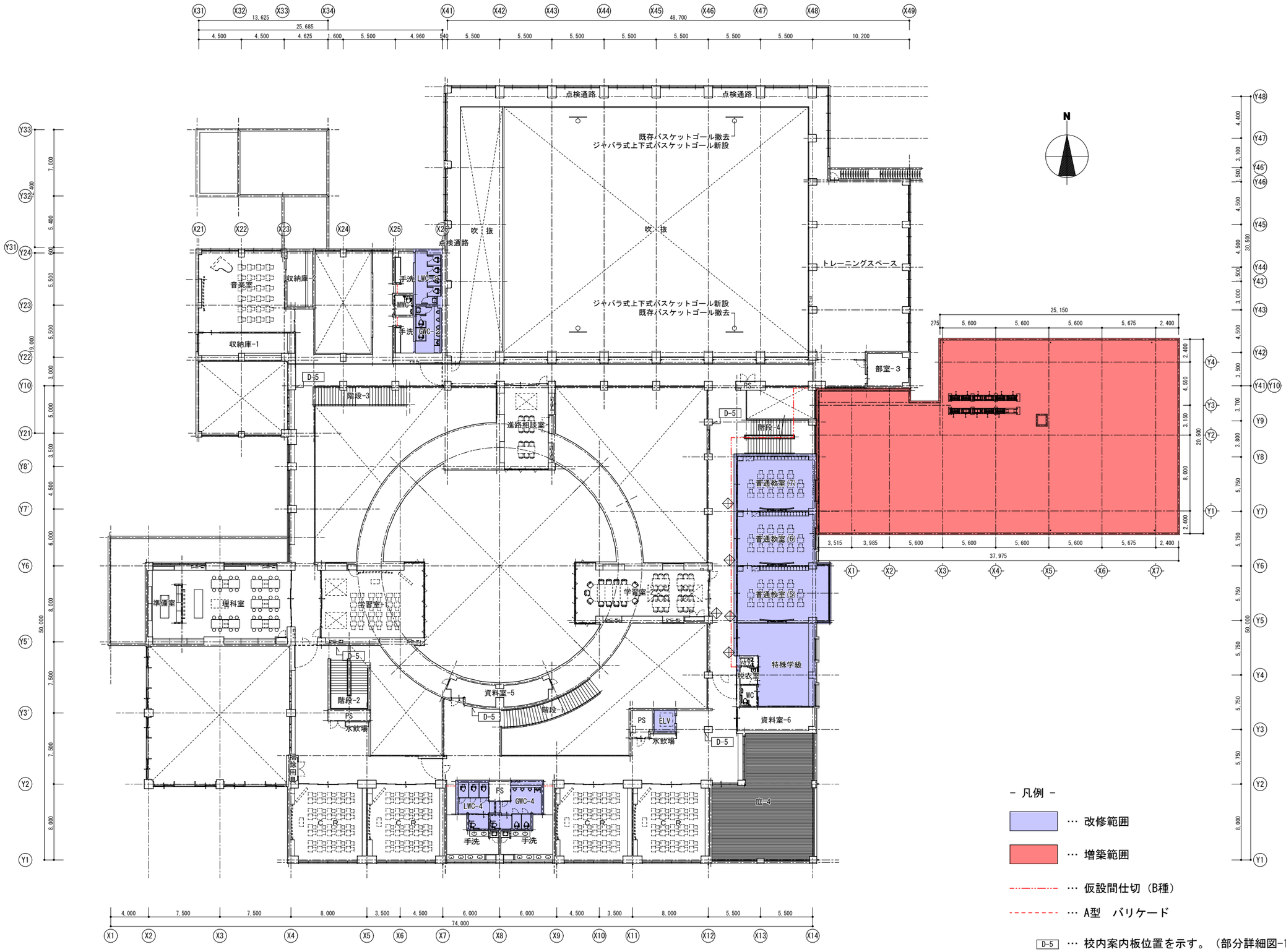
… 仮設間仕切（B種）

… A型　バリケード

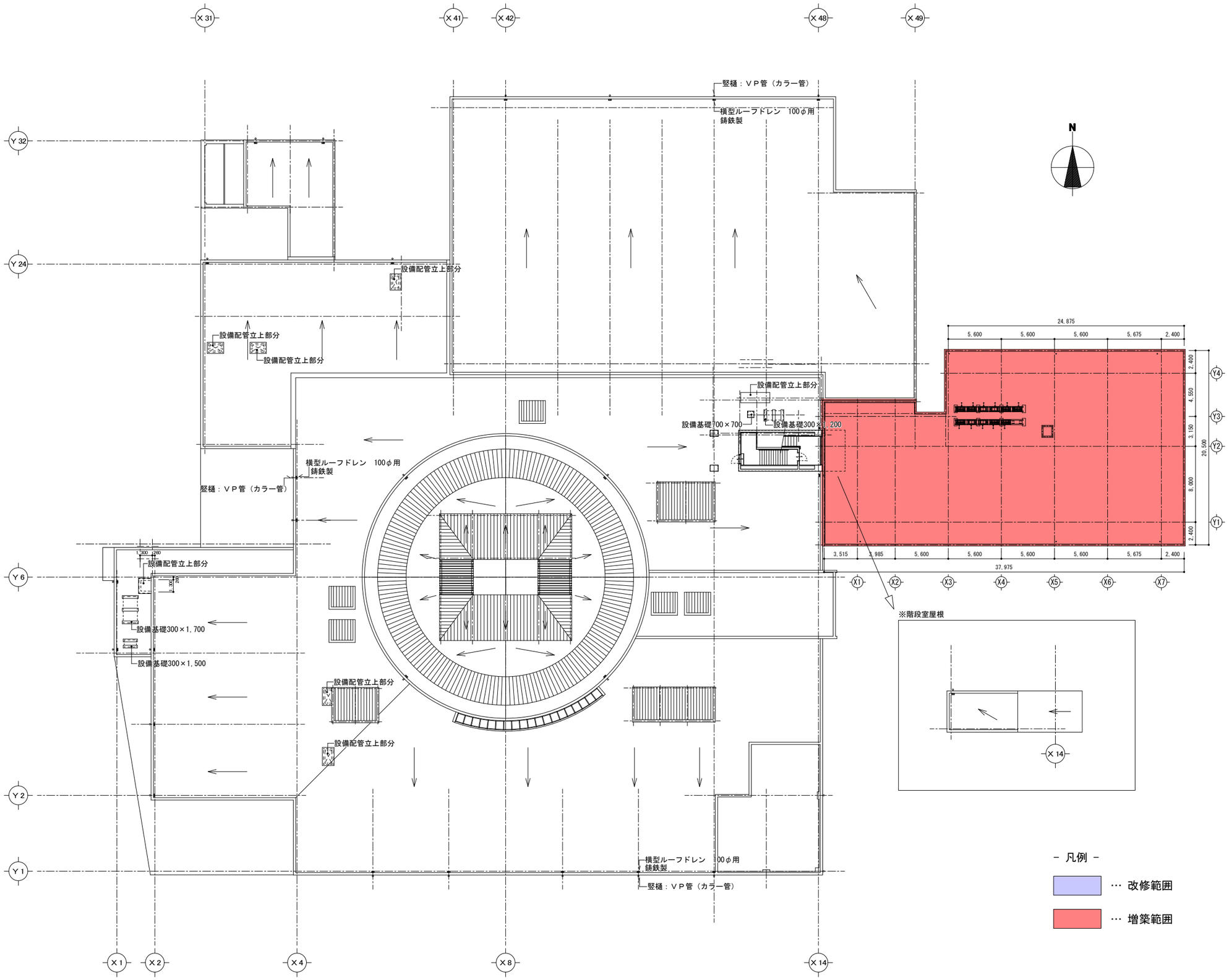
D-5 … 校内案内板位置を示す。（部分詳細図-1）

… 室名サイン位置を示す。

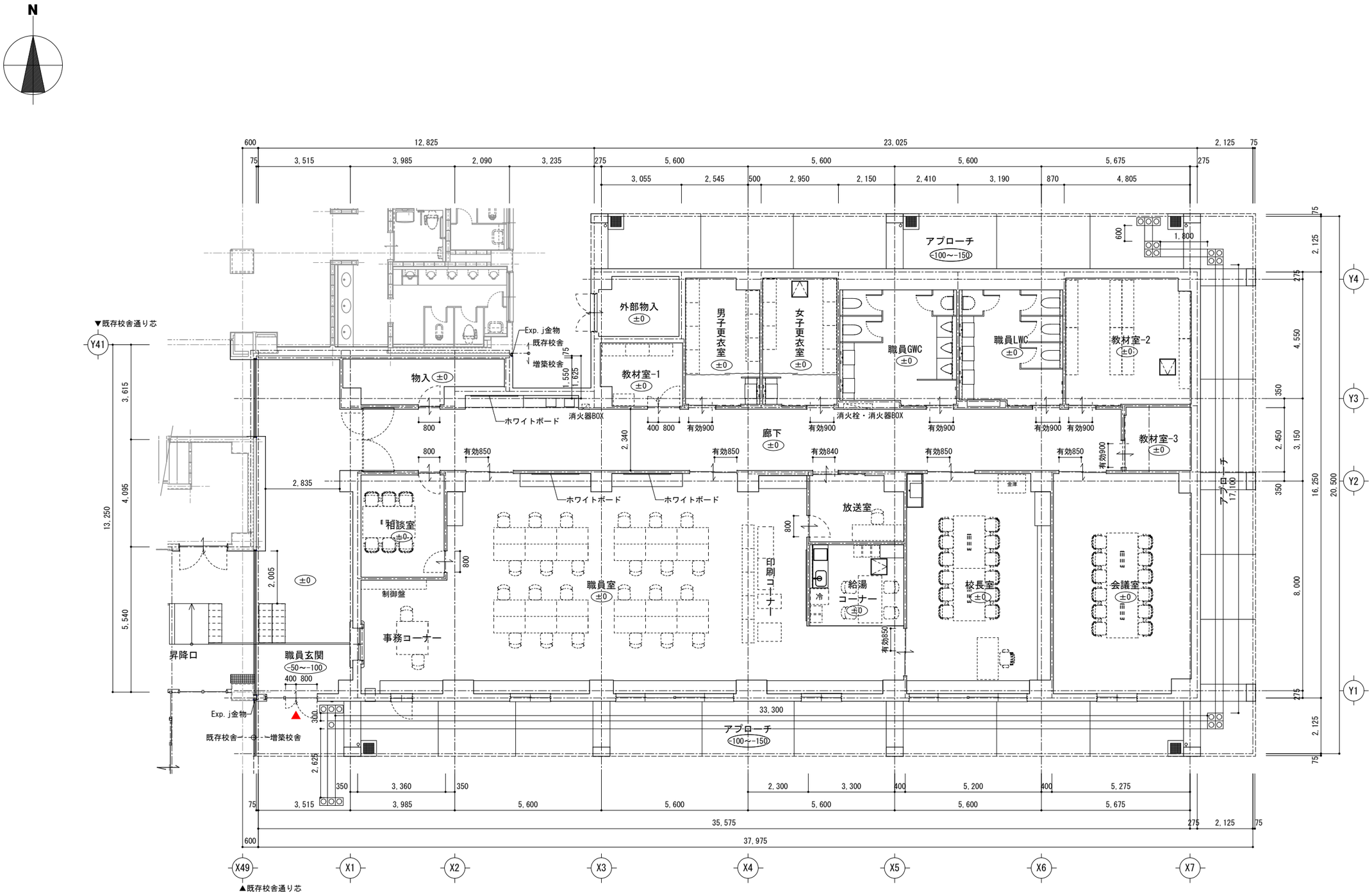
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-28	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:400
						図面名称 1階全体平面図	



株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-29	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 / 図面名称 2階全体平面図	縮尺 1:400

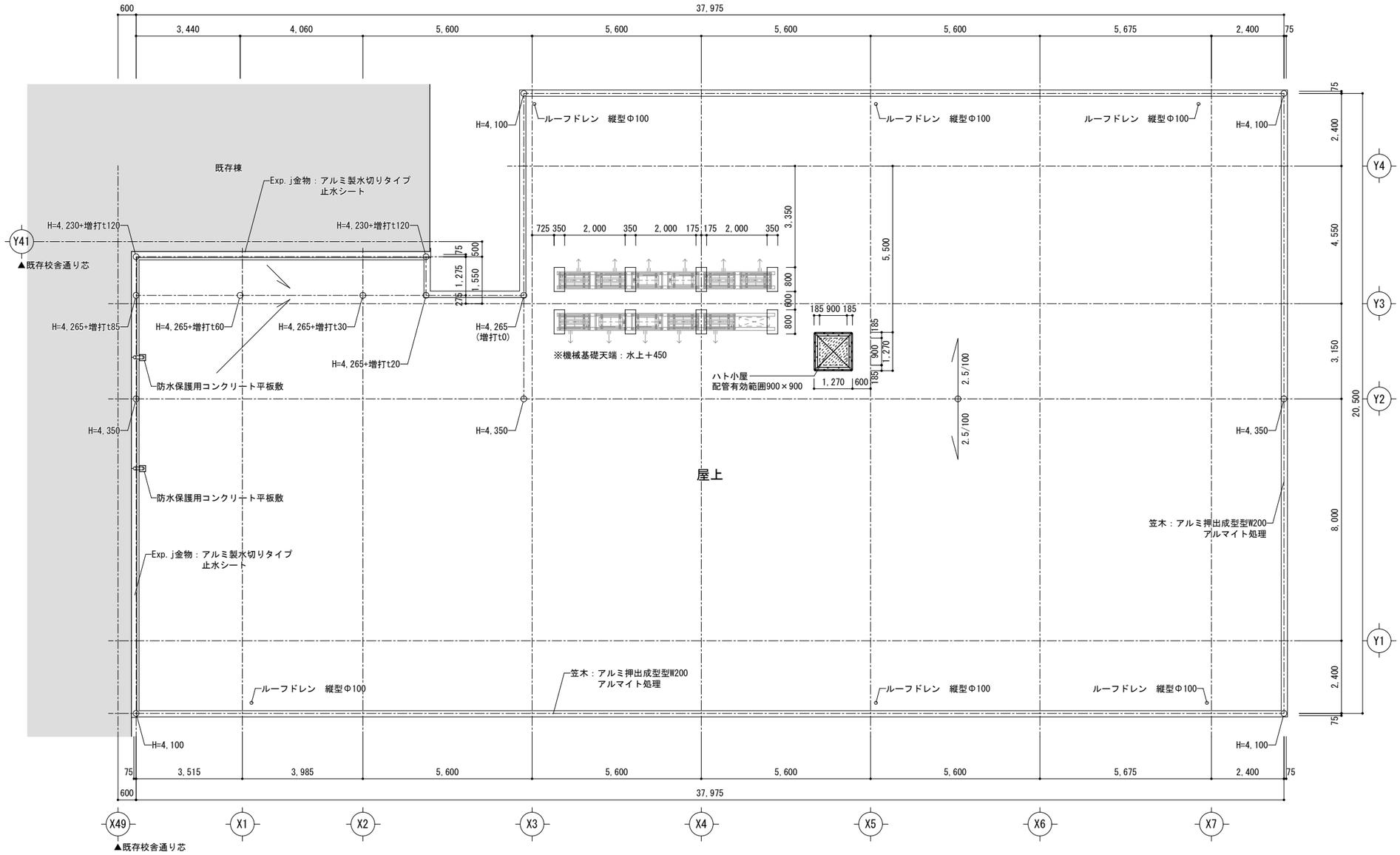


株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-30	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:400
						図面名称 全体屋根伏図	

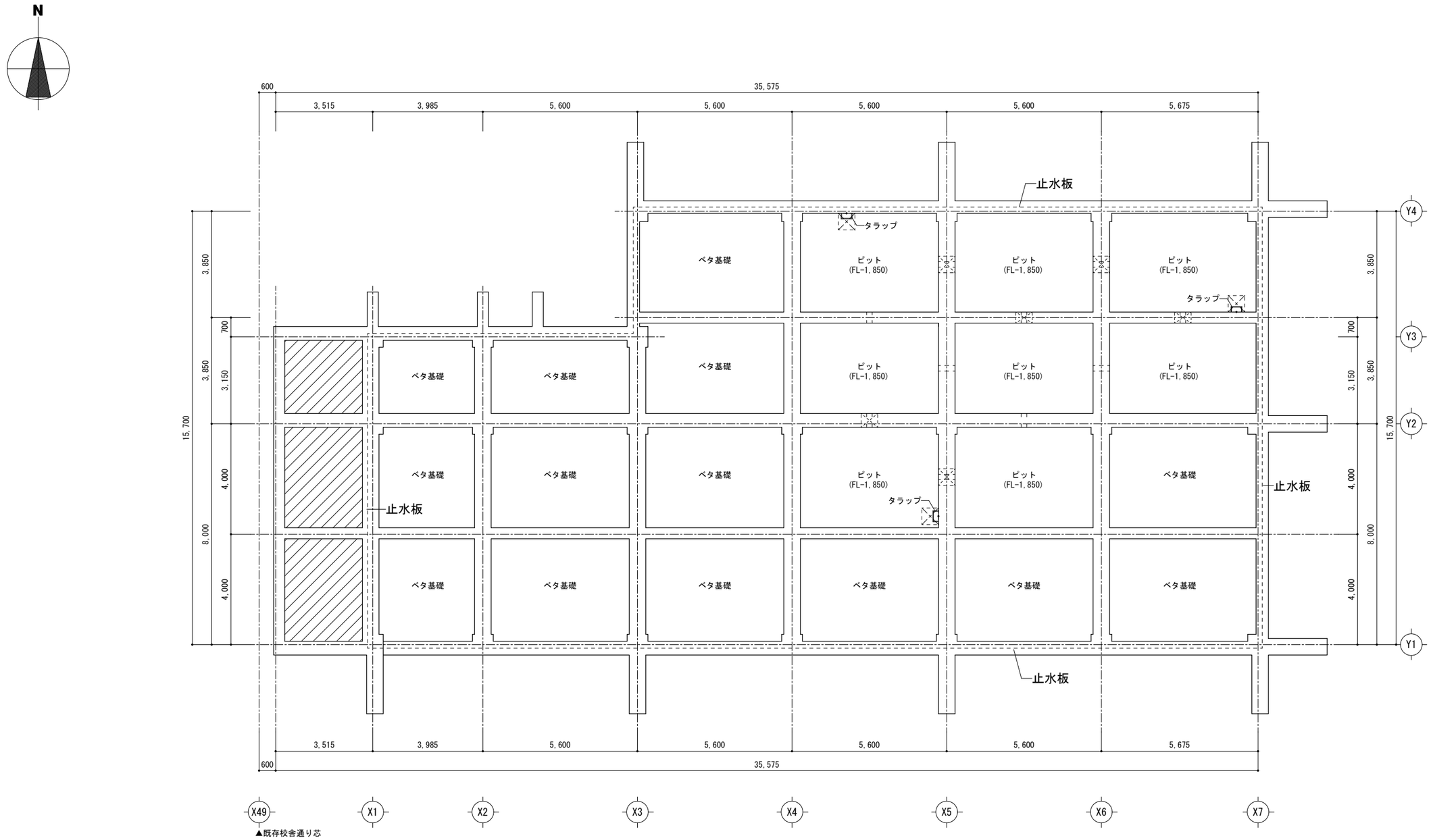


：床点検口600角（密閉型）

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-31	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:150
						図面名称 平面図（増築棟）	



株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-32	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:150
						図面名称 屋根伏図（増築棟）	



— 凡例 —

床点検口：600×600
ステンレス枠　防水・防臭型

人通口：φ600

連通管：φ200（半円）

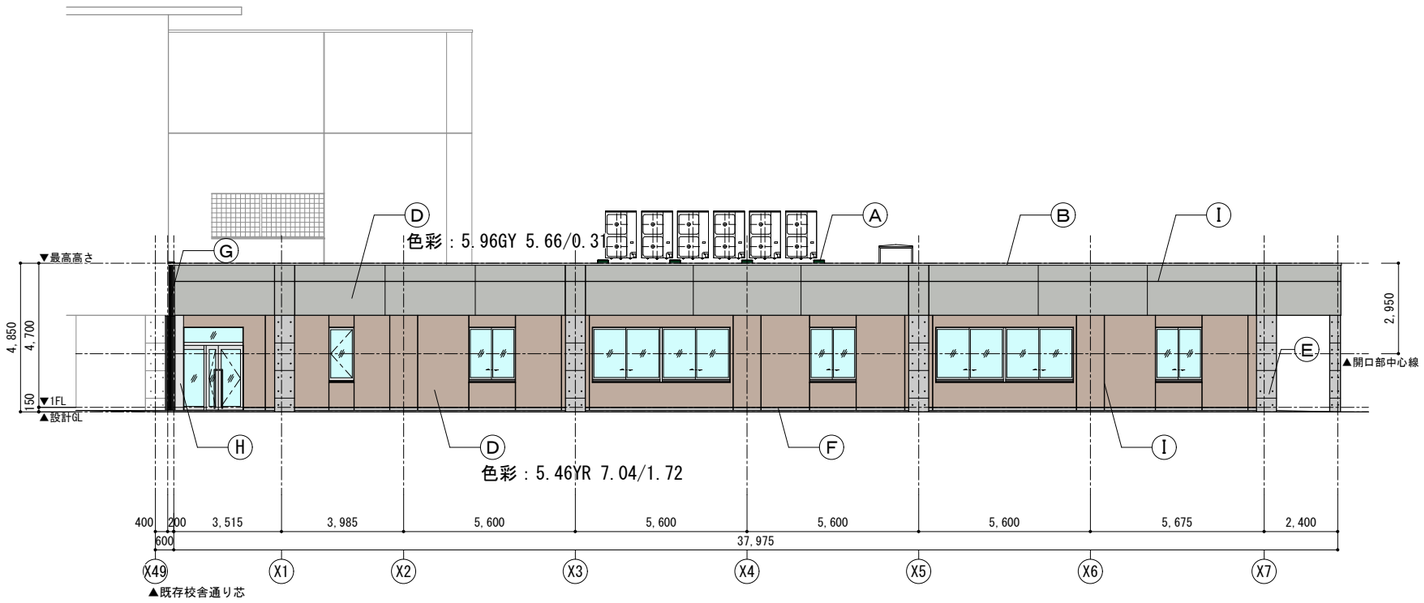
埋戻し範囲

●(FL-1,850)：1FLからのピット底までの高さ

●配管ピット仕上：床・壁：コンクリート直均し
天井：コンクリート直均し

●タラップ：SUS W400@350

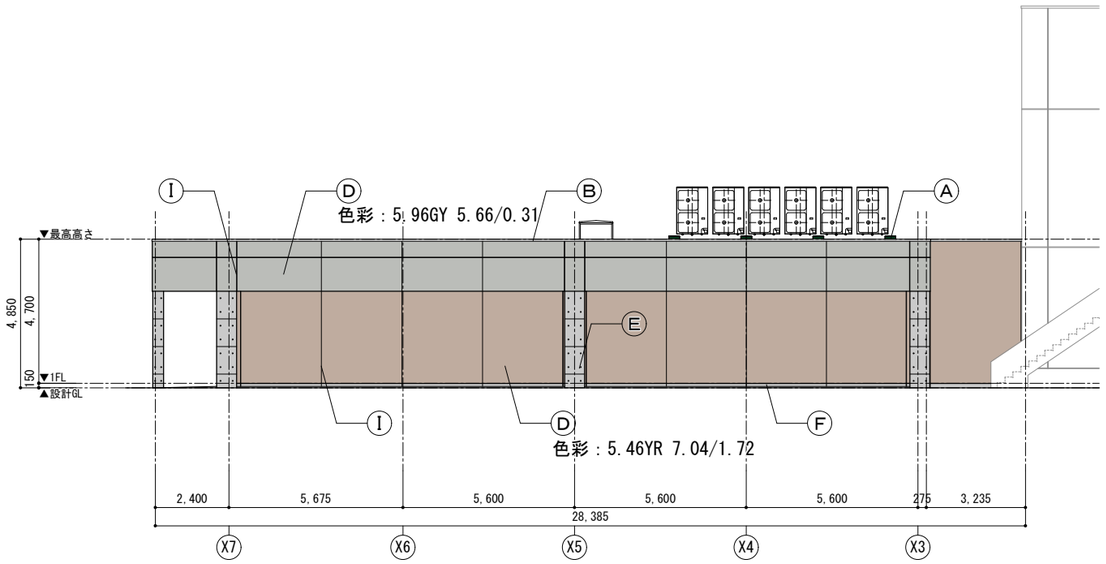
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-33	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:150
						図面名称	ピット図（増築棟）	



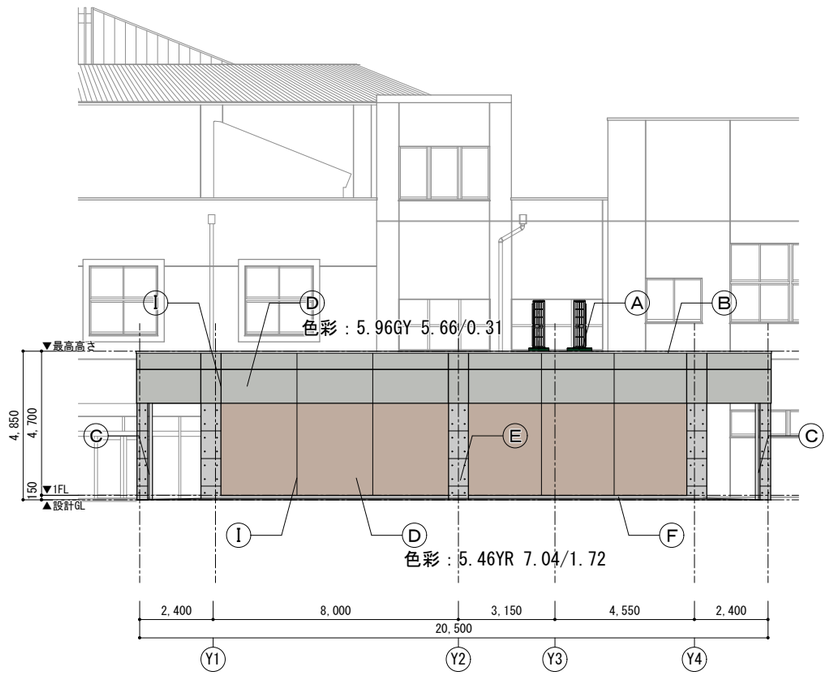
南側立面図

記号	部位	仕　上
Ⓐ	屋上	アスファルト露出防水(D-1)
Ⓑ	笠木	アルミ押出成型 W200　アルマイト処理
Ⓒ	竪樋	アルミ製バンドレスタイプ 丸型 Φ100
Ⓓ	外壁	外装薄塗材E吹付(ゆず肌)
Ⓔ	柱	フッ素樹脂塗装仕上
Ⓕ	外部巾木	フッ素樹脂塗装仕上
Ⓖ	EXP部	エラストマータイプ　クリアランス100mm
Ⓗ	金物	アルミ成形 t2.0
Ⓘ	目地	PU-2（外壁誘発目地）

方角	計算式	外観面積
南側立面	37.975 m × 4.700 m = 178.49 m2	178.49 m2
北側立面	28.385 m × 4.700 m = 133.41 m2	133.41 m2
東側立面	20.500 m × 4.700 m = 96.35 m2	96.35 m2
合計		408.25 m2



北側立面図



東側立面図

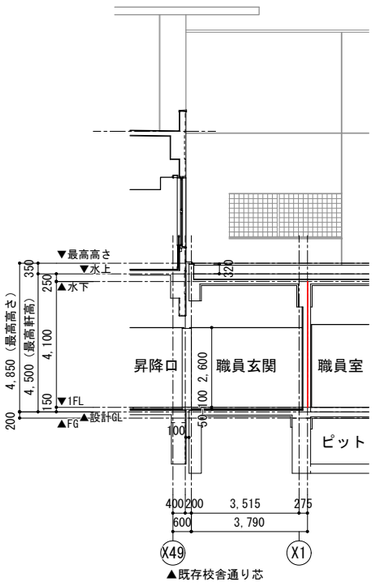
株式会社　釣谷建築事務所	1級建築士　第119816号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-34	工事名称	（仮称）西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:200
					図面名称	立面図（増築棟）	

凡　例

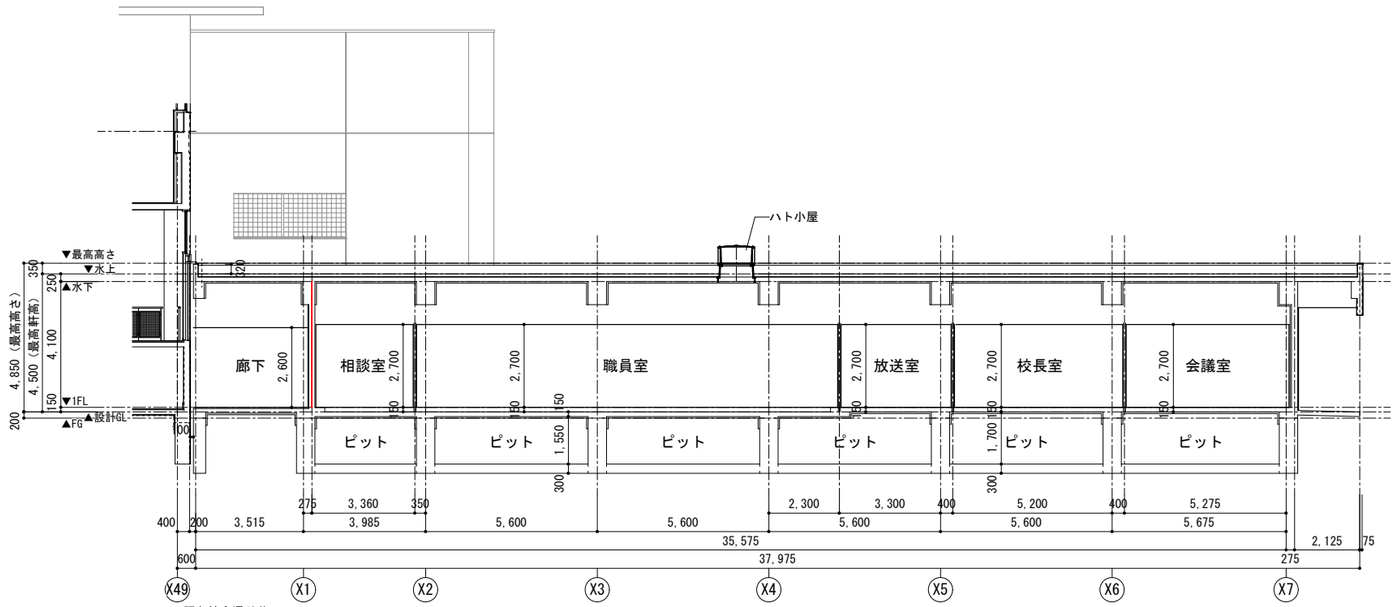
――	防火区画(面積 兼 竪穴区画)
――	防火上主要な間仕切壁(令114条区画)

＊面積区画：特記なき限り区画面積は既存のまま

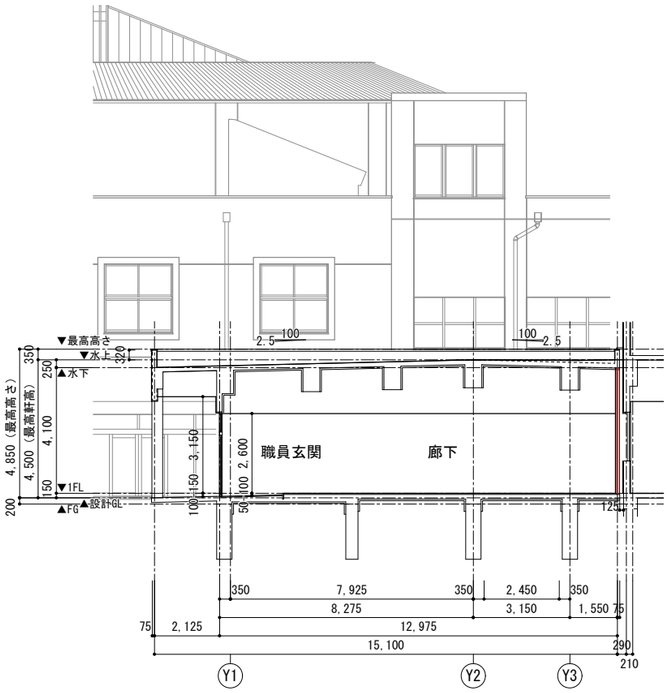
※設計GLを平均地盤面とする。



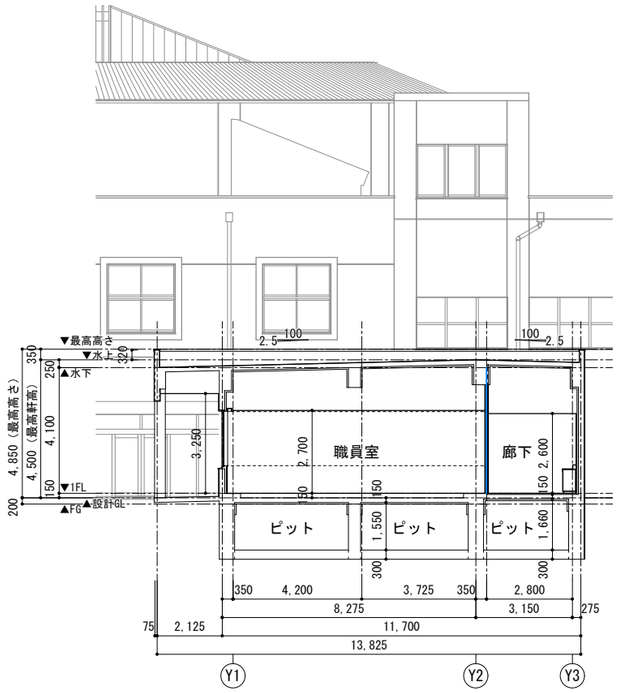
Y1-Y2間



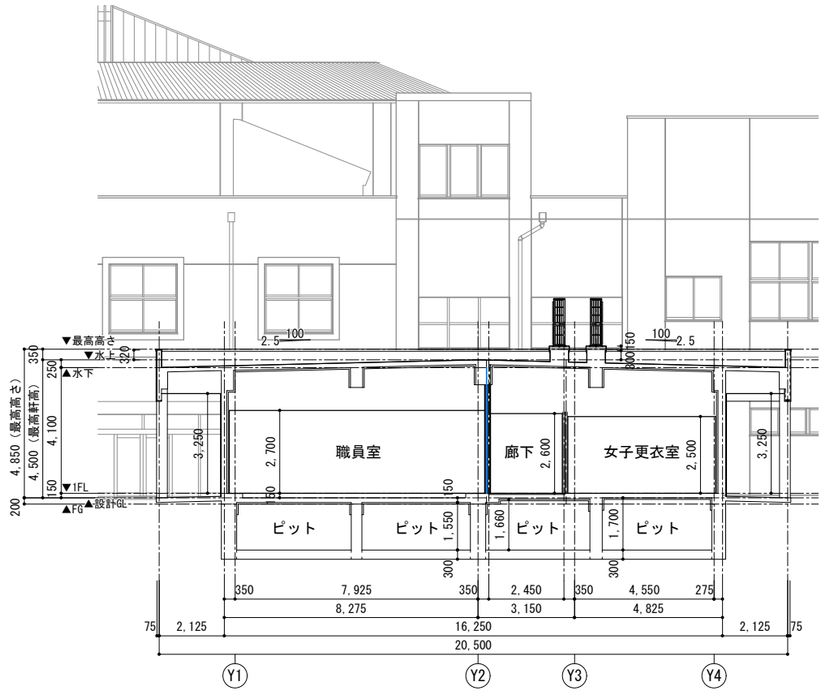
Y1-Y2間



X0-X1間

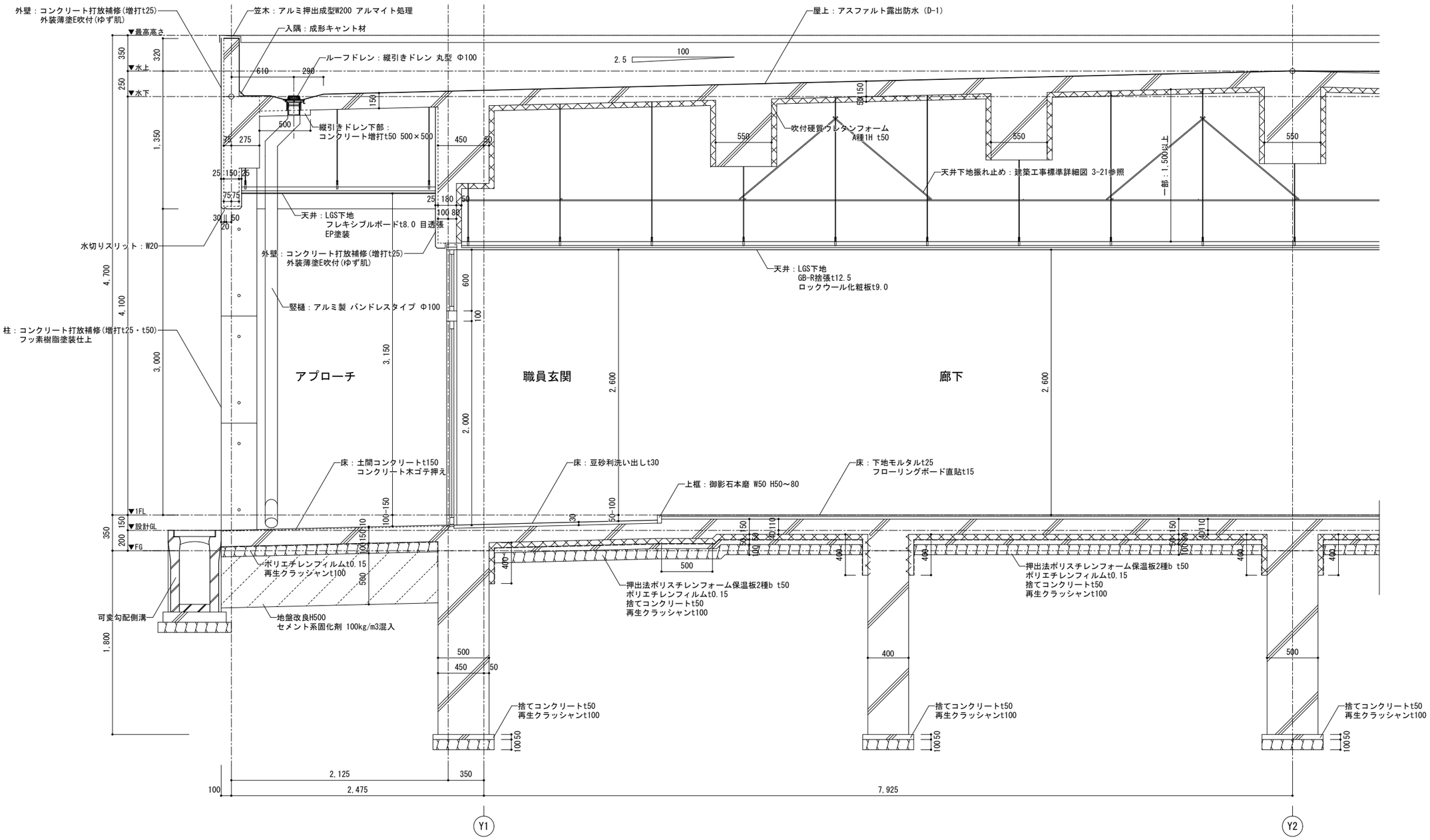


X2-X3間



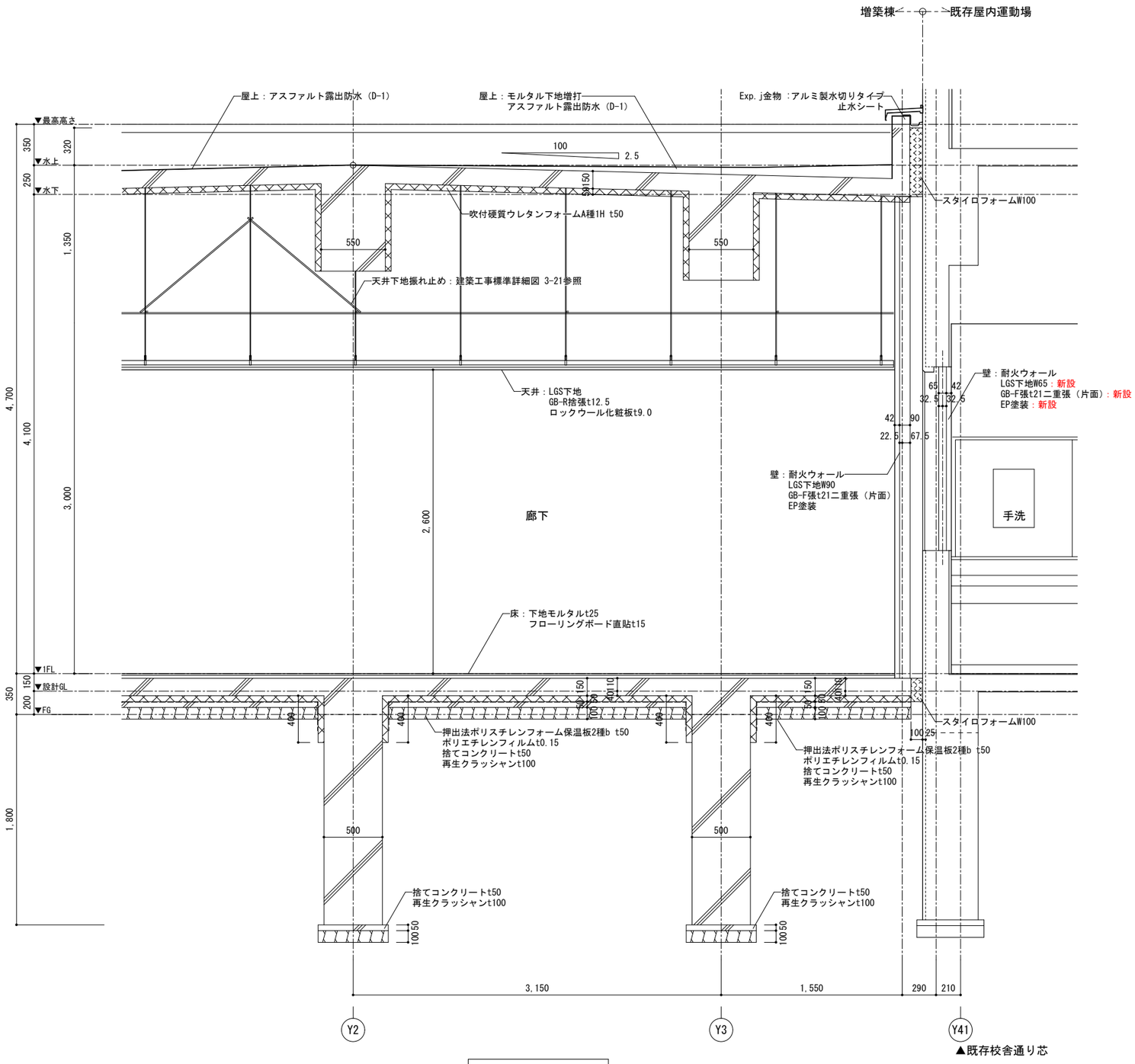
X4-X5間

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-35	工事名称	（仮称）西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:200
						図面名称	断面図（増築棟）	

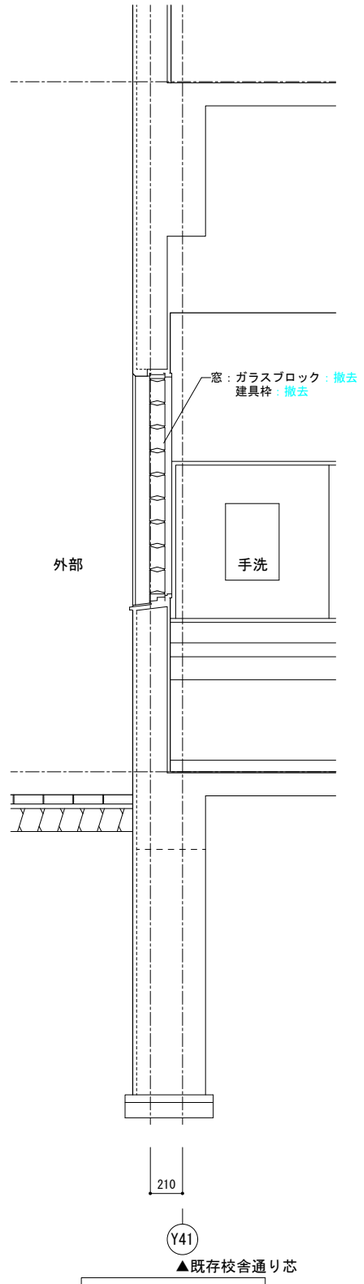


X0-X1間

株式会社 釣谷建築事務所	１級建築士 第１１９８１６号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-36	工事名称 （仮称）西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:40
						図面名称 矩計図-1（増築棟）	

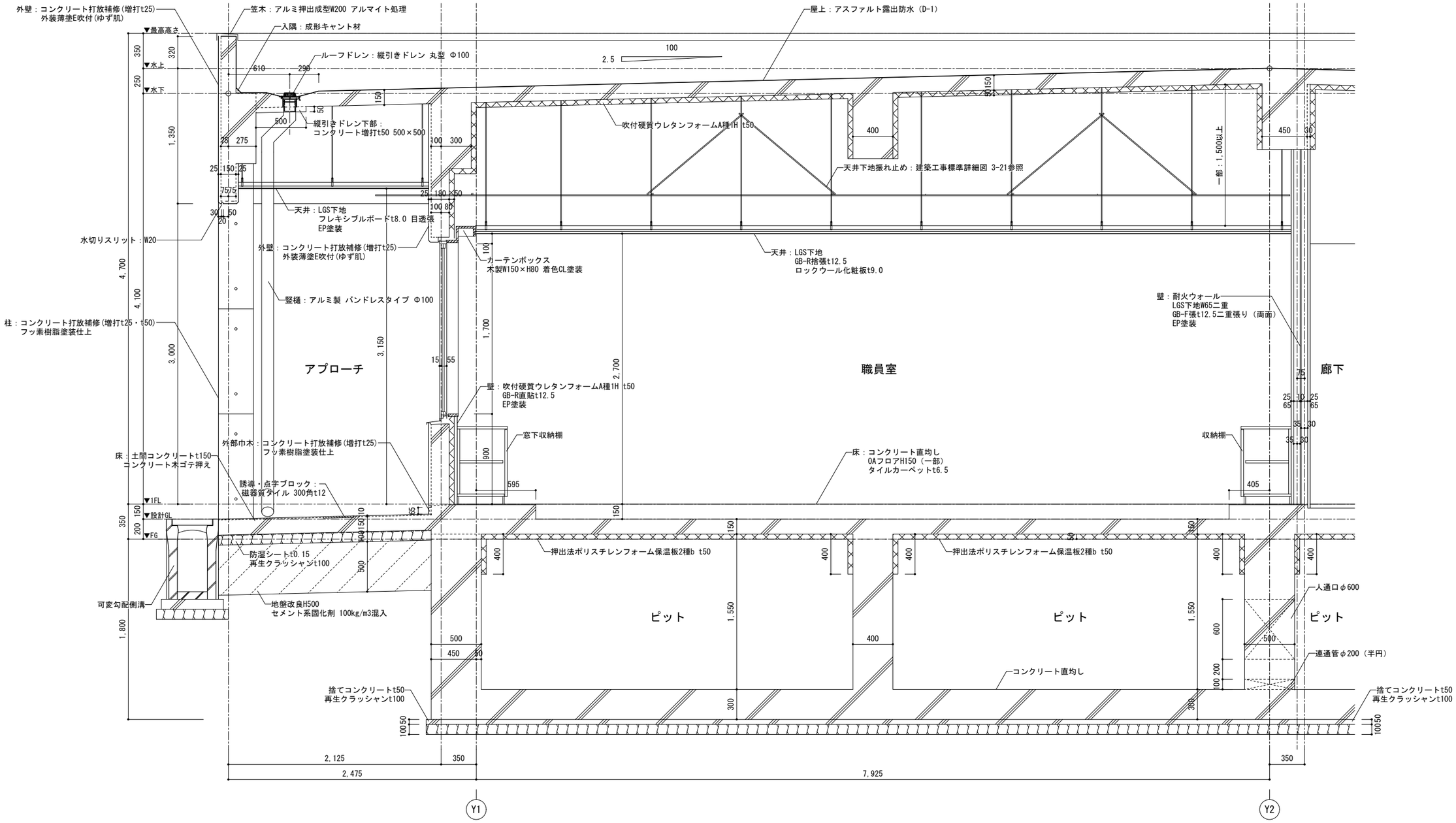


X0-X1間



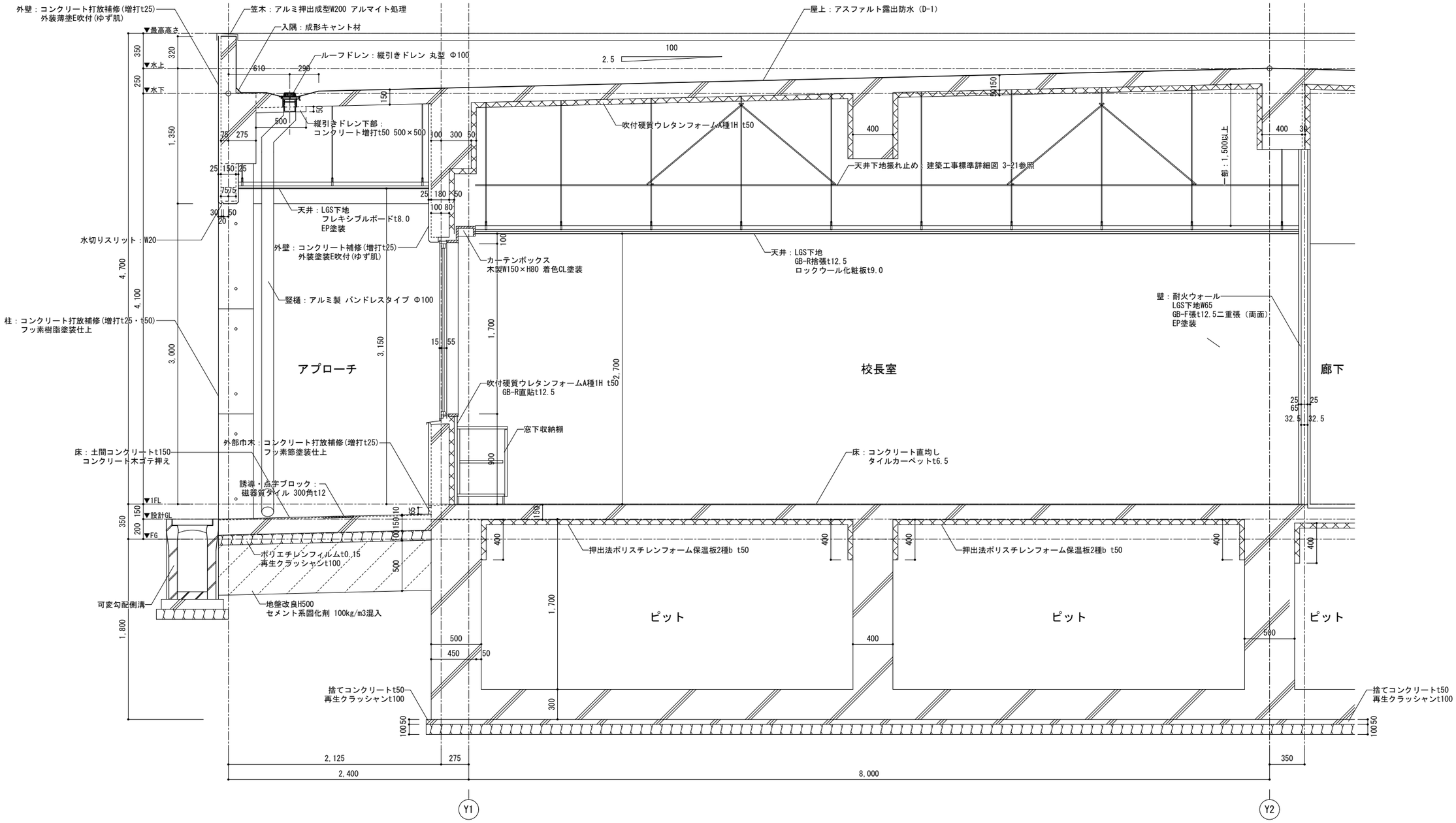
改修前　手洗

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-37	工事名称 （仮称）西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:40
						図面名称 矩計図-2（増築棟）	



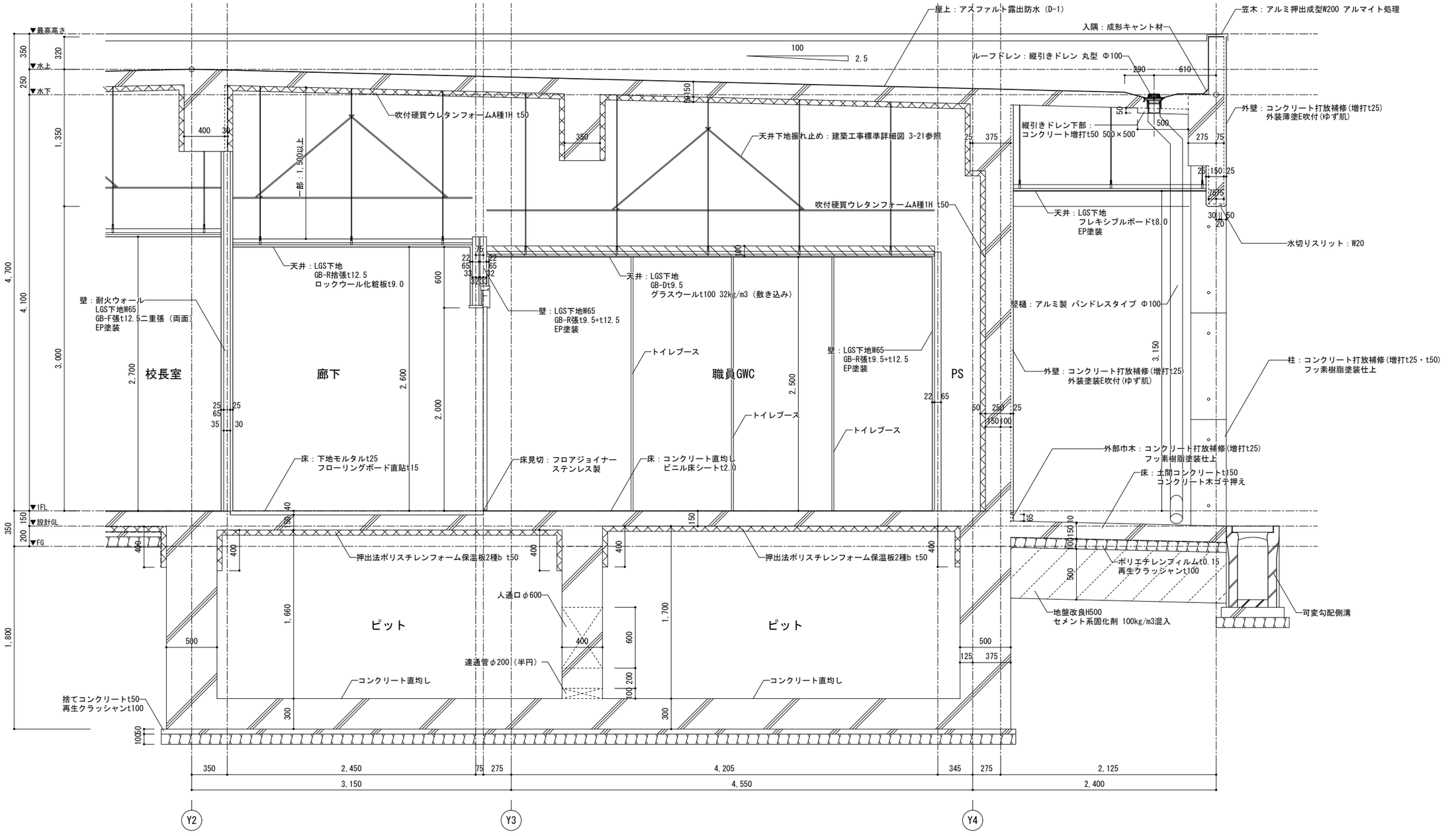
X4-X5間

株式会社 釣谷建築事務所	１級建築士 第１１９８１６号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-38	工事名称 （仮称）西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 矩計図-3（増築棟）	縮尺 1:40



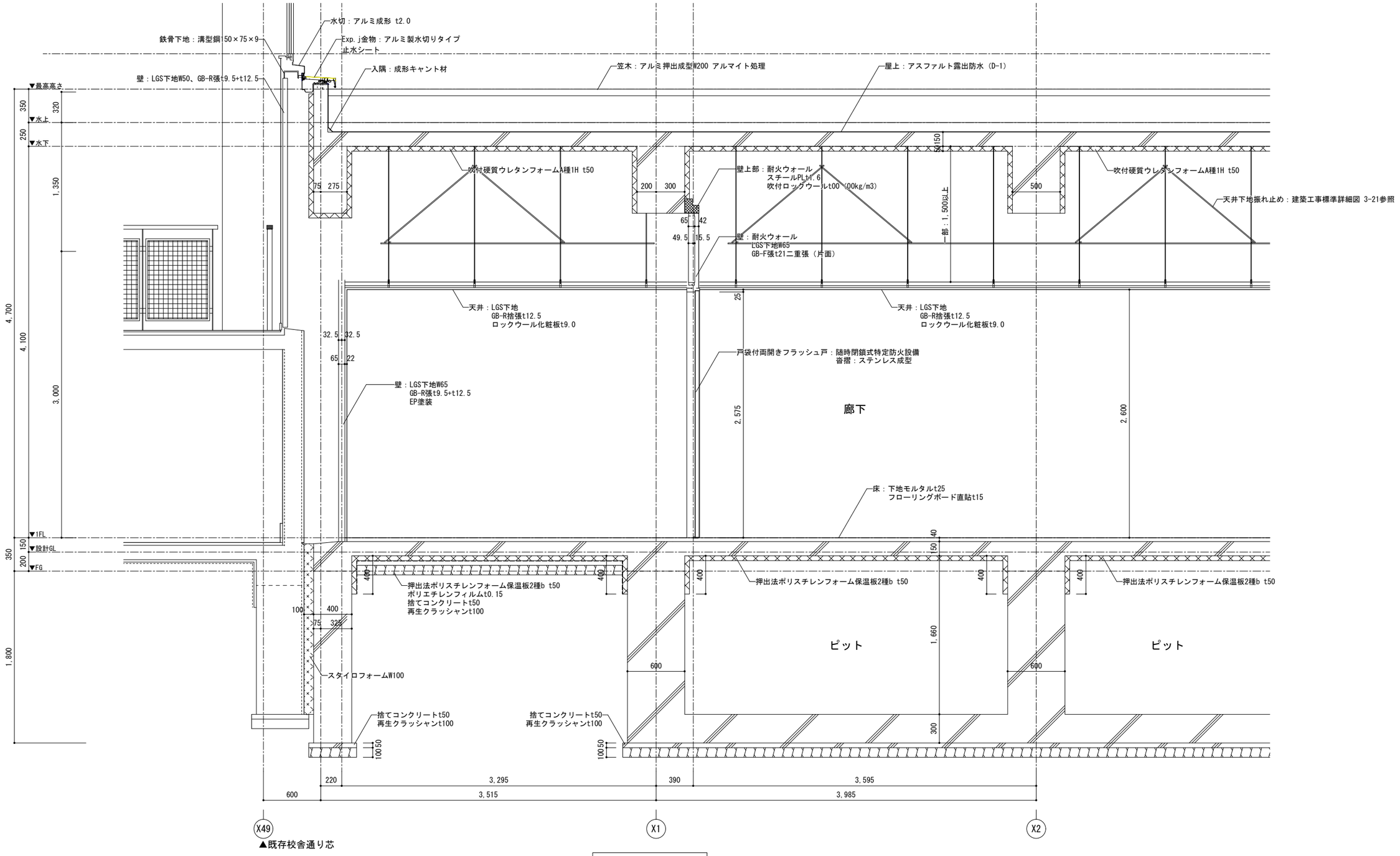
X5-X6間

株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-39	工事名称 （仮称）西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:40
						図面名称 矩計図-4（増築棟）	



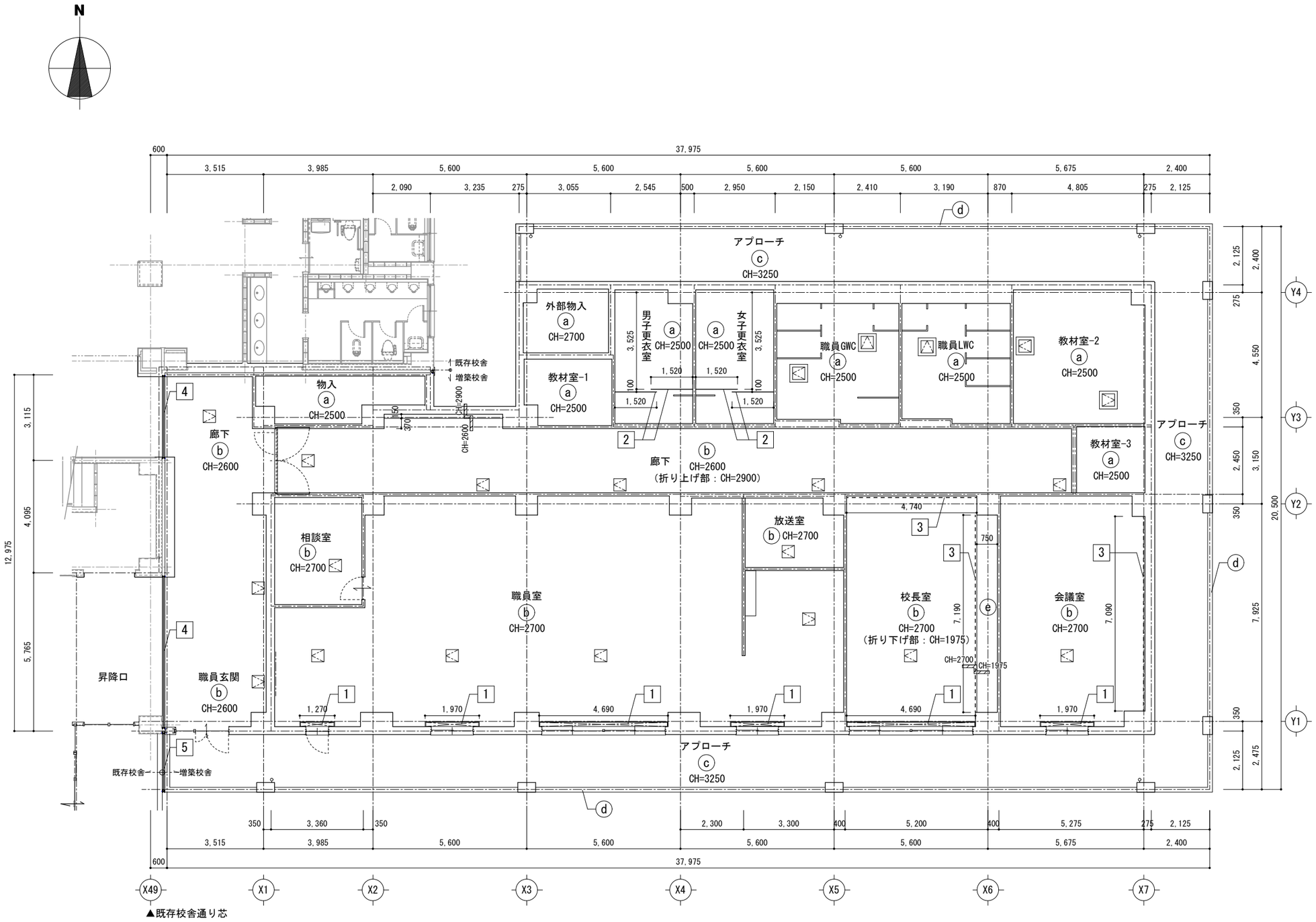
X5-X6間

株式会社 釣谷建築事務所	１級建築士 第１１９８１６号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-40	工事名称 （仮称）西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:40
						図面名称 矩計図-5（増築棟）	



Y2-Y3間

株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-41	工事名称 （仮称）西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 矩計図-6（増築棟）	縮尺 1:40

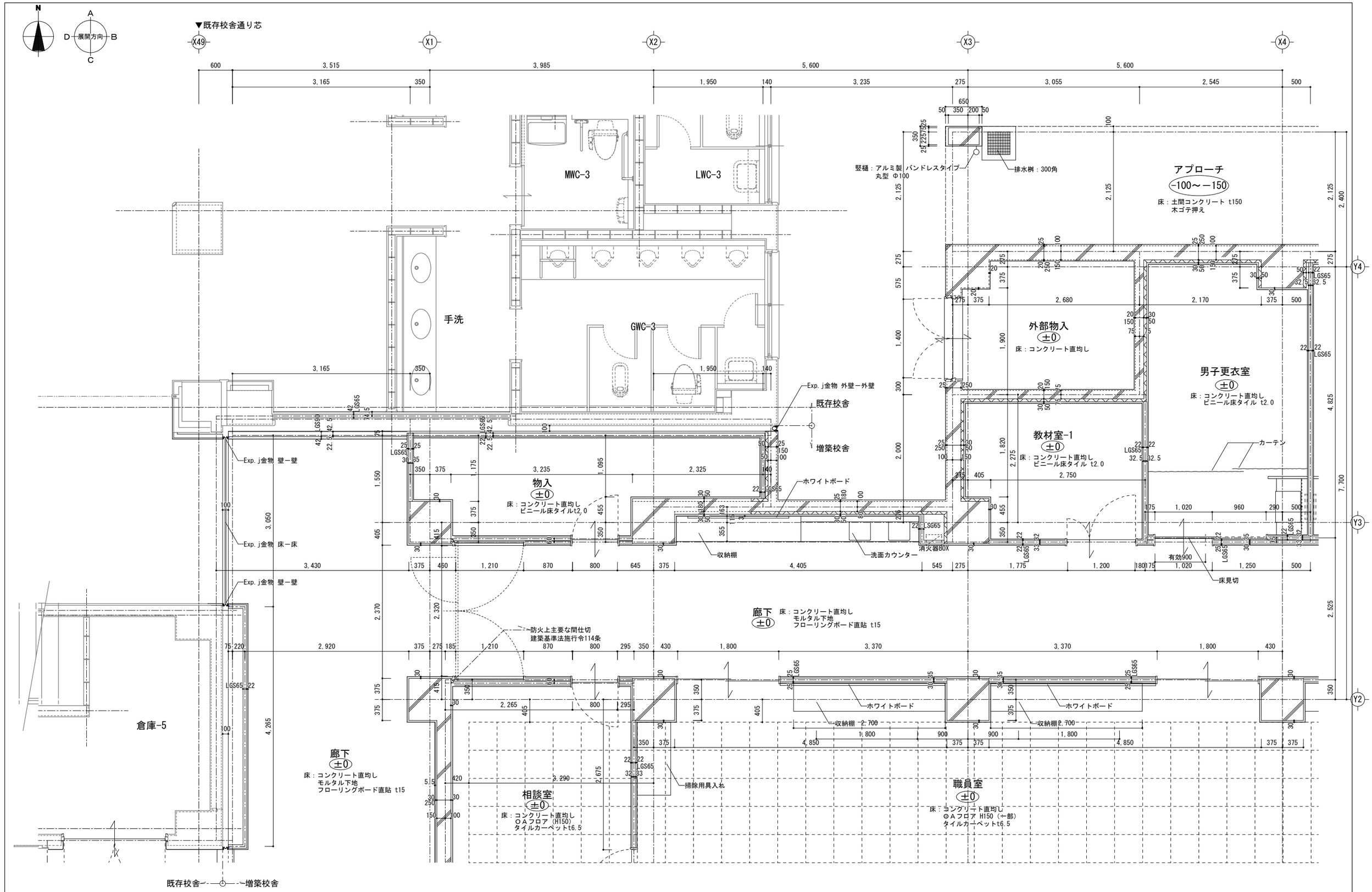


ⓐ	GB-D張 t9.5
ⓑ	GB-R捨張 t12.5、ロックウール化粧板張 t9.0
ⓒ	フレキシブルボード張 t8.0 目透張 EP塗装
ⓓ	コンクリート打放補修(増打t25)、外装薄塗E吹付(ゆず肌)
ⓔ	GB-R張 t12.5、EP塗装
1	カーテンBOX：150×80 木製 着色CL塗装
2	カーテンレール：天井直付 ステンレス製　許容荷重 30kg/m
3	ピクチャーレール： 天井埋込　ステンレス製　許容荷重 30kg/m
4	EXP金物：内部　天井ー天井 エラストマータイプ　クリアランス100mm
5	EXP金物：外部　天井ー天井 エラストマータイプ　クリアランス100mm　止水シート
⊠	天井点検口 450角（目地）：16箇所
⊠	天井点検口 450角（額縁）：5箇所

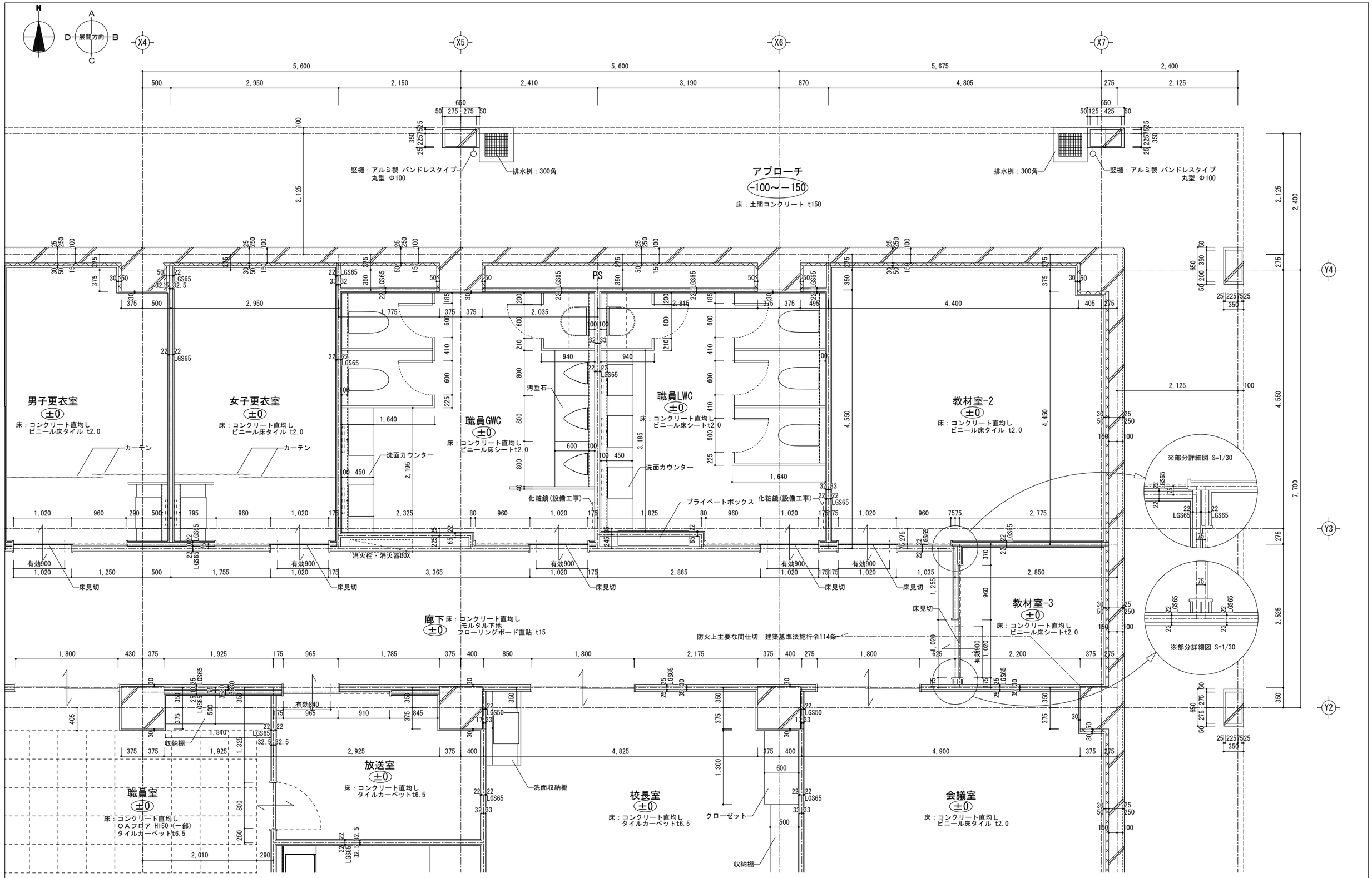
天井開口補強（設備用）

開口寸法	箇所数
350 × 350	6
600 × 600	6
150 × 1250	30
300 × 300	7
450 × 450	2
900 × 900	13

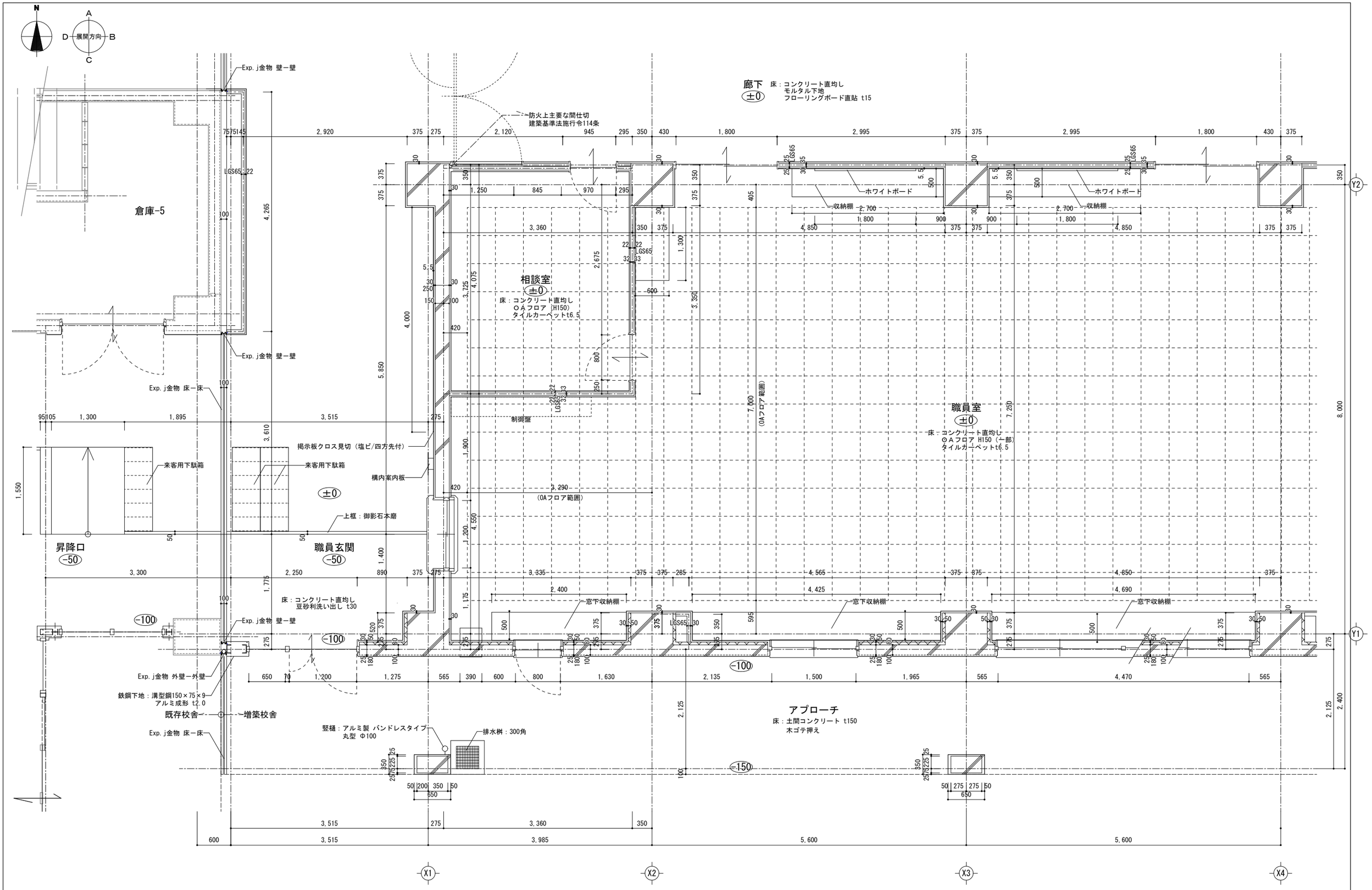
株式会社　釣谷建築事務所	1級建築士　第119816号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-42	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:150
					図面名称	天井伏図（増築棟）	



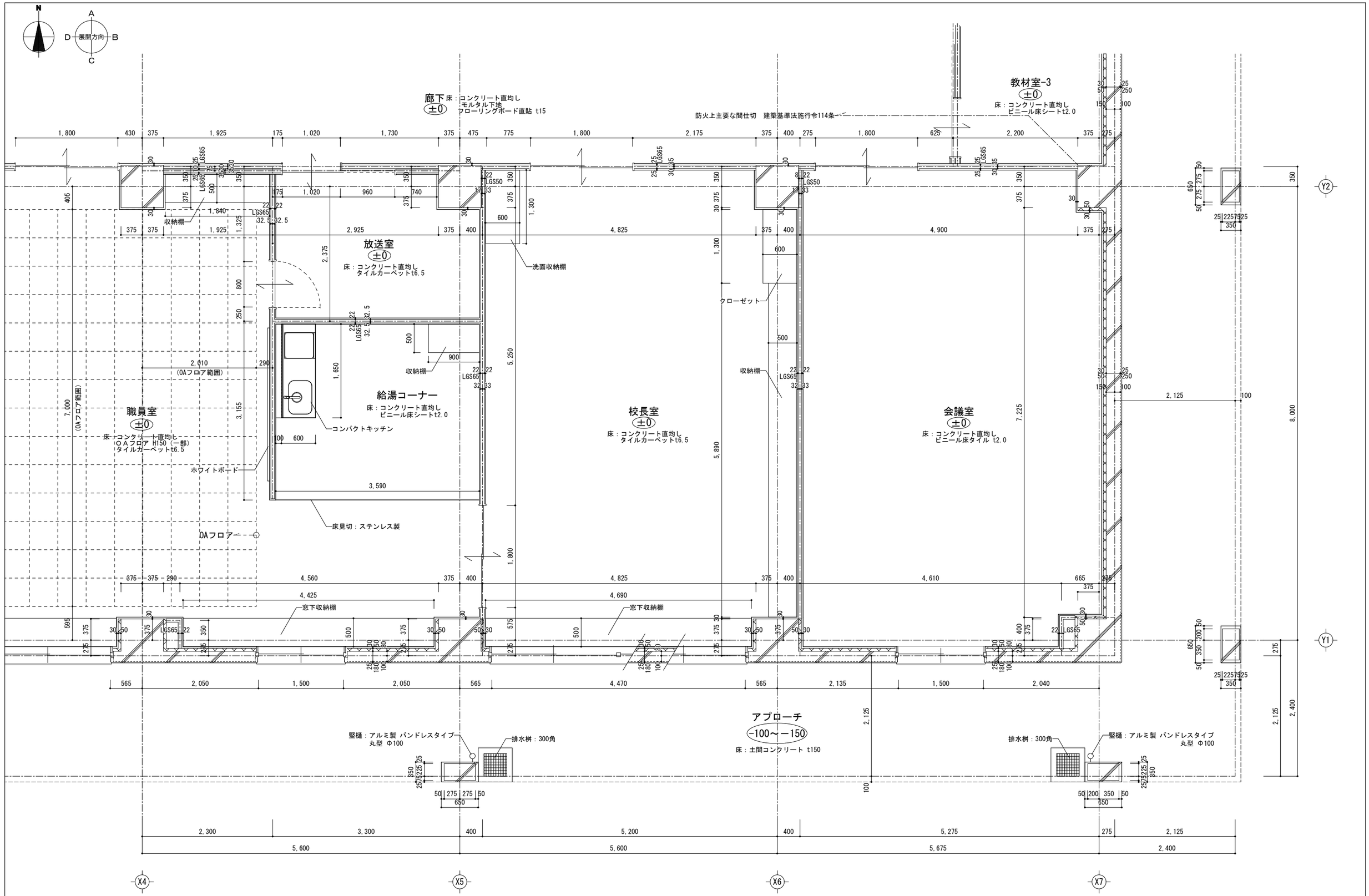
株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-43	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:60
						図面名称 平面詳細図-1（増築棟）	



株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-44	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 平面詳細図-2（増築棟）	縮尺 1:60



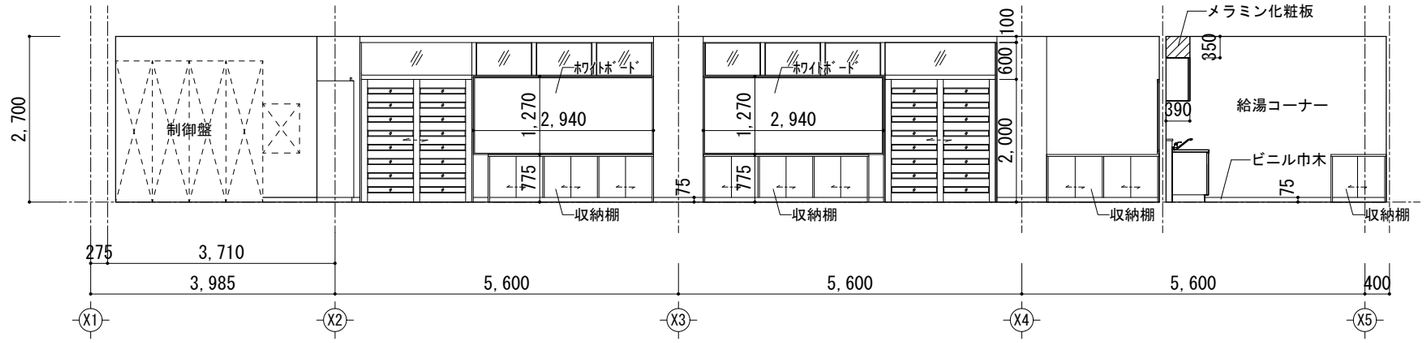
株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-45	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:60
						図面名称 平面詳細図-3（増築棟）	



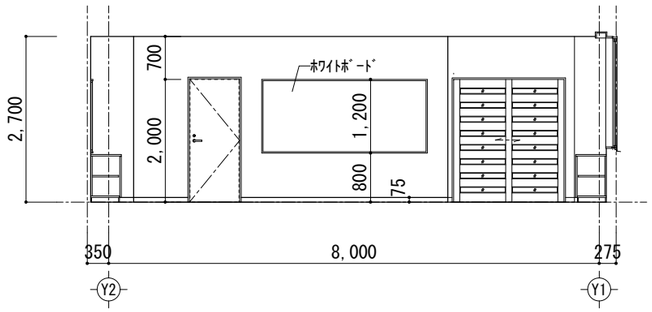
株式会社 釣谷建築事務所	１級建築士 第１１９８１６号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-46	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 平面詳細図-4（増築棟）	縮尺 1:60

職員室

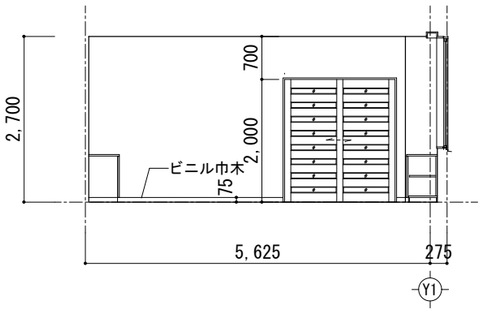
A面



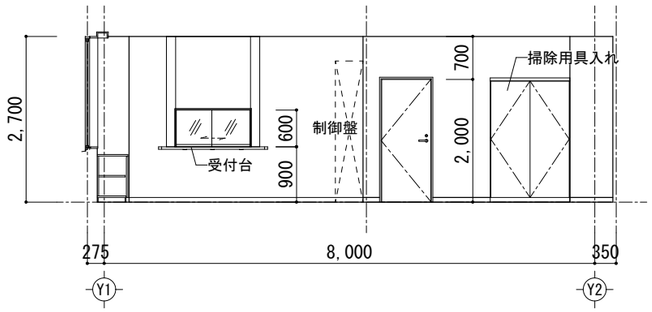
B面



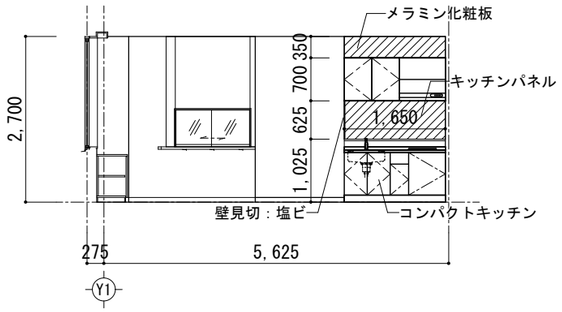
B面（給湯コーナー）



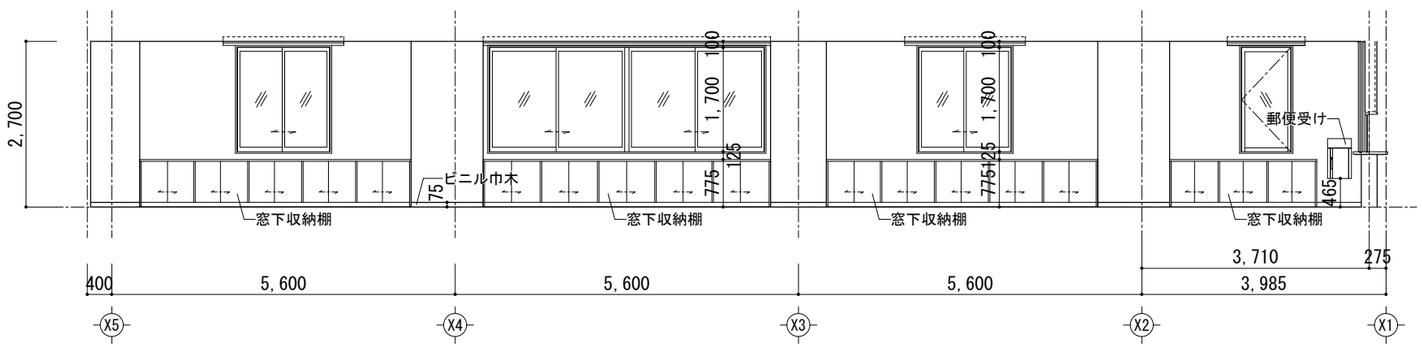
D面



D面（給湯コーナー）

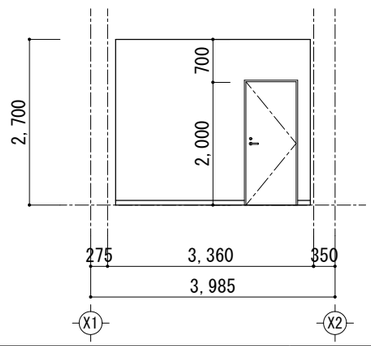


C面

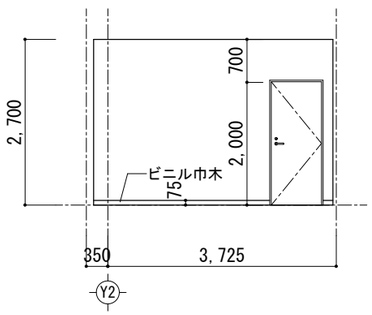


相談室

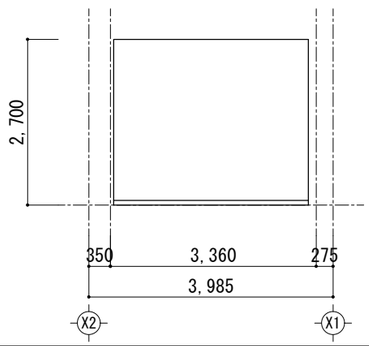
A面



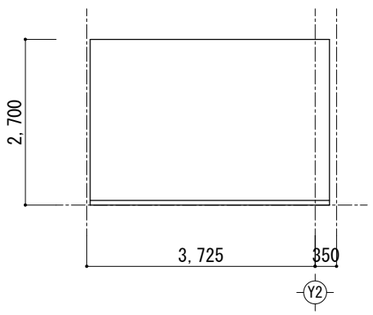
B面



C面

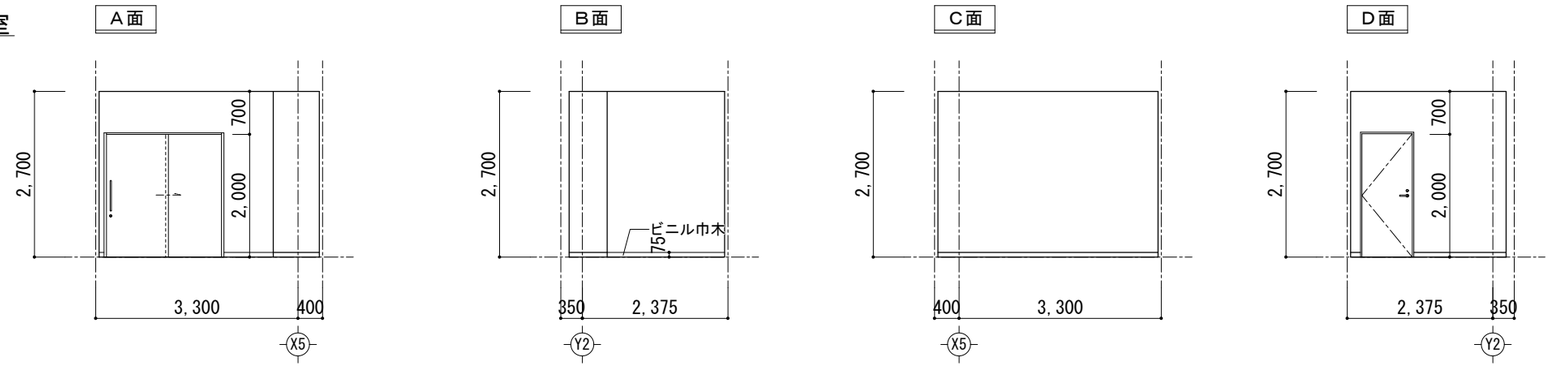


D面

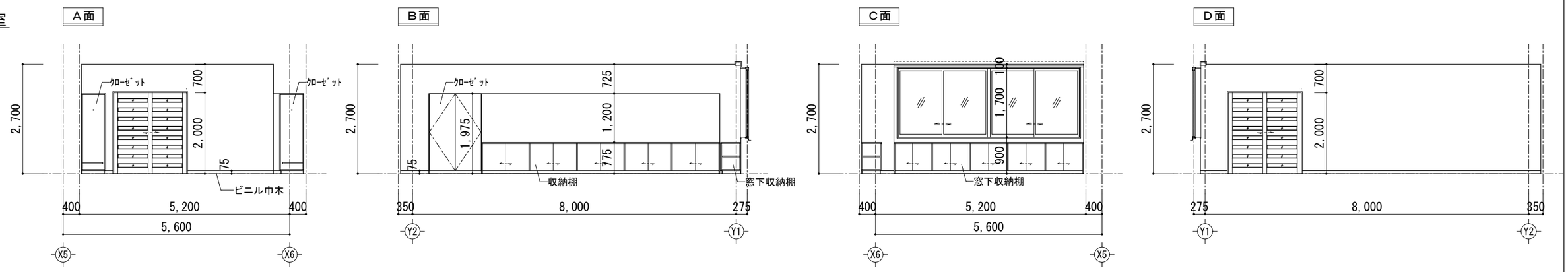


株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-47	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 / 図面名称 展開図-1	縮尺 1:100

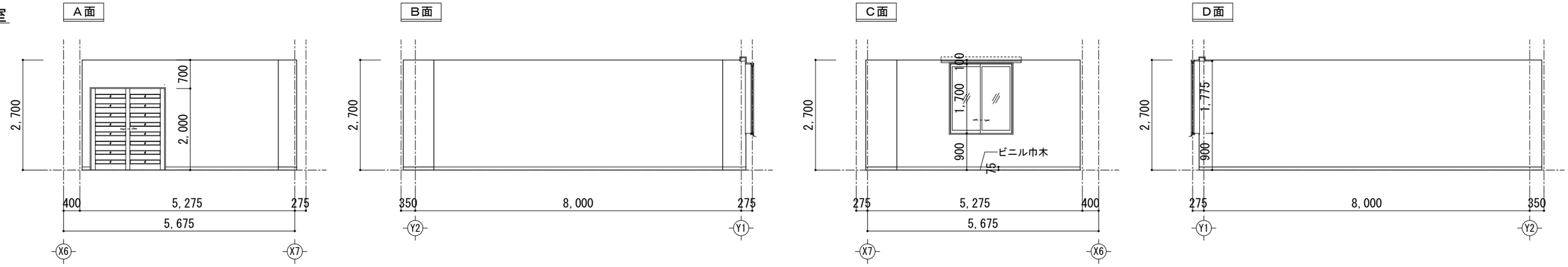
放送室



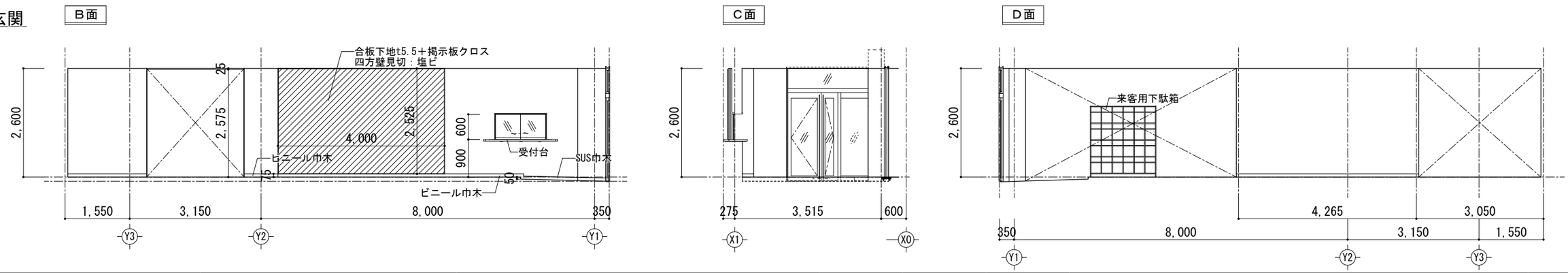
校長室



会議室

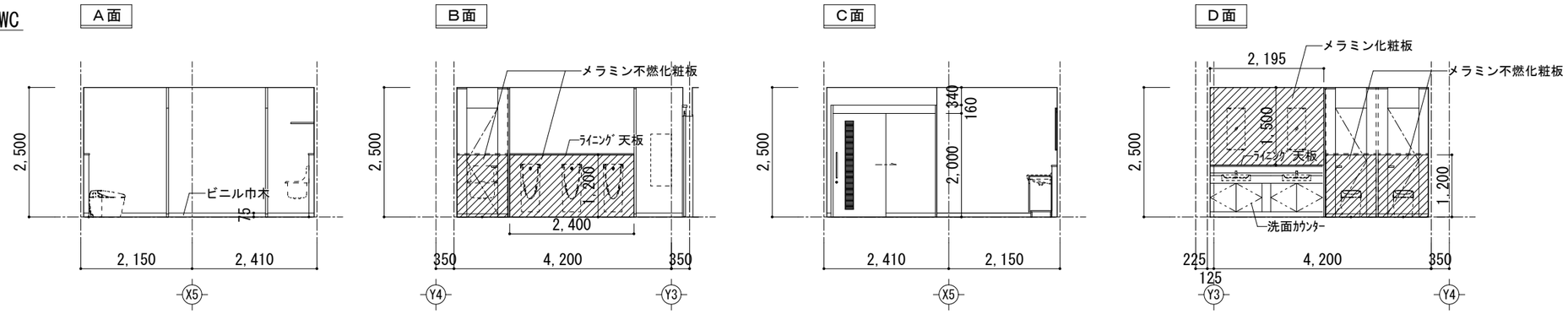


職員玄関

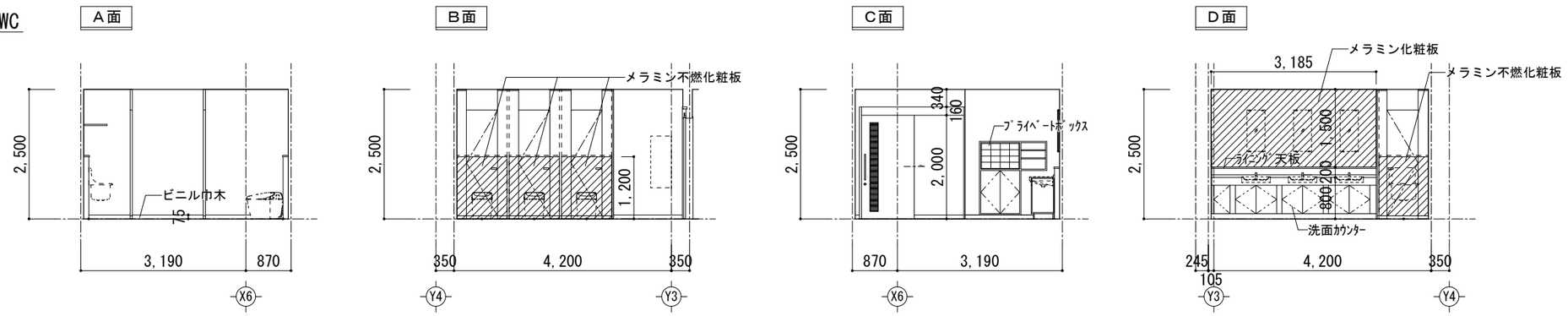


株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-48	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 / 図面名称 展開図-2	縮尺 1:100

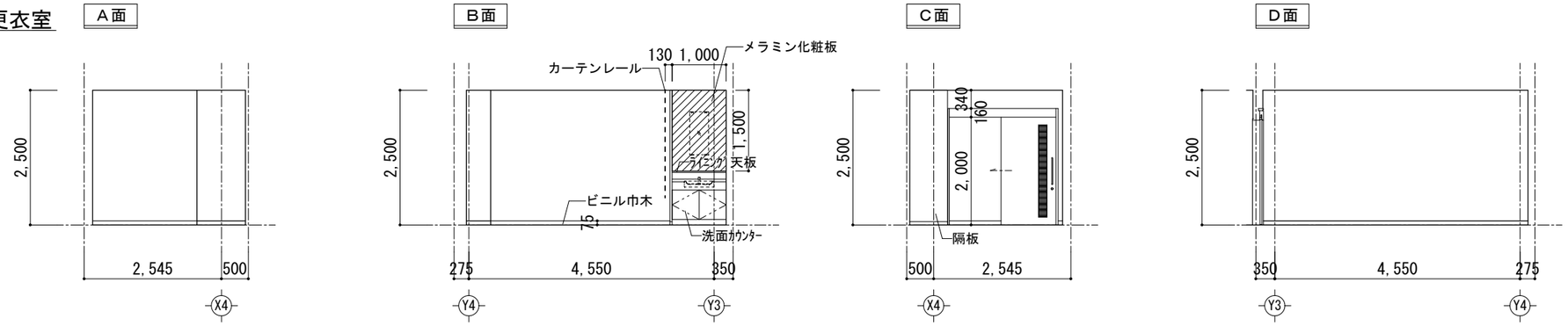
職員GWC



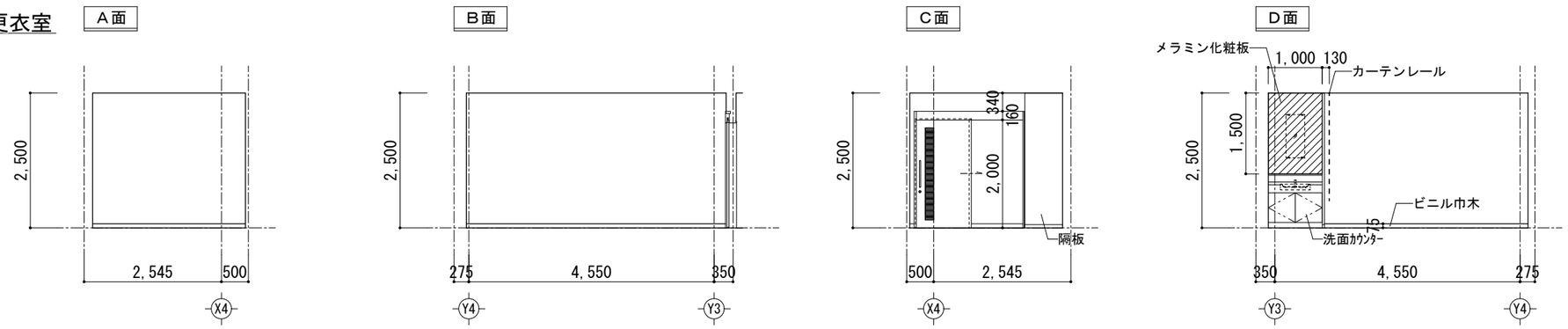
職員LWC



男子更衣室

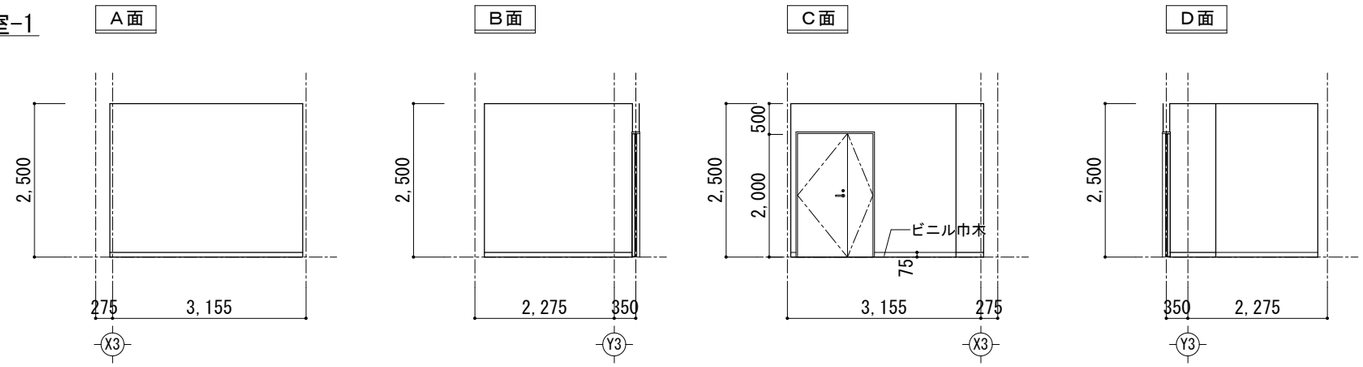


女子更衣室

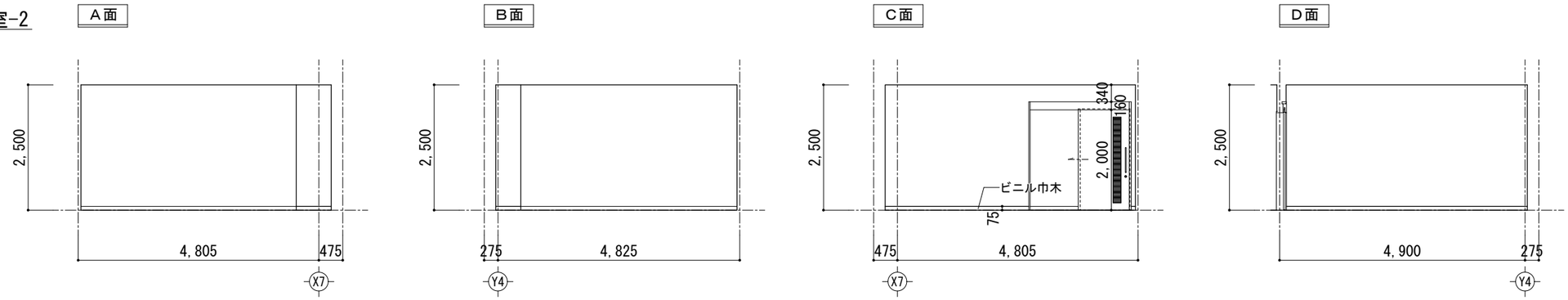


株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-49	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:100
						図面名称 展開図-3	

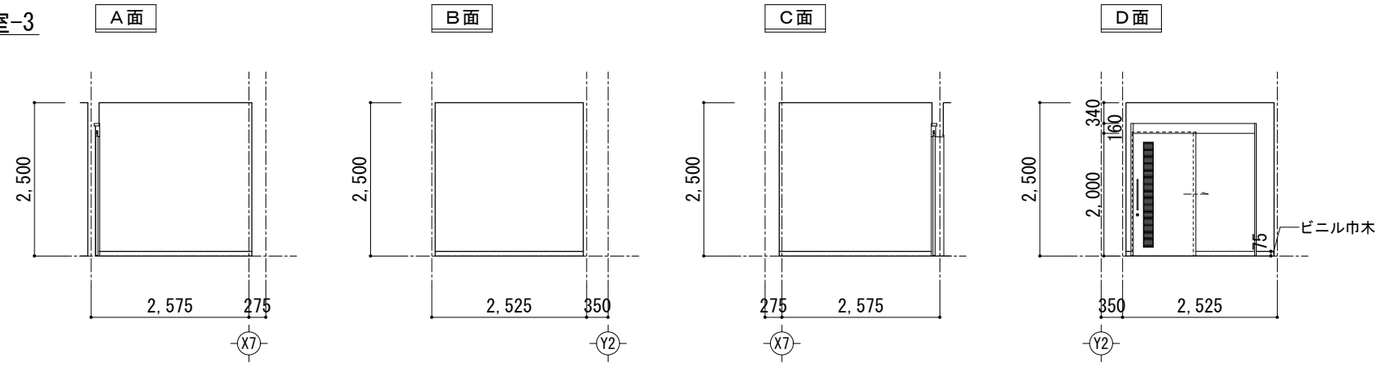
教材室-1



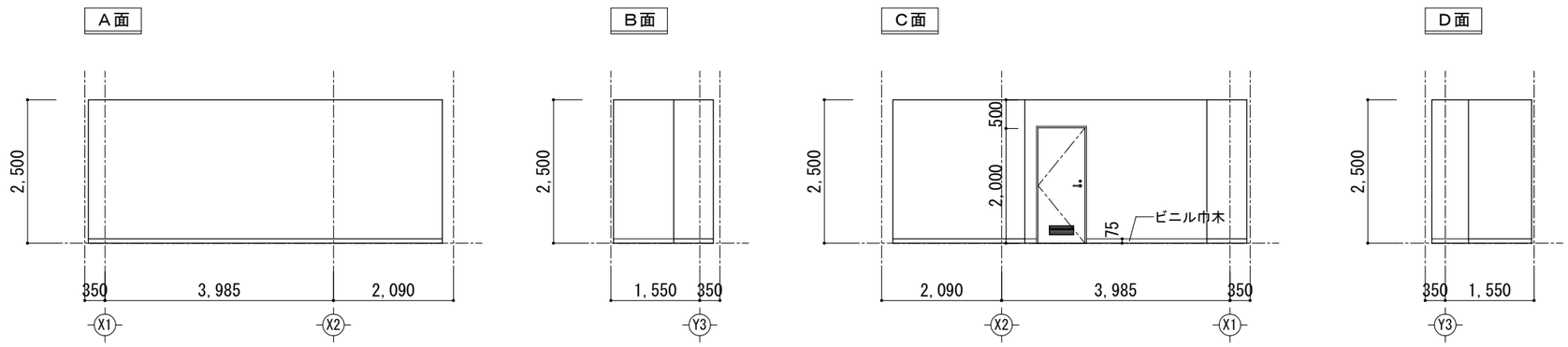
教材室-2



教材室-3



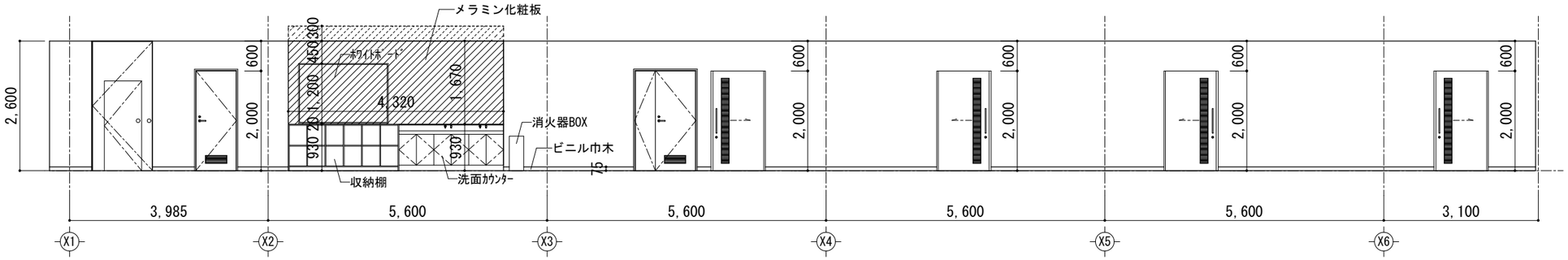
物入



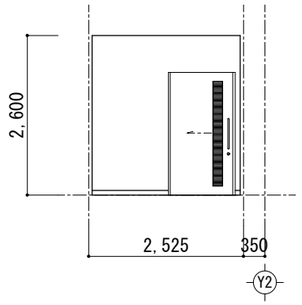
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-50	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 / 図面名称 展開図-4	縮尺 1:100

廊下

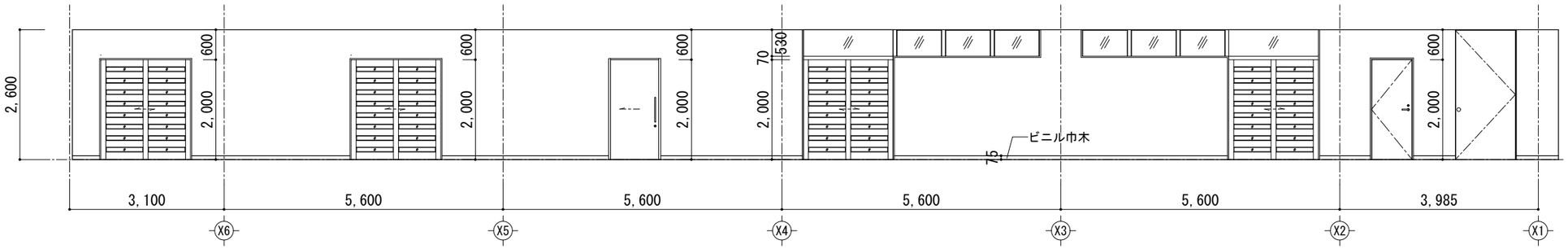
A面



B面

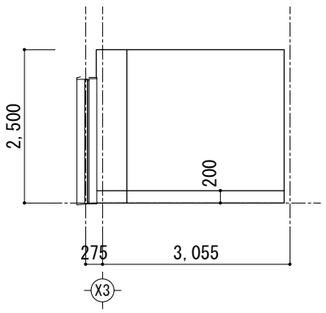


C面

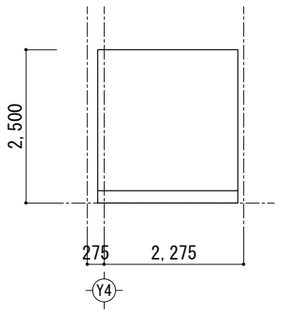


外部物入

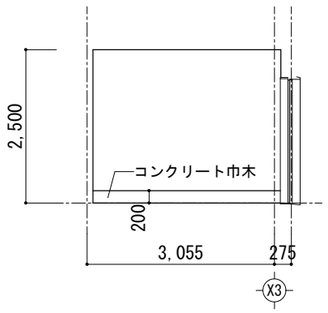
A面



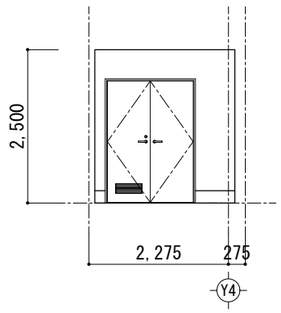
B面



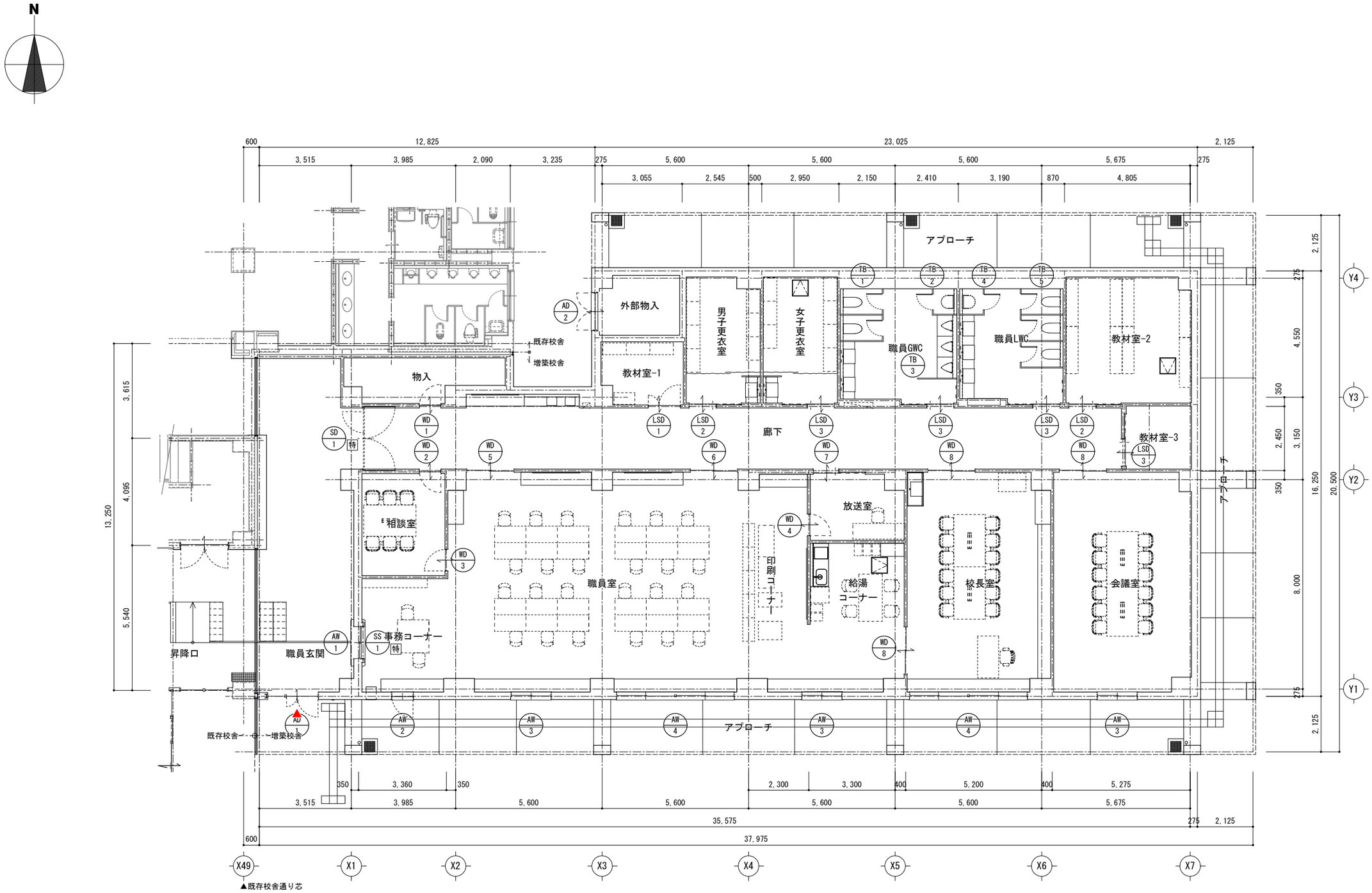
C面



D面



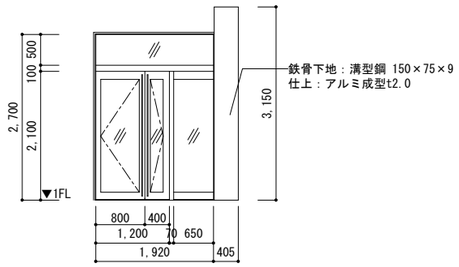
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-51	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 / 図面名称 展開図-5	縮尺 1:100

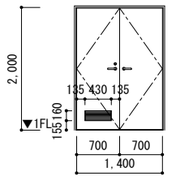


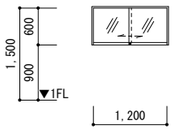
－凡例－

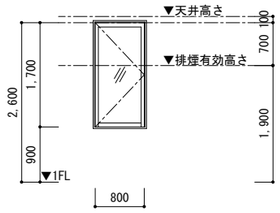
特	特定防火設備（随時閉鎖式）令112条第1項

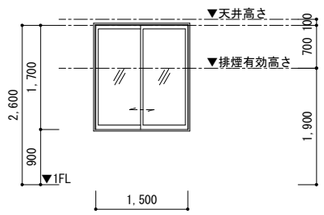
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-52	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:150
					図面名称	建具リスト（増築棟）	

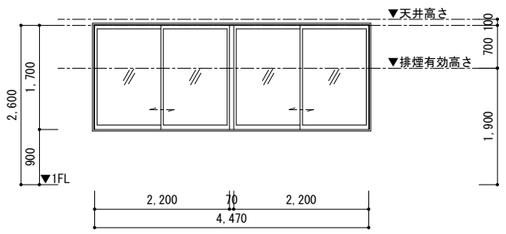
符号・種類	AD 1	框親子戸＋欄間FIX窓	見込：70
数・場所	1	職員玄関	
材料	アルミ		
仕上	BA-1種、内部3方額縁：アルミ製 AB-1種 見込95mm、Exp.J取合部：鉄骨下地（溝型鋼）、アルミ成形t2.0		
金物	ステンレス丁番、丸棒ハンドル L=2000:㈱ユニオン「G1240-01-090-P1925」同等品、電気錠		
	ドアクローザー（パラレル型）、フランス落し、SUS製沓摺t1.5、付属金物一式		
ガラス	Low-E複層 t5+t6A+t5		
備考	内側：飛散防止フィルム、断熱パッキン、電気錠用制御盤及びテンキーは電気設備工事とする		
姿図			

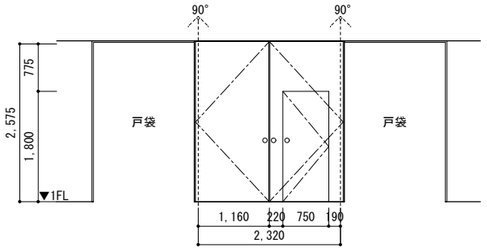
符号・種類	AD 2	両開きフラッシュ戸	見込：70 扉厚：40
数・場所	1	外部物入	
材料	アルミ		
仕上	BA-1種、3方額縁：アルミ製 AB-1種　見込125mm、ガラリ：SOP塗装		
金物	ステンレス丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、フランス落し		
	SUS製沓摺1.5、付属金物一式		
ガラス			
備考	アルミガラリ：430×160（開口率30%）、ステンレス防虫網		
姿図			

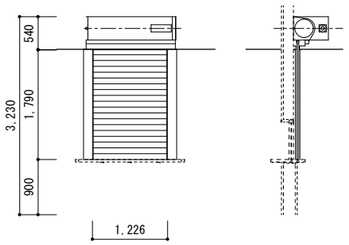
符号・種類	AW 1	引違い受付窓	見込：70
数・場所	1	職員玄関	
材料	アルミ		
仕上	AB-1種、額縁：アルミ製　AB-1種 見込200mm		
金物	プッシュロック、戸車、外れ止め、シャッター取合枠用アングルピース（アルミ製）、付属金物一式		
	ステンレスハカマレール、ステンレス上レール		
ガラス	フロート透明ガラス t5.0、引手掘		
備考			
姿図			

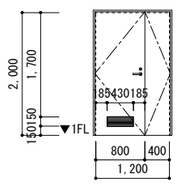
符号・種類	AW 2	片開き窓	見込：70
数・場所	1	職員室	
材料	アルミ		
仕上	BA-1種、内部額縁：木製（能登ヒバ）CL塗 見込115mm		
金物	ヒンジ、開き止め、補助ロック、内部額縁用アングルピース（結露受タイプ）		
	突き出し金物、水切り140mm、付属金物一式		
ガラス	Low-E複層 t5+t6A+t5		
備考	内側：飛散防止フィルム、断熱パッキン、網戸（ガラス繊維入合成樹脂）一振型		
姿図			

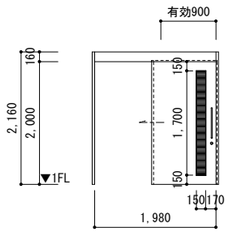
符号・種類	AW 3	引違い窓	見込：70
数・場所	3	職員室、会議室	
材料	アルミ		
仕上	BA-1種、内部額縁：木製（能登ヒバ）CL塗 見込115mm		
金物	クレセント、戸車、外れ止め、内部額縁用アングルピース（結露受タイプ）		
	水切り140mm、付属金物一式		
ガラス	Low-E複層 t5+t6A+t5		
備考	内側：飛散防止フィルム、断熱パッキン、網戸（ガラス繊維入合成樹脂）一振型		
姿図			

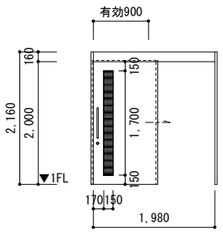
符号・種類	AW 4	2連引違い窓	見込：70
数・場所	2	職員室、校長室	
材料	アルミ		
仕上	BA-1種、内部額縁：木製（能登ヒバ）CL塗 見込115mm		
金物	クレセント、戸車、外れ止め、内部額縁用アングルピース（結露受タイプ）		
	水切り140mm、付属金物一式		
ガラス	Low-E複層 t5+t6A+t5		
備考	内側：飛散防止フィルム、断熱パッキン、網戸（ガラス繊維入合成樹脂）一振型		
姿図			

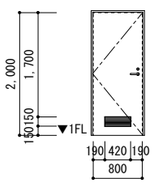
符号・種類	SD 1	戸袋付両開きフラッシュ戸〈随時閉鎖式特定防火設備〉	見込：135 扉厚：50
数・場所	1	廊下	
材料	扉：溶融亜鉛メッキ鋼板t1.6、枠：要鳥有亜鉛メッキ鋼板t2.3		
仕上	SOP塗装		
金物	オートヒンジ、沓摺：SUSt1.5 成形40×20、ケースハンドル、付属金物一式		
ガラス			
備考	煙感知器連動		
姿図	〈特定防火設備：H12建設省告示1369号〉 		

符号・種類	SS 1	防火シャッター〈随時閉鎖式特定防火設備〉	見込：130
数・場所	1	職員室	
材料	スチール		
仕上	SOP塗装		
金物	ガイドレール、カバー鋼板・座板：溶融亜鉛メッキ鋼板t1.6、付属金物一式		
ガラス			
備考	煙感知器連動、上部電動式、自動閉鎖防災システム、障害物検知装置/避難時停止装置		
姿図	〈特定防火設備：S48建設省告示2563号〉 		

符号・種類	LSD 1	親子フラッシュ戸	見込：130 扉厚：40
数・場所	1	教材室-1	
材料	扉：ペーパーコア（芯材）・溶融亜鉛メッキ鋼板t0.6、枠・額縁：溶融亜鉛メッキ鋼板t1.6		
仕上	扉：粘着剤付き化粧フィルム、枠・ガラリ：SOP塗装		
金物	ステンレス丁番、レバーハンドル:㈱ユニオン「UL1110-002」同等品、シリンダー錠		
	ドアクローザー（パラレル型）、フランス落し、沓摺：SUSt1.5 成形40×20、戸当り、付属金物一式		
ガラス			
備考	スチールガラリ：420×150（開口率30%）		
姿図			

符号・種類	LSD 2	片引きフラッシュハンガー戸	見込：205 扉厚：40
数・場所	2	男子更衣室、教材室-2	
材料	扉：溶融亜鉛メッキ鋼板t0.6、枠・額縁：溶融亜鉛メッキ鋼板t1.6		
仕上	扉：粘着剤付き化粧フィルム、枠・ガラリ：SOP塗装		
金物	吊り金物、自閉装置、シリンダー錠（サムターン付）、付属金物一式		
	SUS丸棒ハンドル L=600：㈱ユニオン「G1110-71-758-L600」同等品		
ガラス			
備考	スチールガラリ：150×1700（開口率30%）		
姿図			

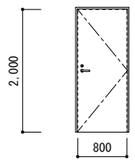
符号・種類	LSD 3	片引きフラッシュハンガー戸	見込：205 扉厚：40
数・場所	4	女子更衣室、職員GWC、職員LWC、教材室-3	
材料	扉：溶融亜鉛メッキ鋼板t0.6、枠・額縁：溶融亜鉛メッキ鋼板t1.6		
仕上	扉：粘着剤付き化粧フィルム、枠・ガラリ：SOP塗装		
金物	吊り金物、自閉装置、シリンダー錠（サムターン付）、付属金物一式		
	SUS丸棒ハンドル L=600：㈱ユニオン「G1110-71-758-L600」同等品		
ガラス			
備考	スチールガラリ：150×1700（開口率30%）		
姿図			

符号・種類	WD 1	片開きフラッシュ戸	見込：190 扉厚：40
数・場所	1	物入	
材料	芯材：木軸下地、扉・枠：木製		
仕上	扉：メラミン化粧板貼、枠・ガラリ：SOP塗装		
金物	ステンレス丁番、シリンダー錠（サムターン付）、沓摺：SUSt1.5 成形40×20、戸当り、付属金物一式		
	レバーハンドル:㈱ユニオン「UL1110-002」同等品		
ガラス			
備考	木製ガラリ：420×150（開口率30%）		
姿図			

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-53	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 建具図-1（増築棟）	縮尺 1:100

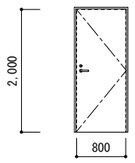
符号・種類	WD 2	片開きフラッシュ戸	見込：195 / 扉厚：40
数・場所	1	相談室	
材料	芯材：木軸下地、扉・枠：木製		
仕上	扉：メラミン化粧板貼、枠類：着色CL塗		
金物	ステンレス丁番、シリンダー錠（サムターン付）、沓摺：SUSt1.5 成形40×20、戸当り、付属金物一式		
	レバーハンドル:㈱ユニオン「UL1110-002」同等品		
ガラス			
備考			

姿図



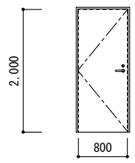
符号・種類	WD 3	片開きフラッシュ戸	見込：130 / 扉厚：40
数・場所	1	相談室	
材料	芯材：木軸下地、扉・枠：木製		
仕上	扉：メラミン化粧板貼、枠類：着色CL塗		
金物	ステンレス丁番、シリンダー錠（サムターン付）、沓摺：SUSt1.5 成形40×20、戸当り、付属金物一式		
	レバーハンドル:㈱ユニオン「UL1110-002」同等品		
ガラス			
備考			

姿図



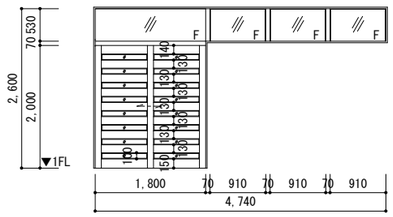
符号・種類	WD 4	片開きフラッシュ戸	見込：130 / 扉厚：40
数・場所	1	放送室	
材料	芯材：木軸下地、扉・枠：木製		
仕上	扉：メラミン化粧板貼、枠類：着色CL塗		
金物	ステンレス丁番、シリンダー錠（サムターン付）、沓摺：SUSt1.5 成形40×20、戸当り、付属金物一式		
	レバーハンドル:㈱ユニオン「UL1110-002」同等品		
ガラス			
備考			

姿図



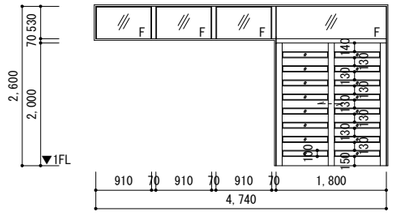
符号・種類	WD 5	引違い框戸＋欄間FIX窓	見込：135 / 扉厚：40
数・場所	1	職員室	
材料	扉框：タモ単材、無目(70×120)：タモ積層材、敷居(35×120):マツ積層材、枠：スチール成形t1.6		
仕上	扉・額縁：着色CL塗、枠：SOP塗装		
金物	戸車、鎌錠（サムターン付）、引手、ストッパー、付属金物一式		
ガラス	欄間：フロート透明ガラス t5.0、その他：学校用強化型板t4.0		
備考	アルミV型埋め込みレール・戸先指詰め防止緩衝材		

姿図



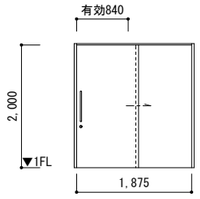
符号・種類	WD 6	引違い框戸＋欄間FIX窓	見込：135 / 扉厚：40
数・場所	1	職員室	
材料	扉框：タモ単材、無目(70×120)：タモ積層材、敷居(35×120):マツ積層材、枠：スチール成形t1.6		
仕上	扉・枠・額縁：CL塗		
金物	戸車、鎌錠（サムターン付）、引手、ストッパー、付属金物一式		
ガラス	欄間：フロート透明ガラス t5.0、その他：学校用強化型板t4.0		
備考	アルミV型埋め込みレール・戸先指詰め防止緩衝材		

姿図



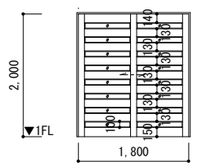
符号・種類	WD 7	片引きフラッシュ戸	見込：210 / 扉厚：40
数・場所	1	放送室	
材料	芯材：木軸下地、扉・枠・敷居：木製		
仕上	扉：メラミン化粧板貼、枠類：CL塗		
金物	鎌錠（サムターン付）、SUS丸棒ハンドル L=600：㈱ユニオン「G1110-71-758-L600」同等品		
	戸車、付属金物一式		
ガラス			
備考			

姿図



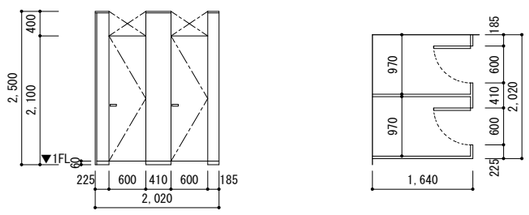
符号・種類	WD 8	引違い框戸＋欄間FIX窓	見込：135 / 扉厚：40
数・場所	3	職員室、校長室、会議室	
材料	扉框：タモ単材、無目(70×120)：タモ積層材、敷居(35×120):マツ積層材		
仕上	扉・枠・額縁：CL塗		
金物	戸車、鎌錠（サムターン付）、引手、ストッパー、付属金物一式		
ガラス	学校用強化型板t4.0		
備考	アルミV型埋め込みレール・戸先指詰め防止緩衝材		

姿図



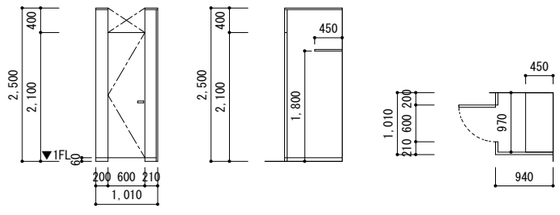
符号・種類	TB 1	トイレブース	見込：40
数・場所	1	職員GWC	
材料	芯材：ペーパーコア、表面材高圧メラミン化粧板		
仕上	笠木アルミ押出型材		
金物	グレビティヒンジ、表示錠、ストライク、ステンレス巾木(H=60)		
	戸当り、付属金物一式		
ガラス			
備考			

姿図



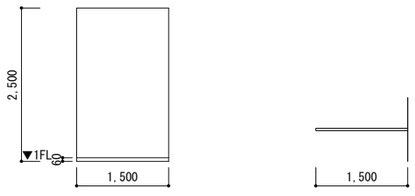
符号・種類	TB 2	トイレブース	見込：40
数・場所	1	職員GWC	
材料	芯材：ペーパーコア、表面材高圧メラミン化粧板、棚天板ポストフォームt25		
仕上	笠木アルミ押出型材		
金物	グレビティヒンジ、ストライク、ステンレス巾木(H=60)		
	戸当り、付属金物一式		
ガラス			
備考			

姿図



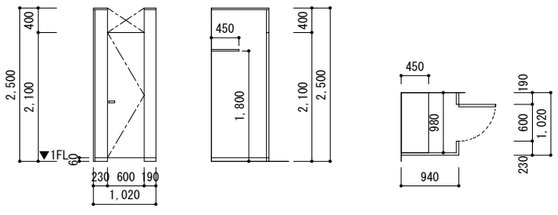
符号・種類	TB 3	トイレブース	見込：40
数・場所	1	職員GWC	
材料	芯材：ペーパーコア、表面材高圧メラミン化粧板		
仕上	笠木アルミ押出型材		
金物	ステンレス巾木(H=60)、付属金物一式		
ガラス			
備考			

姿図



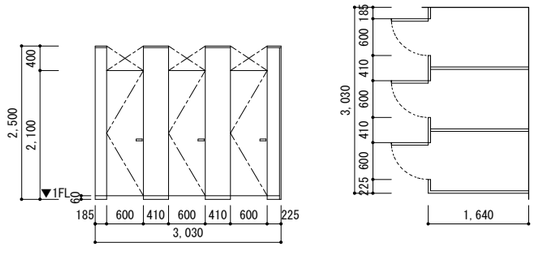
符号・種類	TB 4	トイレブース	見込：40
数・場所	1	職員LWC	
材料	芯材：ペーパーコア、表面材高圧メラミン化粧板、棚天板ポストフォームt25		
仕上	笠木アルミ押出型材		
金物	グレビティヒンジ、ストライク、ステンレス巾木(H=60)		
	戸当り、付属金物一式		
ガラス			
備考			

姿図

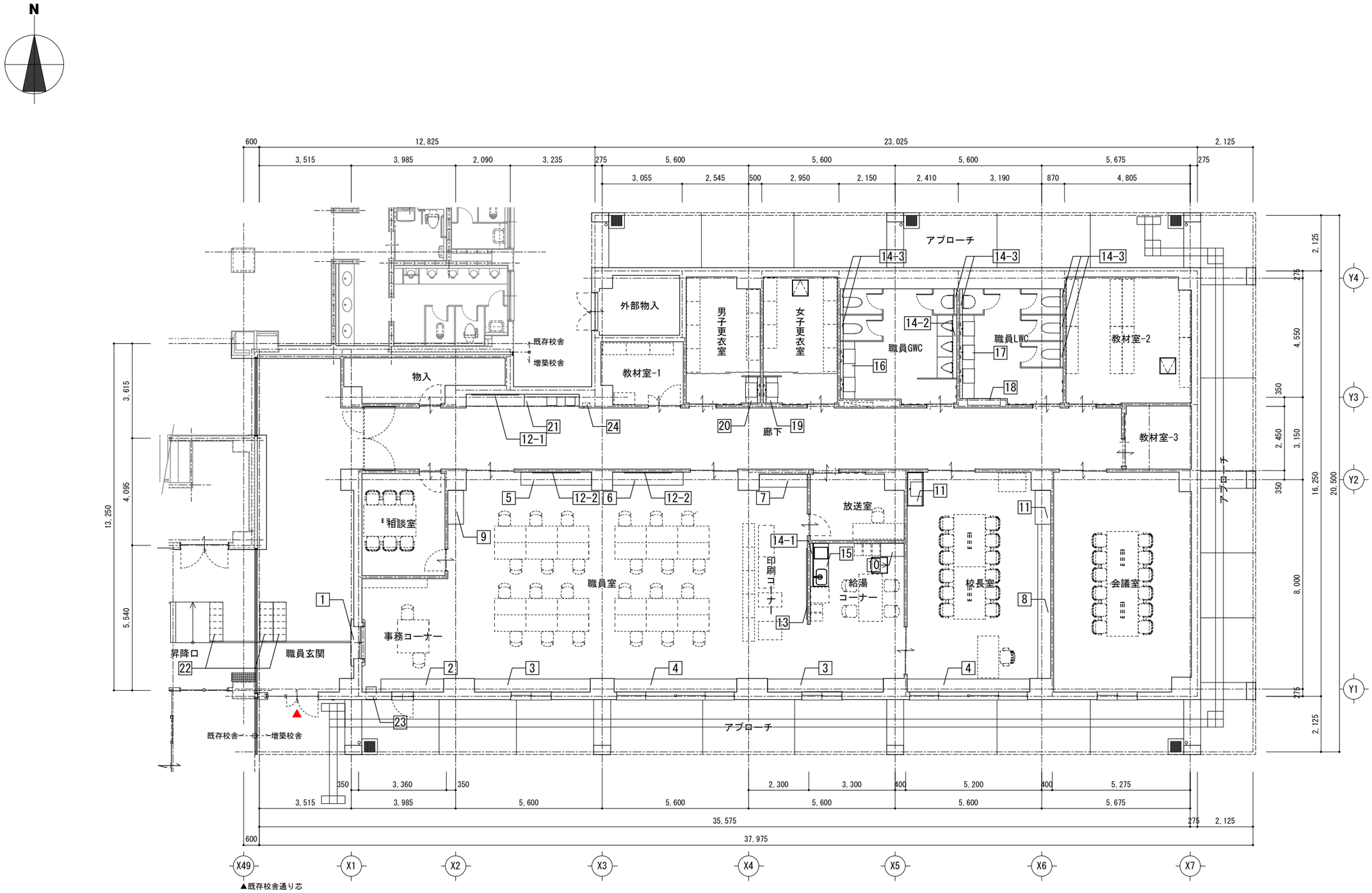


符号・種類	TB 5	トイレブース	見込：40
数・場所	1	職員LWC	
材料	芯材：ペーパーコア、表面材高圧メラミン化粧板		
仕上	笠木アルミ押出型材		
金物	グレビティヒンジ、表示錠、ストライク、ステンレス巾木(H=60)		
	戸当り、付属金物一式		
ガラス			
備考			

姿図



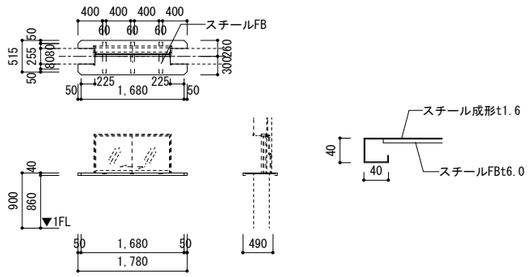
株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-54	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:100
					図面名称 建具図-2（増築棟）	

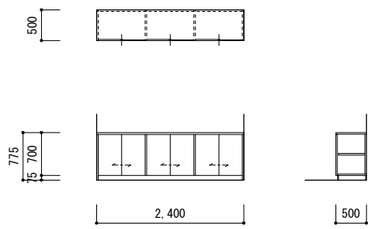


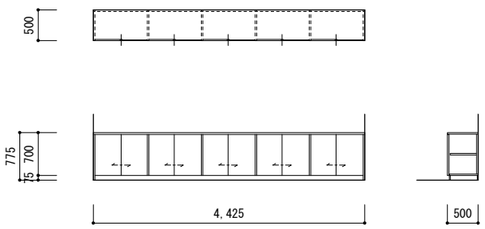
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-55	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:150
						図面名称 家具リスト（増築棟）	

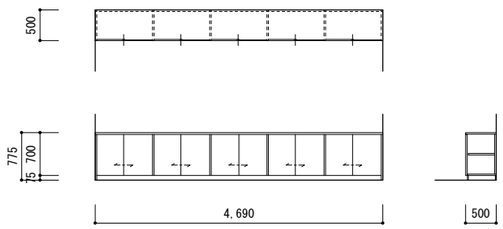
符号・種類	1	受付台	2	窓下収納棚	3	窓下収納棚	4	窓下収納棚
数・場所	1	職員玄関	1	職員室	2	職員室	2	職員室、校長室
材料	カウンター：スチール成形t1.6、底盤：スチールFB 60×500×6		天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木		天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木		天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木	
仕上	塩ビシート貼		メラミン化粧板、内部ポリ合板		メラミン化粧板、内部ポリ合板		メラミン化粧板、内部ポリ合板	
金物			戸車、レール、取手、シリンダープッシュ錠、付属金物一式		戸車、レール、取手、付属金物一式		戸車、レール、取手、付属金物一式	
			ステンレス棚柱、棚受		ステンレス棚柱、棚受		ステンレス棚柱、棚受	
ガラス								
備考	ステンレスレール埋込（AW-1）溝加工							

姿図



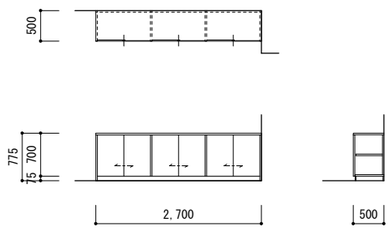


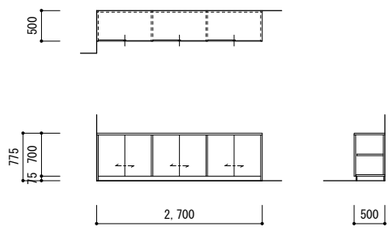


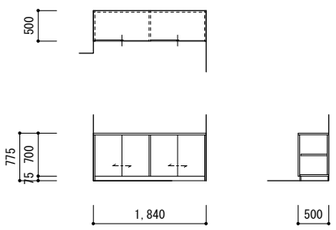


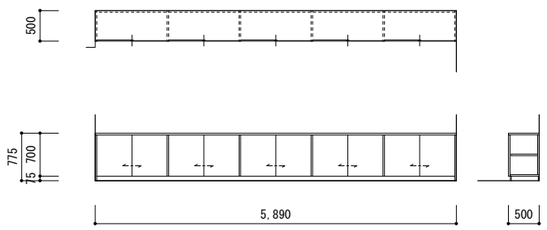
符号・種類	5	収納棚	6	収納棚	7	収納棚	8	収納棚
数・場所	1	職員室	1	職員室	1	職員室	1	校長室
材料	天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木		天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木		天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木		天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木	
仕上	メラミン化粧板、内部ポリ合板		メラミン化粧板、内部ポリ合板		メラミン化粧板、内部ポリ合板		メラミン化粧板、内部ポリ合板	
金物	戸車、レール、取手、付属金物一式		戸車、レール、取手、付属金物一式		戸車、レール、取手、付属金物一式		戸車、レール、取手、付属金物一式	
	ステンレス棚柱、棚受		ステンレス棚柱、棚受		ステンレス棚柱、棚受		ステンレス棚柱、棚受	
ガラス								
備考								

姿図



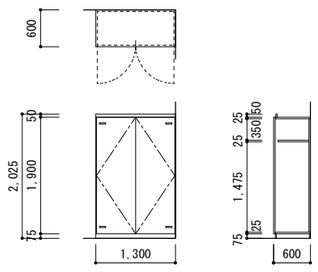


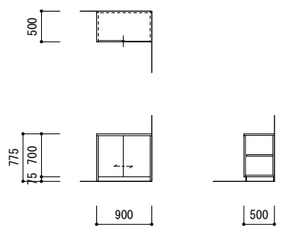


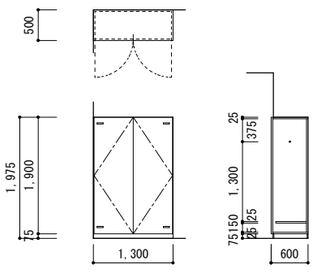


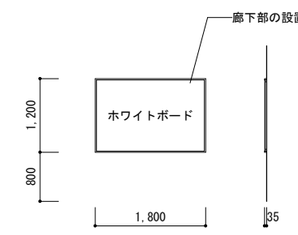
符号・種類	9	掃除用具入れ	10	収納棚	11	クローゼット	12	ホワイトボード
数・場所	1	職員室	1	職員室	2	校長室	3	職員室、廊下
材料	扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木		天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木		扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木		枠：アルミ、ホーロー白板	
仕上	メラミン化粧板、内部ポリ合板		メラミン化粧板、内部ポリ合板		メラミン化粧板、内部ポリ合板			
金物	丁番、取手、付属金物一式		戸車、レール、取手、付属金物一式		丁番、取手、ステンレスパイプ25φ、付属金物一式		アルミ受皿、付属金物一式	
	マグネットキャッチ		ステンレス棚柱、棚受		マグネットキャッチ			
ガラス								
備考	通気口				通気口			

姿図







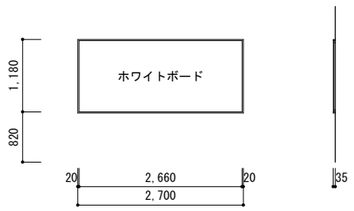


12-1	W=1,800、H=1,200	1ヶ所
12-2	W=2,940、H=1,270	2ヶ所

株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-56	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:100
					図面名称	家具図-1（増築棟）	

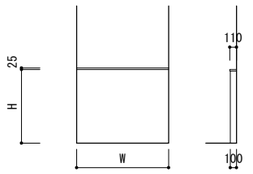
符号・種類	13	ホワイトボード
数・場所	1	職員室
材料	枠：アルミ、ホーロー白板	
仕上		
金物	アルミ受皿、付属金物一式	
ガラス		
備考		

姿図



符号・種類	14	ライニング天板
数・場所	※下記	職員室、職員GWC、職員LWC
材料	芯材：耐水KMDF	
仕上	メラミン化粧板、ポストフォーム加工	
金物		
ガラス		
備考		

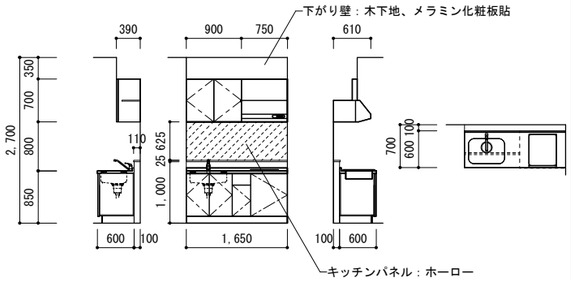
姿図



14-1	W=1,650、H=1000	1ヶ所
14-2	W=2,400、H=1200	1ヶ所
14-3	W=970、H=1200	7ヶ所

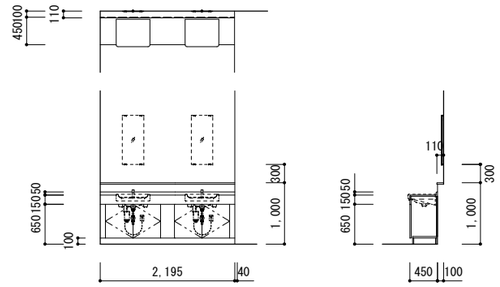
符号・種類	15	コンパクトキッチン
数・場所	1	職員室
材料	ライニング天板：芯材：ポストフォーム（耐水KMDF）	
仕上	ライニング：メラミン化粧板、ポストフォーム加工、キッチンパネル：ホーロー	
金物	水栓等付属金物一式	
ガラス		
備考	タカラスタンダード株式会社「アピスカ」同等品、2口IHヒーター：ビルドイン、レンジフード、ファン	

姿図



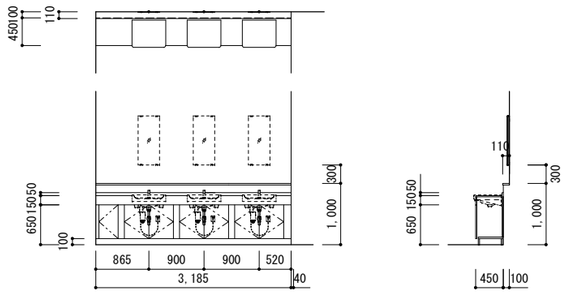
符号・種類	16	洗面カウンター
数・場所	1	職員GWC
材料	ライニング天板・カウンター：ポストフォーム（耐水KMDF）	
仕上	ライニング：メラミン化粧板、扉：メラミン化粧板、巾木：メラミン化粧板、棚内部：ポリ合板	
金物	隠し丁番：ステンレス製、マグネットキャッチ、取手、付属金物一式	
ガラス		
備考	衛生陶器穴開け加工、化粧鏡（設備工事）	

姿図



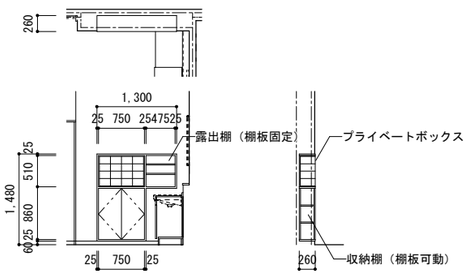
符号・種類	17	洗面カウンター
数・場所	1	職員LWC
材料	ライニング天板・カウンター：ポストフォーム（耐水KMDF）	
仕上	ライニング：メラミン化粧板、扉：メラミン化粧板、巾木：メラミン化粧板、棚内部：ポリ合板	
金物	隠し丁番：ステンレス製、マグネットキャッチ、取手、付属金物一式	
ガラス		
備考	衛生陶器穴開け加工、化粧鏡（設備工事）	

姿図



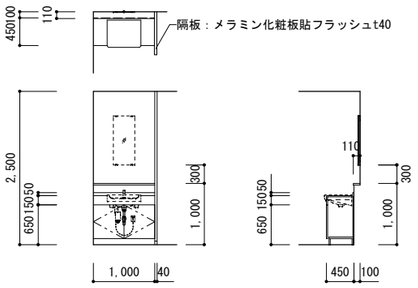
符号・種類	18	プライベートボックス
数・場所	1	職員LWC
材料	枠・露出棚板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）	
仕上	扉・枠・外装・露出棚板：メラミン化粧板、棚内部：ポリ合板	
金物	隠し丁番：ステンレス製、マグネットキャッチ、取手、付属金物一式	
	ステンレス棚板、棚受	
ガラス		
備考	プライベートボックス：TOTO㈱「UTR429」同等品	

姿図



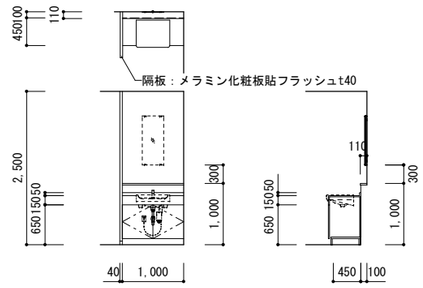
符号・種類	19	洗面カウンター
数・場所	1	女子更衣室
材料	ライニング天板・カウンター：ポストフォーム（耐水KMDF）	
仕上	ライニング：メラミン化粧板、扉：メラミン化粧板、巾木：メラミン化粧板、棚内部：ポリ合板	
金物	隠し丁番：ステンレス製、マグネットキャッチ、取手、付属金物一式	
ガラス		
備考	隔板：メラミン化粧板貼フラッシュt40、衛生陶器穴開け加工、化粧鏡（設備工事）	

姿図



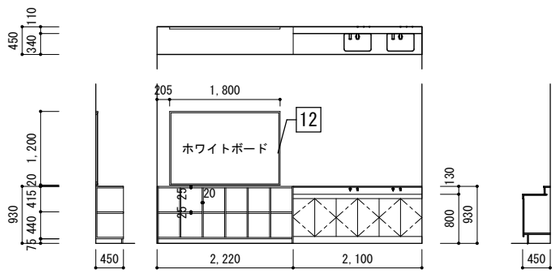
符号・種類	20	洗面カウンター
数・場所	1	男子更衣室
材料	ライニング天板・カウンター：ポストフォーム（耐水KMDF）	
仕上	ライニング：メラミン化粧板、扉：メラミン化粧板、巾木：メラミン化粧板、棚内部：ポリ合板	
金物	隠し丁番：ステンレス製、マグネットキャッチ、取手、付属金物一式	
ガラス		
備考	隔板：メラミン化粧板貼フラッシュt40、衛生陶器穴開け加工、化粧鏡（設備工事）	

姿図



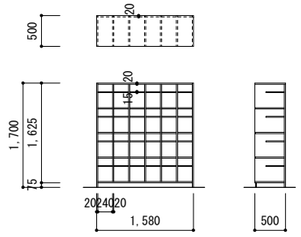
符号・種類	21	洗面カウンター・収納棚
数・場所	1	廊下
材料	収納棚天板：ランバーコア合板（芯材）、内部棚板：木製	
仕上	扉：メラミン化粧板、巾木：メラミン化粧板、棚内部：ポリ合板、収納棚：メラミン化粧板	
金物	ホワイトボード：アルミ受皿、隠し丁番：ステンレス製	
ガラス		
備考	カウンター洗面器一体タイプ（設備工事）	

姿図



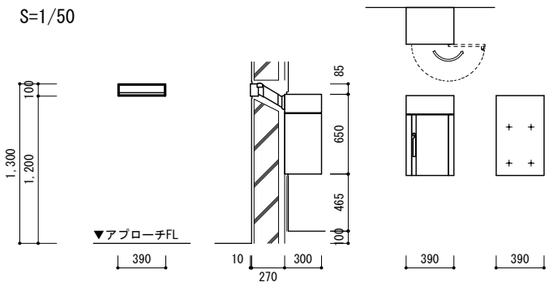
符号・種類	22	職員・来客用下駄箱
数・場所	3	職員玄関、昇降口
材料	天板：ランバーコア合板（芯材）、内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木	
仕上	メラミン化粧板	
金物		
ガラス		
備考		

姿図



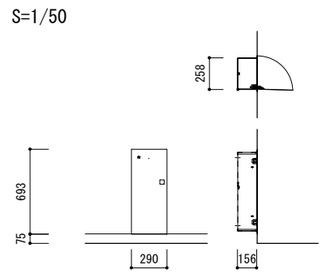
符号・種類	23	郵便受け（前入後出）
数・場所	1	職員室
材料	本体・ポストロ枠、差入口プレート：ステンレス板、連結パイプ：ポリエチレン樹脂	
仕上	ステンレス板：ヘアライン・鏡面仕上げ	
金物	付属金物一式	
ガラス		
備考	田島メタルワーク㈱「MX-102」同等品	

姿図

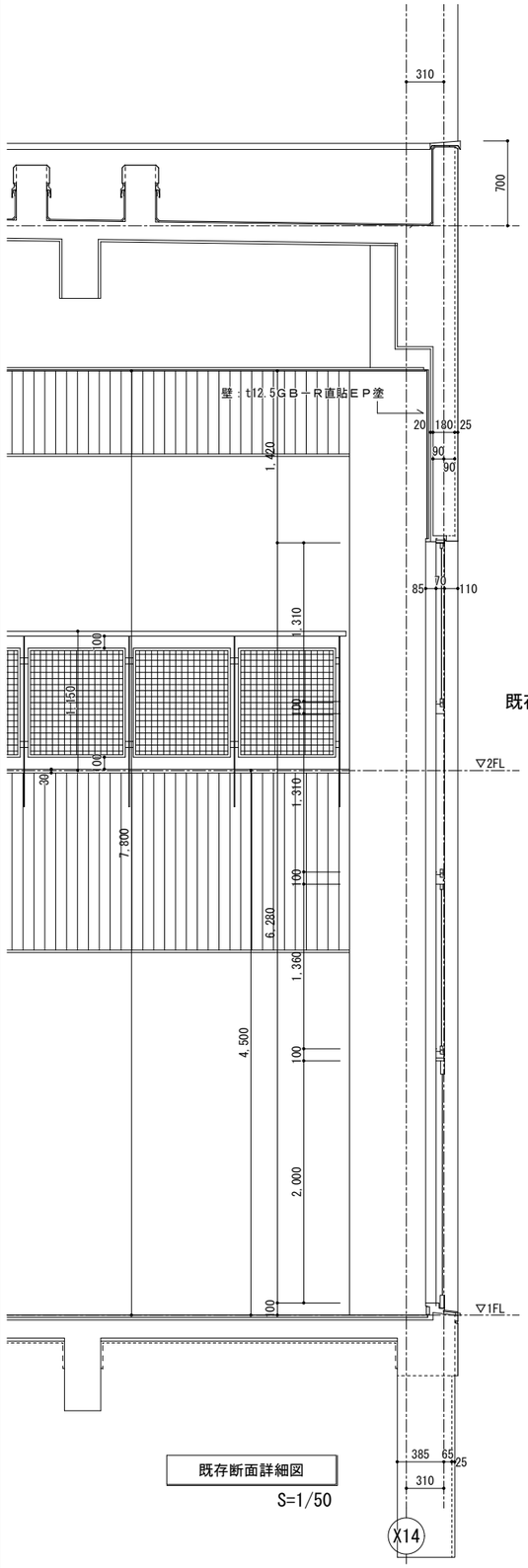


符号・種類	24	消火器ボックス
数・場所	1	廊下
材料	本体：スチールt1.6、扉：スチールt2.3	
仕上	本体：粉体塗装、扉：アクリル焼付塗装	
金物	付属金物一式	
ガラス		
備考	㈱ナスタ「KS-FE01F-W」同等品	

姿図



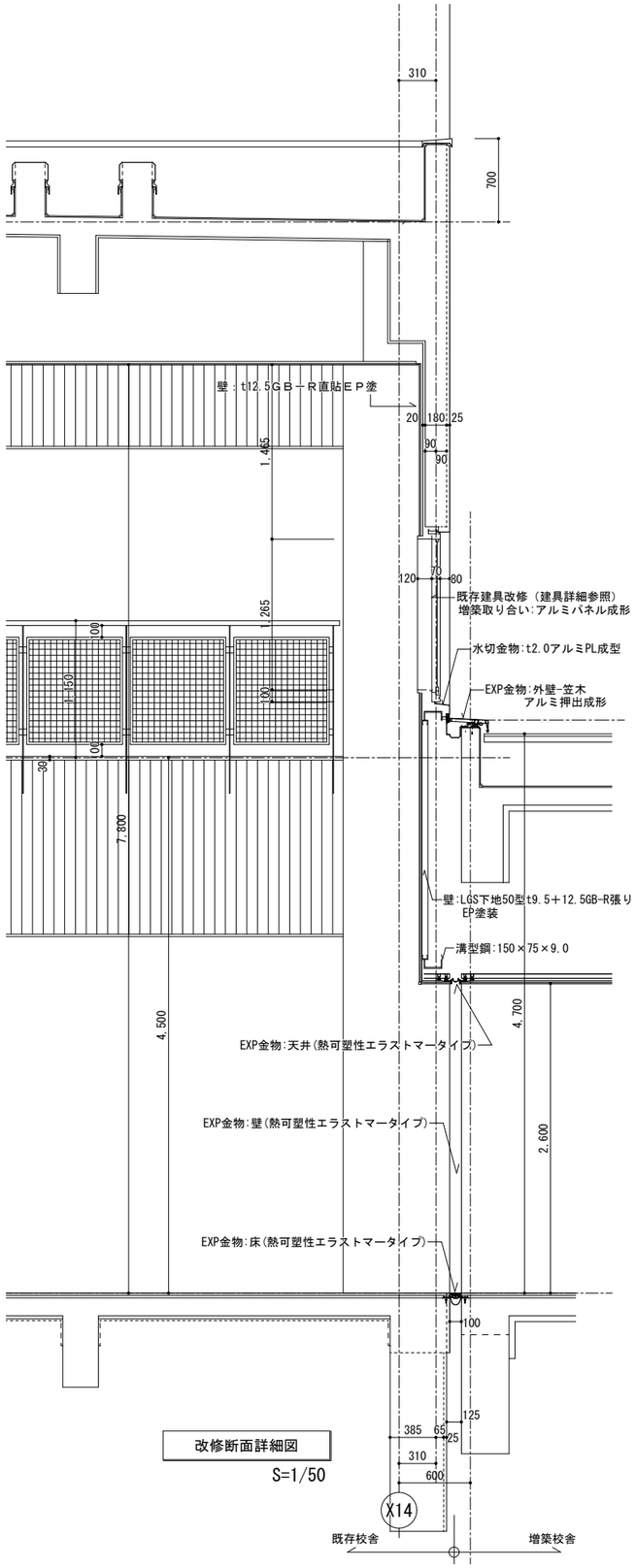
株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-57	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:100
					図面名称 家具図-2（増築棟）	



既存断面詳細図

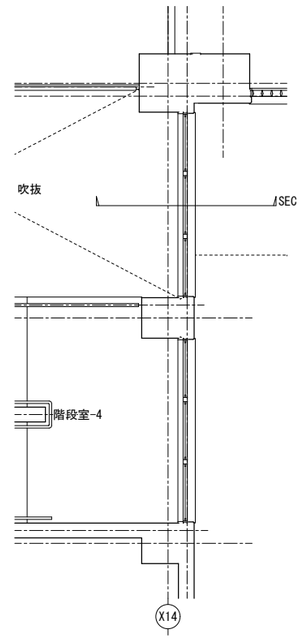
S=1/50

既存図 → 改修図



改修断面詳細図

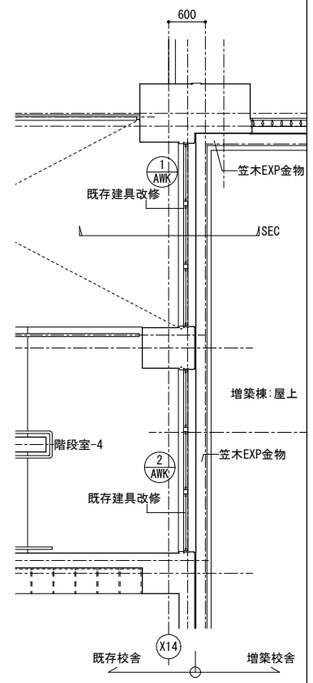
S=1/50



既存2階平面図

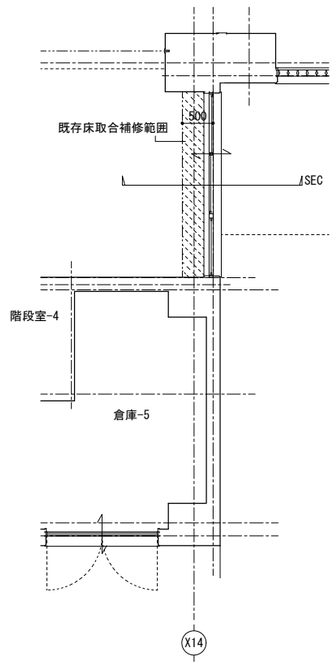
S=1/100

既存図 → 改修図



増築後2階平面図

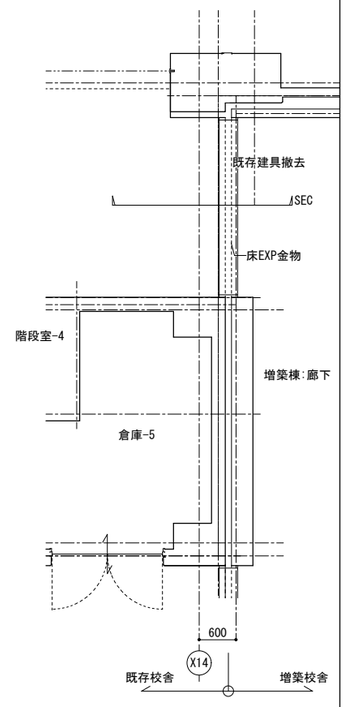
S=1/100



既存1階平面図

S=1/100

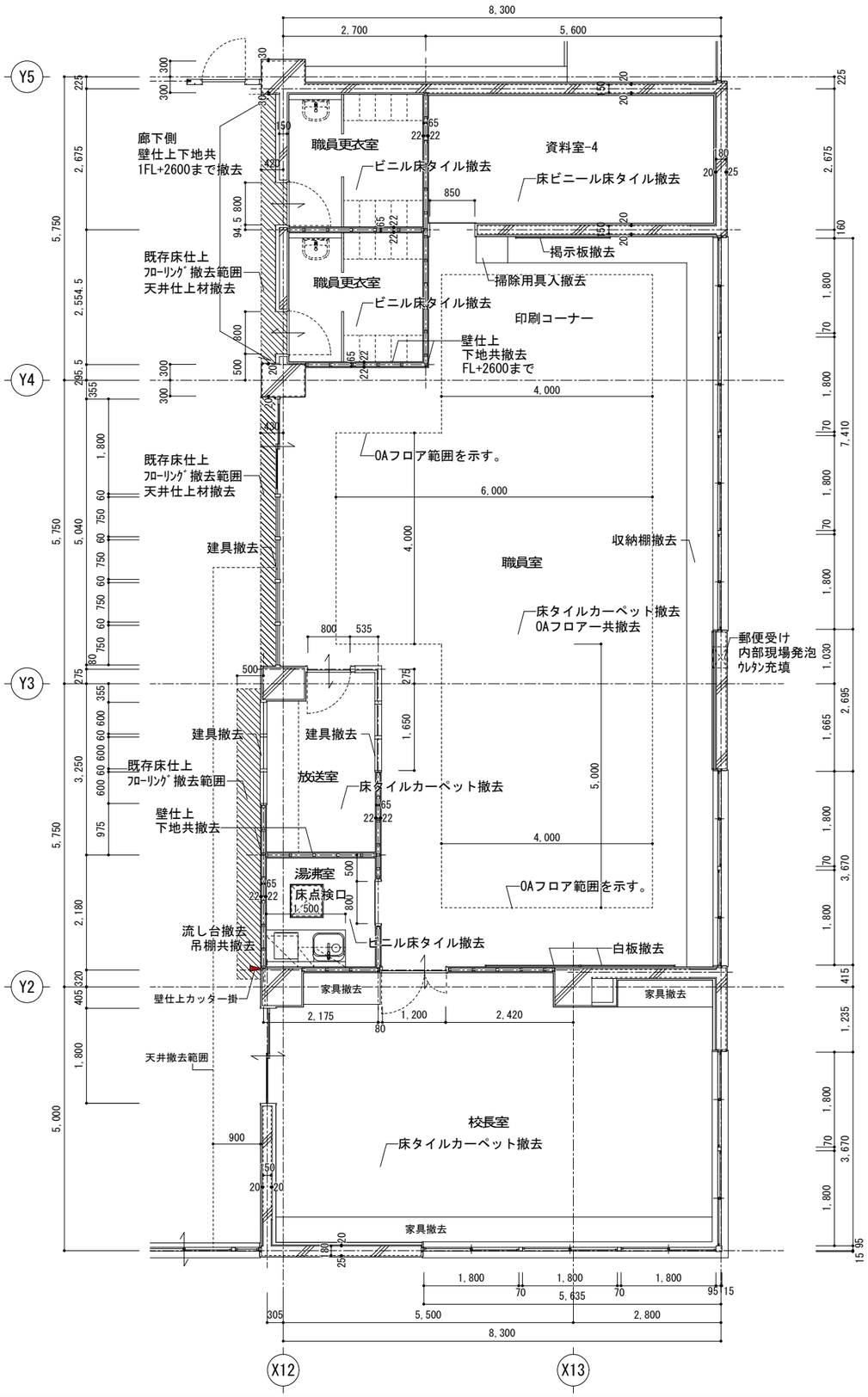
既存図 → 改修図



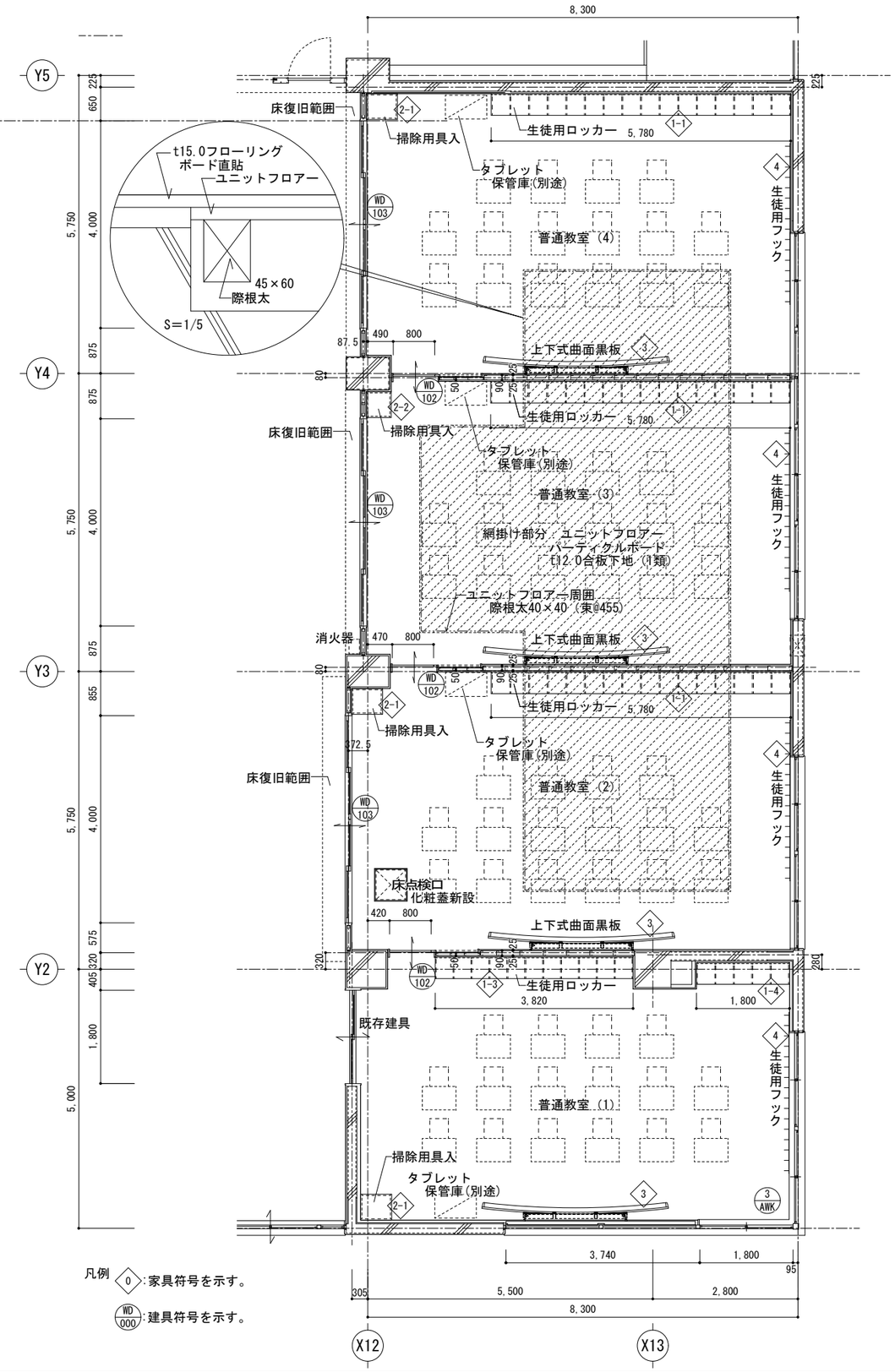
増築後1階平面図

S=1/100

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-58	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:50 1:100
						図面名称 既存改修　矩計図（開口部改修）	



既存図 ⇒ 改修図



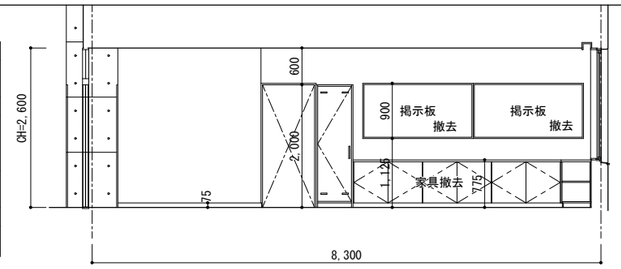
凡例 ◇0：家具符号を示す。

WD/000：建具符号を示す。

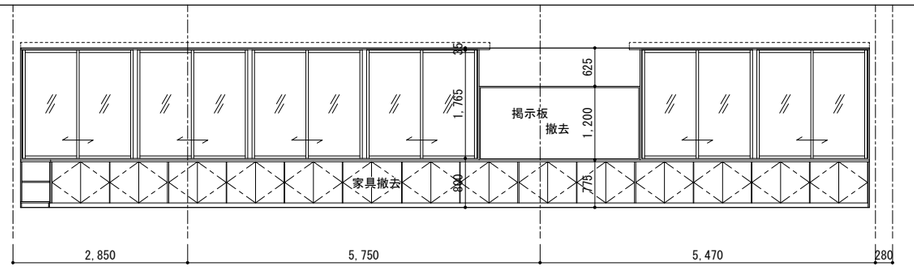
株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-59	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:100
					図面名称	既存改修 普通教室（既存1階職員室） 平面詳細図	

既存：展開図

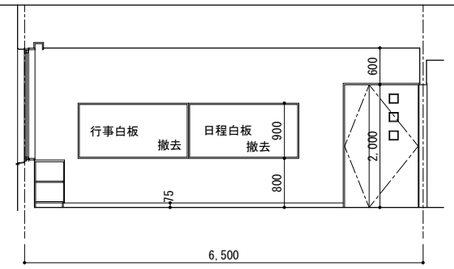
室名	職員室
床	OAフロアー タイルカーペット貼
巾木	木製巾木　H=75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗 コンクリート打放補修　AE塗
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



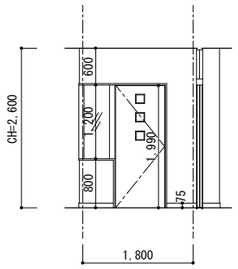
X12 －Ａ面－



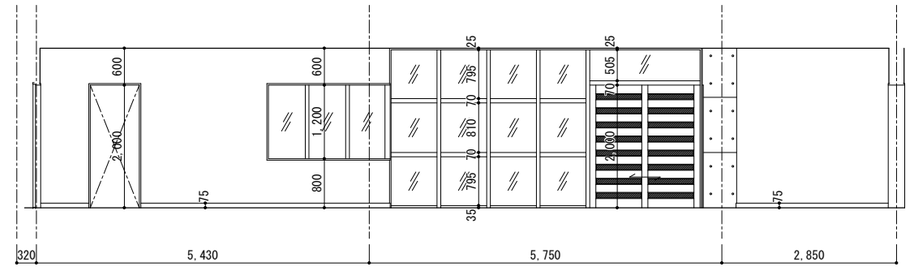
Y4 －Ｂ面－ Y3 Y2



－Ｃ面－



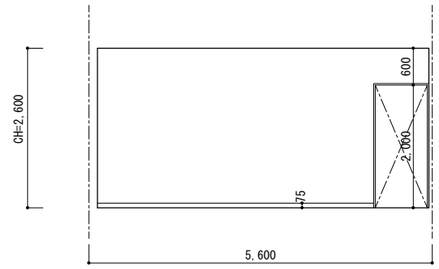
－Ｃ面－ X12



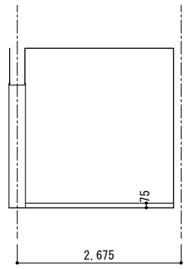
Y2 Y3 －Ｄ面－ Y4

既存：展開図

室名	資料室-4
床	t2.0ビニール床タイル貼
巾木	ビニール H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗
天井	t9.5GB-D張り
廻縁	ビニール
備考	



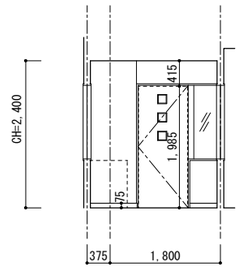
－Ｃ面－



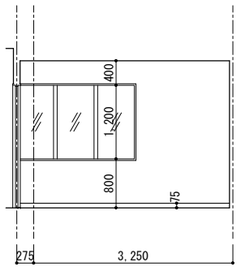
－Ｄ面－

既存：展開図

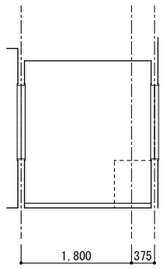
室名	放送室
床	タイルカーペット貼
巾木	ビニール　H=75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



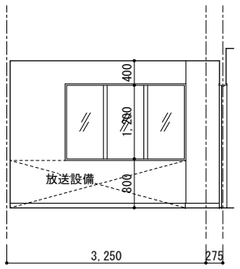
X12 －Ａ面－



Y3 －Ｂ面－



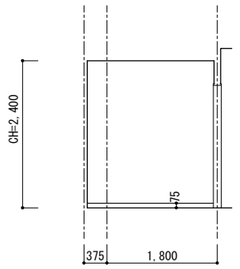
－Ｃ面－



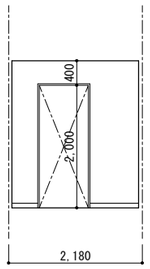
－Ｄ面－ Y3

既存：展開図

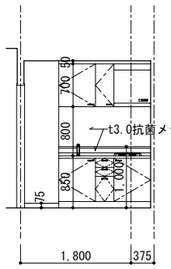
室名	湯沸室
床	t2.0ビニール床タイル貼
巾木	ビニール H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 一部t3.0抗菌メラミン化粧板張り
天井	t9.5GB-D張り
廻縁	ビニール
備考	



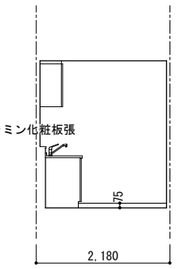
X12 －Ａ面－



－Ｂ面－



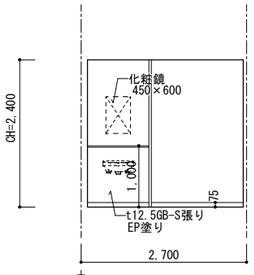
－Ｃ面－ X12



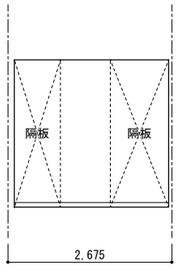
－Ｄ面－

既存：展開図

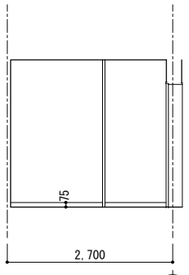
室名	女子更衣室、男子更衣室
床	t2.0ビニール床タイル張り
巾木	ビニール　H=75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗 一部耐水合板t12.5GB-S張り EP塗
天井	t9.5GB-D張り
廻縁	ビニール
備考	



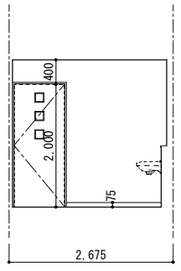
X12 －Ａ面－



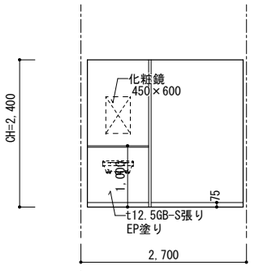
－Ｂ面－



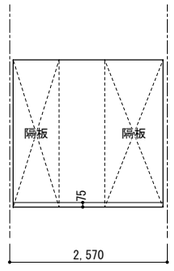
－Ｃ面－ X12



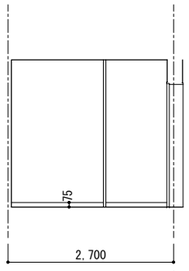
－Ｄ面－



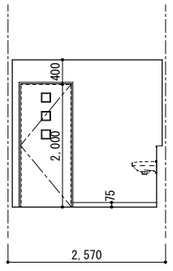
X12 －Ａ面－



－Ｂ面－



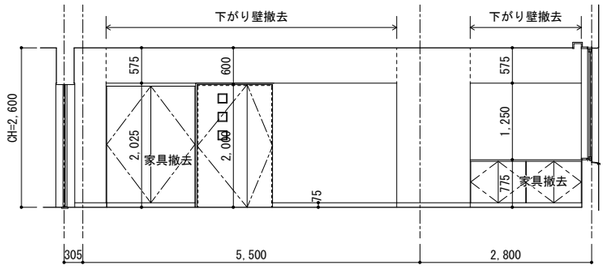
－Ｃ面－ X12



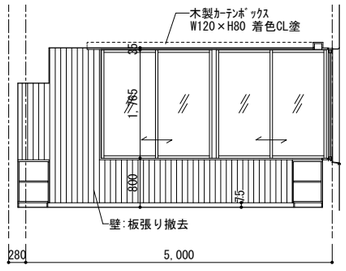
－Ｄ面－

既存：展開図

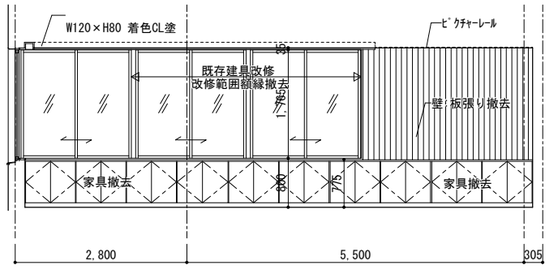
室名	校長室
床	タイルカーペット張り
巾木	木製巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗 一部木軸下地 板張り CL塗
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



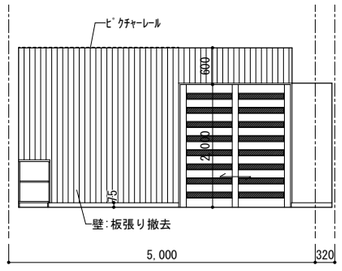
X12 －Ａ面－ X13



Y2 －Ｂ面－



X13 －Ａ面－ X12

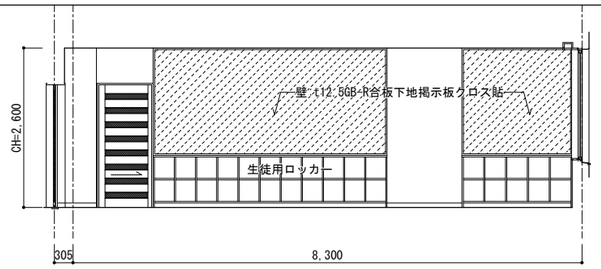


－Ｄ面－ Y2

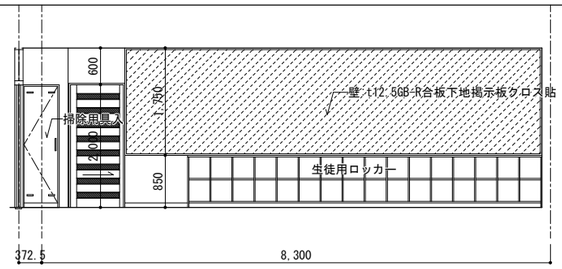
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-60	工事名称 図面名称	西部地区小学校災害復旧工事 既存改修　普通教室（既存1階職員室）　展開図-1	縮尺 1:100

改修：展開図

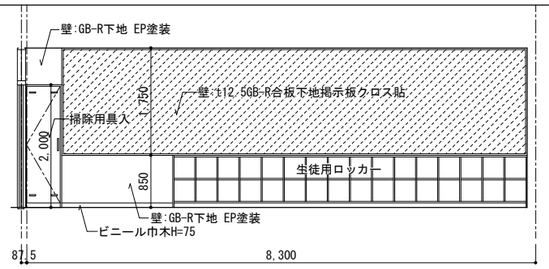
室名	1階　普通教室
床	ユニットフロアー　合板下地 t15.0フローリングボード直貼
巾木	ビニール巾木　H=75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗 一部掲示板クロス貼
天井	t12.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	掲示板クロス見切:塩ビ見切（先付）



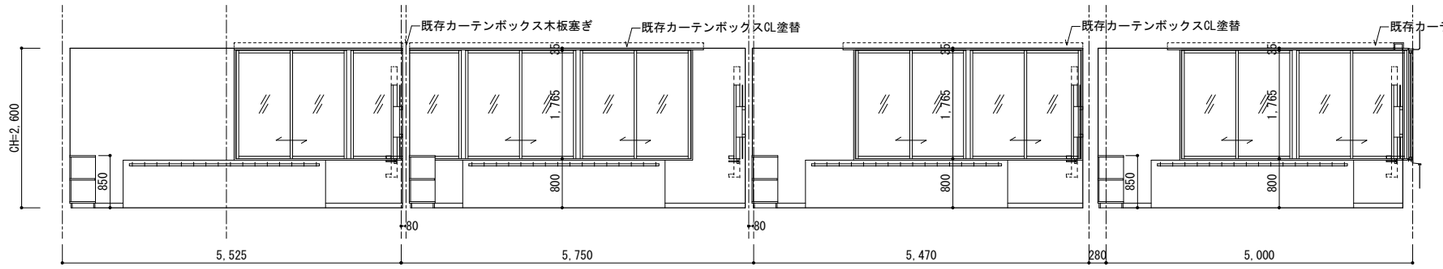
普通教室-1　－Ａ面－



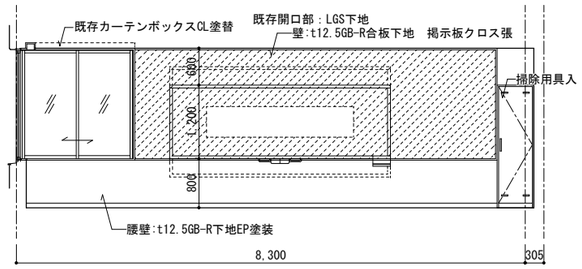
普通教室-2　－Ａ面－



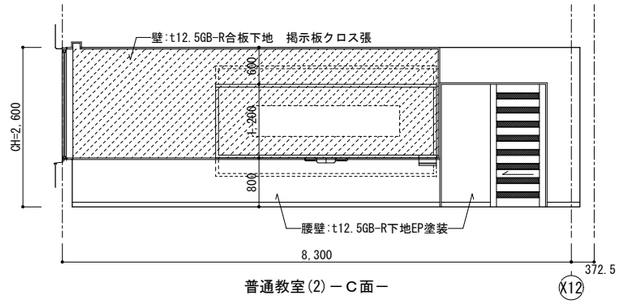
普通教室-4　－Ａ面－



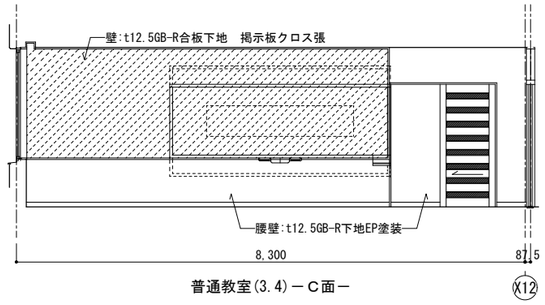
普通教室(4)－Ｂ面－　普通教室(3)－Ｂ面－　普通教室(2)－Ｂ面－　普通教室(1)－Ｂ面－



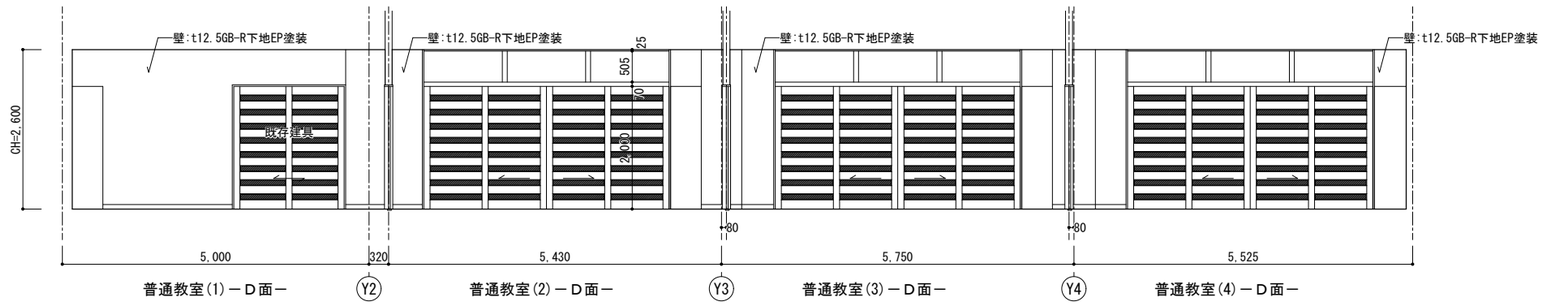
普通教室(1)－Ｃ面－



普通教室(2)－Ｃ面－



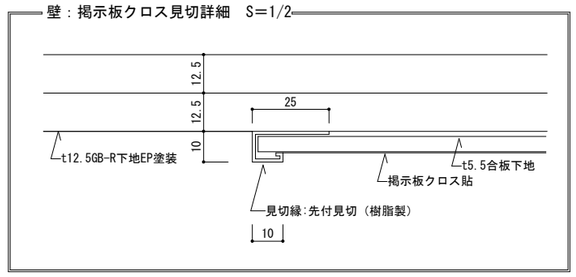
普通教室(3.4)－Ｃ面－



普通教室(1)－Ｄ面－　普通教室(2)－Ｄ面－　普通教室(3)－Ｄ面－　普通教室(4)－Ｄ面－

展開図ハッチ部分：掲示板クロス施工範囲を示す。

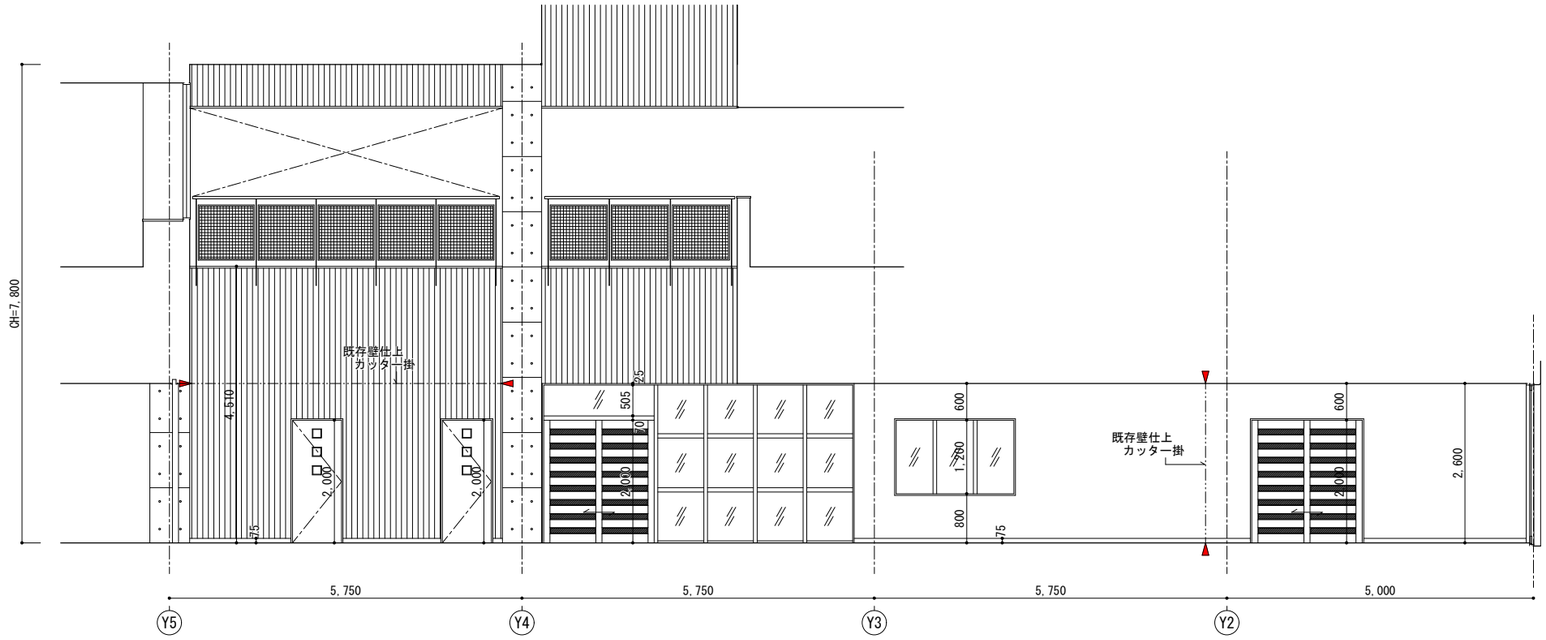
壁：掲示板クロス見切詳細　S=1/2



株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-61	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 既存改修　普通教室（既存1階職員室）　展開図-2	縮尺 1:100

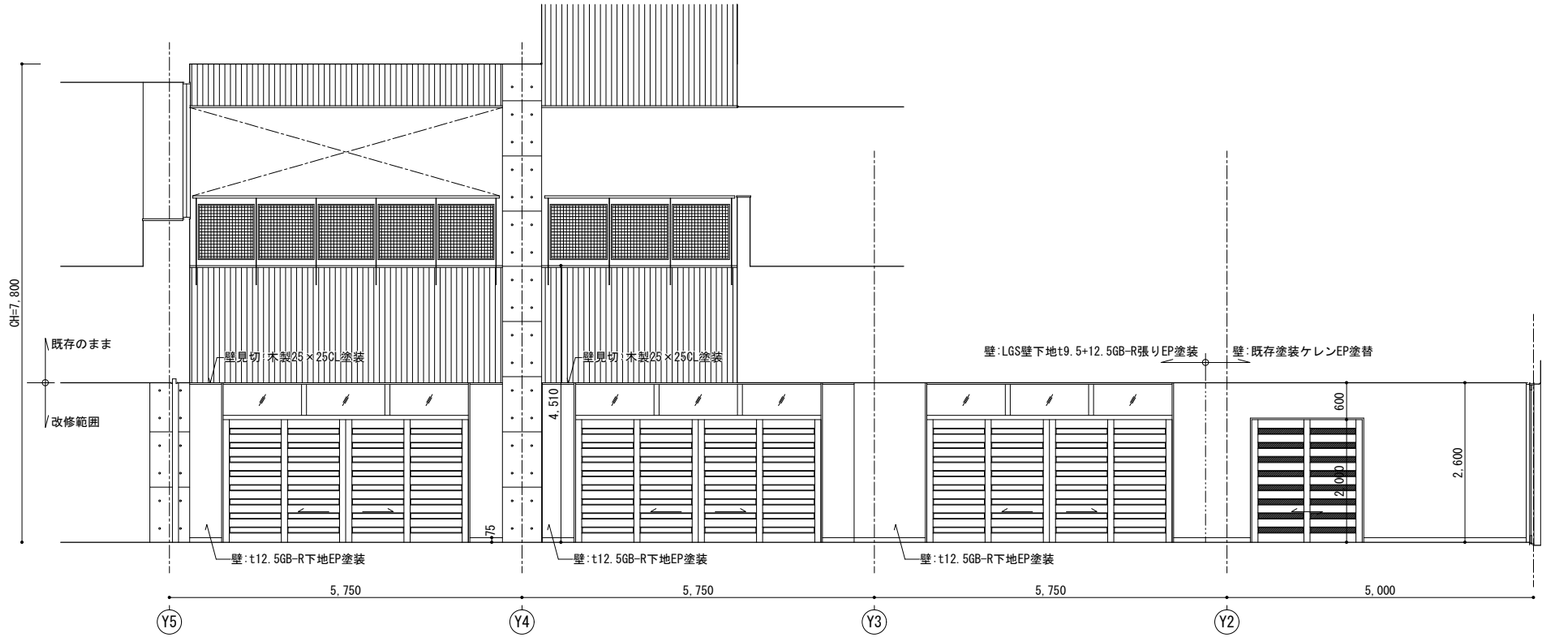
既存：展開図

室名	職員室・校長室前　廊下
床	t15.0フローリングボード直貼り
巾木	木製巾木　H=75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗 コンクリート打放補修　AE塗 木軸下地　t15.0板張　CL塗装
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



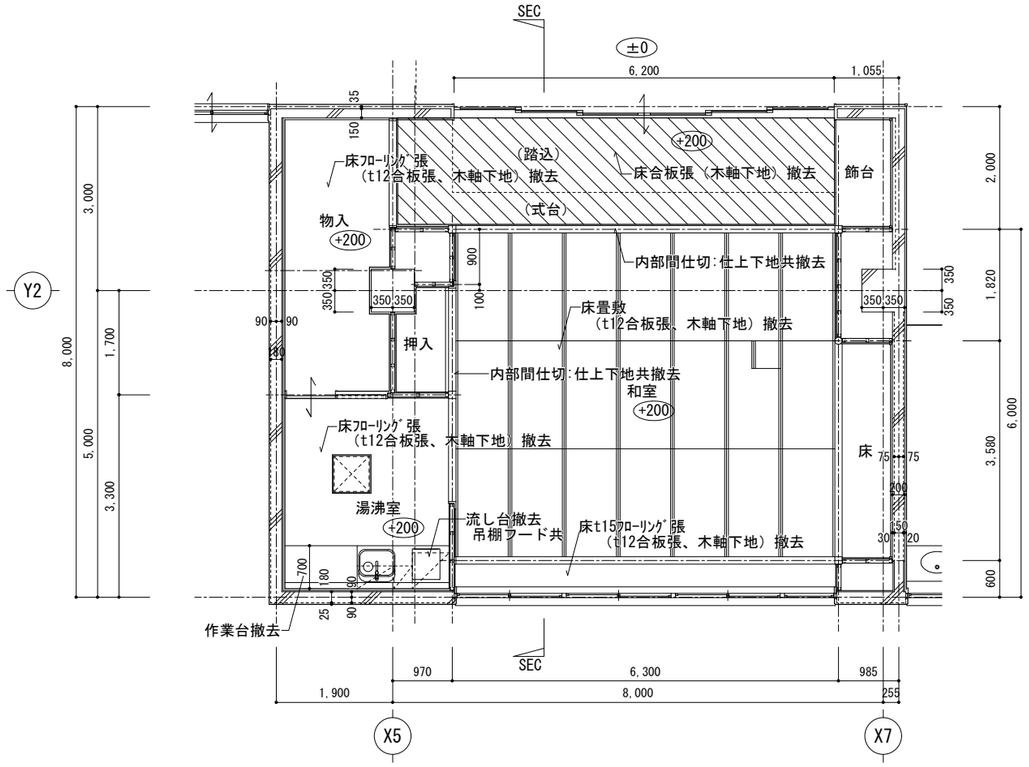
改修：展開図

室名	職員室・校長室前　廊下
床	撤去部 t15.0フローリングボード直貼り
巾木	木製巾木　H=75
壁	既存壁:GB-R面ケレンEP塗替 新設壁:t9.5+12.5GB-R下地 EP塗装
天井	一部撤去部　t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張
廻縁	ビニール　木製見切25×25CL塗装
備考	



株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-62	工事名称 図面名称	西部地区小学校災害復旧工事 既存改修　普通教室（既存1階職員室）　展開図-3	縮尺 1:100

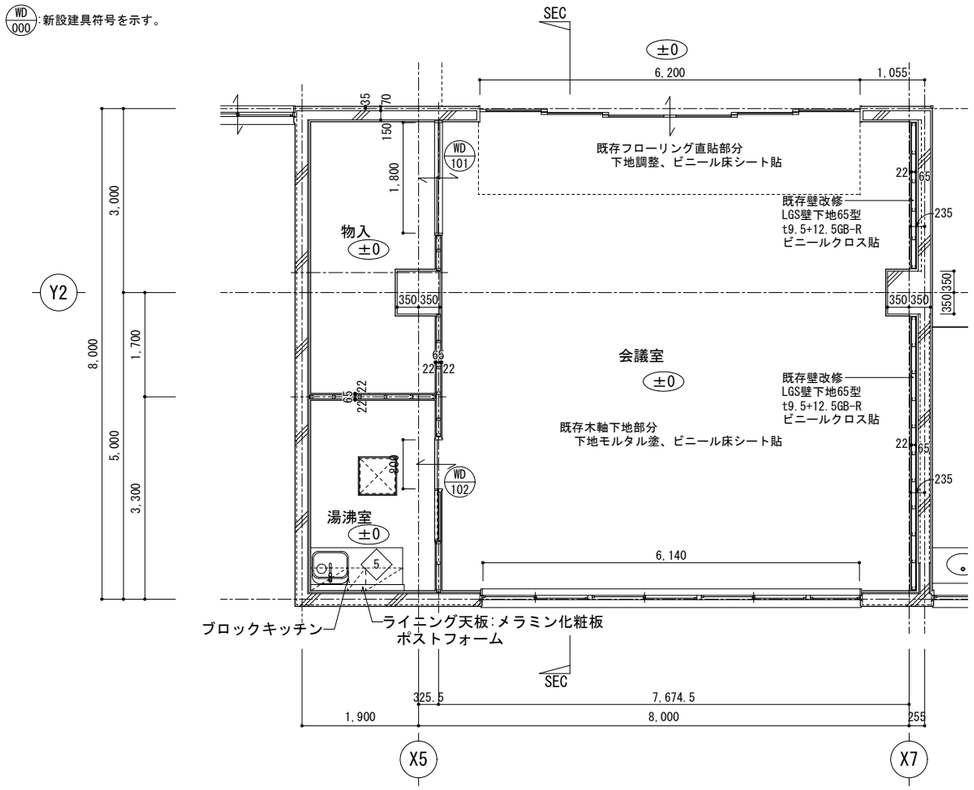
凡例：(+200) 1FL＝±0からのレベルを示す。(mm)
壁ボード(直貼り)部分は、仕上材の撤去、ケレンを行う。

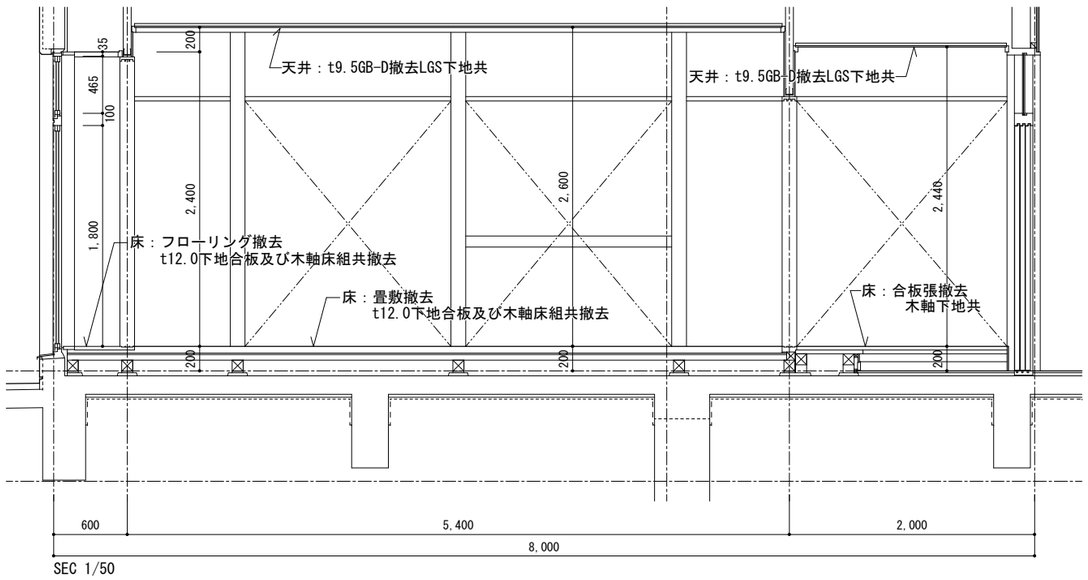


既存図 ⇒ 改修図

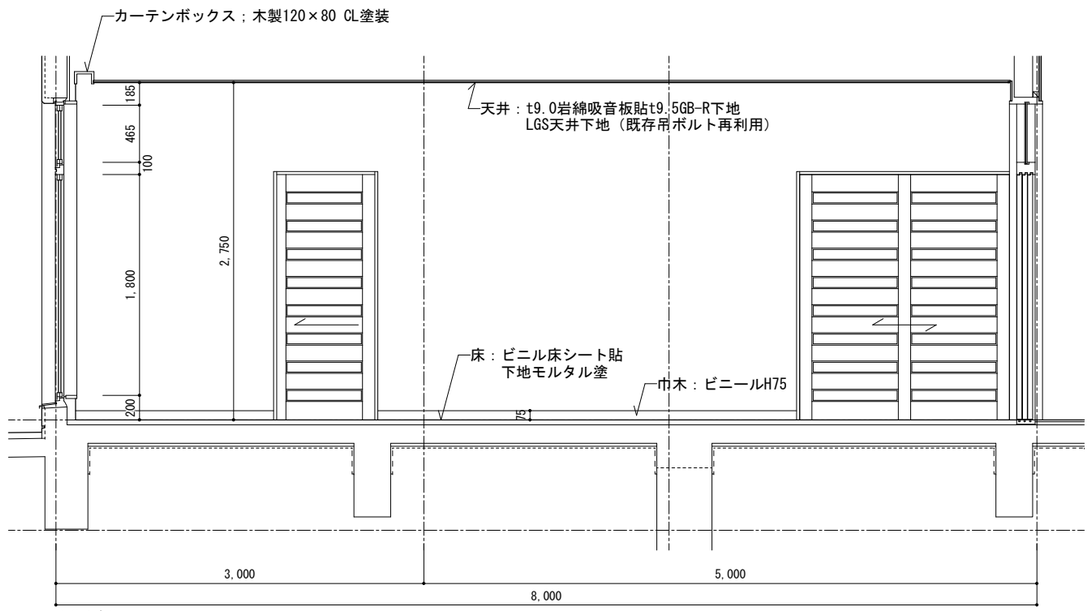
凡例：(+200) 1FL＝±0からのレベルを示す。(mm)
木軸床組撤去部分は、仕上貼のモルタル下地を行う。

(WD/000)：新設建具符号を示す。





SEC 1/50

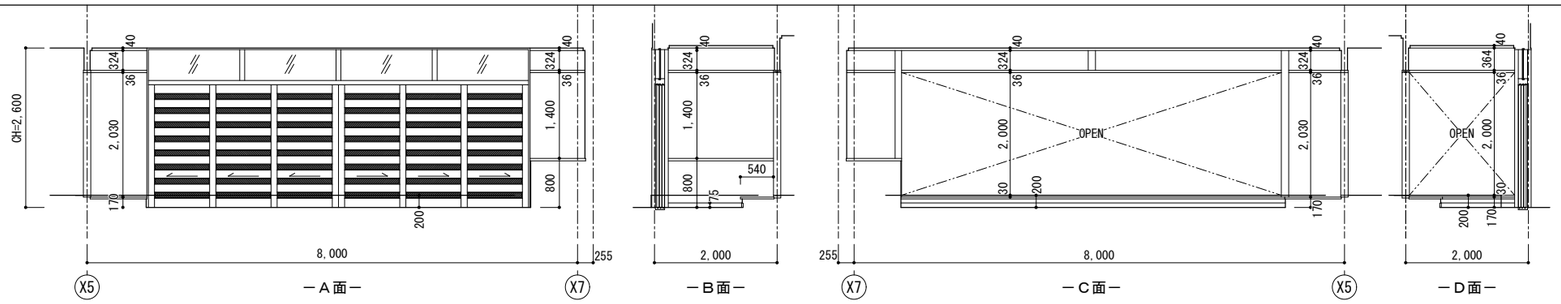


SEC 1/50

株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-63	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:50 1:100
						図面名称 既存改修 1階会議室（既存1階和室） 平面詳細図・断面詳細図	

既存：展開図

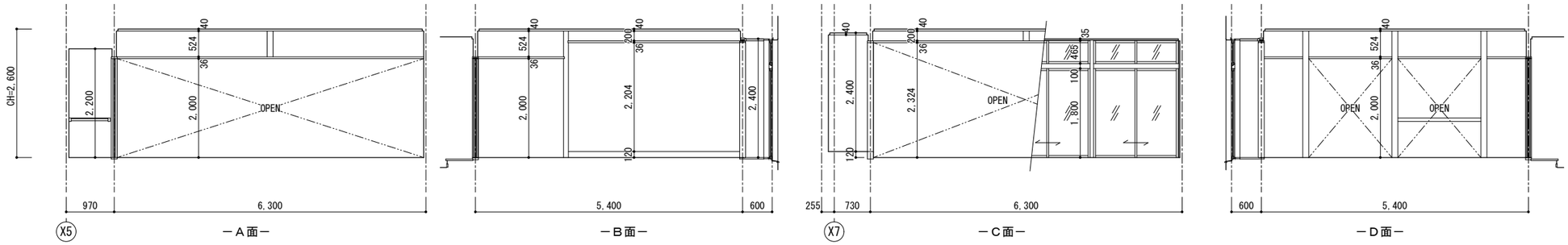
室名	1階 和室(踏込み)
床	t15.0フローリングボード直張り
巾木	ビニール H=75
壁	t12.5GB-R直貼り t9.5+t12.5GB-R張り ビニールクロス張り
天井	t9.5GB-D張り(木目)
廻縁	木製素地
備考	



－A面－　－B面－　－C面－　－D面－

既存：展開図

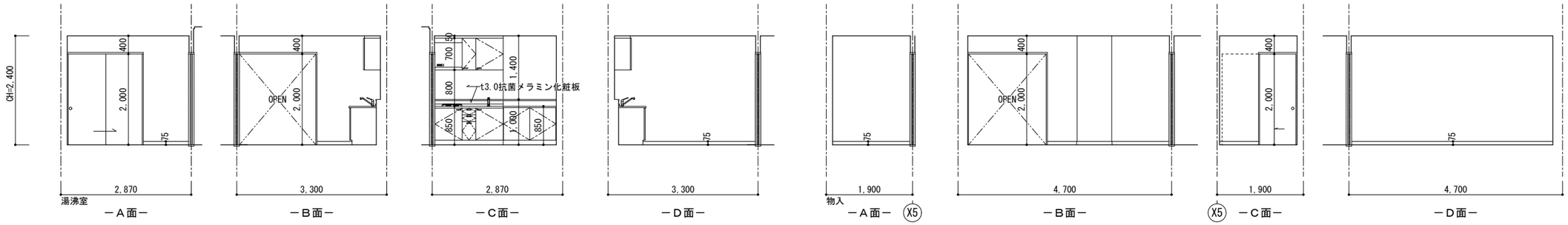
室名	1階 和室
床	木軸下地、t12合板下地 畳敷き
巾木	雑巾摺
壁	t12.5GB-R直貼り t9.5+t12.5GB-R張り ビニールクロス張り
天井	t9.5GB-D張り(木目)
廻縁	木製素地
備考	



－A面－　－B面－　－C面－　－D面－

既存：展開図

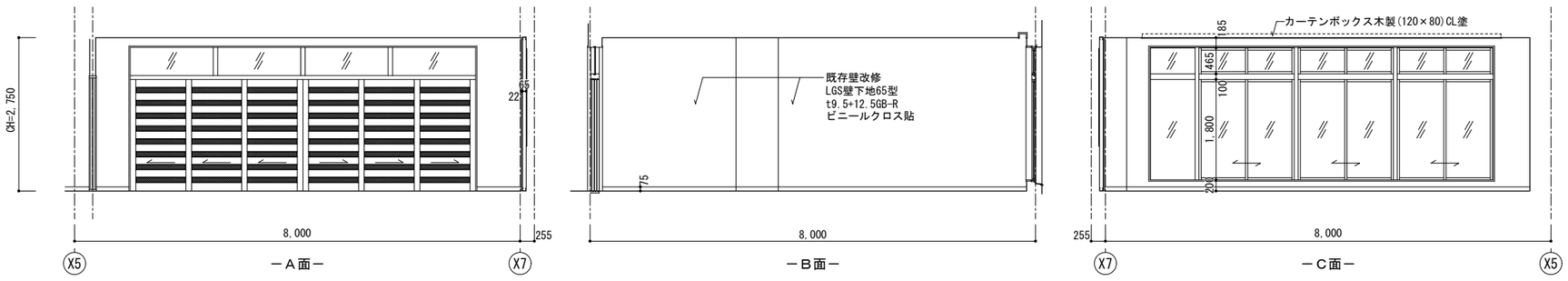
室名	湯沸室・物入
床	木軸下地、t12合板下地 t12.0フローリングボード張り
巾木	木製巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 一部t3.0抗菌メラミン化粧板貼
天井	t9.5GB-D張り
廻縁	ビニール
備考	



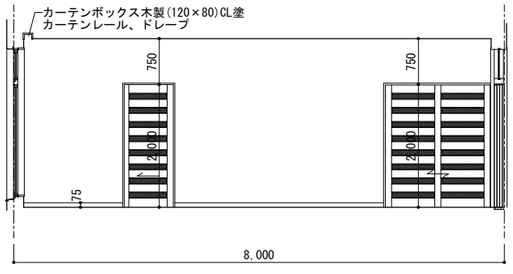
－A面－　－B面－　－C面－　－D面－　－A面－　－B面－　－C面－　－D面－

改修：展開図

室名	会議室
床	t2.5ビニール床シート貼 既存木軸床部分モルタル下地
巾木	ビニール H=75
壁	t12.5GB-R直貼り t9.5+t12.5GB-R張り ビニールクロス張り
天井	t9.0岩綿吸音板張り t12.5GB-R下地
廻縁	ビニール
備考	カーテンボックス木製CL塗 カーテンレール、ドレープ



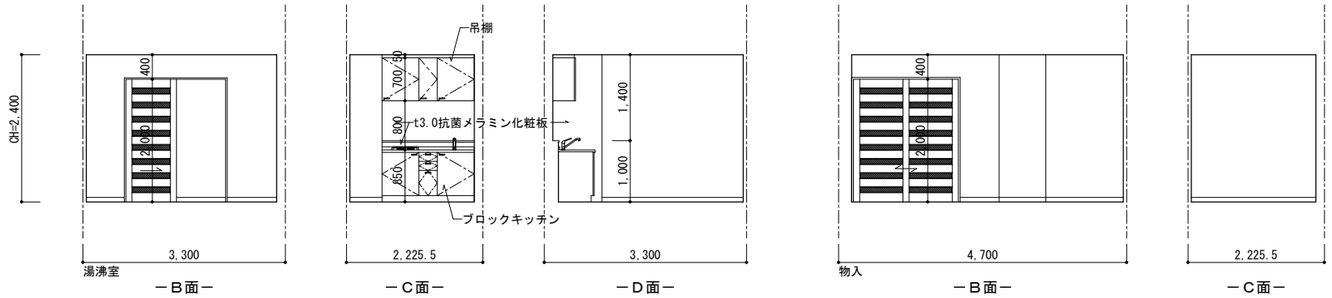
－A面－　－B面－　－C面－



－D面－

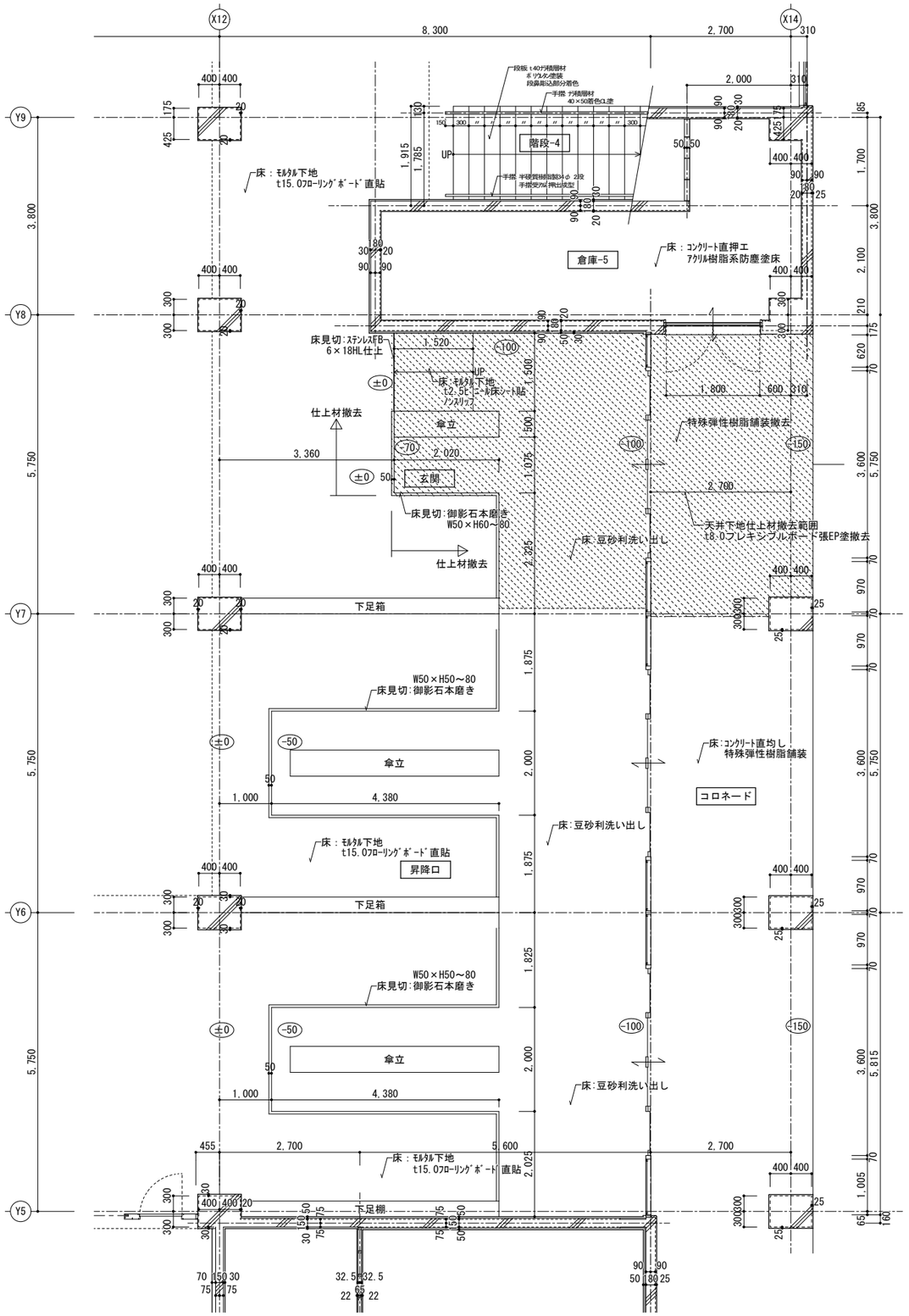
改修：展開図

室名	湯沸室・物入
床	t2.5ビニール床シート貼 既存木軸床部分モルタル下地
巾木	ビニール巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 一部t3.0抗菌メラミン化粧板貼
天井	t9.5GB-D張り
廻縁	ビニール
備考	ブロックキッチン ライニング天板メラミン化粧板

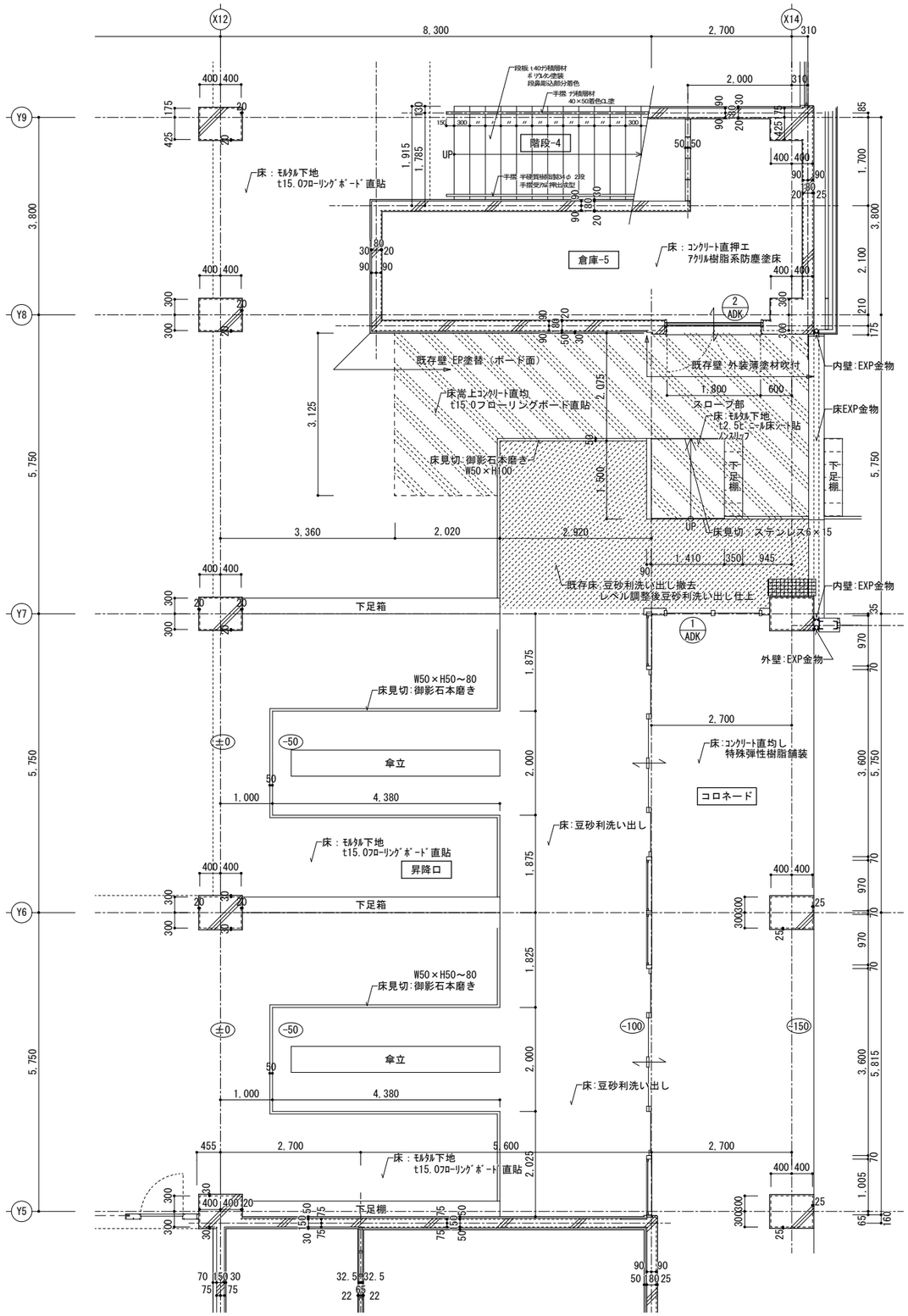


－B面－　－C面－　－D面－　－B面－　－C面－

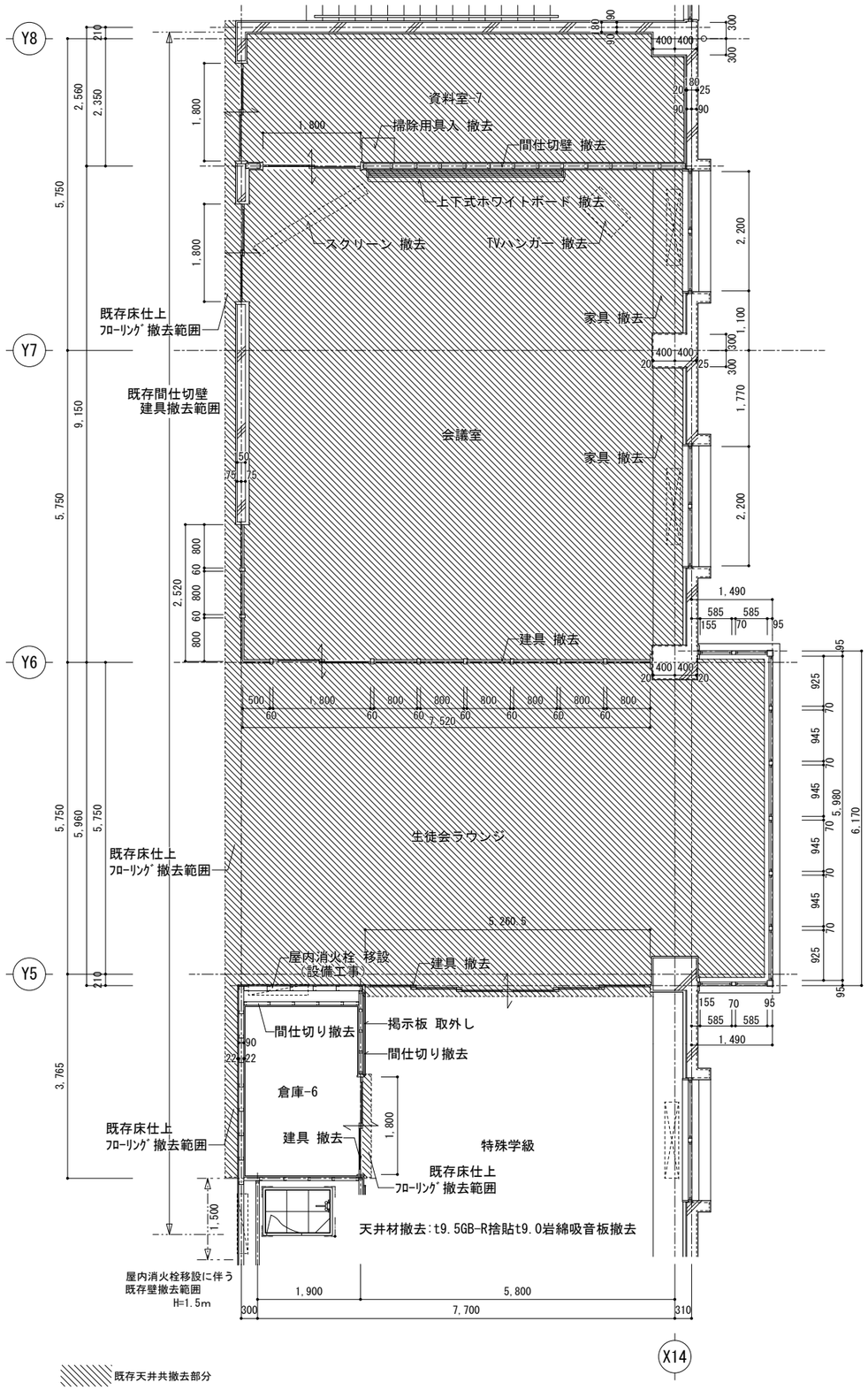
株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-64	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:100
					図面名称 既存改修 1階会議室（既存1階和室） 展開図	



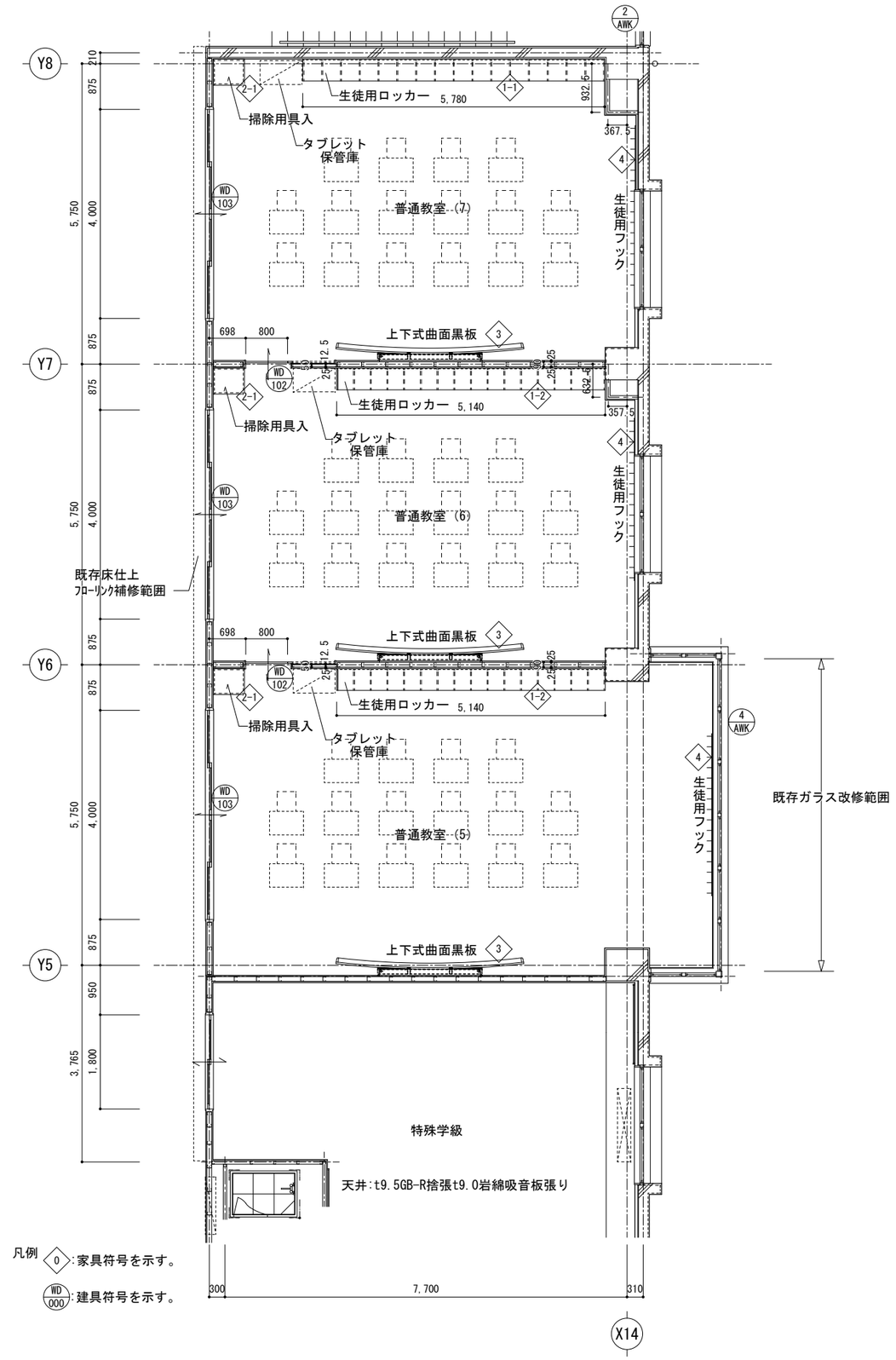
改修図



株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-65	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺
					図面名称	既存改修　1階生徒昇降口　平面詳細図	1:100



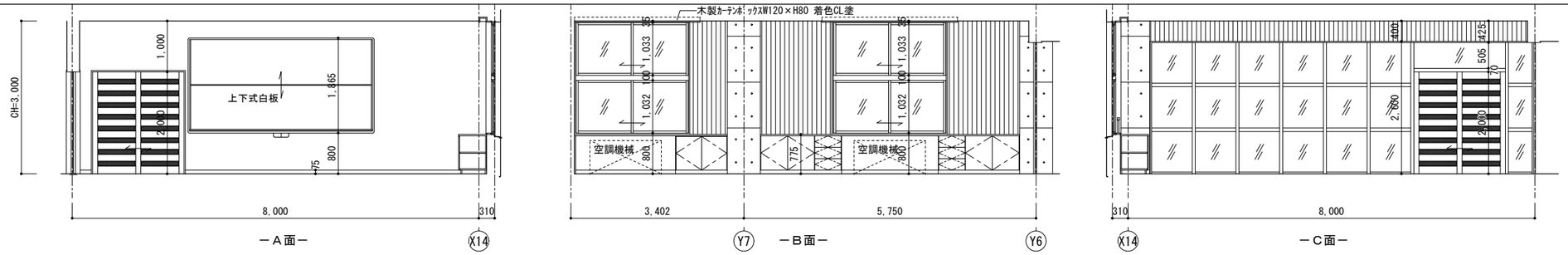
既存図 ⇒ 改修図

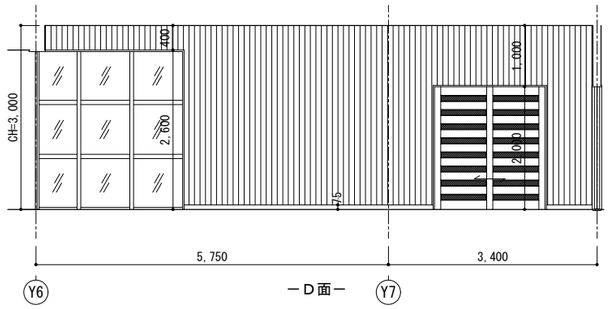


株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-66	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:100
						図面名称 既存改修 普通教室（既存2階会議室） 平面詳細図	

既存：展開図

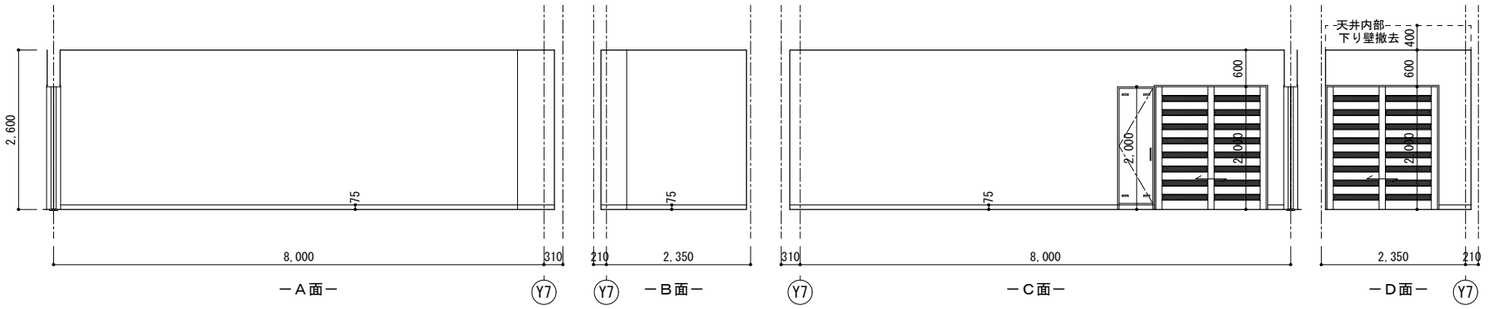
室名	会議室
床	t15.0フローリングボード直貼
巾木	木製巾木　H＝75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗 木軸下地　板張り　着色CL塗
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	





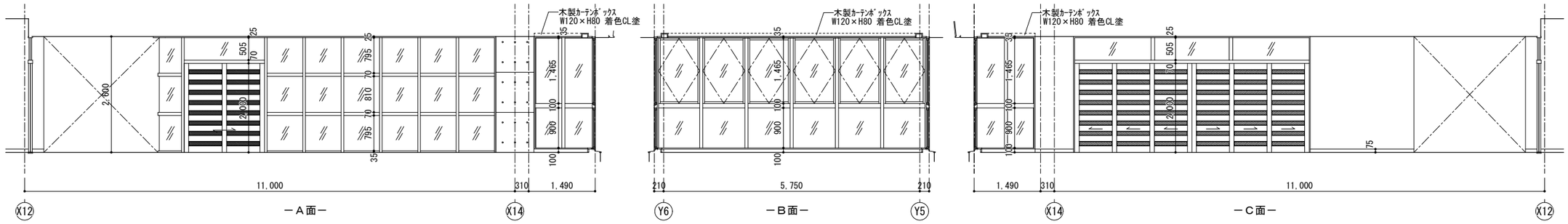
既存：展開図

室名	資料室-7
床	t2.0ビニール床タイル貼
巾木	ビニール　H＝75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗
天井	t9.5GB-D張り
廻縁	ビニール
備考	



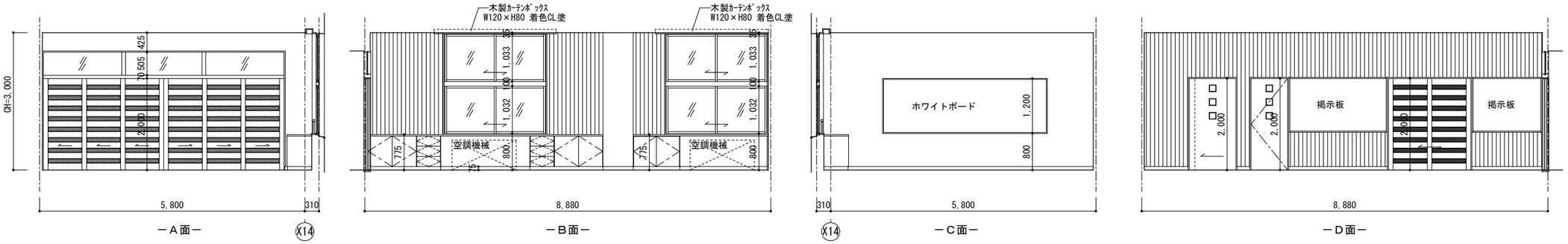
既存：展開図

室名	生徒会ラウンジ
床	t15.0フローリングボード直貼
巾木	木製巾木　H＝75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗
天井	t9.5GB-D張
廻縁	ビニール
備考	



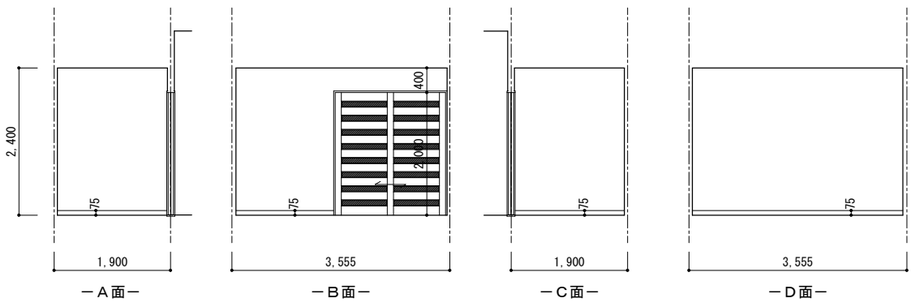
既存：展開図

室名	特殊学級
床	t15.0フローリングボード直貼
巾木	木製巾木　H＝75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗 木軸下地　板張り　着色CL塗
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



既存：展開図

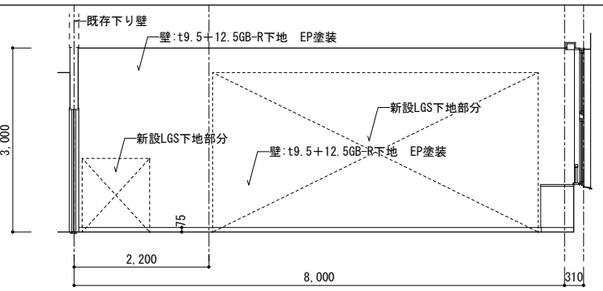
室名	倉庫-6
床	t2.0ビニール床タイル張
巾木	ビニール巾木　H＝75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗
天井	t9.5GB-D張
廻縁	ビニール
備考	



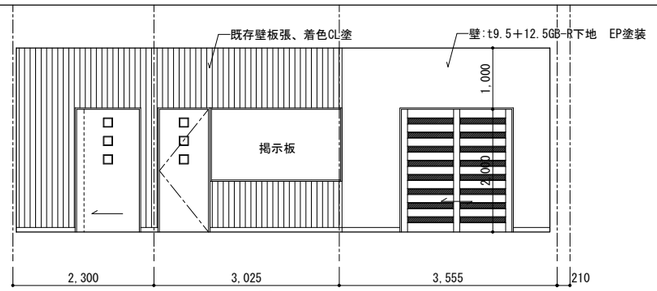
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-67	工事名称 図面名称	西部地区小学校災害復旧工事 既存改修　普通教室（既存2階会議室）　展開図-1	縮尺 1:100

改修：展開図

室名	特殊学級
床	t15.0フローリングボード直貼
巾木	木製巾木　H=75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗 木軸下地　板張り　着色CL塗
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



－Ａ面－

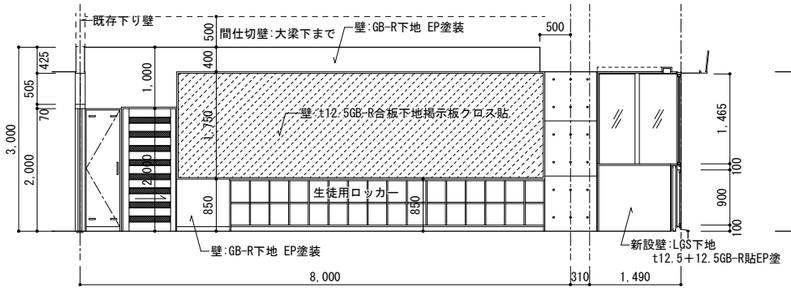


－Ｄ面－

X14

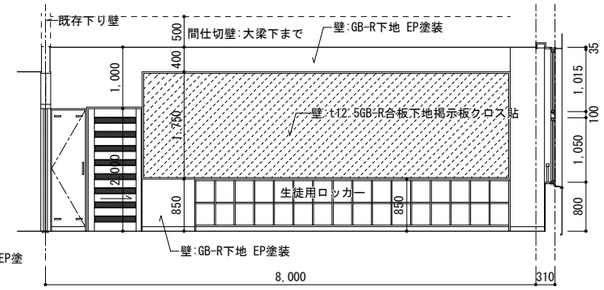
改修：展開図

室名	普通教室（5.6.7）
床	t15.0フローリングボード直貼
巾木	木製巾木　H=75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗
天井	t12.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



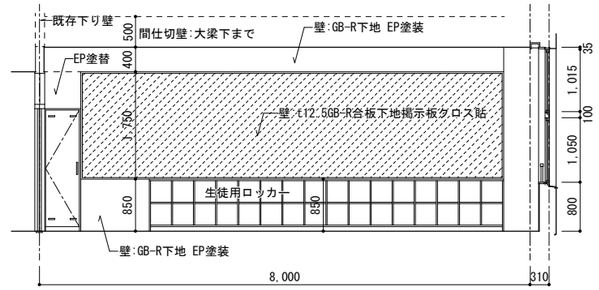
普通教室(5)－Ａ面－

X14



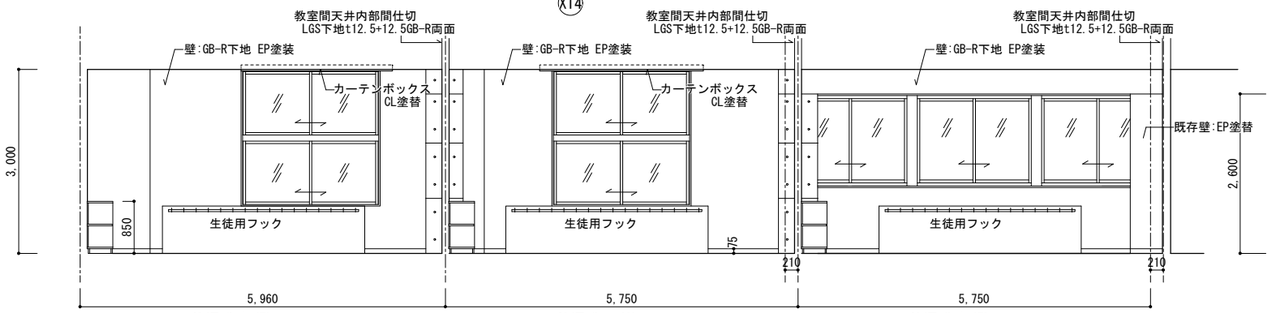
普通教室(6)－Ａ面－

X14

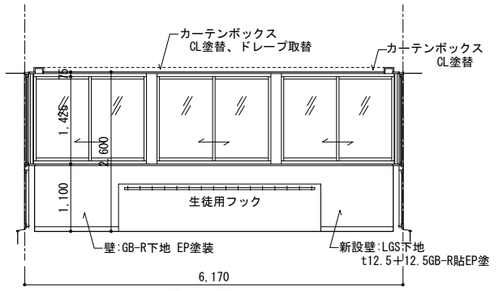


普通教室(7)－Ａ面－

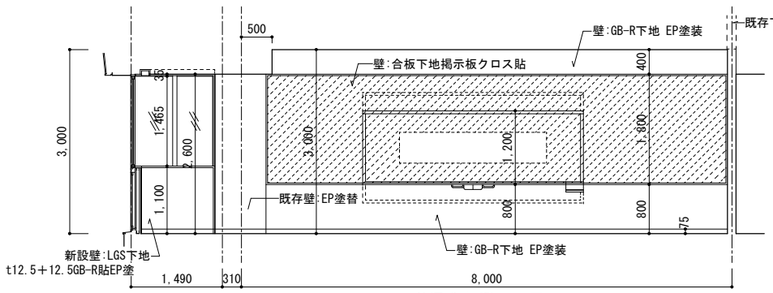
X14



普通教室(7)－Ｂ面－　Y7　普通教室(6)－Ｂ面－　Y6　普通教室(5)－Ｂ面－　Y5

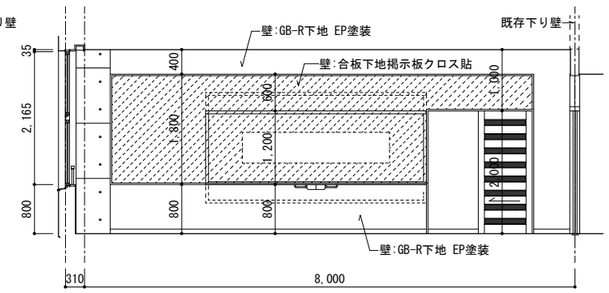


普通教室(5)－Ｂ面－



普通教室(5)－Ｃ面－

X14

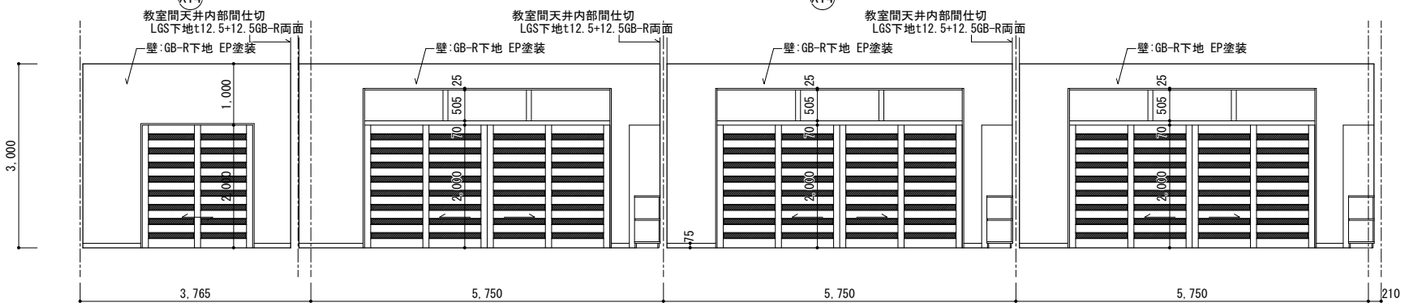


普通教室(6.7)－Ｃ面－

X14

改修：展開図

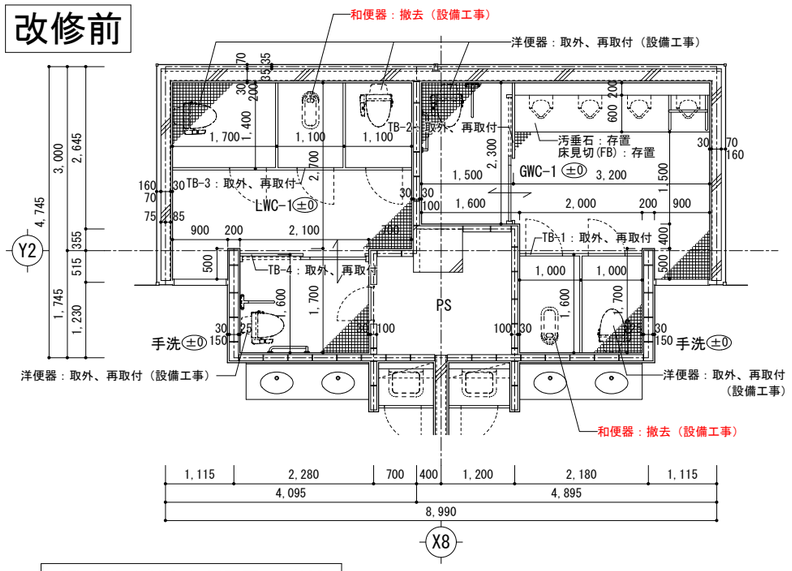
室名	特殊学級
床	t15.0フローリングボード直貼 （部分補修）
巾木	木製巾木　H=75
壁	t12.5GB-R直貼り　EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り　EP塗 （部分補修）
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



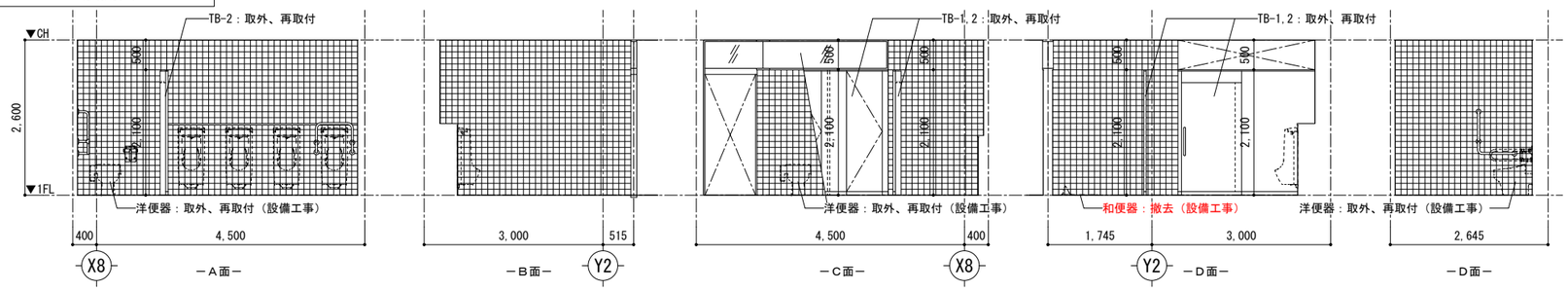
特殊学級－Ｄ面－　Y5　普通教室(5)－Ｄ面－　Y6　普通教室(6)－Ｄ面－　Y7　普通教室(7)－Ｄ面－　Y8

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-68	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 既存改修　普通教室（既存2階会議室）　展開図-2	縮尺 1:100

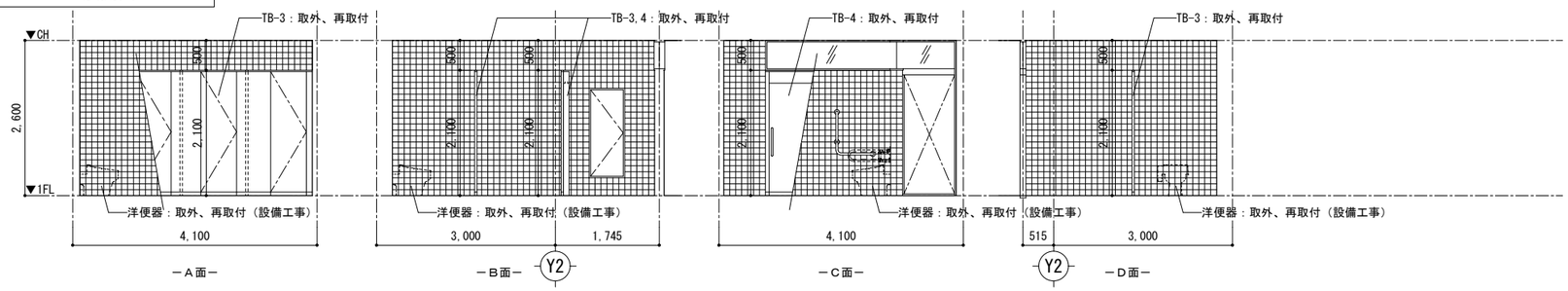
改修前



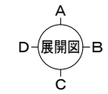
1FL GWC-1 展開図 1/100



1FL LWC-1 展開図 1/100

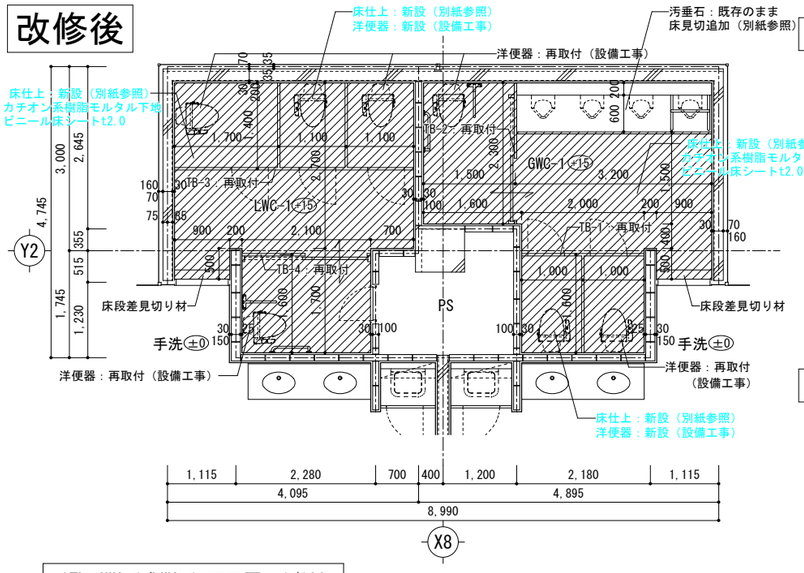


1FL GWC-1/LWC-1 平面図 1/100

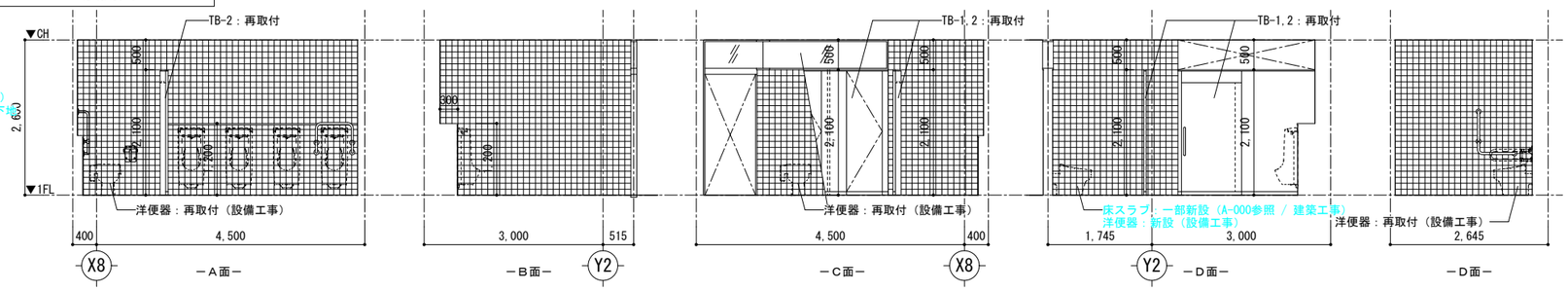


室 名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木	H	壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備 考
1FL GWC-1	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地 ：一部撤去	GB-Dt9.5 ：一部撤去 別紙天井伏図参照	塩ビ製 ：一部撤去	2,600	床見切：御影石W50×H30 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600、床見切：FB
1FL LWC-1	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地 ：一部撤去	GB-Dt9.5 ：一部撤去 別紙天井伏図参照	塩ビ製 ：一部撤去	2,600	床見切：御影石W50×H30

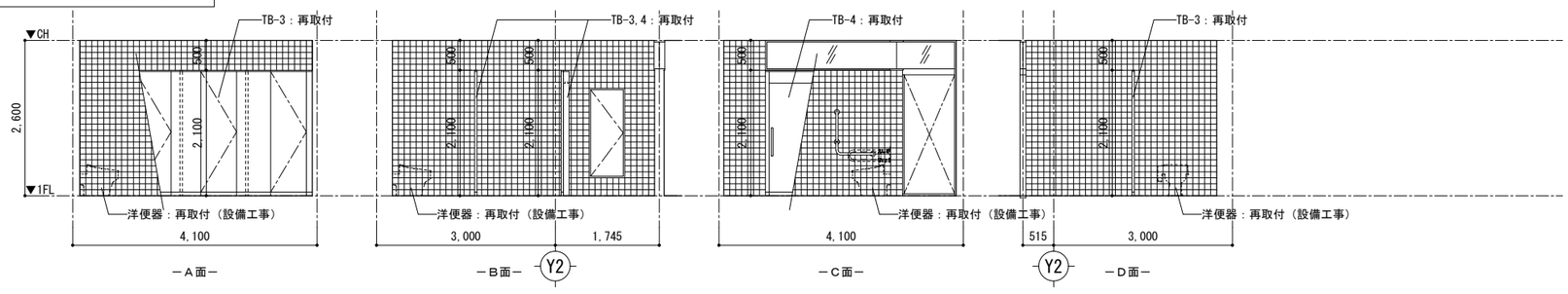
改修後



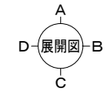
1FL GWC-1 展開図 1/100



1FL LWC-1 展開図 1/100



1FL GWC-1/LWC-1 平面図 1/100



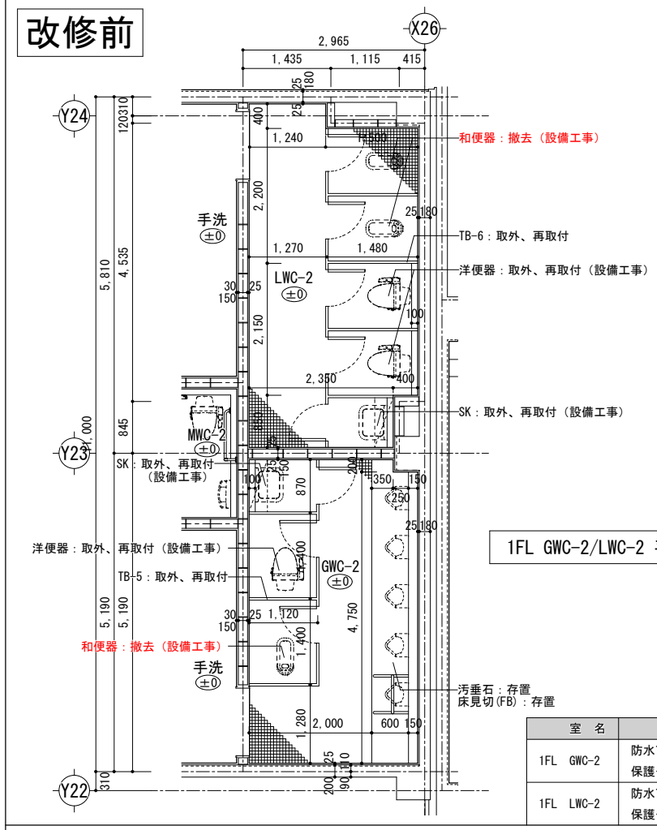
－凡例－

：床仕上新設範囲（A-71参照）

室 名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木	H	壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備 考
1FL GWC-1	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	＋15	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地 ：一部新設	GB-Dt9.5 ：一部新設 別紙天井伏図参照	塩ビ製 ：一部新設	2,600	床見切：御影石W50×H30：既存のまま 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600：既存のまま、床見切：FB：既存のまま、段差見切り追加
1FL LWC-1	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	＋15	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地 ：一部新設	GB-Dt9.5 ：一部新設 別紙天井伏図参照	塩ビ製 ：一部新設	2,600	床見切：御影石W50×H30：既存のまま　床段差見切り追加

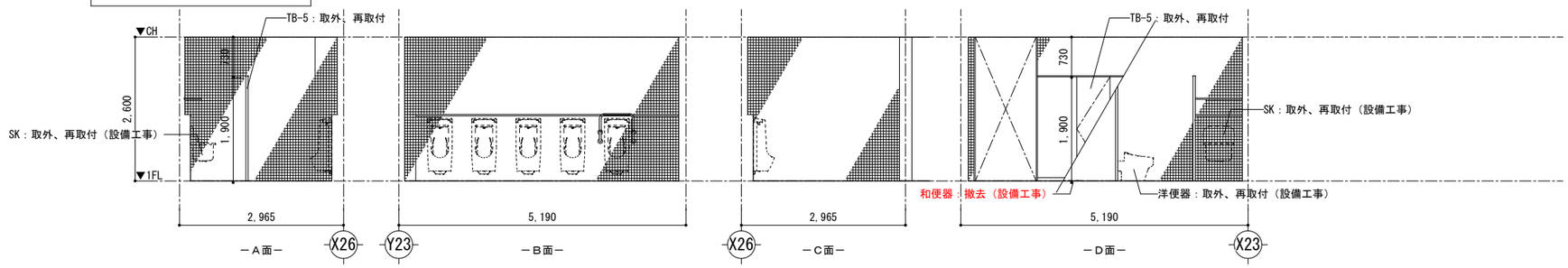
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-69	工事名称 図面名称	西部地区小学校災害復旧工事 既存改修　WC改修図-1	縮尺 1:100

改修前

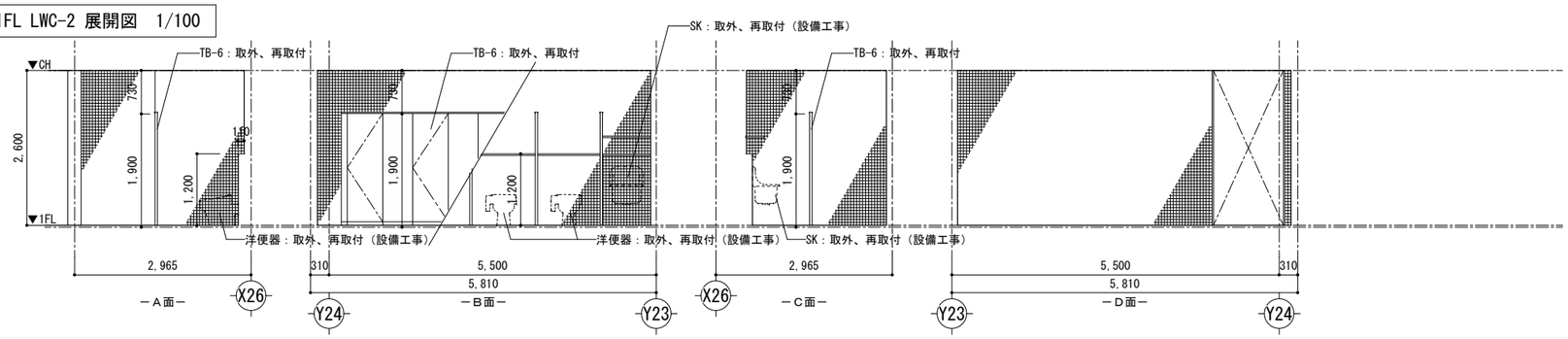


1FL GWC-2/LWC-2 平面図　1/100

1FL GWC-2 展開図　1/100

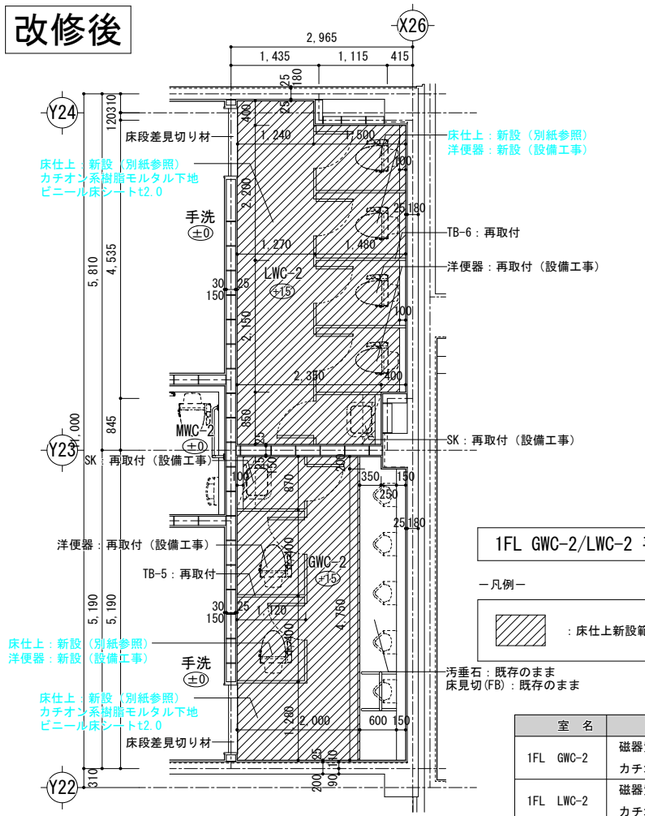


1FL LWC-2 展開図　1/100



室　名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木	H	壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備　考
1FL　GWC-2	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	別紙天井伏図参照 LGS下地 ：一部撤去	GB-Dt9.5 ：一部撤去	塩ビ製 ：一部撤去	2,600	床見切：ステンレスFB 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600、床見切：FB
1FL　LWC-2	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	別紙天井伏図参照 LGS下地 ：一部撤去	GB-Dt9.5 ：一部撤去	塩ビ製 ：一部撤去	2,600	床見切：ステンレスFB

改修後

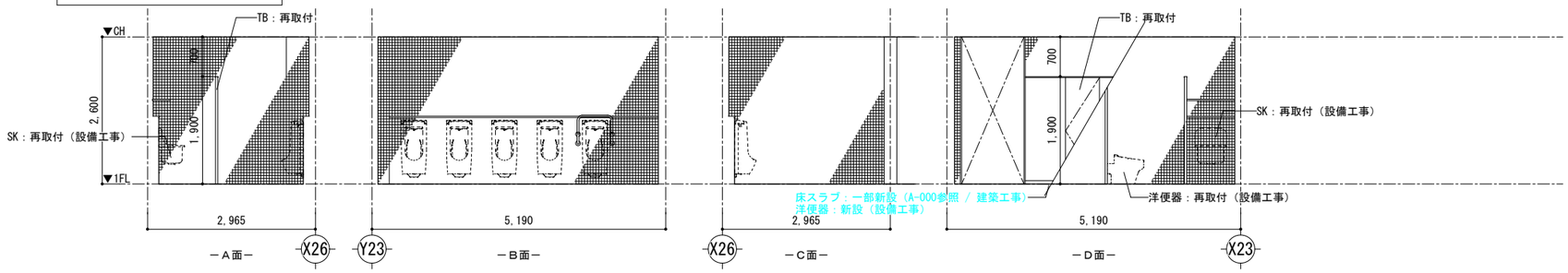


1FL GWC-2/LWC-2 平面図　1/100

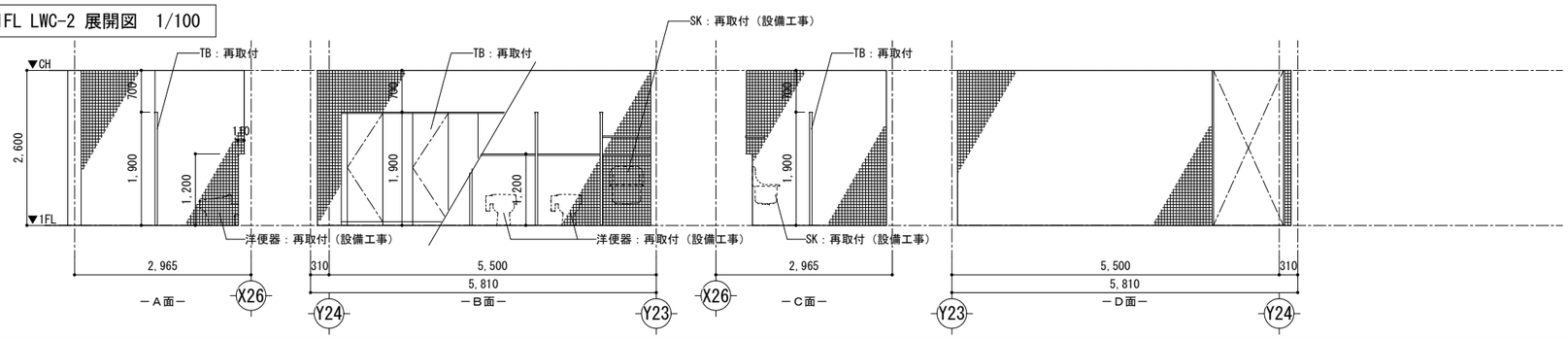
－凡例－

：床仕上新設範囲（A-71参照）

1FL GWC-2 展開図　1/100



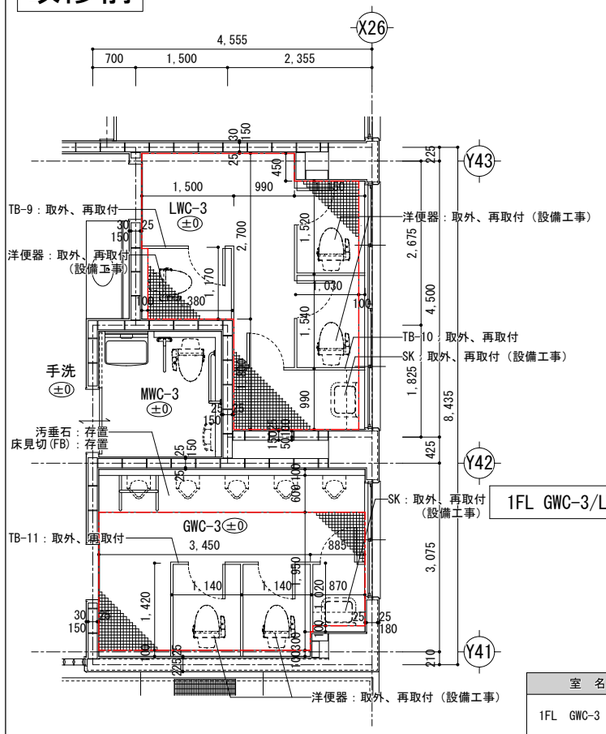
1FL LWC-2 展開図　1/100



室　名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木	H	壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備　考
1FL　GWC-2	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	＋15	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地 ：一部新設	GB-Dt9.5 ：一部新設	塩ビ製 ：一部新設	2,600	床見切：ステンレスFB 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600：既存のまま、床見切：FB：既存のまま、段差見切り追加
1FL　LWC-2	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	＋15	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地 ：一部新設	GB-Dt9.5 ：一部新設	塩ビ製 ：一部新設	2,600	床見切：ステンレスFB　床段差見切り追加

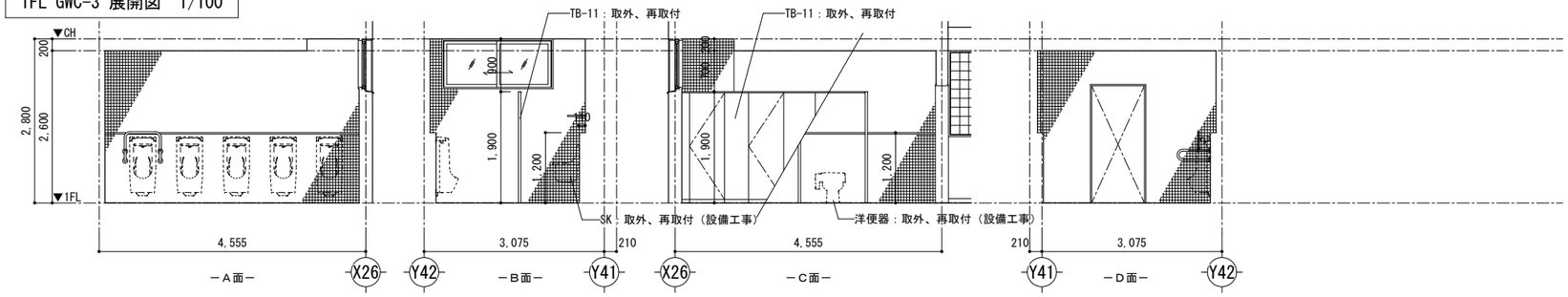
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-70	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 既存改修　WC改修図-2	縮尺 1:100

改修前

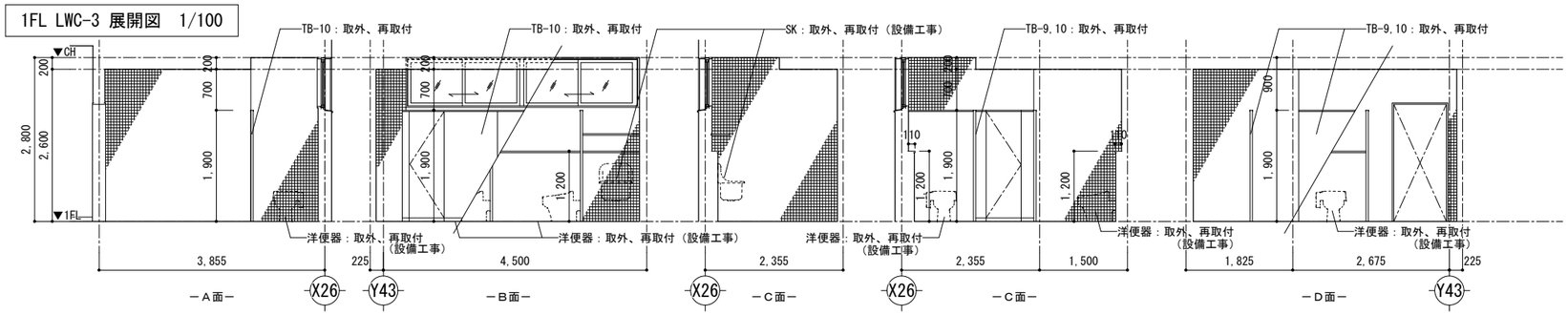


1FL GWC-3/LWC-3 平面図　1/100

1FL GWC-3 展開図　1/100

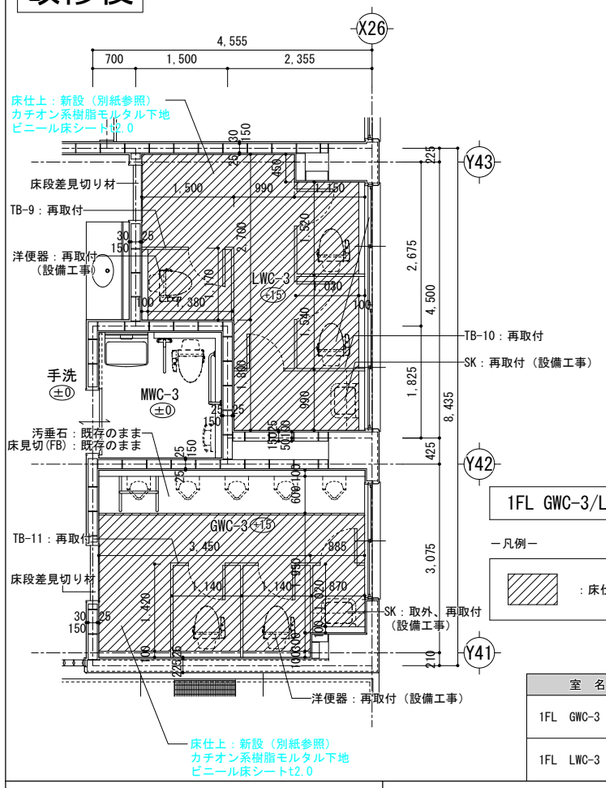


1FL LWC-3 展開図　1/100



室　名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木　H		壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備　考
1FL　GWC-3	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：ステンレスFB 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600、床見切：FB
1FL　LWC-3	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：ステンレスFB

改修後

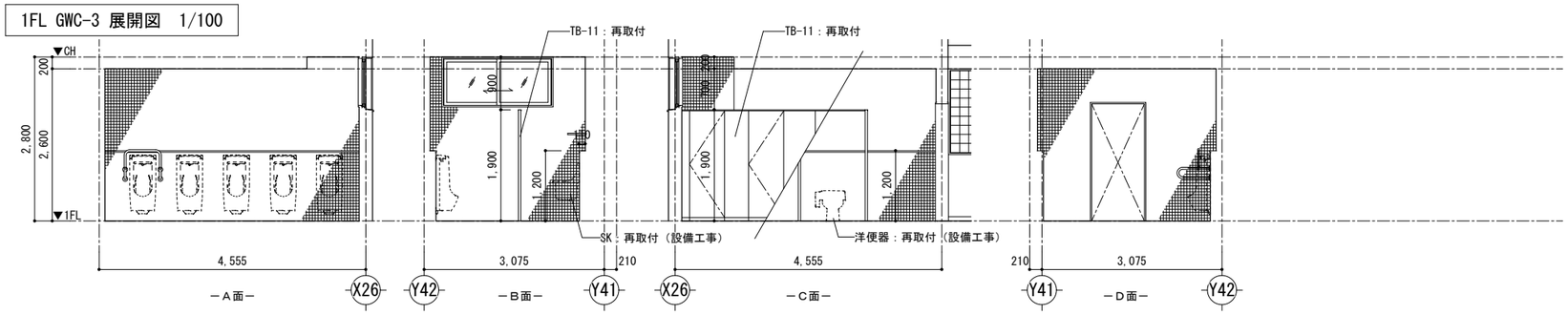


1FL GWC-3/LWC-3 平面図　1/100

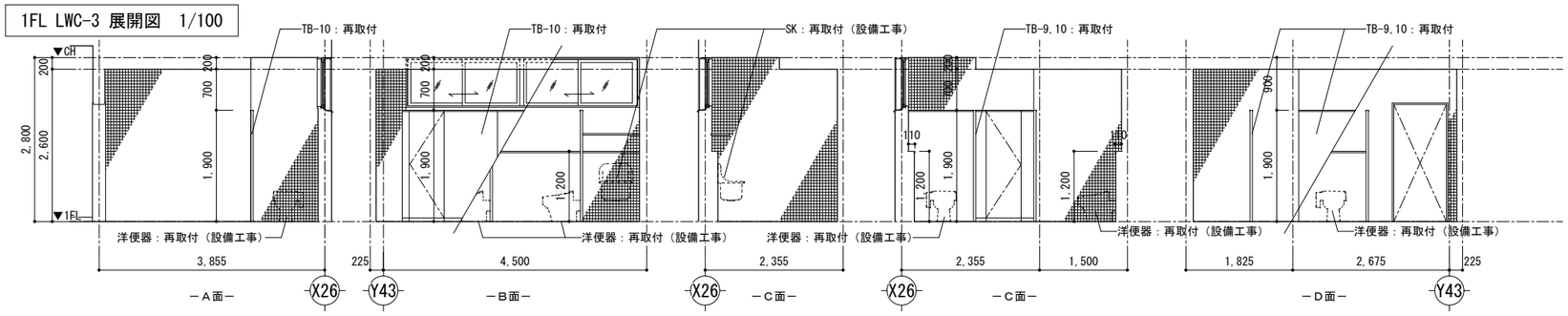
－凡例－

：床仕上新設範囲（A-71参照）

1FL GWC-3 展開図　1/100



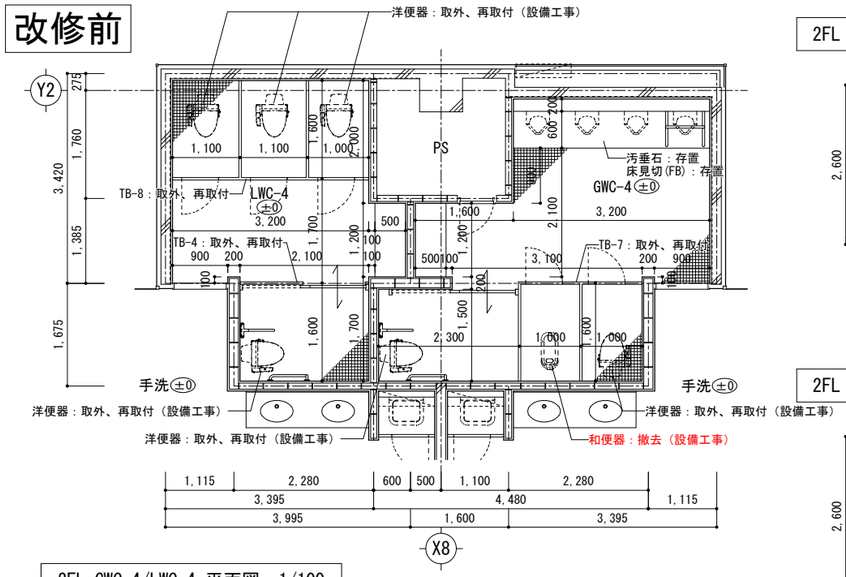
1FL LWC-3 展開図　1/100



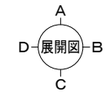
室　名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木　H		壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備　考
1FL　GWC-3	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	＋15	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：ステンレスFB：既存のまま　床段差見切り追加 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600：既存のまま、床見切：FB：既存のまま、段差見切り追加
1FL　LWC-3	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	＋15	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：ステンレスFB：既存のまま　床段差見切り追加

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-71	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 既存改修　WC改修図-3	縮尺 1:100

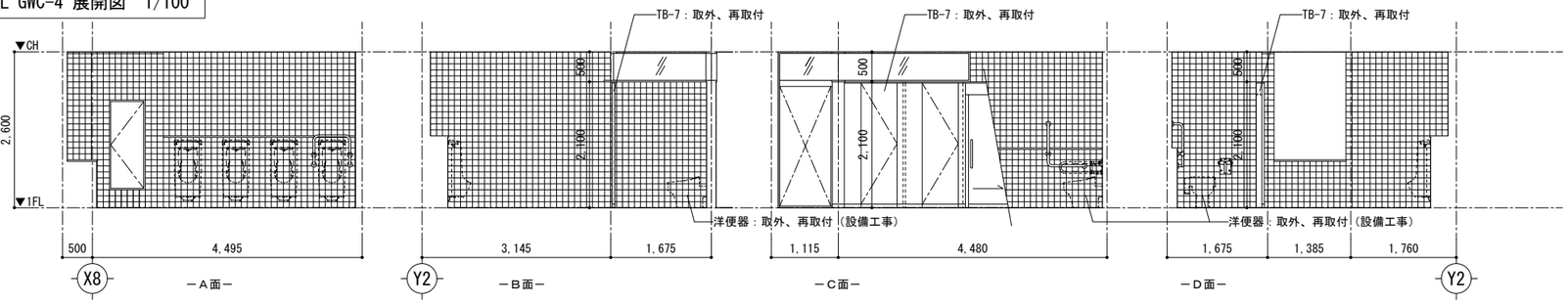
改修前



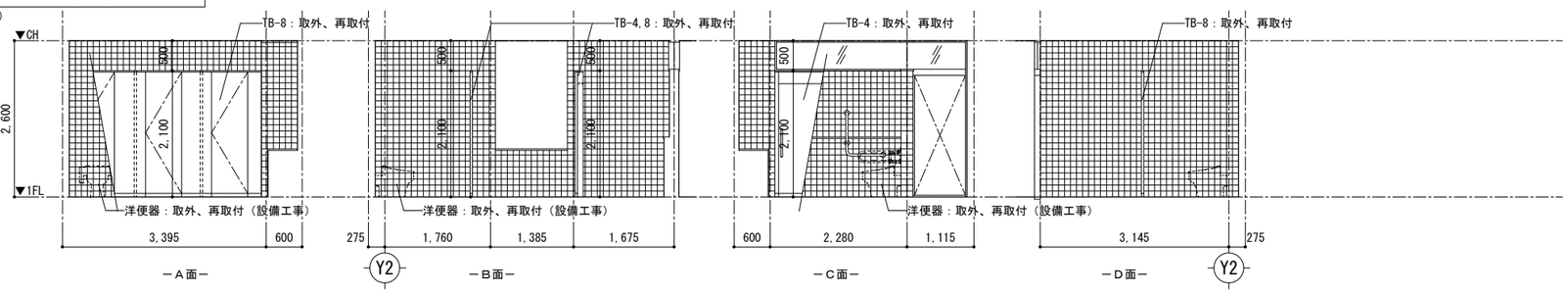
2FL GWC-4/LWC-4 平面図 1/100



2FL GWC-4 展開図 1/100

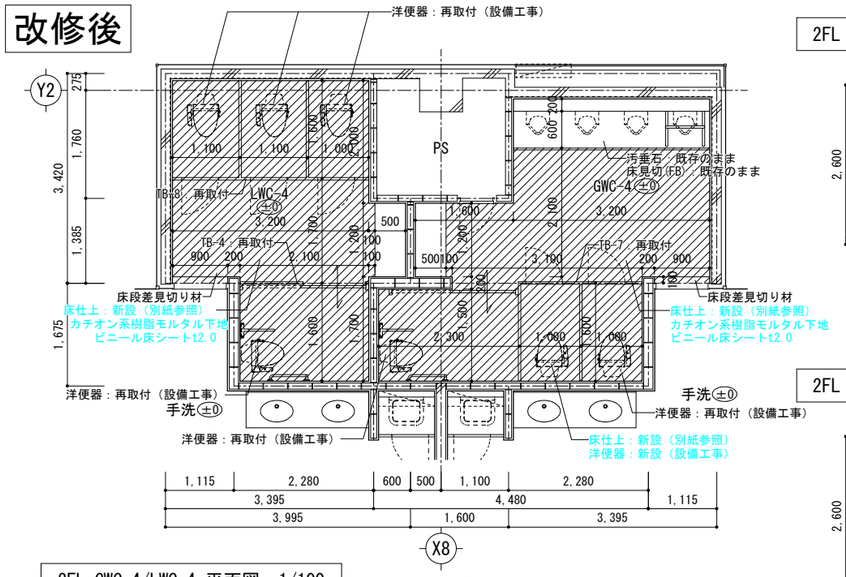


2FL LWC-4 展開図 1/100

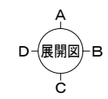


室 名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木	H	壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備 考
1FL GWC-4	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：御影石W50×H30 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600、床見切：FB
1FL LWC-4	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：御影石W50×H30

改修後



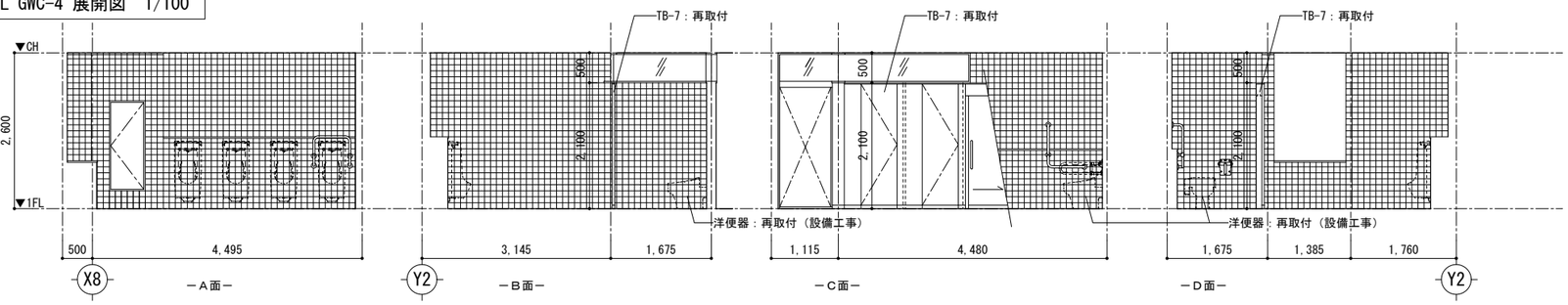
2FL GWC-4/LWC-4 平面図 1/100



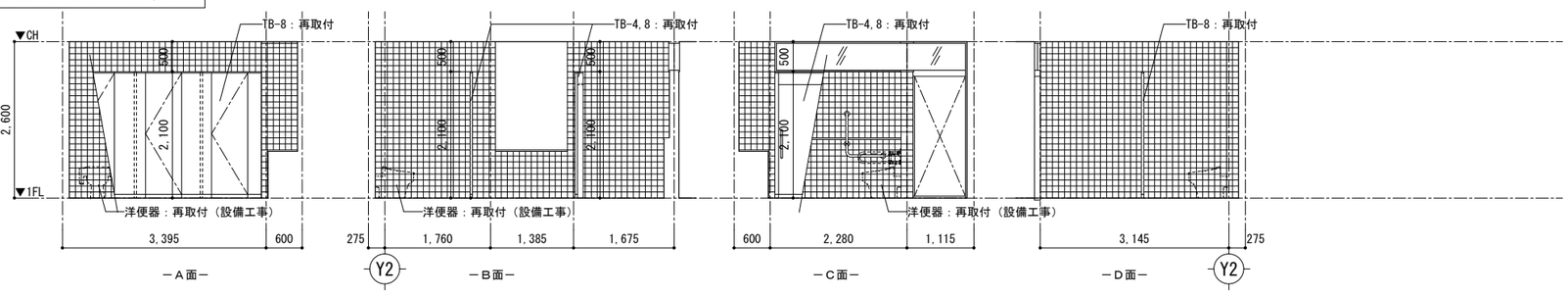
－凡例－

：床仕上新設範囲（A-71参照）

2FL GWC-4 展開図 1/100



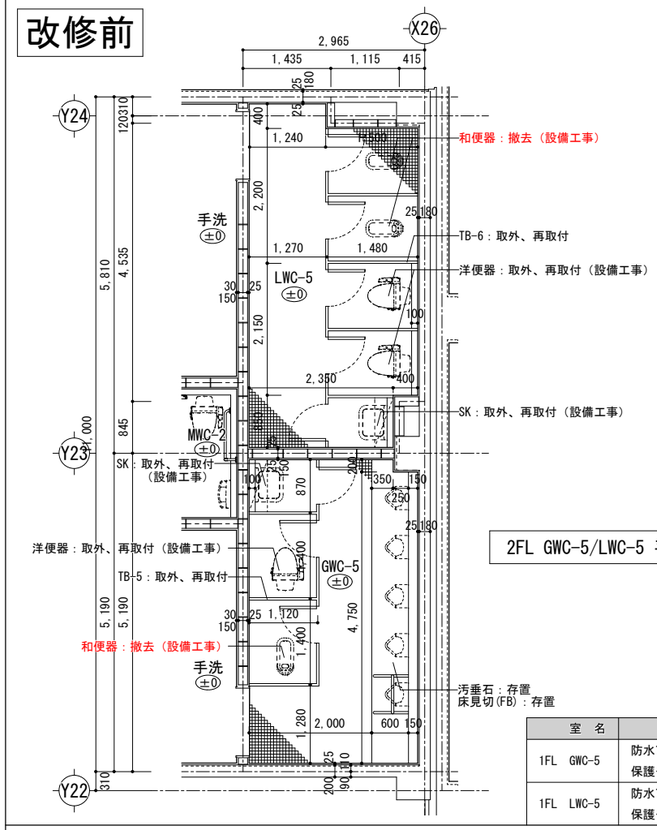
2FL LWC-4 展開図 1/100



室 名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木	H	壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備 考
1FL GWC-4	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	+15	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：御影石W50×H30：既存のまま　床段差見切り追加 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600：既存のまま、床見切：FB：既存のまま、段差見切り追加
1FL LWC-4	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	+15	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：御影石W50×H30：既存のまま　床段差見切り追加

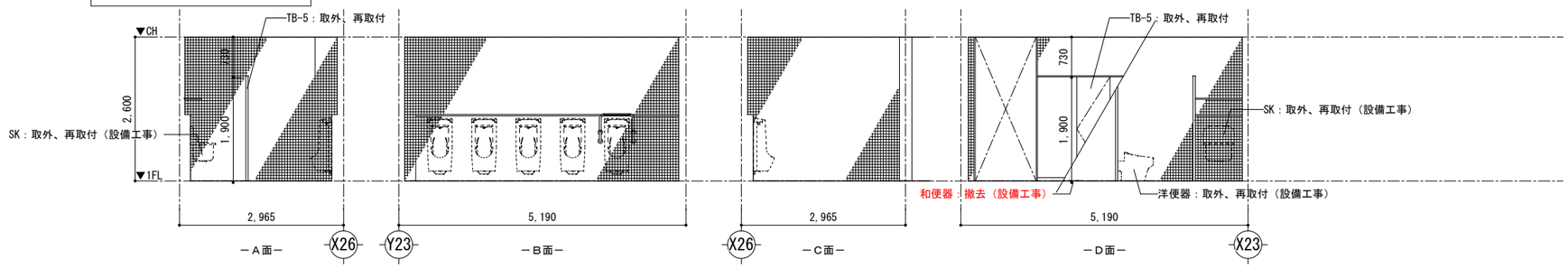
株式会社 釣谷建築事務所	１級建築士 第１１９８１６号 吉田 典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-72	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 既存改修 WC改修図-4	縮尺 1:100

改修前

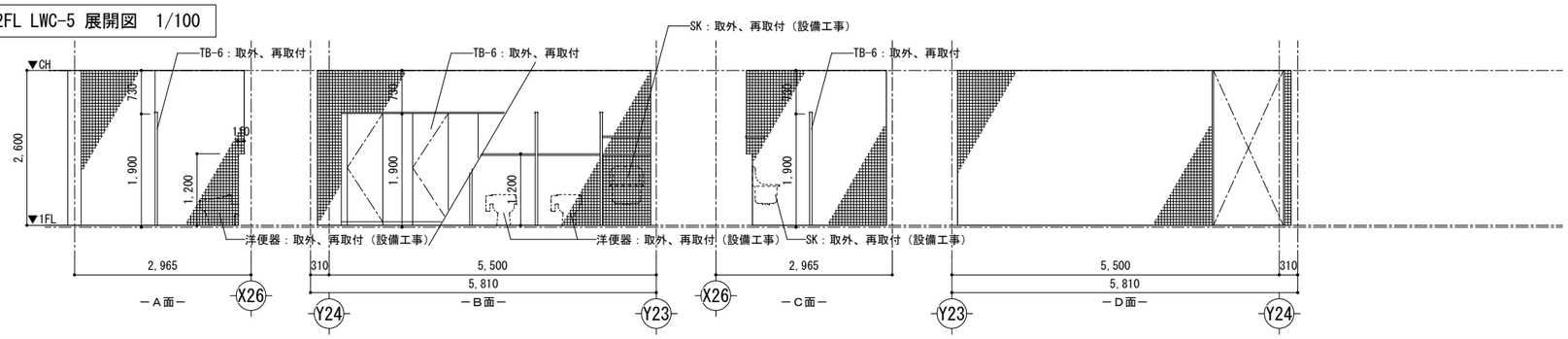


2FL GWC-5/LWC-5 平面図 1/100

2FL GWC-5 展開図 1/100

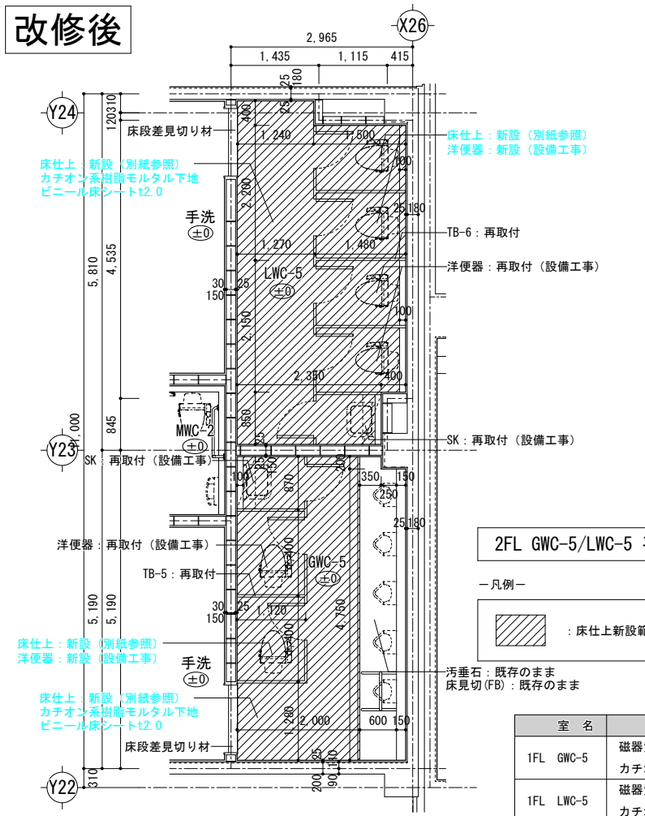


2FL LWC-5 展開図 1/100



室　名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木　H		壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備　考
1FL　GWC-5	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：御影石W50×H30 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600、床見切：FB
1FL　LWC-5	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：御影石W50×H30

改修後

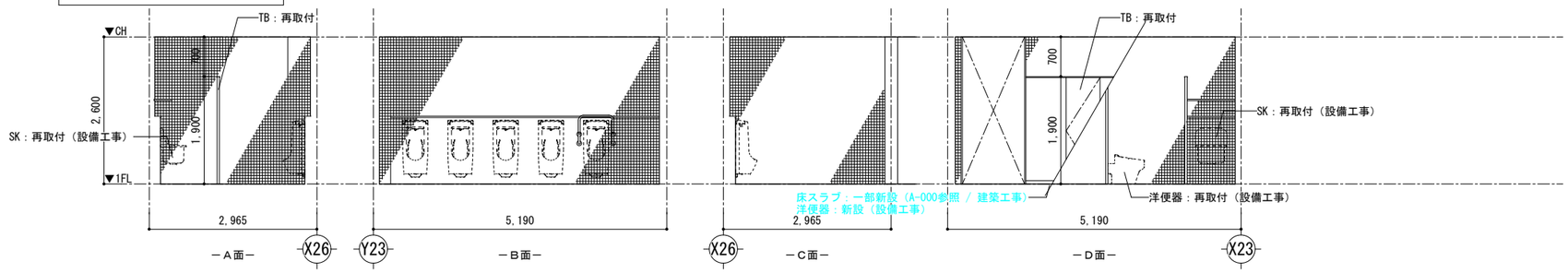


2FL GWC-5/LWC-5 平面図 1/100

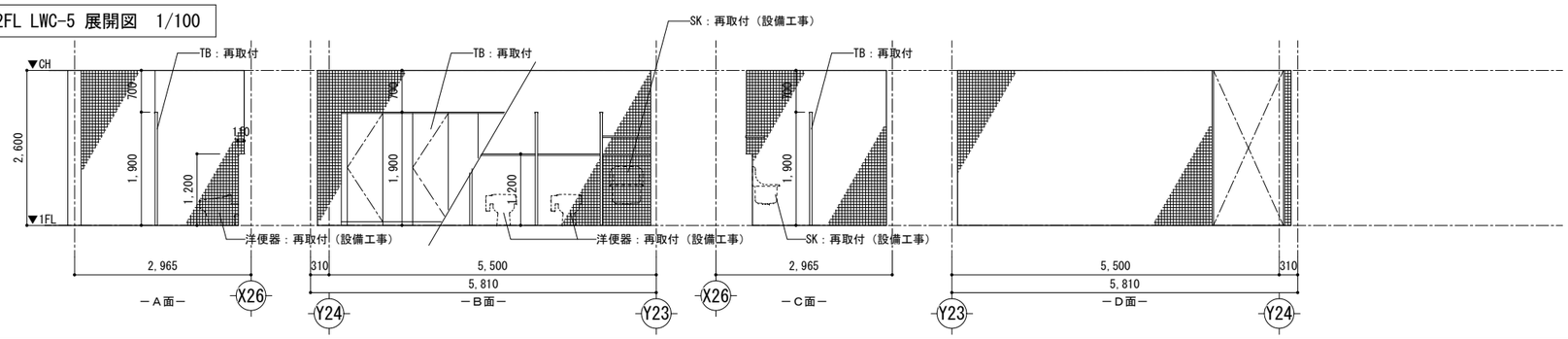
－凡例－

：床仕上新設範囲（A-71参照）

2FL GWC-5 展開図 1/100



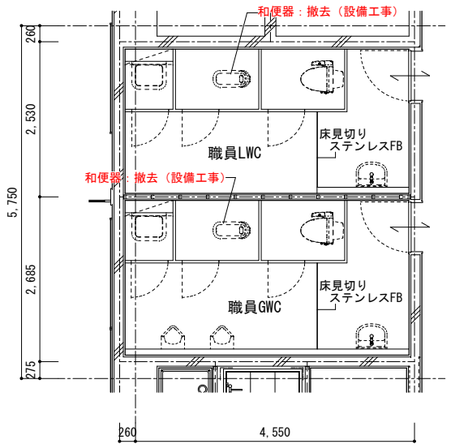
2FL LWC-5 展開図 1/100



室　名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木　H		壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備　考
1FL　GWC-5	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	±0	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：ステンレスFB：既存のまま　床段差見切り追加 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600：既存のまま、床見切：FB：既存のまま、段差見切り追加
1FL　LWC-5	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	±0	－	－	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：ステンレスFB：既存のまま　床段差見切り追加

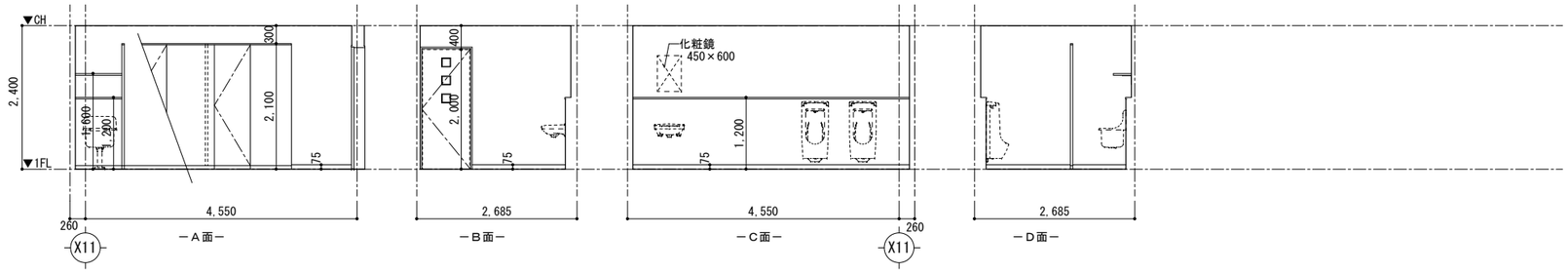
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-73	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 既存改修　WC改修図-5	縮尺 1:100

改修前

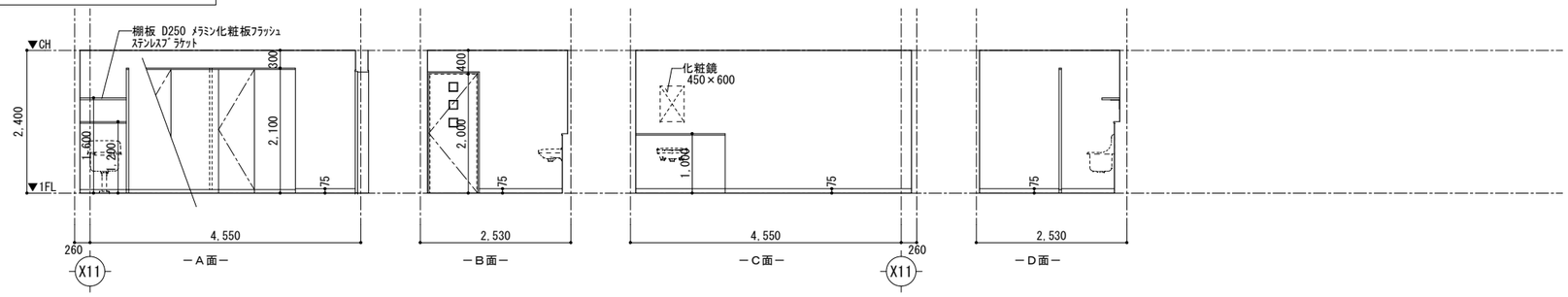


1FL 職員GWC/職員LWC 平面図　1/100

1FL 職員GWC 展開図　1/100

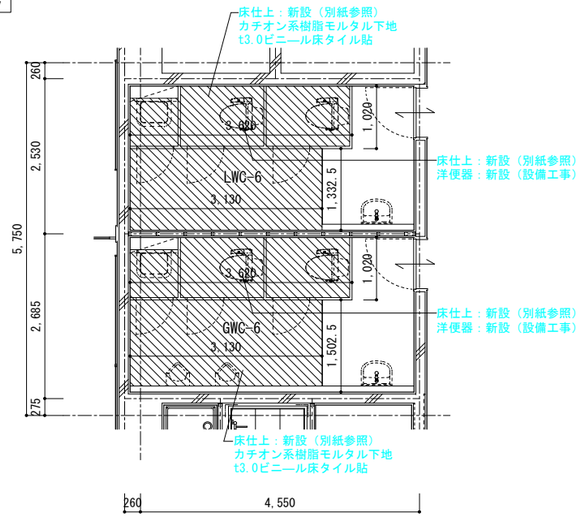


1FL 職員LWC 展開図　1/100



室　名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木	H	壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備　考
1FL　職員GWC	モルタル下地	t3.0ビニール床タイル貼：撤去 一部フローリングボード直貼	±0	－	－	GB-S下地	t3.0抗菌メラミン化粧板貼	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	
1FL　職員LWC	モルタル下地	t3.0ビニール床タイル貼：撤去 一部フローリングボード直貼	±0	－	－	GB-S下地	t3.0抗菌メラミン化粧板貼	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	

改修後

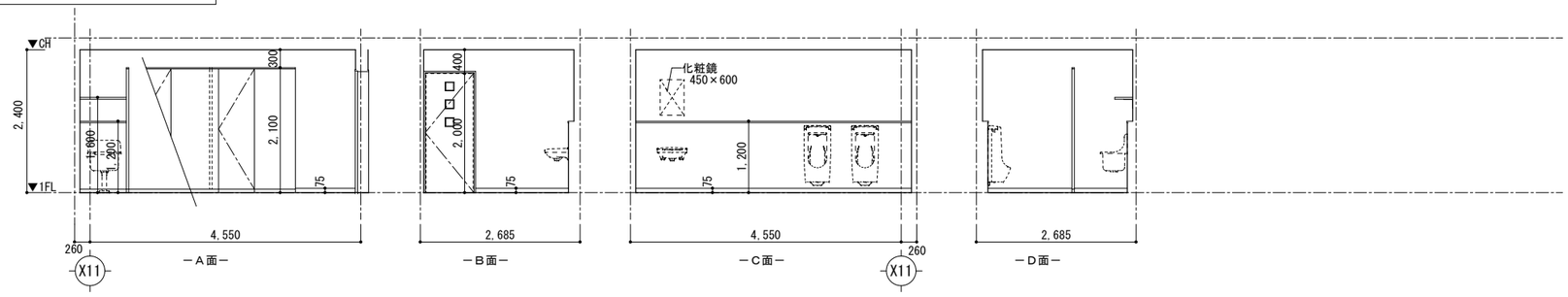


1FL 職員GWC/職員LWC 平面図　1/100

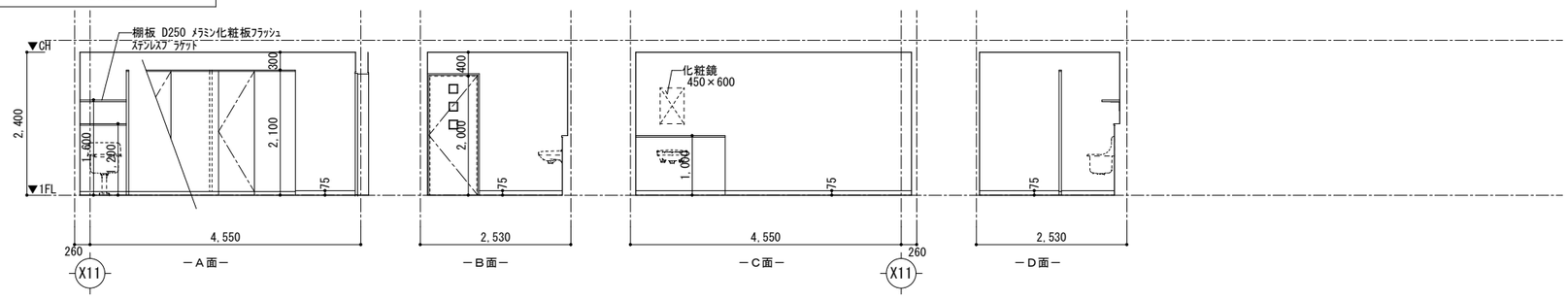
－凡例－

：床仕上新設範囲（A-71参照）

1FL GWC-6 展開図　1/100



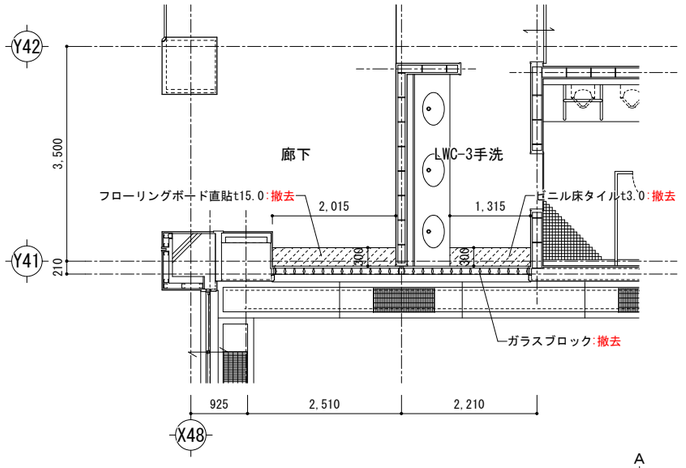
1FL LWC-7 展開図　1/100



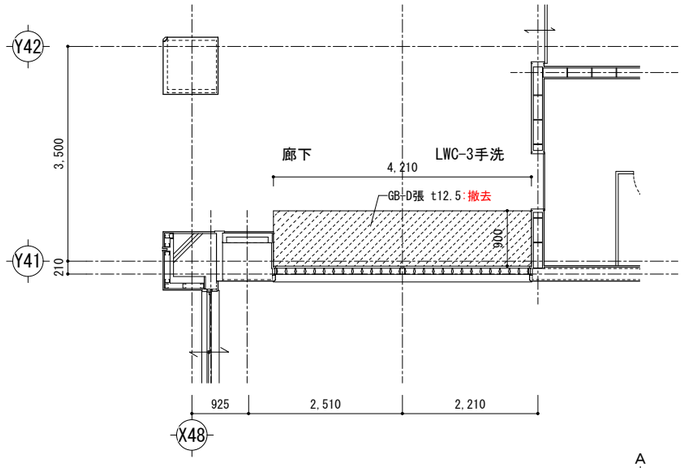
室　名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木	H	壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備　考
1FL　GWC-6	モルタル下地　下地調整	t3.0ビニール床タイル貼：新設 一部フローリングボード直貼	±0	－	－	GB-S下地	t3.0抗菌メラミン化粧板貼	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,400	
1FL　LWC-6	モルタル下地　下地調整	t3.0ビニール床タイル貼：新設 一部フローリングボード直貼	±0	－	－	GB-S下地	t3.0抗菌メラミン化粧板貼	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,400	

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-74	工事名称 図面名称	西部地区小学校災害復旧工事 既存改修　WC改修図-6	縮尺 1:100

改修前

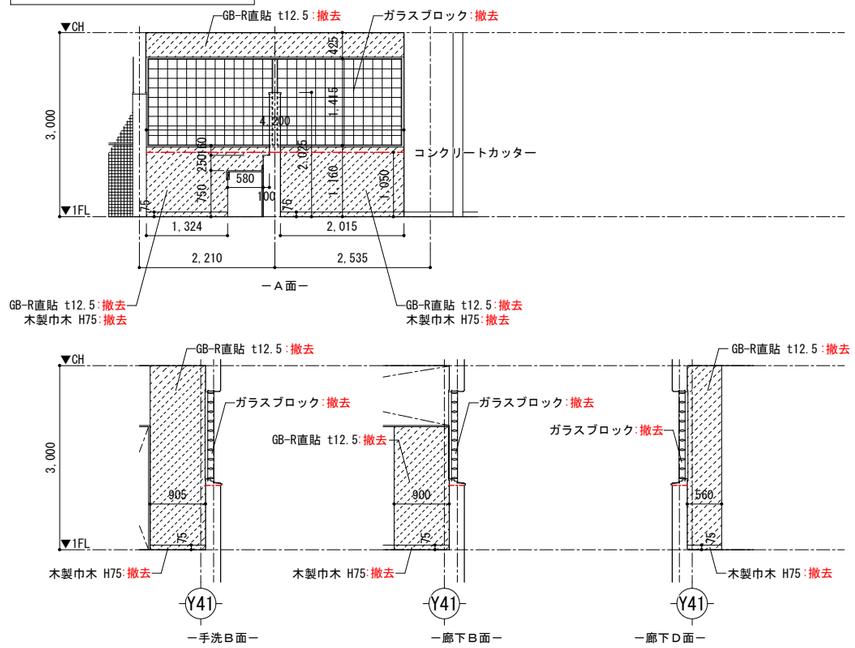


1FL LWC-3手洗/廊下 平面図 1/100



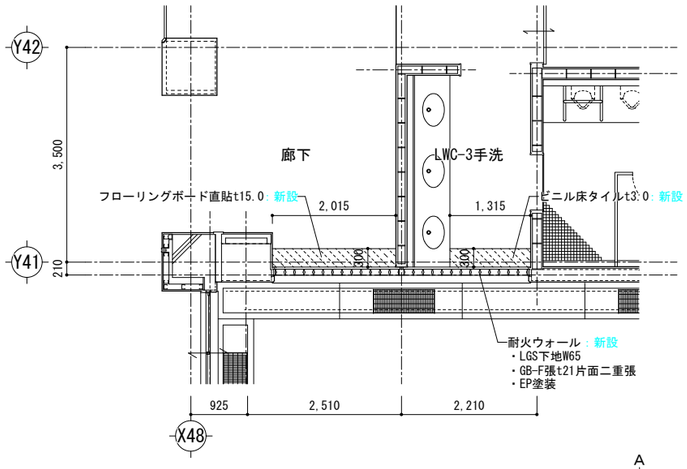
1FL LWC-3手洗/廊下 天井伏図 1/100

1FL LWC-3手洗 展開図 1/100

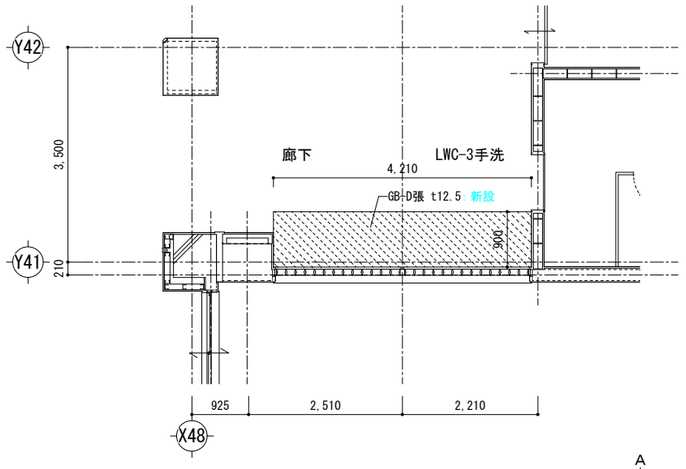


室 名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木	H	壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備 考
1FL LWC-3手洗	モルタル下地	ビニール床タイル貼 t3.0：一部撤去	±0	木製巾木 着色CL塗装：撤去	75	GB-R直貼 t12.5：撤去	EP塗装	LGS下地	GB-Dt9.5：一部撤去	塩ビ製	2,600	建具：ガラスブロック：撤去
1FL 廊下	モルタル下地	フローリングボード直貼 t15.0：一部撤去	±0	木製巾木 着色CL塗装：撤去	75	GB-R直貼 t12.5：撤去	EP塗装	LGS下地	GB-Dt9.5：一部撤去	塩ビ製	2,600	建具：ガラスブロック：撤去

改修後

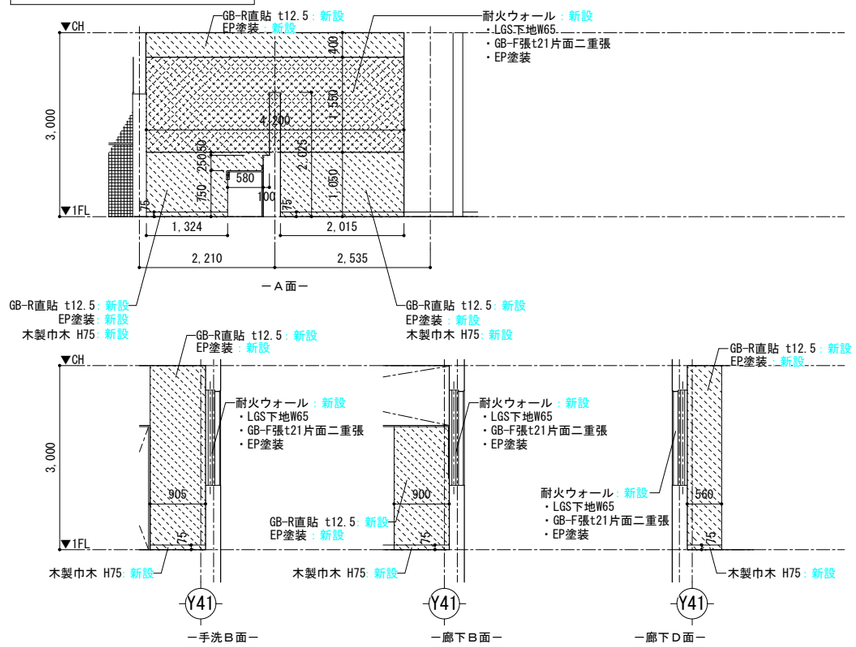


1FL LWC-3手洗/廊下 平面図 1/100



1FL LWC-3手洗/廊下 天井伏図 1/100

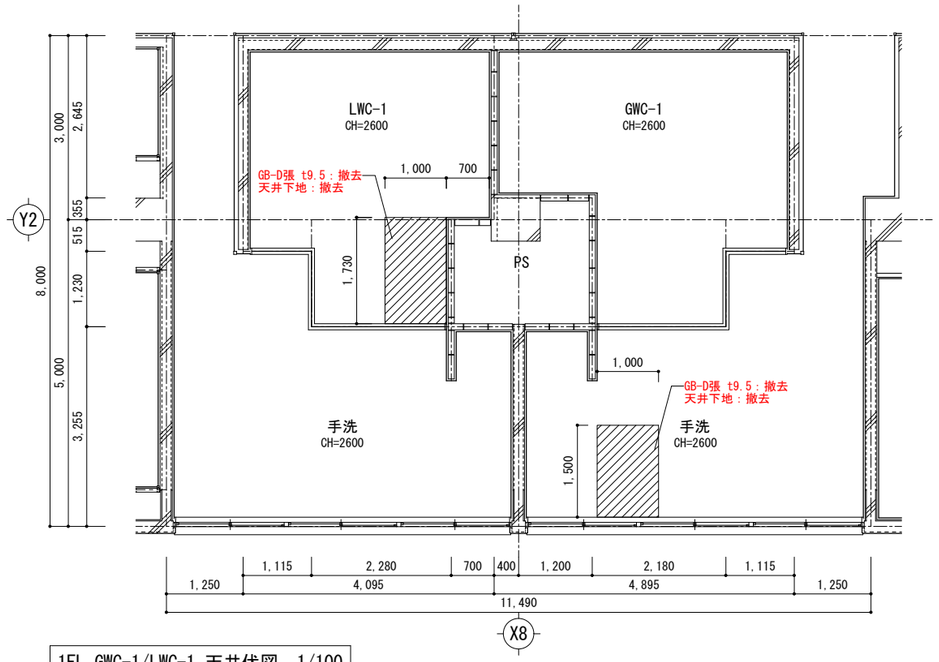
1FL LWC-3手洗 展開図 1/100



室 名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾木	H	壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備 考
1FL LWC-3手洗	モルタル下地	ビニール床タイル貼 t3.0：一部新設	±0	木製巾木 着色CL塗装：新設	75	GB-R直貼 t12.5：新設 ：新設 LGS下地、GB-F張 t21片面二重張り	EP塗装：新設	LGS下地	GB-Dt9.5：一部新設	塩ビ製	2,600	
1FL 廊下	モルタル下地	フローリングボード直貼 t15.0：一部新設	±0	木製巾木 着色CL塗装：新設	75	GB-R直貼 t12.5：新設 ：新設 LGS下地、GB-F張 t21片面二重張り	EP塗装：新設	LGS下地	GB-Dt9.5：一部新設	塩ビ製	2,600	

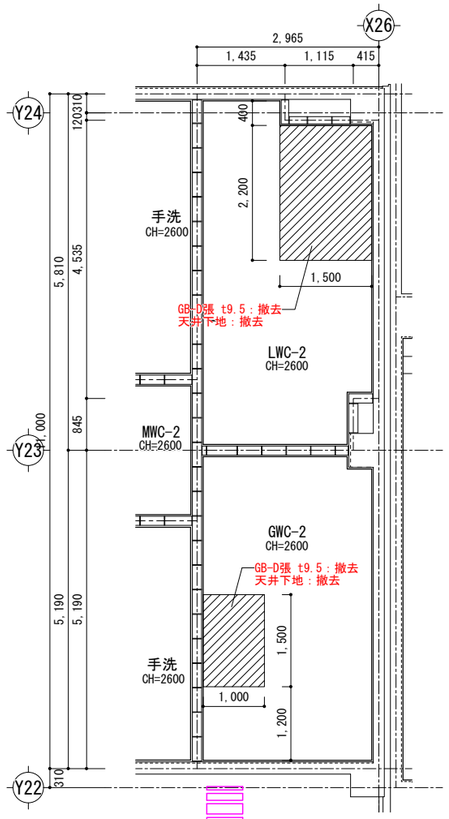
株式会社 釣谷建築事務所	１級建築士 第１１９８１６号 吉田 典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-75	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 既存改修 WC改修図-7	縮尺 1:100

改修前



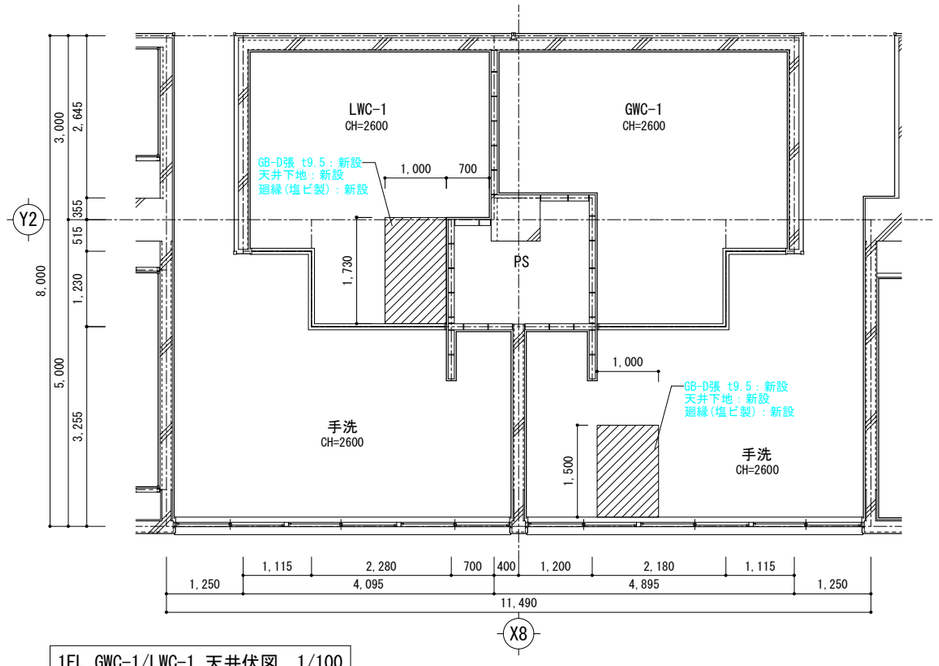
1FL GWC-1/LWC-1 天井伏図　1/100

改修前



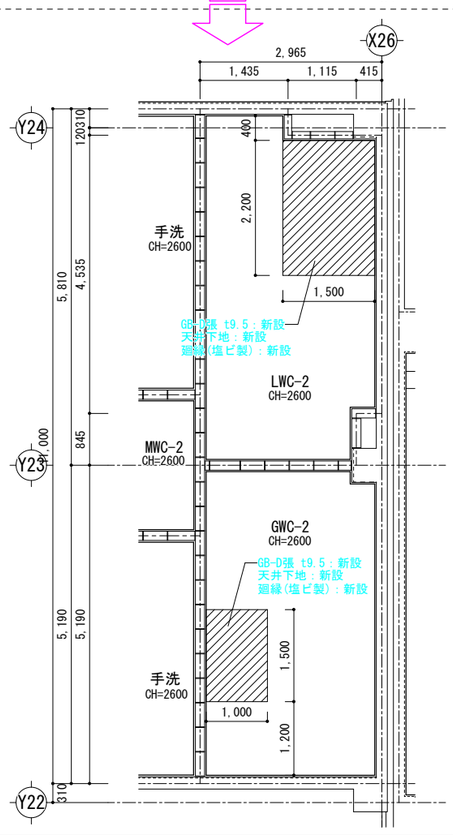
1FL GWC-2/LWC-2 天井伏図　1/100

改修後



1FL GWC-1/LWC-1 天井伏図　1/100

改修後

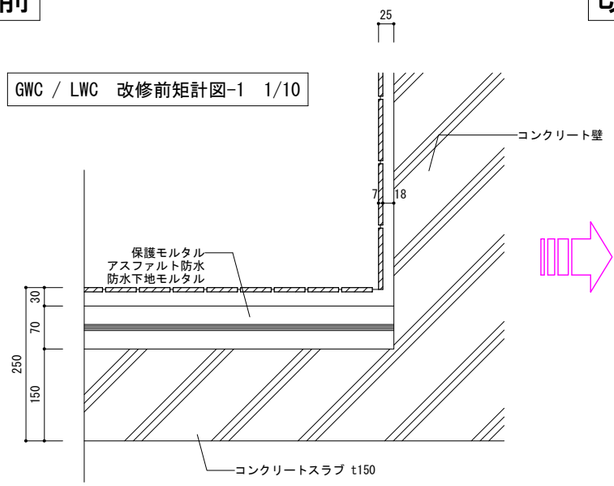


1FL GWC-2/LWC-2 天井伏図　1/100

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-76	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:100
						図面名称 既存改修　WC天井改修図	

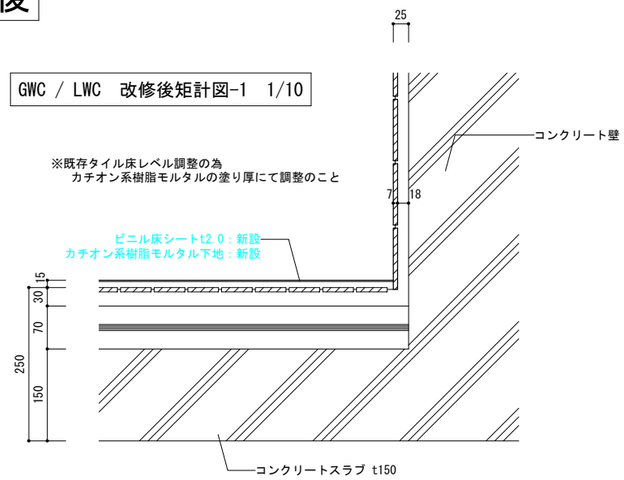
改修前

GWC / LWC　改修前矩計図-1　1/10

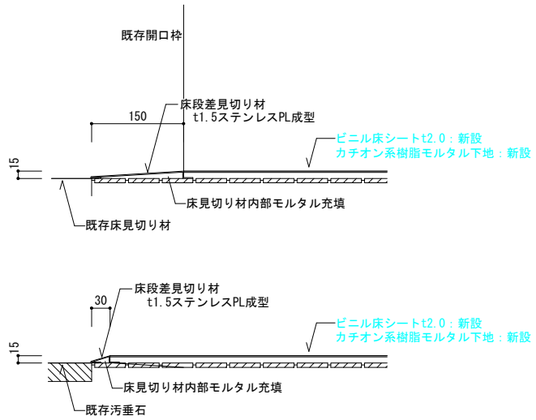


改修後

GWC / LWC　改修後矩計図-1　1/10

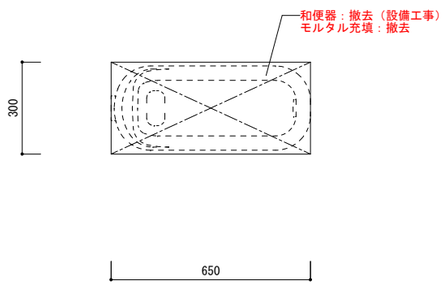


床見切り改修

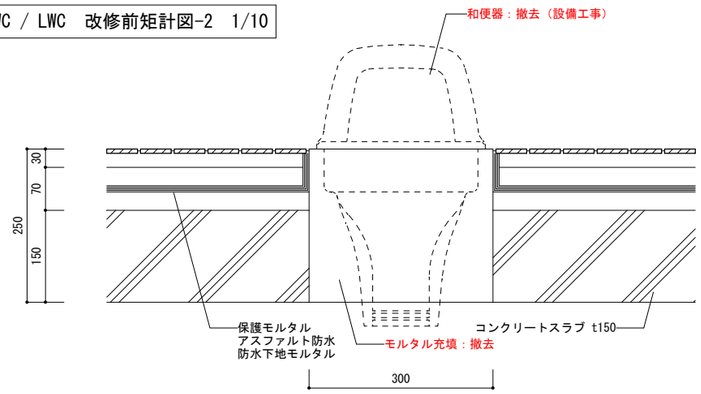


改修前

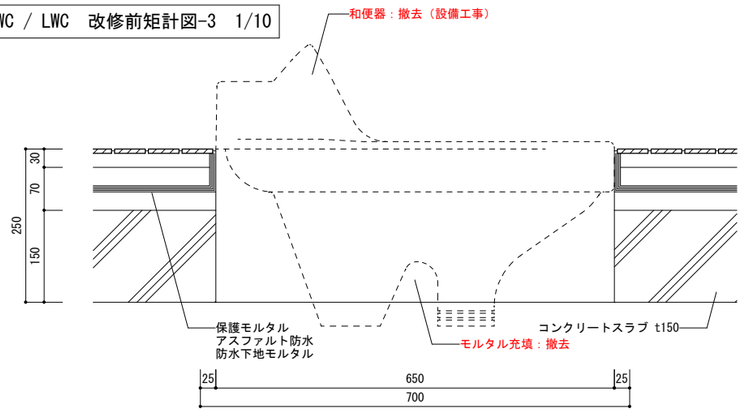
GWC / LWC　改修前見上げ図　1/20



GWC / LWC　改修前矩計図-2　1/10

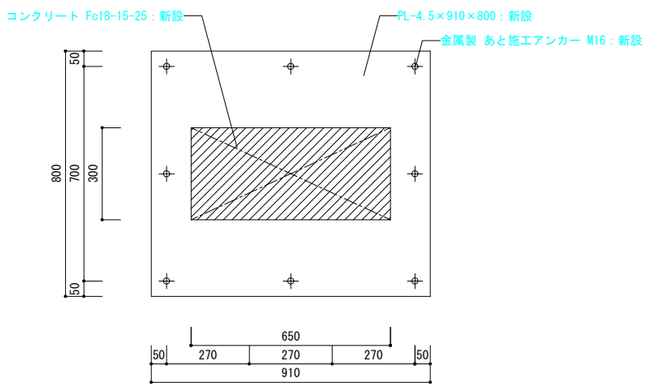


GWC / LWC　改修前矩計図-3　1/10

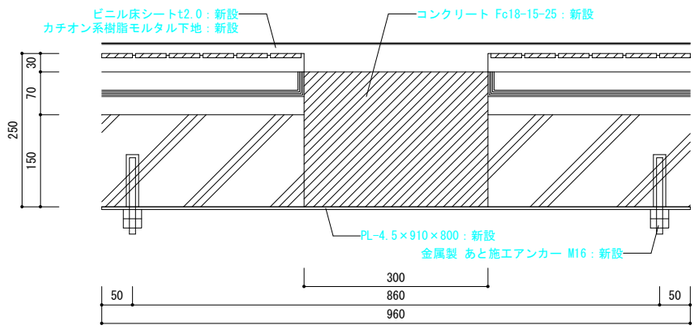


改修後

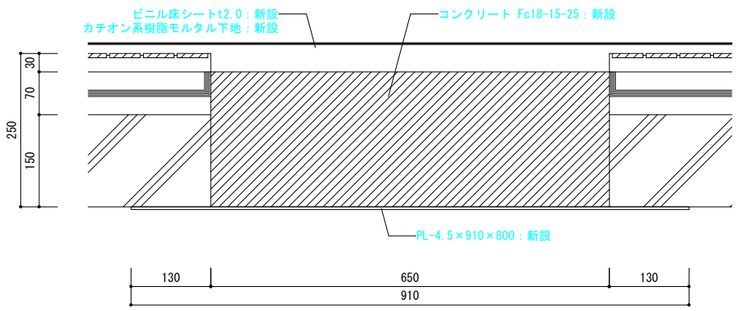
GWC / LWC　改修後見上げ図　1/20



GWC / LWC　改修後矩計図-2　1/10

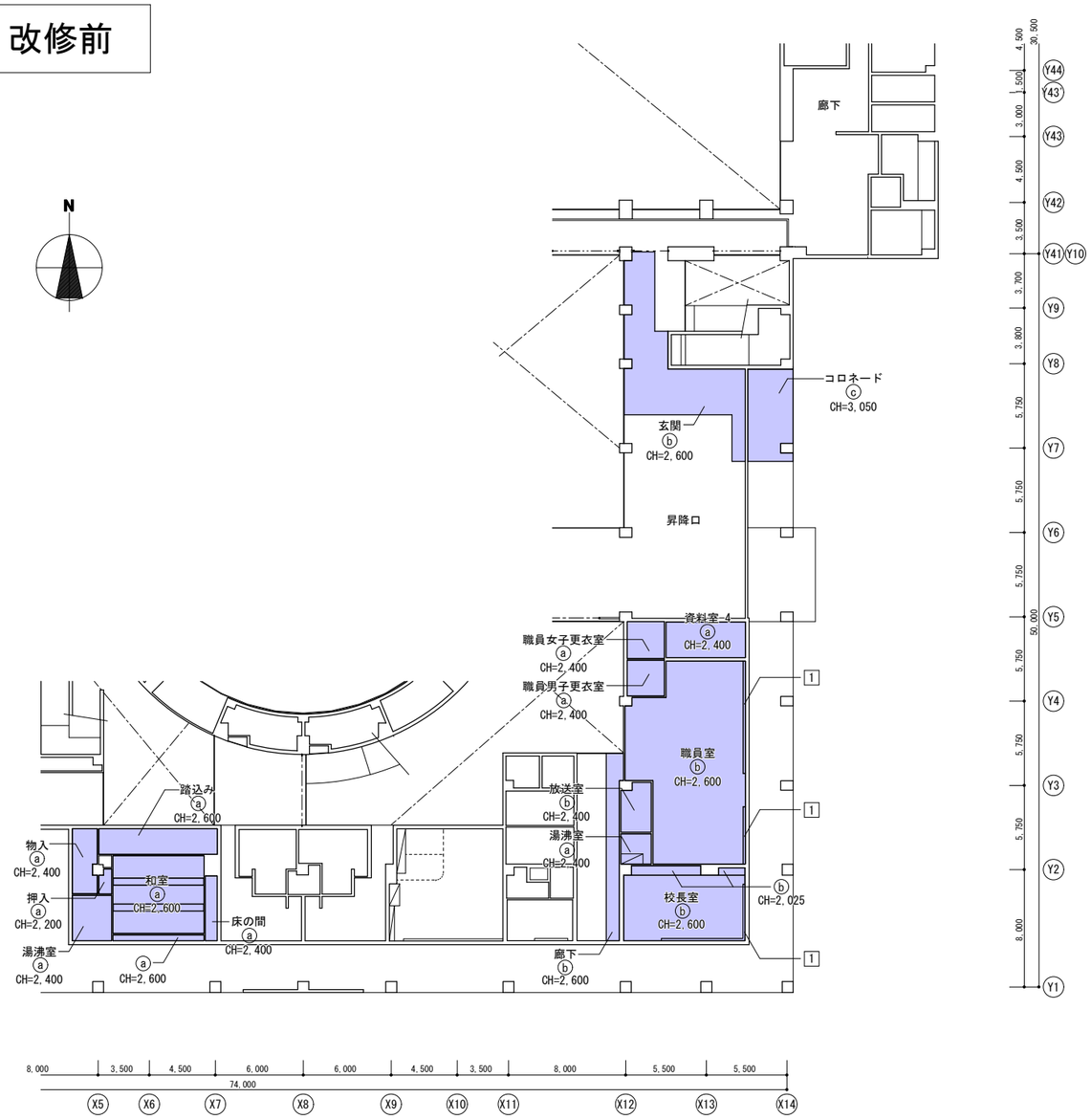


GWC / LWC　改修後矩計図-3　1/10



株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-77	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 図示
						図面名称 既存改修　WC改修部分詳細図	

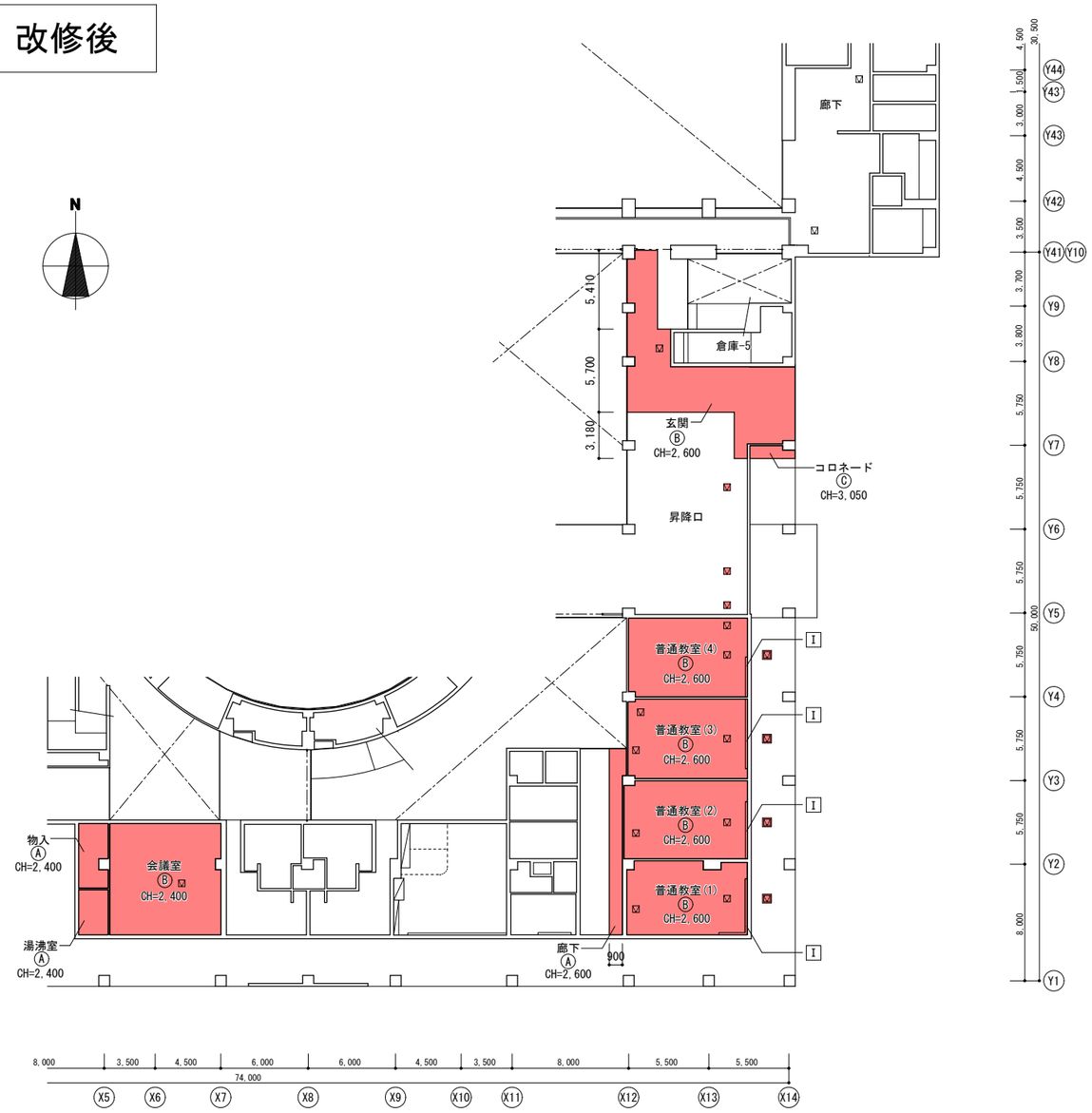
改修前



- 凡例（天井撤去）-

ⓐ	GB-D張 t9.5
ⓑ	岩綿吸音板張 t9.0
ⓒ	フレキシブルボード 目透張 t8.0
I	カーテンボックス：木製 着色CL塗装 130×80 一部撤去（校長室）その他既存のまま

改修後



天井開口補強（設備用 1.2階）

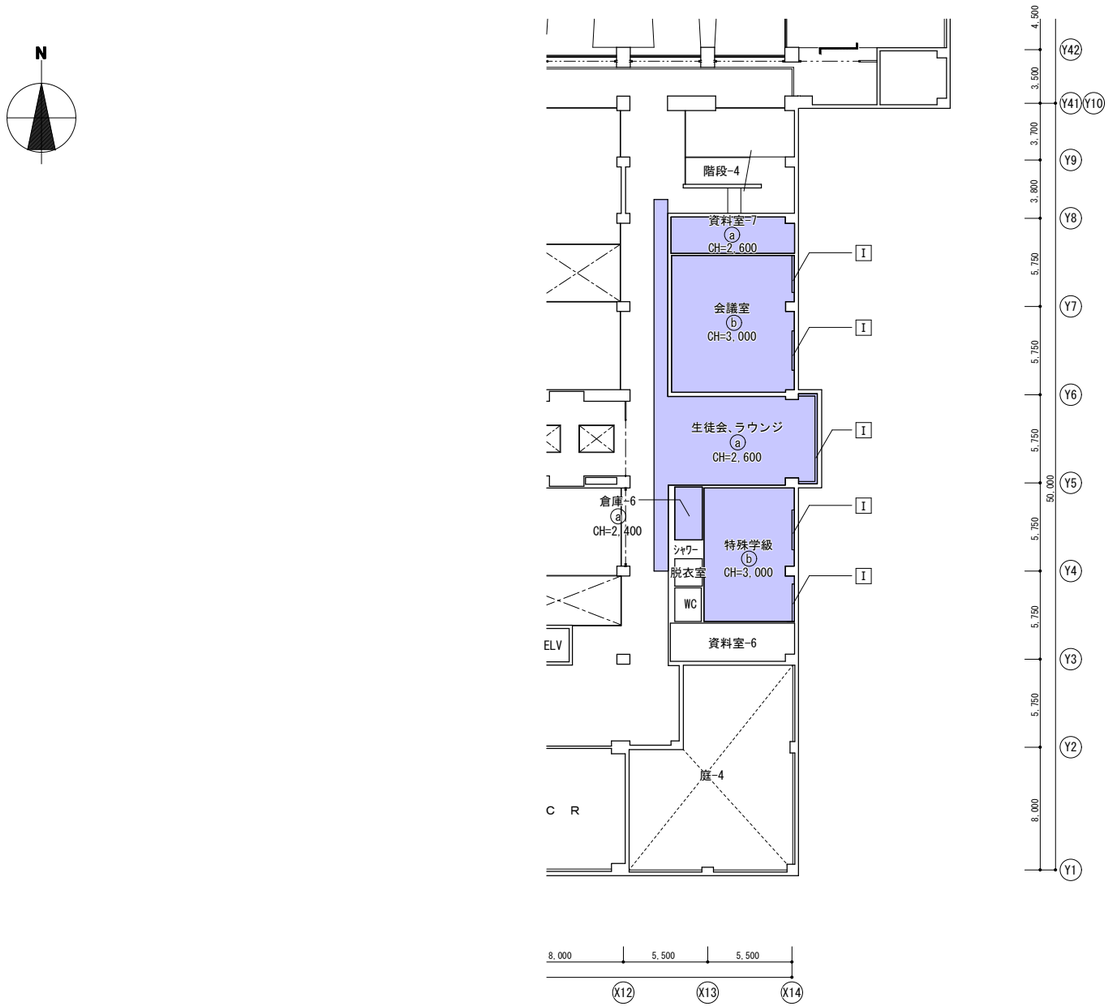
開口寸法			箇所数
150	×	150	2
300	×	300	3
900	×	900	15
300	×	1200	7

- 凡例（改修工事）-

Ⓐ	GB-D張 t9.5
Ⓑ	岩綿吸音板張 t9.0
Ⓒ	フレキシブルボード 目透張 t8.0
I	カーテンボックス：木製 CL塗替
⊠	天井点検口 450角（目地）：1階 16箇所、2階 8箇所
⊠	天井点検口 450角（額縁）：1階 4箇所、2階 1箇所

株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-78	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 既存改修 1階天井伏図	縮尺 1:400

改修前



- 凡例（天井撤去）-

ⓐ	GB-D張 t9.5
ⓑ	岩綿吸音板張 t9.0
ⓒ	フレキシブルボード 目透張 t8.0
1	カーテンボックス：木製 着色CL塗装 130×80
2	見切：L-20×20 SOP塗装

改修後

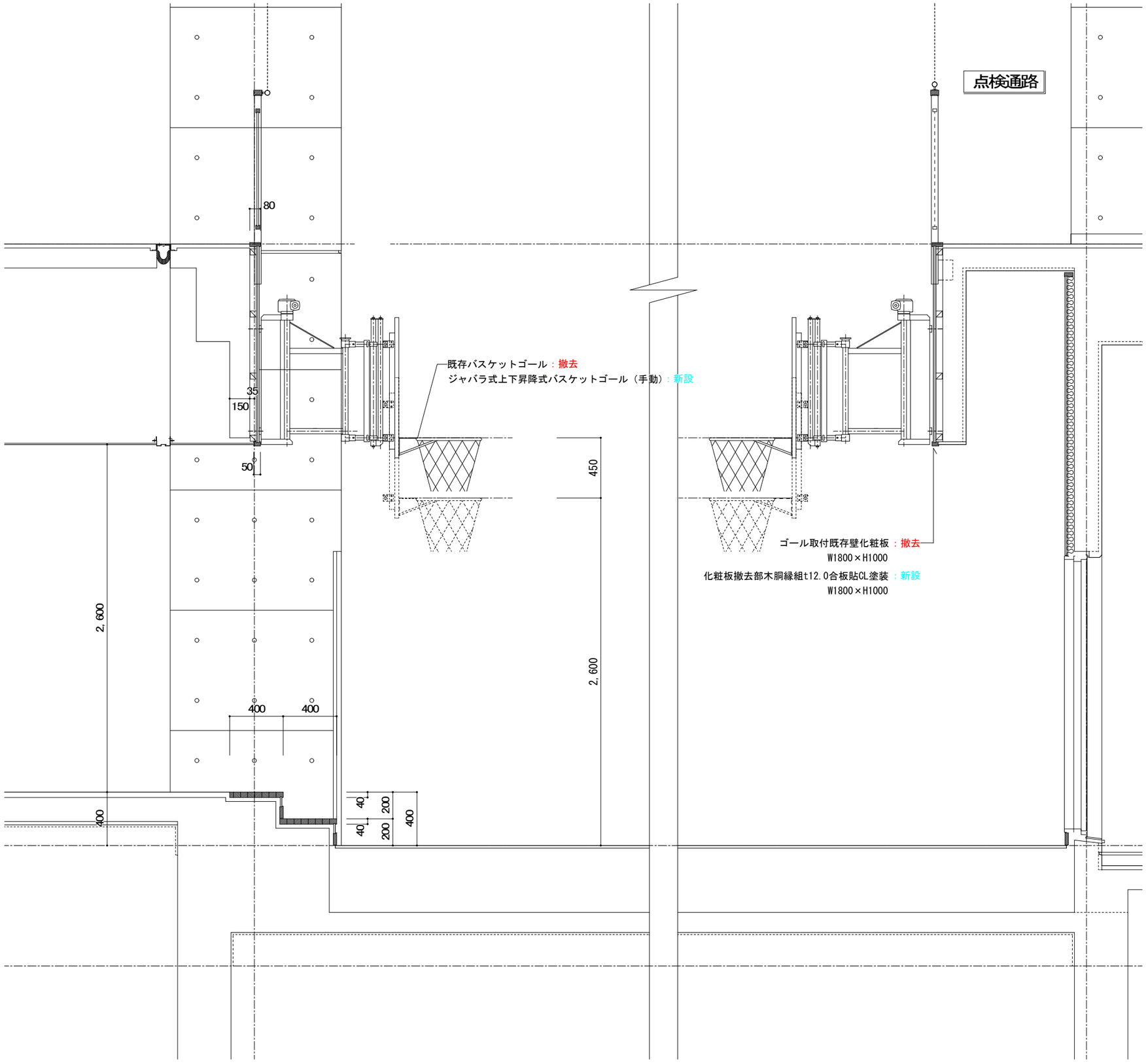
- 凡例（改修工事）-

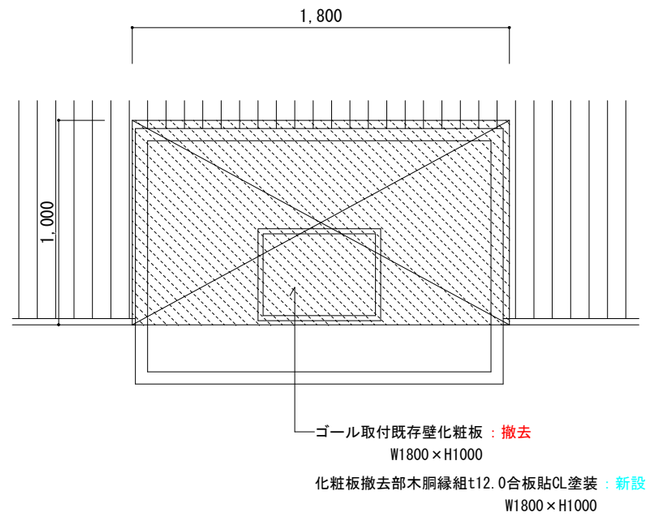
Ⓐ	GB-D張 t9.5
Ⓑ	岩綿吸音板張 t9.0
Ⓒ	フレキシブルボード 目透張 t8.0
I	カーテンボックス：木製 着色CL塗装 120×80
II	見切：L-20×20 SOP塗装
⊠	天井点検口 450角（目地）：1階 9箇所、2階 3箇所
⊠	天井点検口 450角（額縁）：1階 6箇所、2階 1箇所

株式会社 釣谷建築事務所

１級建築士 第１１９８１６号 吉田 典生

製作年月日	設計番号	図面番号	工事名称	縮尺
26.03	25_42	A-79	西部地区小学校災害復旧工事	1:400
			図面名称：既存改修 2階天井伏図	



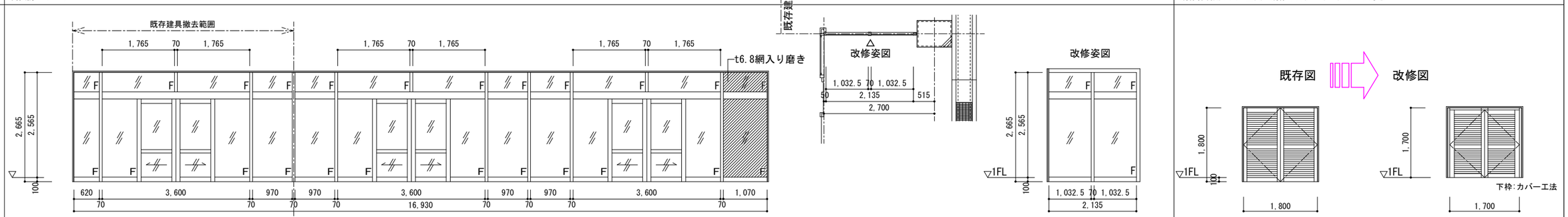


株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-80	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:30
					図面名称	既存改修　バスケットゴール改修図	

符号・種類	(1/ADK)	既存建具改修	枠見込 70
数・場所	1	昇降口	
材料	アルミ		
仕上	アルマイト（BA-1種）		
金物	３方アルミ額縁 既存建具取合アルミPLt2.0成型		
ガラス	6mm フロート		
備考	衝突防止シール		

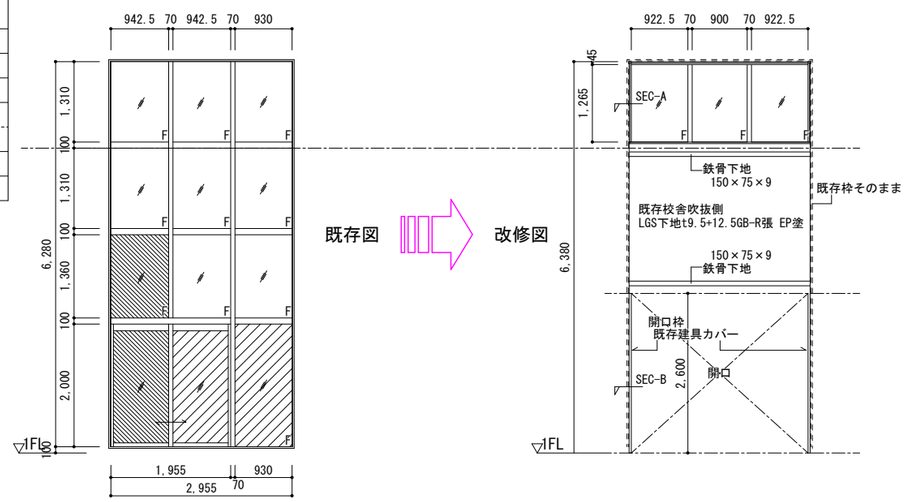
符号・種類	(2/ADK)	既存建具改修　両開き框ガラリ戸
数・場所	1	1階　倉庫5
材料	アルミ	
仕上	アルマイト（BA-1種）	
金物	３方アルミ額縁　下枠ステンレス　レバーハンドル錠 丁番　ドアクローザー　戸当り　付属金物一式	
ガラス		
備考	既存枠利用カバー工法　既存マスターキーグループ対応	

姿図



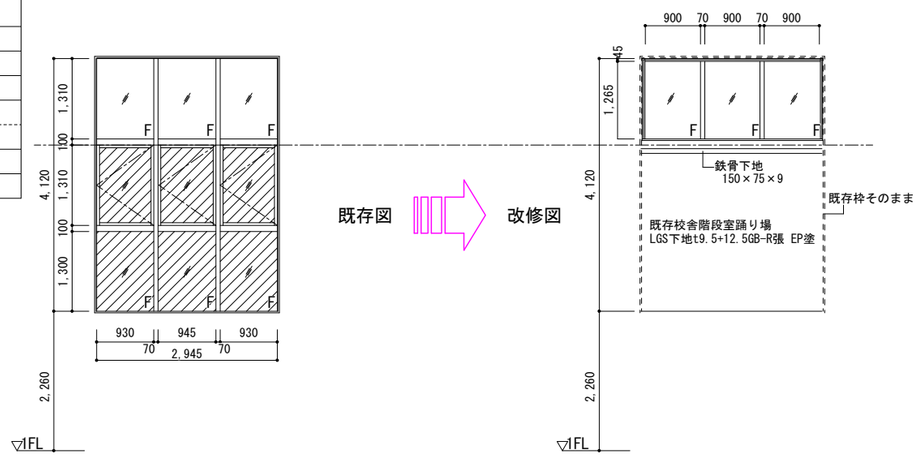
符号・種類	(1/AWK)	既存建具改修
数・場所	1	階段-4（吹抜部）
材料	アルミ	
仕上	アルマイト（BA-1種）	
金物	３方アルミ額縁 開口部分開口枠:t2.0アルミパネル成形	
ガラス	t4.0学校用強化ガラス（透明）	
備考		

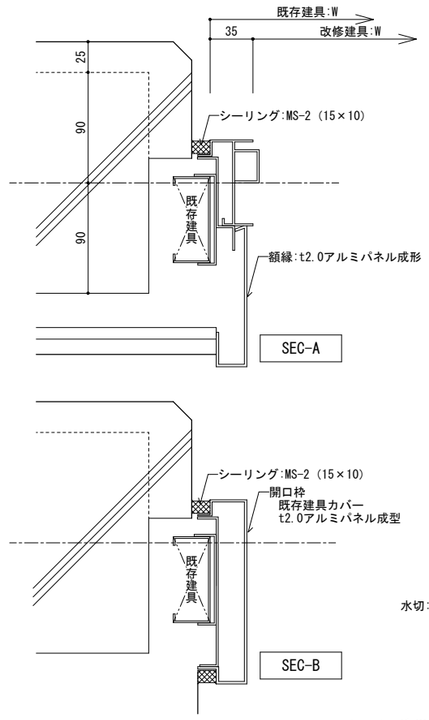
姿図



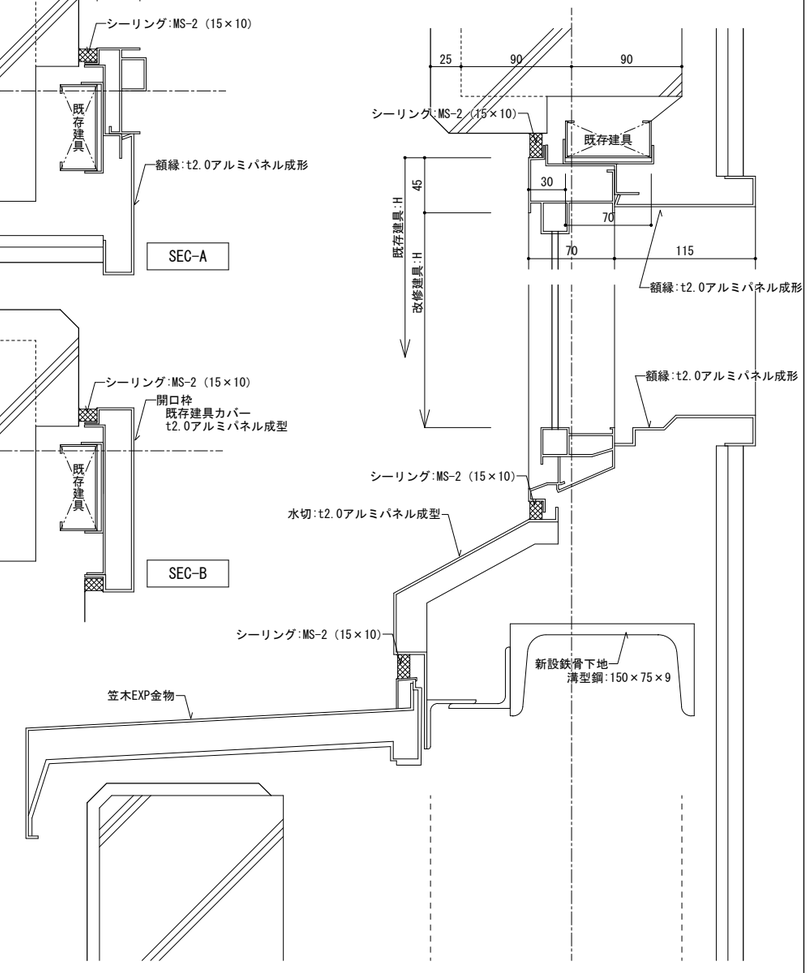
符号・種類	(2/AWK)	既存建具改修
数・場所	1	階段-4
材料	アルミ	
仕上	アルマイト（BA-1種）	
金物	３方アルミ額縁	
ガラス	t4.0学校用強化ガラス（透明）	
備考		

姿図





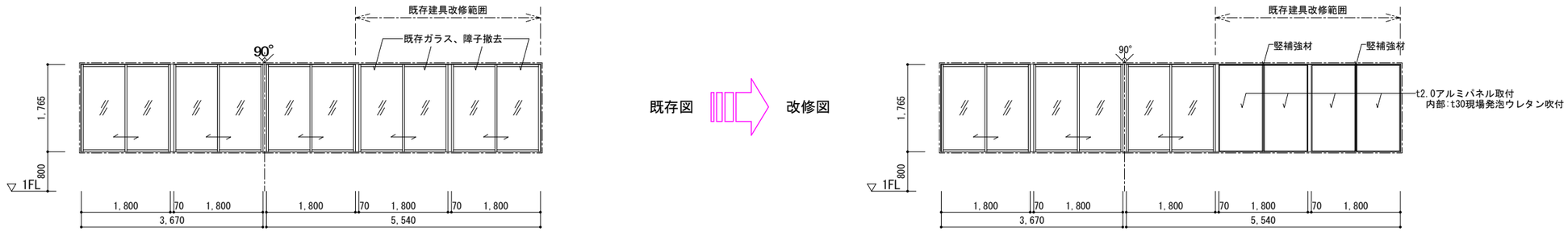
※既存建具カバー工法詳細図　S=1/5



株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-81	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 図示
					図面名称 既存建具　撤去・改修図-1	

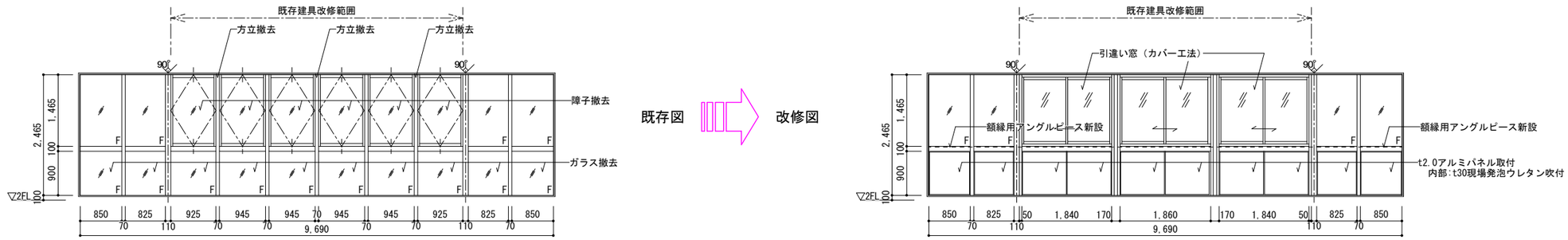
符号・種類	3 AWK	既存建具改修
数・場所	1	1階　普通教室（1）：既存校長室
材料	アルミ	
仕上	アルマイト（BA-1種）	
金物	額縁用アングルピース t2.0アルミパネル	
ガラス		
備考		

姿図



符号・種類	4 AWK	既存建具改修
数・場所	1	2階　普通教室（4）：既存生徒ラウンジ
材料	アルミ	
仕上	アルマイト（BA-1種）	
金物	額縁用アングルピース t2.0アルミパネル	
ガラス	t4.0学校用強化ガラス（透明）	
備考	網戸（ガラス繊維入合成樹脂）	

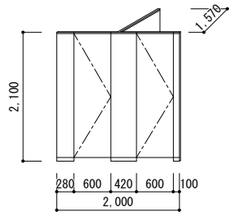
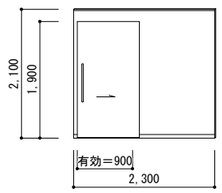
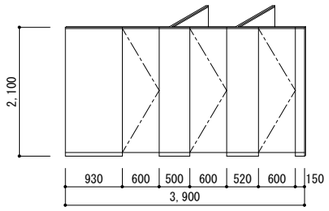
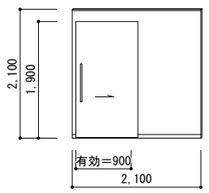
姿図

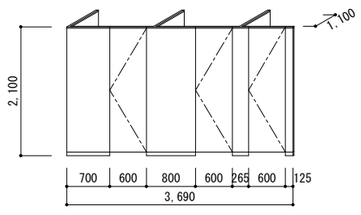
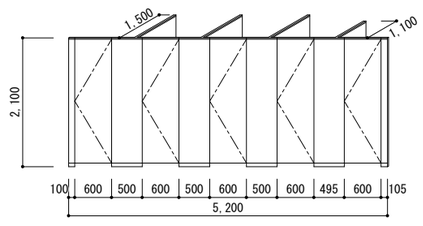
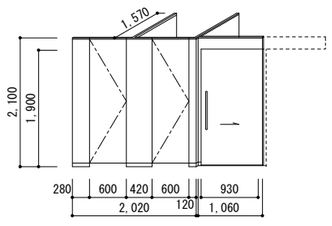
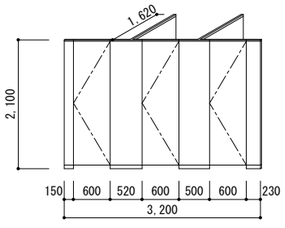


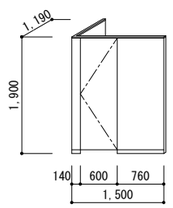
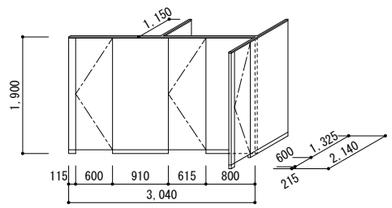
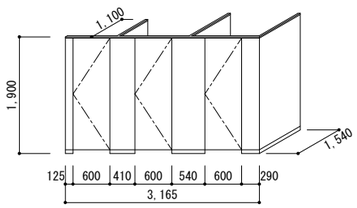
符号・種類		
数・場所		
材料		
仕上		
金物		
ガラス		
備考		

姿図

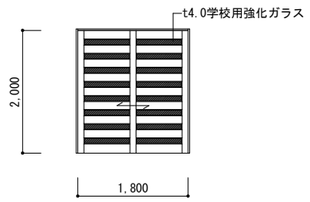
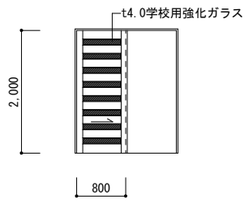
株式会社　釣谷建築事務所	1級建築士　第119816号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-82	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	図面名称 既存建具　撤去・改修図-2	縮尺 図示

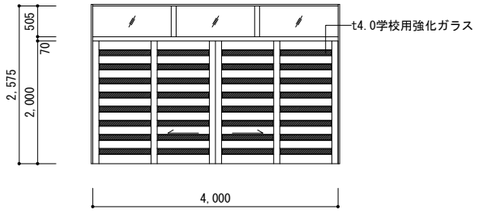
符号・種類	TB 1	トイレブース	TB 2	トイレブース（吊り戸式）	TB 3	トイレブース	TB 4	トイレブース（吊り戸式）
数・場所	1	1階 GWC-1	1	1階 GWC-1	1	1階 LWC-1	2	1階 LWC-1、2階 LWC-4
材料								
仕上								
金物	壁受け金物、ステンレス巾木　更新		壁受け金物、ステンレス巾木　更新		壁受け金物、ステンレス巾木　更新		壁受け金物、ステンレス巾木　更新	
ガラス								
備考	既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け	
姿図								

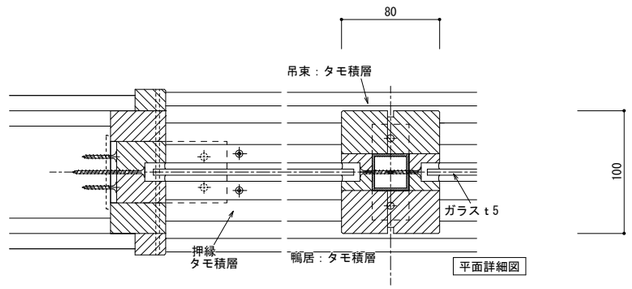
符号・種類	TB 5	トイレブース	TB 6	トイレブース	TB 7	トイレブース	TB 8	トイレブース
数・場所	2	1階 GWC-2、2階 GWC-5	2	1階 LWC-2、2階 LWC-5	1	2階 GWC-4	1	2階 LWC-4
材料								
仕上								
金物	壁受け金物、ステンレス巾木　更新		壁受け金物、ステンレス巾木　更新		壁受け金物、ステンレス巾木　更新		壁受け金物、ステンレス巾木　更新	
ガラス								
備考	既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け	
姿図								

符号・種類	TB 9	トイレブース	TB 10	トイレブース	TB 11	トイレブース		
数・場所	1	1階 LWC-3	1	1階 LWC-3	1	1階 GWC-3		
材料								
仕上								
金物	壁受け金物、ステンレス巾木　更新		壁受け金物、ステンレス巾木　更新		壁受け金物、ステンレス巾木　更新			
ガラス								
備考	既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け			
姿図								

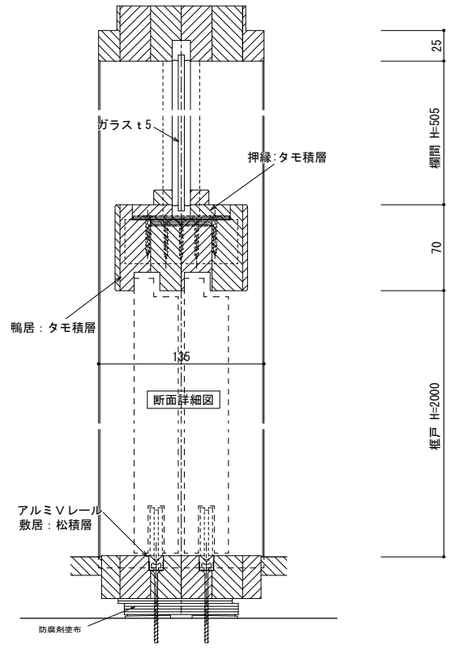
株式会社　釣谷建築事務所	1級建築士　第119816号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-83	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺
					図面名称	既存建具　撤去・改修図-3	図示

符号・種類	WD 101	引違い框戸　　枠見込:130	WD 102	片引き框戸　　枠見込:130
数・場所	1	1階 和室（物入）	6	1階 和室（湯沸室）　1階 普通教室2.3.4　2階 普通教室5.6
材料	扉框：タモ単材　敷居：マツ積層材（35×120）　建具枠：t1.6スチール成型		扉框：タモ単材　敷居：マツ積層材（35×50）　建具枠：t1.6スチール成型	
仕上	木部：CL塗装　スチール枠：SOP塗装		木部：CL塗装　スチール枠：SOP塗装	
金物	引違い鎌錠、引手、戸車、ストッパー 付属金物一式		引違い鎌錠、引手、戸車、ストッパー 付属金物一式	
ガラス	t4.0学校用強化ガラス		t4.0学校用強化ガラス	
備考	戸先指詰め防止緩衝材、敷居埋込アルミVレール		戸先指詰め防止緩衝材、敷居埋込アルミVレール	
姿図				

符号・種類	WD 103	4枚建引違い框戸　　枠見込:135
数・場所	6	1階 普通教室2.3.4　2階 普通教室5.6.7
材料	扉框：タモ単材　敷居：マツ積層材（35×120）　建具枠：t1.6スチール成型	
仕上	木部：CL塗装　スチール枠：SOP塗装	
金物	引違い鎌錠、引手、戸車、ストッパー 付属金物一式	
ガラス	t4.0学校用強化ガラス　ランマ部:t5.0フロート透明ガラス	
備考	戸先指詰め防止緩衝材、敷居埋込アルミVレール	
姿図		



平面詳細図

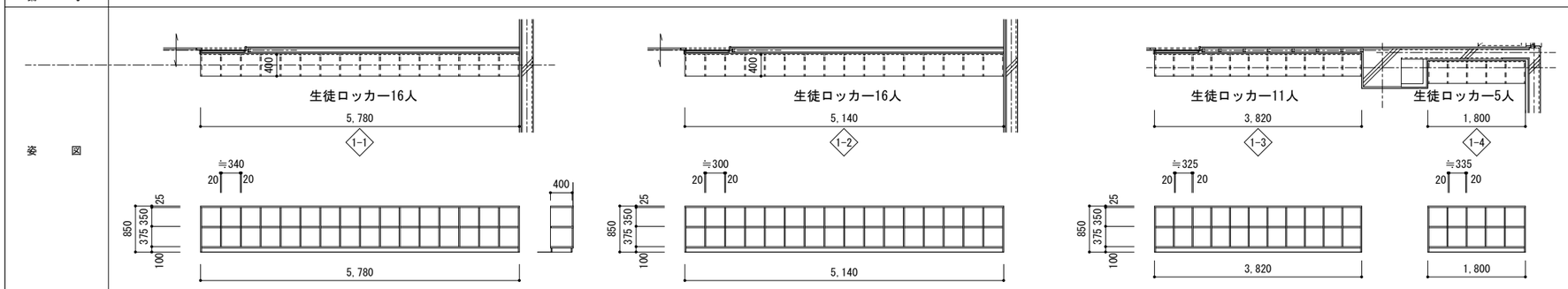


断面詳細図

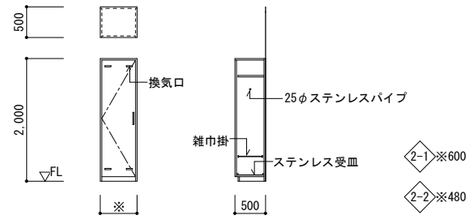
符号・種類								
数・場所								
材料								
仕上								
金物								
ガラス								
備考								
姿図								

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-84	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 図示
					図面名称 既存建具　撤去・改修図-4	

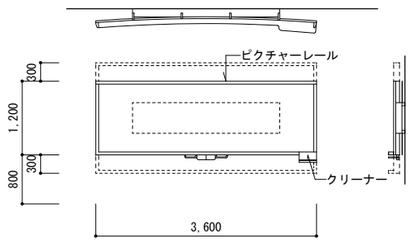
符号・種類	1-1	生徒ロッカー	1-2	生徒ロッカー	1-3	生徒ロッカー	1-4	生徒ロッカー
数・場所	4	1階 普通教室（2～4）、2階　普通教室7	2	2階　普通教室5.6	1	1階　普通教室（1）	1	1階　普通教室（1）
材料	天板（芯材：ランバ―コア合板）、内部棚板：木製							
仕上	天板、内部棚板天端、巾木、小口：メラミン化粧板貼　その他ポリ合板貼							
金物								
ガラス								
備考								

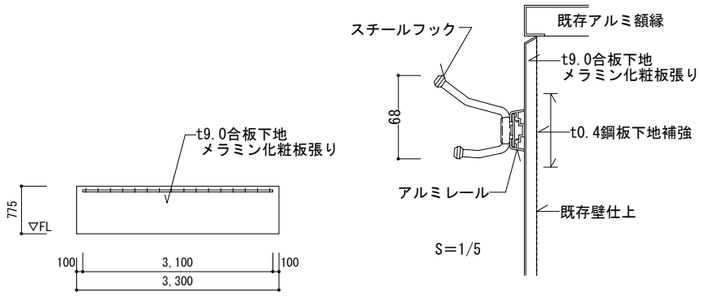


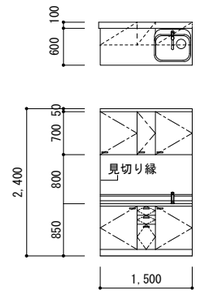
符号・種類	2-1	掃除用具入れ	2-2	掃除用具入れ
数・場所	6	1階 普通教室（1.2.4）、2階 普通教室（5.6.7）	1	1階　普通教室（3）
材料	木製芯材			
仕上	扉：メラミン化粧板フラッシュ、外装その他：メラミン化粧板貼、内部ポリ合板			
金物	丁番、取手、マグネットキャッチ、ステンレスパイプφ25			
	PL1.0ステンレス成型受皿、付属金物一式			
ガラス	換気口、掃除用具吊金物、雑巾掛			
備考				



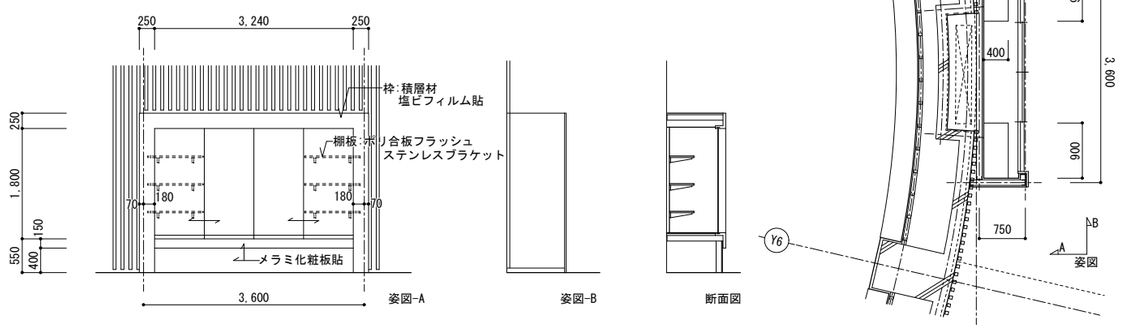
符号・種類	3	スライダー式曲面黒板	4	壁付ハンガーフック	5	ブロックキッチン
数・場所	7	1階、2階　普通教室	7	1階、2階　普通教室	1	1階　湯沸室（会議室）
材料	アルミホーロー黒板				ライニング：芯材：耐水KMDF	
仕上					ライニング：メラミン化粧板、ポストフォーム加工、キッチンパネル：ホーロー	
金物	アルミ枠、チョークボックス、操作ハンドル、アルミ粉受、ピクチャーレール、附属金物一式		品番:YKS 135型アルミレール：2.0m		水栓等付属金物一式	
			可倒式スチールフック：16個			
ガラス						
備考	電動クリーナー付、50mm角暗線引き		下地補強　t0.4鋼板		タカラスタンダード株式会社「アビスカ」同等品	





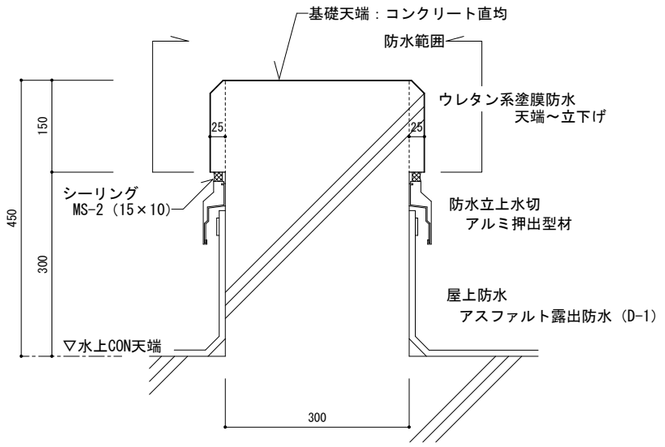


符号・種類	6	章典棚
数・場所	1	1階　エントランス
材料	芯材:木製　枠:t1.2鋼板成形	
仕上	木部:メラミン化粧板貼　鋼板:塩ビフィルム貼、内部:ポリ合板貼	
金物	ステンレスレール、引き戸用鍵	
	t5.0フロートガラス（引手彫）、ステンレスハカマ	
ガラス	t5.0フロートガラス	
備考		

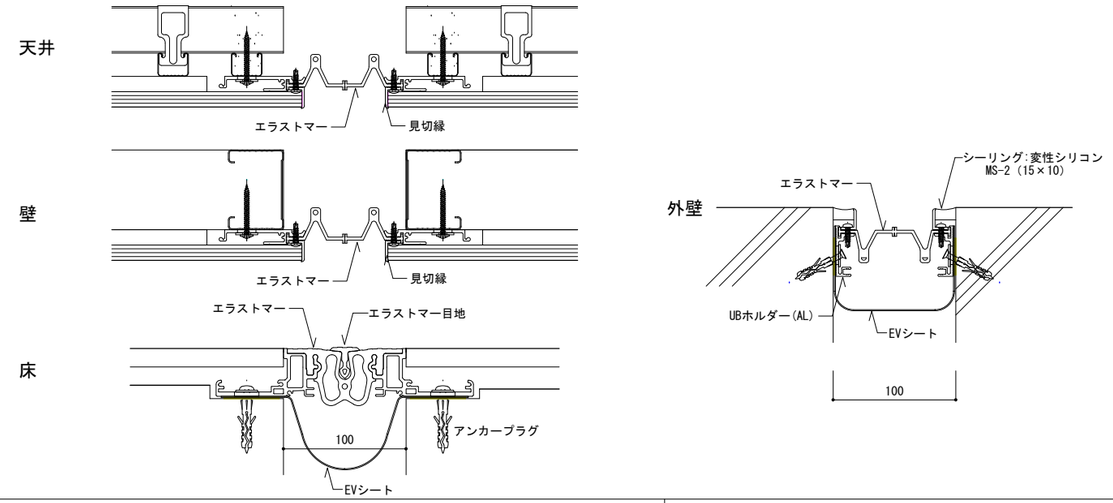


株式会社　釣谷建築事務所	1級建築士　第119816号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-85	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:100
					図面名称 家具図（既存校舎）	

D-1　増築棟　屋上機械基礎詳細図　S＝1/10

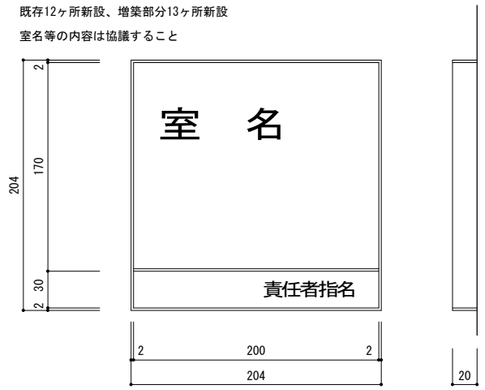


D-2　増築棟　EXP金物詳細図　S=1/5



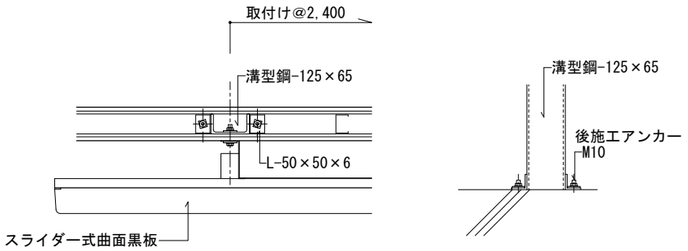
D-4　室名,責任者札　S＝1/5

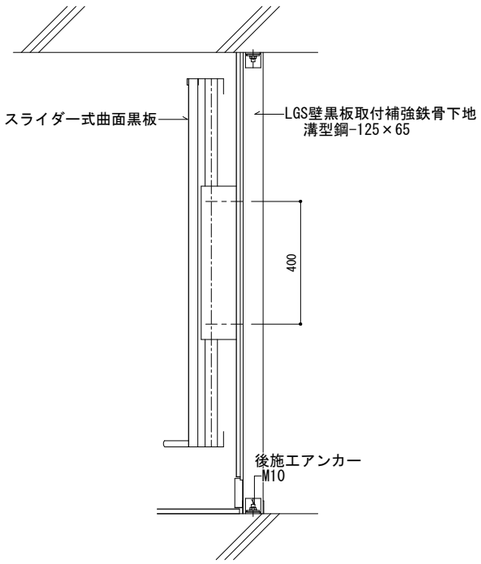
フレーム:アルミ押出型材、アルマイト仕上
表示基盤:アルミ押出型材、アルマイト仕上、責任者表示:焼付塗装、着脱式
壁面接着貼
既存12ヶ所新設、増築部分13ヶ所新設
室名等の内容は協議すること



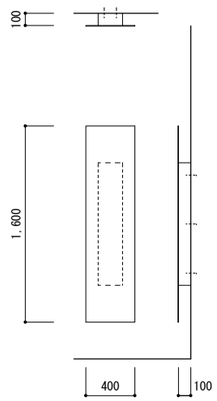
D-3　上下式曲面黒板取付用下地詳細図　S＝1/20

既存校舎改修普通教室　7室　スラーダー曲面黒板取付け部





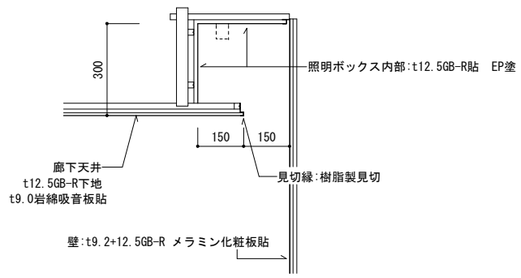
D-5　校内案内板　S＝1/50



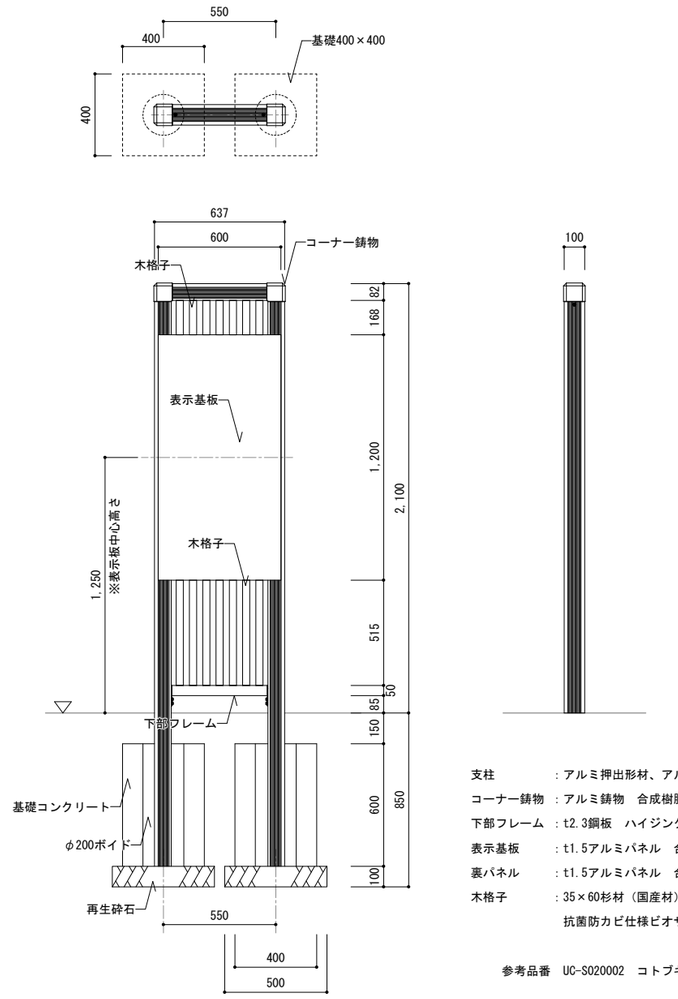
表示基盤:t5.0スチールプレート、焼付塗装
　壁面取付け金物
各階平面図、室名書き込み

既存7カ所取替、増築部分1ヶ所新設

D-7　増築棟廊下手洗い上部天井折り上げ詳細図　S＝1/20



D-6　校名サイン板　S＝1/30

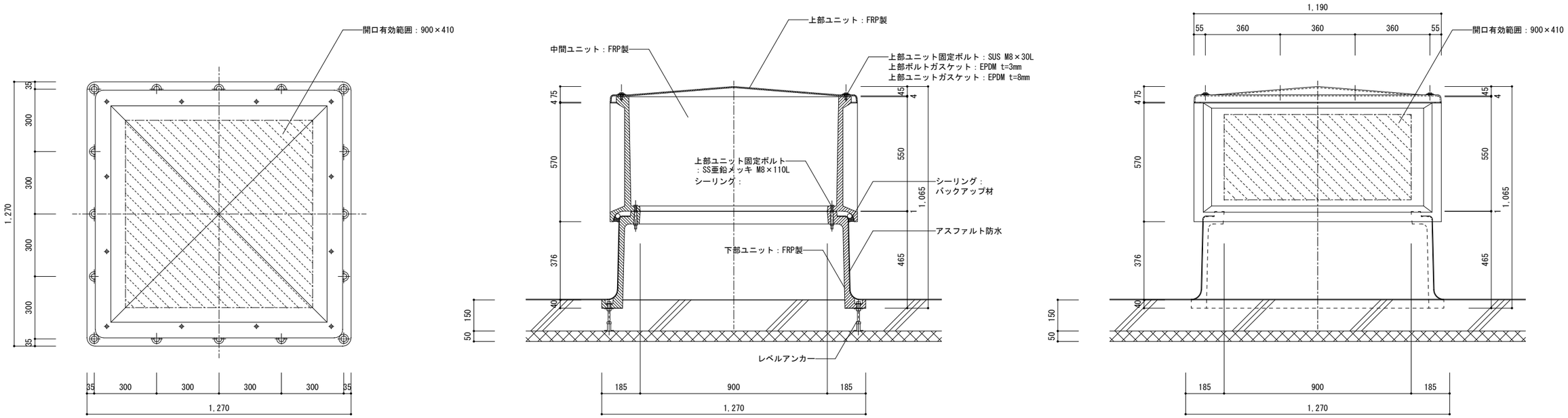


支柱　：アルミ押出形材、アルマイト（ブラック）クリア塗装
コーナー鋳物　：アルミ鋳物　合成樹脂塗装（ブラック）
下部フレーム　：t2.3鋼板　ハイジンク　合成樹脂塗装（ブラック）
表示基板　：t1.5アルミパネル　合成樹脂塗装（ホワイト）
裏パネル　：t1.5アルミパネル　合成樹脂塗装（ブラック）
木格子　：35×60杉材（国産材）　AZNA加圧注入防腐処理
　抗菌防カビ仕様ビオサク（チーク）

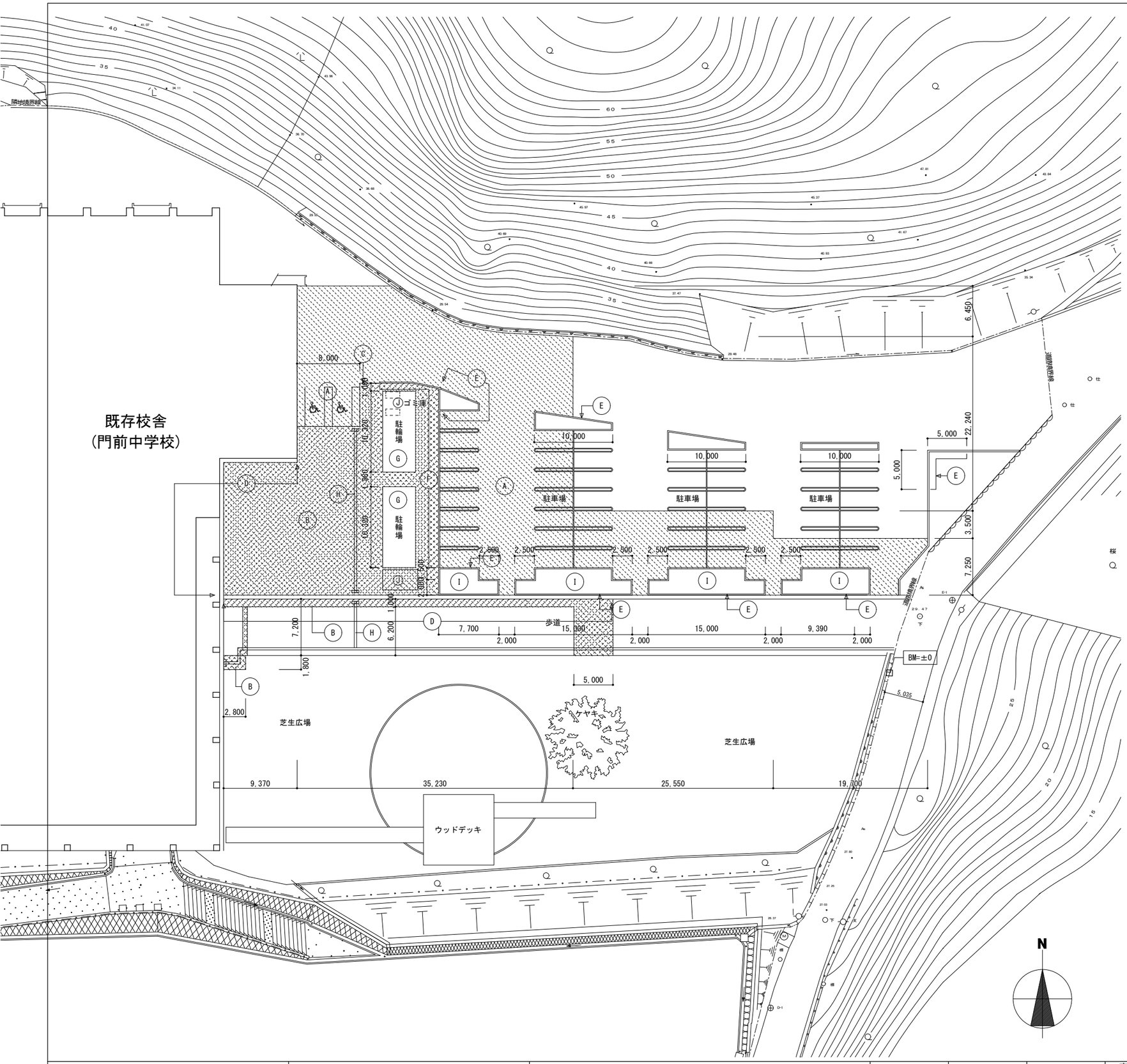
参考品番　UC-S020002　コトブキ同等品

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-86	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 / 図面名称 部分詳細図-1	縮尺 図示

D-7 ハト小屋詳細図 S=1/20



株式会社 釣谷建築事務所	１級建築士 第１１９８１６号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-87	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 / 図面名称 部分詳細図-2	縮尺 図示

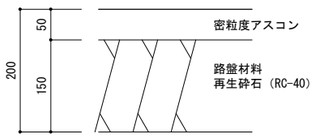


凡例

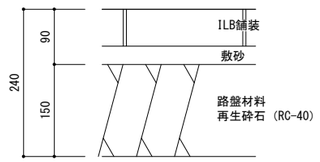
A	アスファルト舗装撤去	
B	インターロッキングブロック舗装撤去	
C	コンクリート縁石撤去	
D	可変勾配側溝撤去	
E	花壇縁撤去	
F	防風塀撤去	
G	駐輪場撤去（木造）	
H	障害者用誘導ブロック撤去	
I	植栽撤去（伐採、伐根） 中木（メタセコイア）　6本 低木（ツツジ）株立　128本	
J	既存移設：　倉庫(2.6m×4.45m)1棟、 アルミ製ゴミ庫(1.8m×0.8m)2ヶ所 敷地内指定場所に移設	

株式会社　釣谷建築事務所	1級建築士　第119816号　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-88	工事名称 図面名称	西部地区小学校災害復旧工事 現況外構配置図	縮尺 1:500

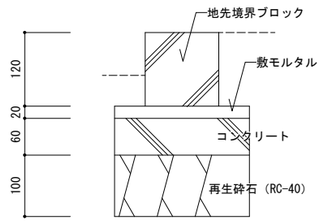
Ⓐ AS舗装（アスファルト舗装） S=1/10



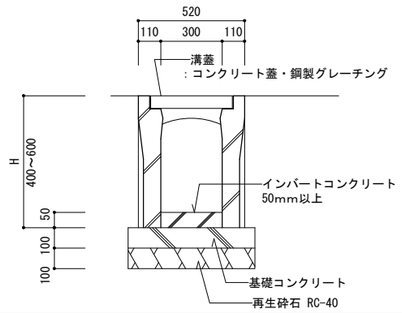
Ⓑ ILB舗装（インターロッキングブロック舗装） S=1/10



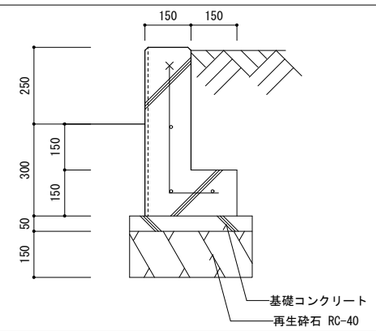
Ⓒ コンクリート縁石 S=1/10



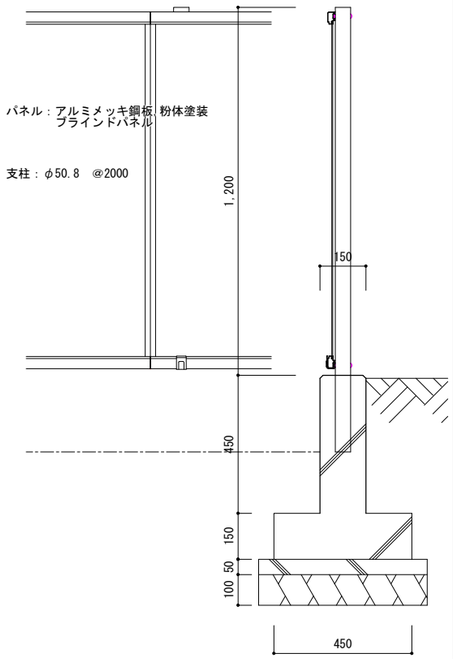
Ⓓ 可変勾配側溝 S=1/30



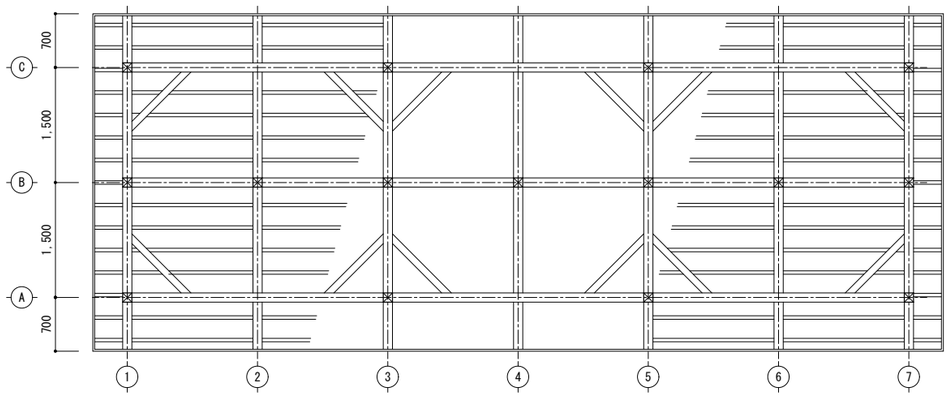
Ⓔ 花壇縁 S=1/20

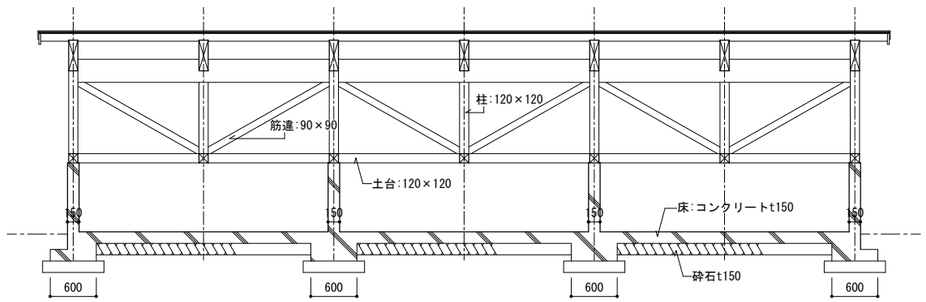


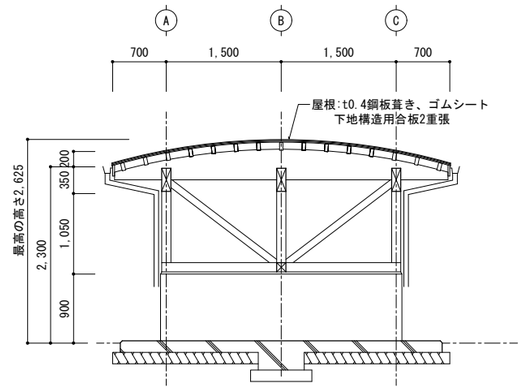
Ⓕ 防風塀 S=1/20

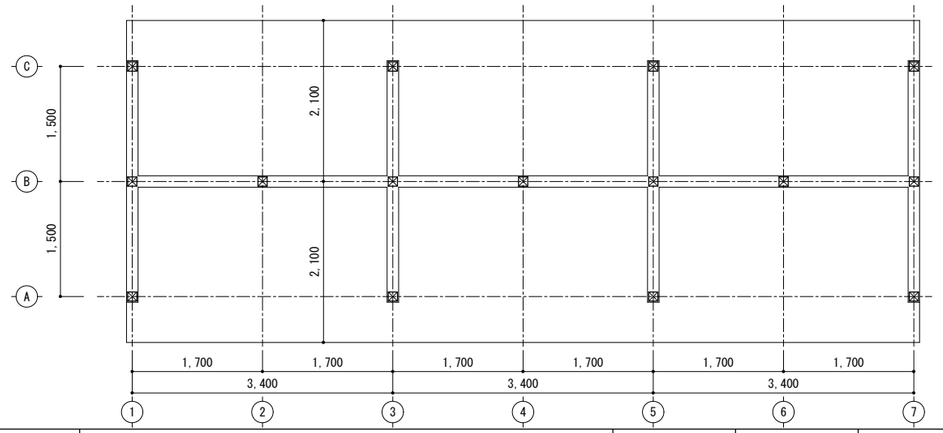


Ⓖ 駐輪場 S=1/80



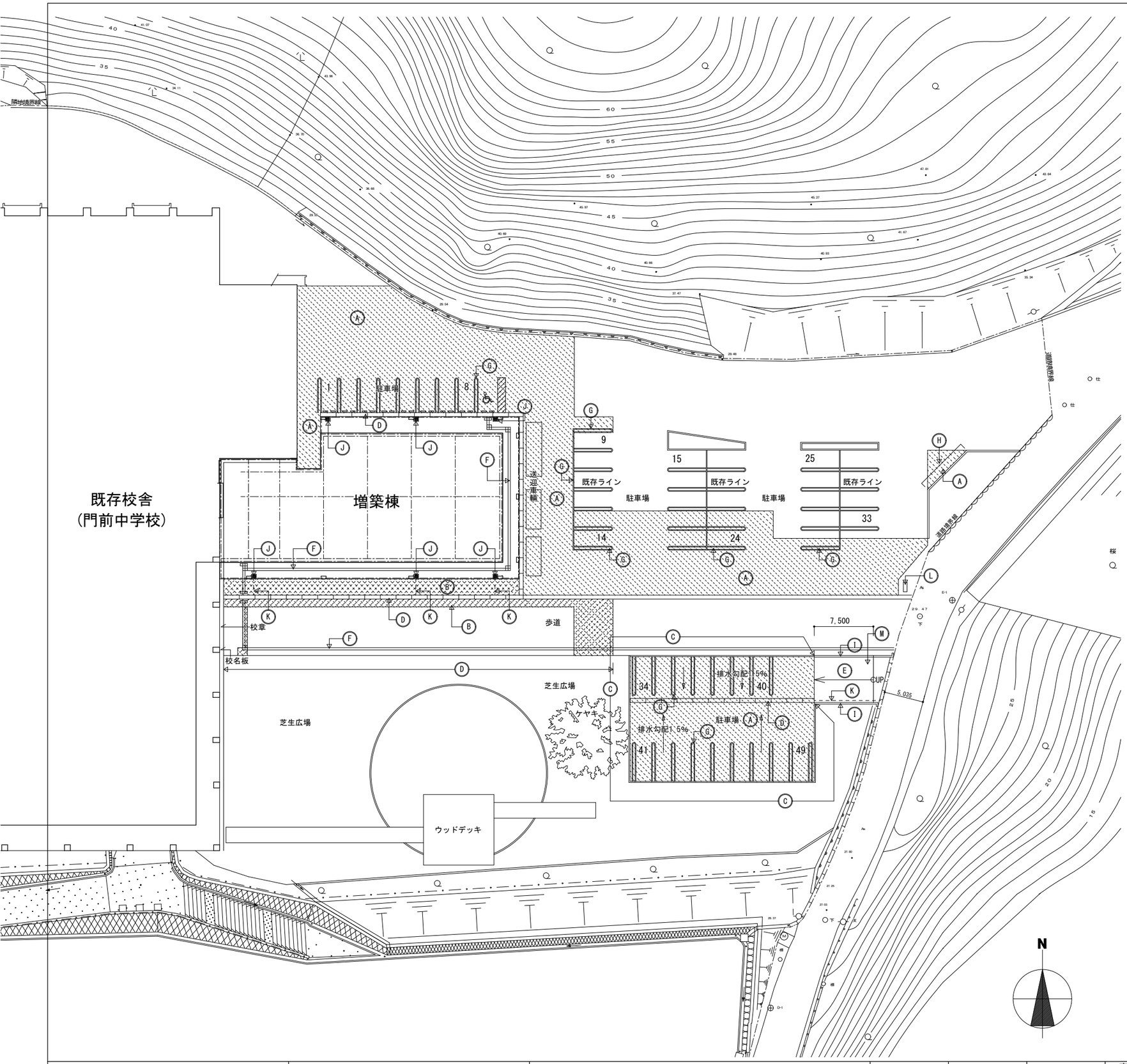






名称	寸法
大梁	400～100×120
桁行梁	300×120
柱	120×120
土台	120×120
筋違	90×90
小屋火打	90×90
端隠	160×25
屋根垂木	100×45

株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-89	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 図示
						図面名称 現況外構解体詳細図	

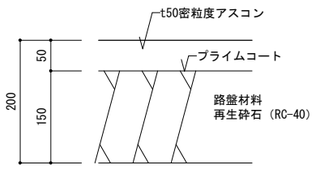


凡例

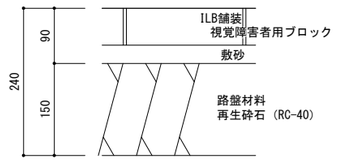
Ⓐ	アスファルト舗装 t50密粒度アスコン、プライムコート 路盤:再生砕石RC-40　路床整正
Ⓑ	インターロッキングブロック舗装 インターロッキングブロック既存撤去材再利用 敷砂、路盤:再生砕石RC-40
Ⓒ	歩車道境界ブロック（コンクリート） 歩車道境界ブロック:200×150（170）、据付モルタル 基礎コンクリート、再生砕石RC-40
Ⓓ	可変勾配側溝 溝幅300、H=500、勾配:0.3% 溝蓋:コンクリート蓋、グレーチング蓋400×500　@5000
Ⓔ	コンクリート舗装 t200コンクリート直均　刷毛引き仕上　鉄筋:D13-@200縦横ダブル 路盤:t150再生砕石RC-40
Ⓕ	視覚障害者用誘導ブロック 誘導ブロック、注意喚起ブロック:コンクリートブロック300×300 敷砂　コロネード部分は磁器質タイルブロック
Ⓖ	ライン引き 新設アスファルト舗装部分 W100　溶融式　駐車区画、車椅子マーク　　車止めブロック(9台分18ヶ所)
Ⓗ	花壇縁 立上り壁:コンクリート打放補修　コンクリートFc21-15-25 配筋:D10-@200　縦横共　端部D13
Ⓘ	コンクリート土留 立上り壁:コンクリート打放補修　コンクリートFc21-15-25 配筋:D13-@200縦横共
Ⓙ	雨水桝　桝寸法:300×300 細目鋼製グレーチング　400×400　防滑加工　T-6耐荷重 可変勾配接続:VP管125φ
Ⓚ	埋設配管 可変勾配接続:VP管125φ
Ⓛ	新校名サイン板（詳細図　D-6）
Ⓜ	既存門柱移設　（校内指定場所へ移設）

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 25.12	設計番号 25_42	図面番号 A-90	工事名称 図面名称	西部地区小学校災害復旧工事 外構計画配置図	縮尺 1:500

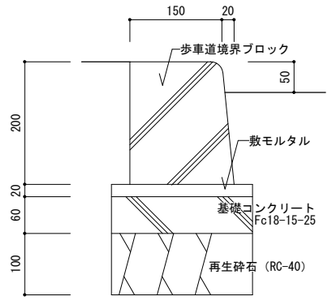
Ⓐ AS舗装（アスファルト舗装） S=1/10



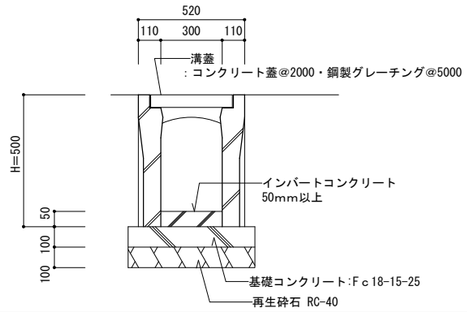
Ⓑ ILB舗装（インターロッキングブロック舗装） S=1/10



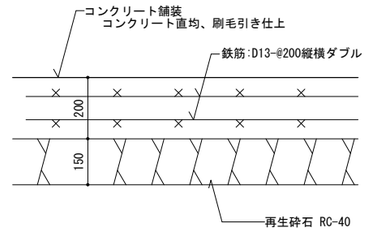
Ⓒ コンクリート縁石 S=1/10



Ⓓ 可変勾配側溝 S=1/30

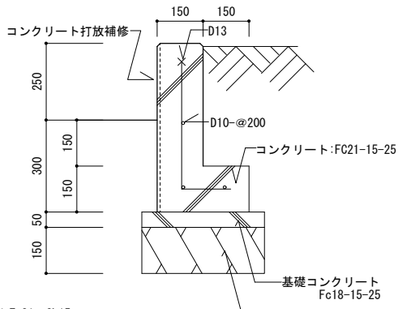


Ⓔ コンクリート舗装 S=1/20



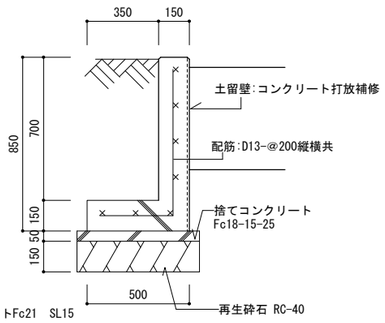
コンクリートFc21 SL15

Ⓗ 花壇縁 S=1/20



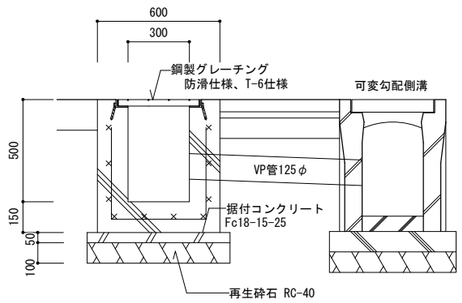
コンクリートFc21 SL15

Ⓘ コンクリート土留 S=1/30



コンクリートFc21 SL15

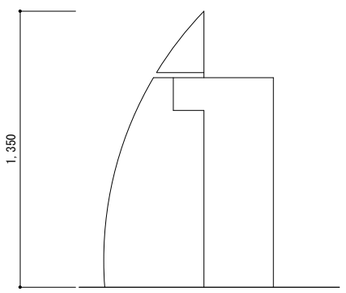
Ⓙ コンクリート雨水桝 S=1/30



コンクリートFc21 SL15

Ⓜ 既存門柱 S=1/30

御影石 W800×H1350×D450



株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 25.12	設計番号 25_42	図面番号 A-91	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 / 図面名称 外構計画詳細図	縮尺 図示

エレベーター仕様

基本仕様	号機名		NO.1
	型式		—
	用途		乗用兼車いす用
	定格積載質量/定員		750kg/11人乗
	定格速度		45m/min
	運転方式		乗合全自動方式（乗り捨て方式）
	制御方式		インバータ制御方式（マイコン制御、アナウンス付）
	停止階		2箇所（1,2 階）
	かご寸法		間口1400mm　奥行1350mm　天井高さ2250mm
	出入口寸法		幅800mm　高さ2100mm
	戸型式		２枚戸中央開き
	電動機		AC 3.5kW
	動力用電源		AC 3φ 200V 60Hz
	照明用電源		AC 1φ 100V 60Hz
	連絡装置設置場所		同時通話式インターホン 設置場所：1階職員室
	監視装置		リモートメンテナンスインターフェース付 （リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約をしていただく必要があります）
管制運転	地震		有り（P波およびS波感知）（リスタート機能付）
	火災		有り（火報と連動した接点による自動式）
	停電		有り
	自家発		無し
建物用途別標準装備仕様			ドアシグナル付マルチビームドアセンサー付
			ケアフルセンサー付
			ナノイーX発生装置付
			戸開き時間延長ボタン付
乗場仕様	三方枠	1,2階	大枠 鋼板塗装仕上（既設品活用）
	乗場戸	1,2階	鋼板塗装仕上（5分ツヤ）
	幕板	1,2階	無し
	敷居	1,2階	硬質アルミ（既設品活用）
	ホールランタン	1,2階	無し
	インジケーター	1,2階	縦型デジタル表示（既設ケース活用） カバー：ステンレスバイブレーション仕上
	ホールボタン	1,2階	抗菌凸文字ボタン（φ45）（ＳＩＡＡ認証） インジケーターに組込
かご仕様	天井		スクエアタイプ（S-01　）（天井照明色：白色）
	前側板		ステンレスバイブレーション仕上
	側板		化粧鋼板
	戸		化粧鋼板
	出入口上部		ステンレスバイブレーション仕上
	床		樹脂タイル（2T）
	幅木		化粧鋼板（アルミナムシルバー）
	敷居		硬質アルミ
	操作盤	ボタン	抗菌凸文字ボタン（φ33）（ＳＩＡＡ認証）
		カバー	ステンレスバイブレーション仕上（ボタン周囲部のみクリアフィルム付）
	インジケーター		カラー液晶表示（背景色：白）操作盤に組込
	車いす用操作盤	ボタン	抗菌凸文字ボタン（φ33）（ＳＩＡＡ認証）
		カバー	ステンレスバイブレーション仕上（クリアフィルム付）
	気くばり操作盤	ボタン	無し
		カバー	無し
	鏡		ステンレス製
	ハンドレール		ステンレスパイプ：ステンレスバイブレーション仕上
監視盤			無し
耐震クラス			A_{14}
既設活用品			三方枠、乗場敷居
			インジケーターケース
			フェッシャプレート

特記仕様

NO.1
昇降機技術基準の解説 2016年版対応
縦型操作盤 クリアフィルム貼り（1セット）
横型操作盤 クリアフィルム貼り（2セット）
音声案内装置付（緊急時4ヵ国語）（福祉のまちづくり条例対応）
音声案内の入切スイッチをかご内操作盤ボックスに設置
遮煙性能付乗場戸（大臣認定番号：CAS-0216）（火災、停電付）（1,2階）
点字注意銘板付（横型）
車いす仕様付
視覚障がい者仕様付（全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付）
運転休止スイッチ（2階に取付）
メンテナンスサービス提供用カメラ付
車いす呼び戸開き時間延長
一般呼び戸開き時間延長
発音式ボタン（かご）
非常放送・一般放送用スピーカー付（かご天井上）
スピーカー用アッテネータをかご上に設置
かご内荷摺り（ステンレスヘアライン仕上，床からH=300mm）
かご内操作盤非常ボタンに誤操作防止カバー（アクリル製）付
車いす操作盤（主・副）非常ボタンに誤操作防止カバー（アクリル製）付
エコケーブル付
絶縁トランス付
警報ブザーをかご上に取付
非常ボタン連動　無電圧接点支給
煙感知器点検扉用ドアスイッチ付
公共建築工事標準仕様書適用
４mレール使用
ステンレス材一式：ＳＵＳ３０４
敷居間ギャップ縮小化
ピット冠水時退避運転（基本仕様）

標準型エレベーターの荷役制限について

・軽台車などで荷物を運搬する場合には、250kg以下/回。

労基法適用（本設用）：　有（設置届・設置報告）・ �無

手垢汚れ防止用クリアフィルムについて

・クリアフィルムは、爪や指輪、バッグなどによる剥がれや傷、経年による摩耗など、外的要因によるダメージは保証できません。

遮煙性能付乗場戸設置上の条件

・遮煙性能付乗場戸を設置するためには、自動火災報知設備が必要です。
設置義務の無い建物であっても、必ず設けてください。
・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、遮煙性能付乗場戸設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給してください。

特定防火設備：防犯窓ガラス設置不可（防犯あみ入りガラス窓付きの場合は防火設備となります）

工事区分

号機名	NO.1			
建築関係	項目	工事名	EV	建築
	1	（各階）エレベーターホールの安全間仕切り（設置・移設）工事	○	
	2	ストックヤード等の仮設養生・撤去，清掃・処分工事	○	
	3	スロープ・ステージ，門型・トロリー等設置及び撤去工事	○	
	4	仮設分電盤の設置・撤去工事	○	
	5	足場・ゴンドラ等の組立・解体工事	○	
	6	塔内新設鋼材取付工事（中間ビーム）	○	
	7	昇降路壁（斫り跡）の補修工事	○	
	8	（各階）敷居の再研磨	○	
	9	（各階）三方枠の仕上工事	○	
	10	足場・ゴンドラその他仮設材のリース	○	
	11	交通誘導員・警備員（搬出入時のみ）	○	
	12	廃棄物処分費（EV本体を除く）	○	
	13	現場経費（申請・届出・調査・試験，保険・補償費，その他）	○	
	14	構造計算費	○	
	15	完成図書費	○	
	16	現場共益費等	○	
	17	躯体調査費（ウォールスキャナー）	○	
	18	別途関連工事の作業立会等（作業内容：火報連動試験、非常放送試験時立会）	○	
	19	各所小はつり作業	○	
	20	ピットスラブの強度計算及び強度が不足する場合の補強工事		○
	21	エレベーター廻り建材のアスベスト含有調査及び含有時の撤去等対策工事		○
	22	ＰＣＢ含有機器がある場合の引き取り・運搬・処分費用		○

工事区分

号機名	NO.1			
電気関係	項目	工事名	EV	別途
	1	動力電源の配管・配線（延長・盛替え）工事	○	
	2	（照明電源・インターホン・遠隔監視・火報・放送）の配管・配線延長・盛替え工事	○	

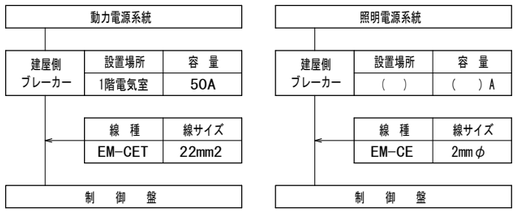
作業条件

1	工事用の電力，水の供給をお願いします
2	工事作業員の休憩所，トイレの確保をお願いします
3	作業員の通勤，工具運搬用車両の駐車場の確保をお願いします
4	資材置場の確保をお願いします

電気設備

号機名	NO.1			
動力用電源	AC 3φ 200V 60Hz 22mm2×1回路（EM-CET）/台			
	線サイズ（mm ²）	14	22	38
	最大引込距離（m）	137	208	346
	ＭＣＢ容量	30A/台		
	トランス容量	4kVA/台		
	起動KVA	13kVA/台		
照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz 2mmφ×1回路/台			
アース線	2mm² （D種）/台			
インターホン用配管配線	EM-CPEE 0.9-5P/台（200mまで）			
リモートメンテナンス用配管配線（電話線）	EM-CPEE 0.9-1P，配管サイズφ25/台 （MDF～昇降路間）			
インターホン連動用の無電圧ａ接点支給及び配管配線	印加電圧DC48V　接点容量0.1A以下			
火災報知信号無電圧ａ接点支給及び配管配線	印加電圧DC24V　接点容量1A以上/台			
一般兼非常放送用スピーカー用配管配線	EM-HP 1.2-3P／台			
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線で引込み			

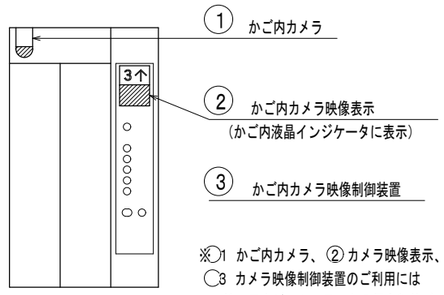
【電源系統表】



弱電設備設置場所			
自火報盤	インターホン	放送設備	監視盤
1階職員室			

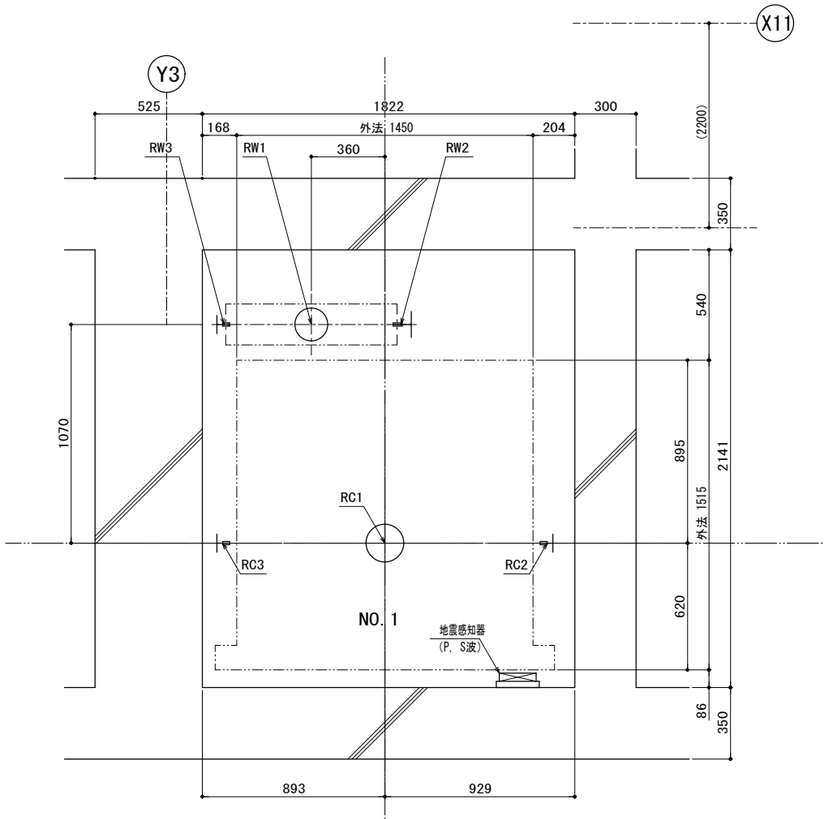
メンテナンスサービス提供用カメラ

※ 標準型機械室レスエレベーター（型式：P,R,B）対応



※①1 かご内カメラ、②カメラ映像表示、③3 カメラ映像制御装置のご利用には（株）日立ビルシステムとの保全契約が必要となります。

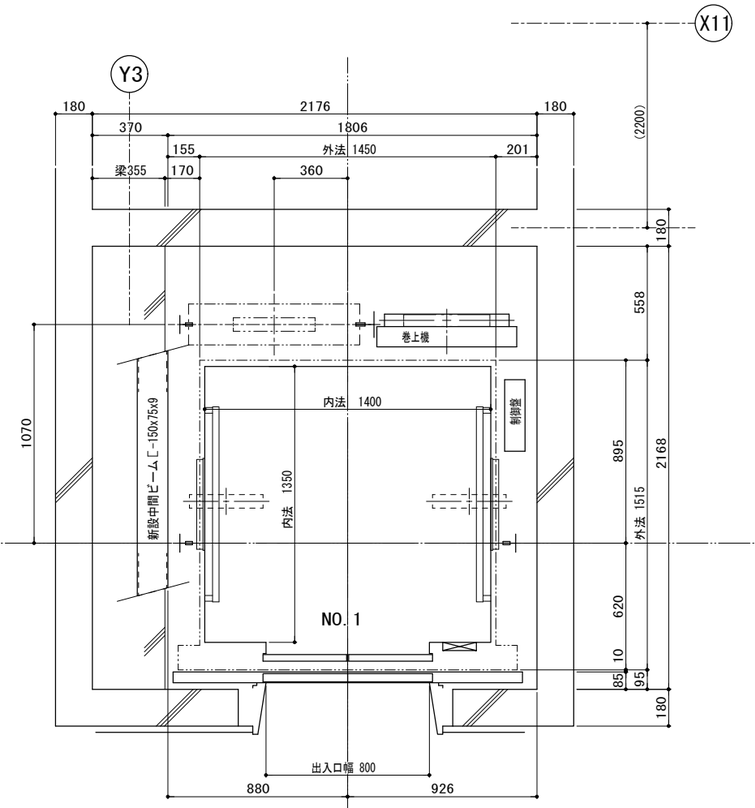
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-92	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 —
					図面名称 EV詳細図-1	



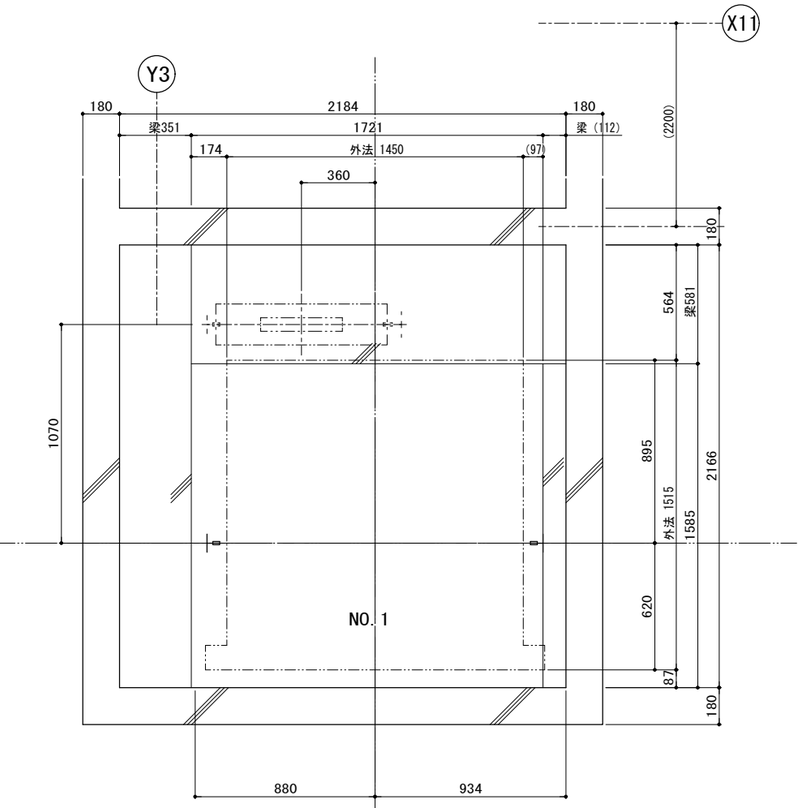
ピット平面図

ピット反力値（N）

短期荷重		長期荷重			
RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
82500	65500	20500	20500	42000	14500



1,2階 昇降路平面図



頂部 昇降路平面図
(2FL+4113)

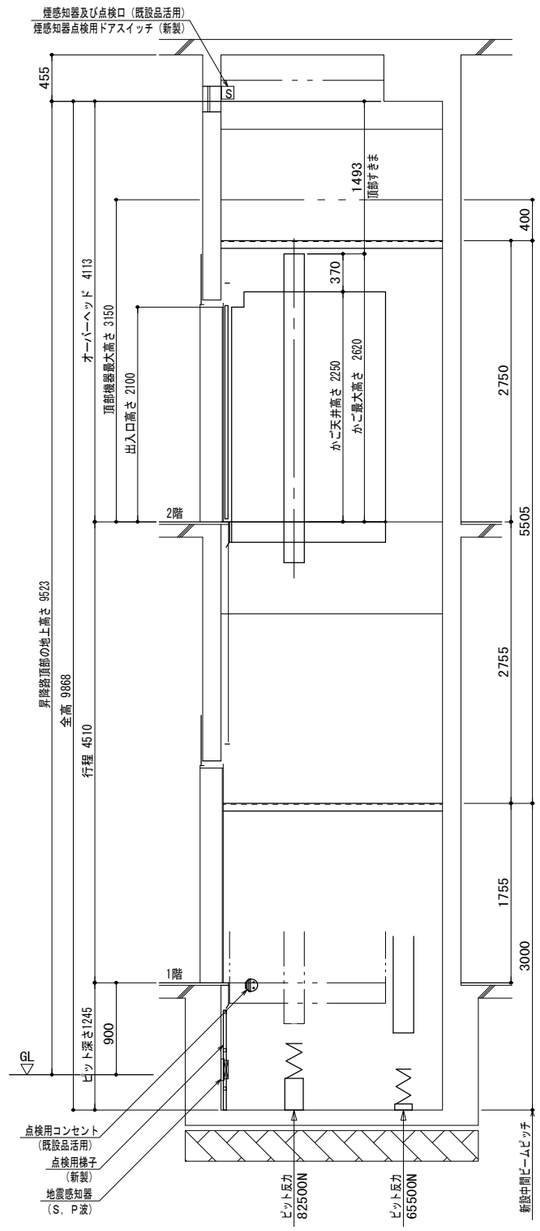
耐震クラス τ4A

ガイドレール	かご側		ウェート側	
部分荷重〔N〕	PX	PY	PX	PY
No. 1	4400	2500	6750	3400

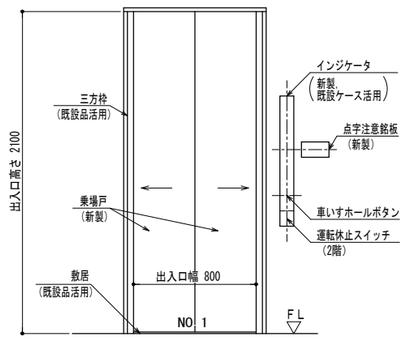
注） 上記荷重により柱及びはりのたわみは
5mm以下になるよう部材を設計のこと

地震時建物に掛る荷重

株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-93	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:30
						図面名称 EV詳細図-2	

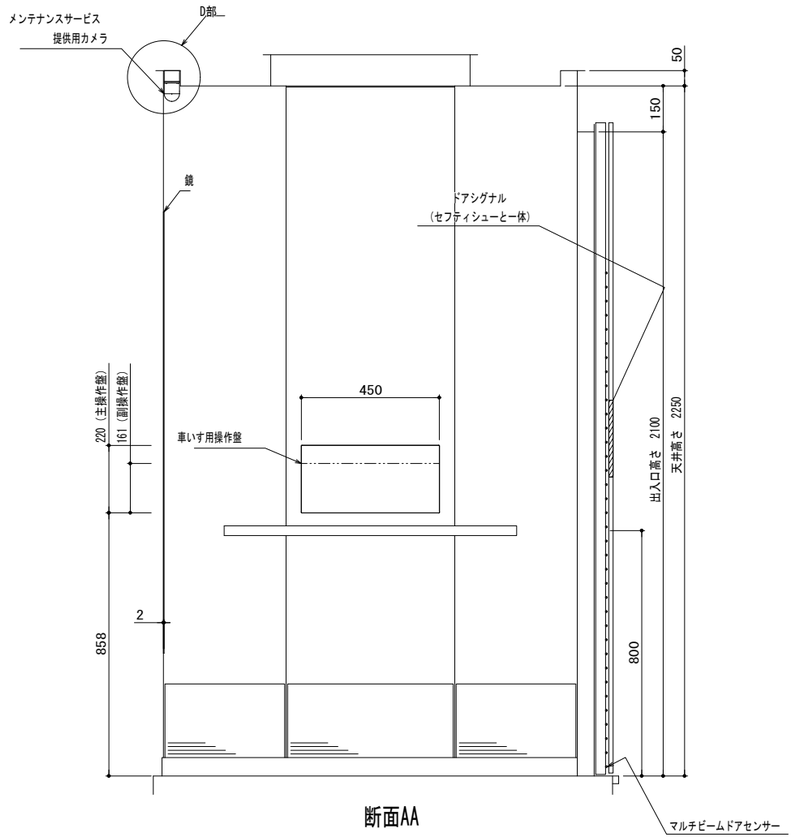


昇降路断面図（1：60）

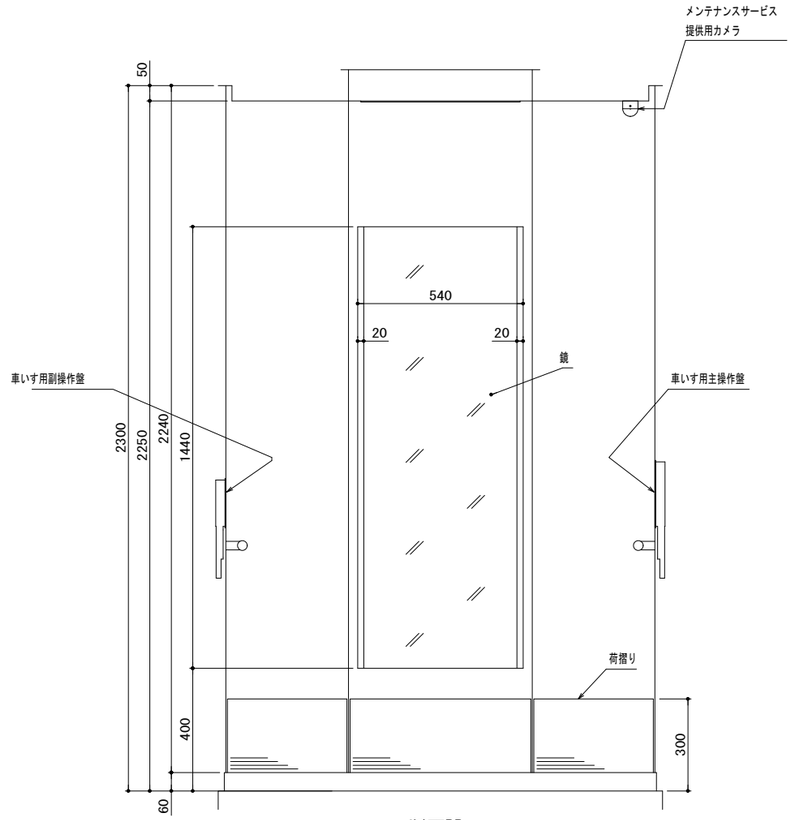


出入口正面図（1：40）

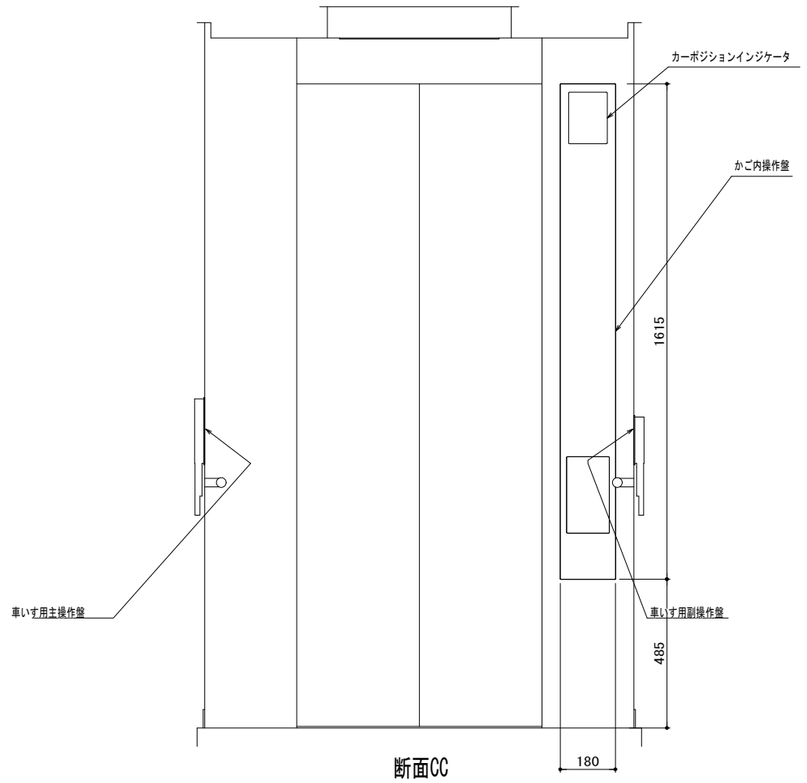
株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-94	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:40 1:60
						図面名称 EV詳細図-3	



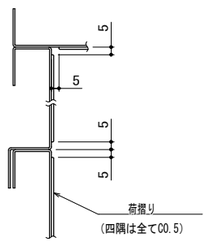
断面AA



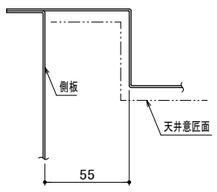
断面BB



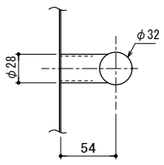
断面CC



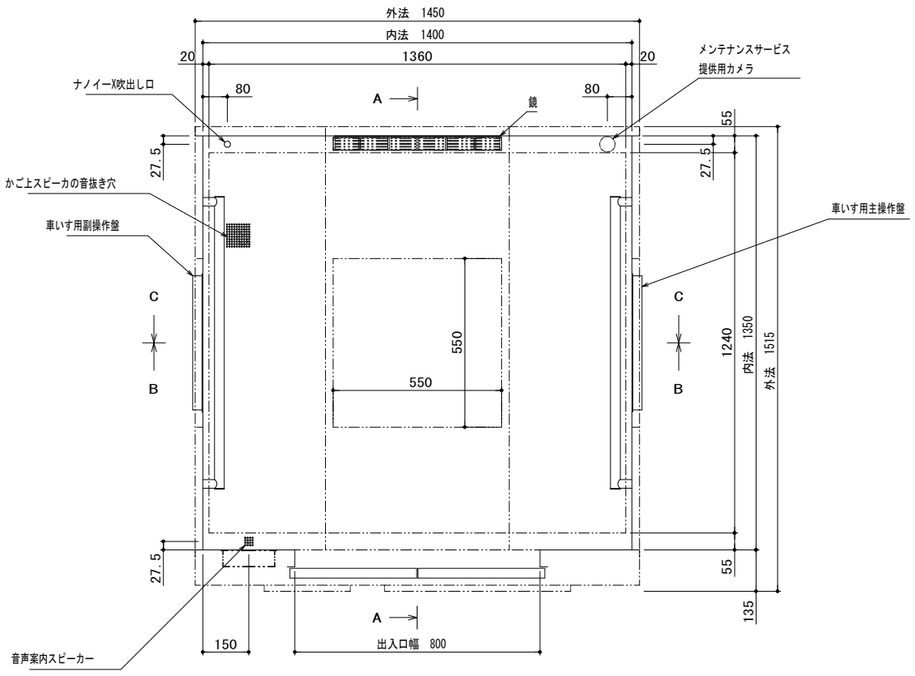
側板コーナー及び中間継目詳細（1：4）



D部詳細（1：4）

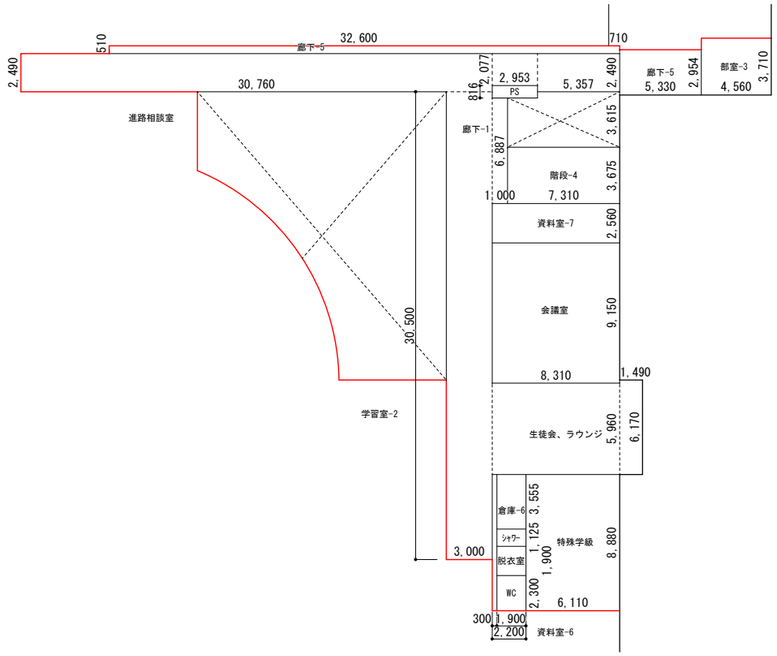


ハンドレール取付部詳細（1：6）

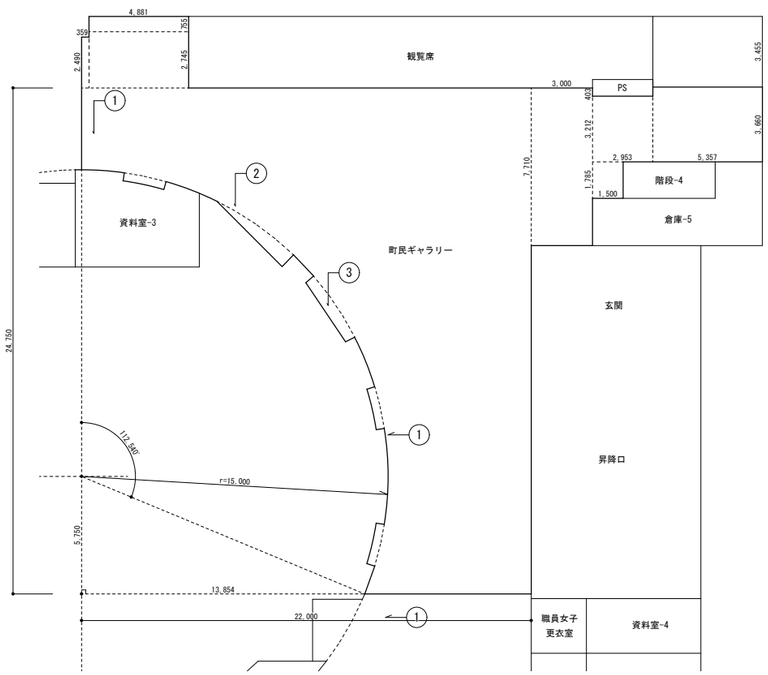


品　名	仕　様
前側板，出入口上部枠	ステンレスバイブレーション仕上
幅　木	化粧鋼板（アルミナムシルバー）
側板，戸	化粧鋼板
天井	化粧鋼板
照　明	乳白色アクリルカバーLED照明 （天井照明色：白色）
停電灯	LED
換　気	ファン
床	樹脂タイル（2T）
敷　居	硬質アルミ
鏡	ステンレス鏡面（両脇ヘアライン仕上）
ハンドレール	ステンレスパイプ（バイブレーション仕上）
光電装置	ドアシグナル付マルチビームドアセンサー
天井換気ルーバー	ABS樹脂（グレー）
荷摺り	ステンレスヘアライン仕上（床から300mm）
付属品	車いす仕様付，視覚障がい者仕様付
	ケアフルセンサー付，ナノイーX発生装置付
	音声案内装置付
	非常放送・一般放送用スピーカー付
	メンテナンスサービス提供用カメラ付※ ※EVメーカー所有

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-95	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:20
					図面名称	EV詳細図-4	



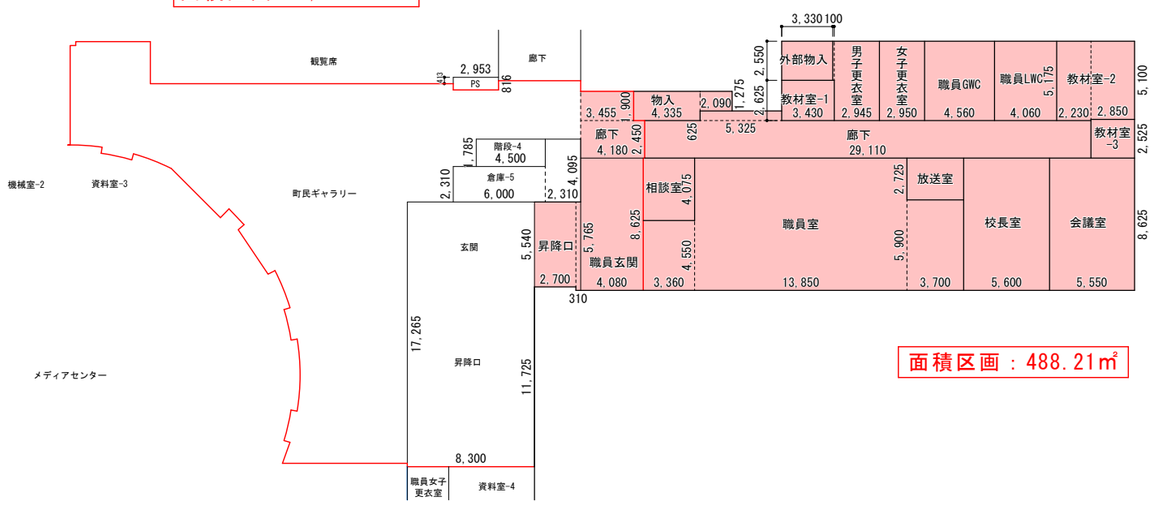
2　　階



▲町民ｷﾞｬﾗﾘｰ平面図1/300

… 増築範囲

面積区画：1,110.13㎡



面積区画：488.21㎡

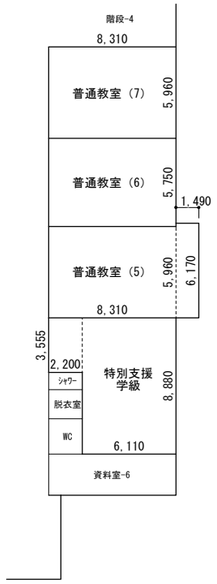
1　　階

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 法-01	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:400
						図面名称 各室面積表・防火区画面積表-1（増築棟完成時）	

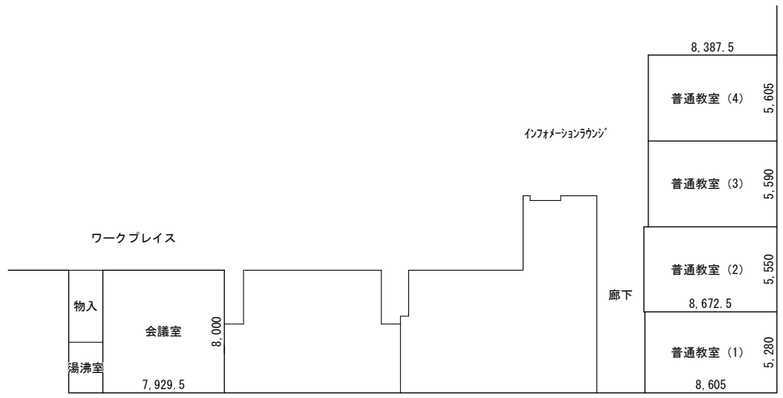
		室　名	計　算　式		面　積	防火区画面積
1階	増築棟	職員室	3.360 ＊ 4.550	15.288	156.574	488.205
			13.850 ＊ 8.625	119.456		
			3.700 ＊ 5.900	21.830		
		相談室	3.360 ＊ 4.075		13.692	
		放送室	3.700 ＊ 2.725		10.083	
		校長室	5.600 ＊ 8.625		48.300	
		会議室	5.550 ＊ 8.625		47.869	
		物入	4.335 ＊ 1.900	8.237	10.902	
			2.090 ＊ 1.275	2.665		
		外部物入	3.330 ＊ 2.550		8.492	
		教材室-1	3.430 ＊ 2.625		9.004	
		男子更衣室	0.100 ＊ 2.550	0.255	15.495	
			2.945 ＊ 5.175	15.240		
		女子更衣室	2.950 ＊ 5.175		15.266	
		職員GWC	4.560 ＊ 5.175		23.598	
		職員LWC	4.060 ＊ 5.175		21.011	
		教材室-2	2.230 ＊ 5.175	11.540	26.075	
			2.850 ＊ 5.100	14.535		
		教材室-3	2.850 ＊ 2.525		7.196	
		廊下	29.110 ＊ 2.450	71.320	74.648	
			5.325 ＊ 0.625	3.328		
		廊下	4.180 ＊ 2.450	10.241	16.806	1,110.129
			3.455 ＊ 1.900	6.565		
		職員玄関	4.080 ＊ 8.625		35.190	
		昇降口	2.700 ＊ 5.540	14.958	16.745	
			0.310 ＊ 5.765	1.787		
	既存校舎	玄関、昇降口	8.300 ＊17.265		143.300	
		階段-4	4.500 ＊ 1.785		8.030	
		倉庫-5	2.310 ＊ 4.095	9.459	23.319	
			6.000 ＊ 2.310	13.860		
		町民ギャラリー	別式参照		363.536	
2階	既存校舎	会議室	8.310 ＊ 9.150		76.037	
		資料室-7	8.310 ＊ 2.560		21.274	
		特殊学級	6.110 ＊ 8.880		54.257	
		倉庫-6	1.900 ＊ 3.555		6.755	
		ｼｬﾜｰ（特殊学級）	1.900 ＊ 1.125		2.138	
		脱衣室（特殊学級）	1.900 ＊ 1.900		3.610	
		WC（特殊学級）	1.900 ＊ 2.300		4.370	
		生徒会・ﾗｳﾝｼﾞ	8.310 ＊ 5.960	49.528	58.721	
			1.490 ＊ 6.170	9.193		

		室　名	計　算　式		面　積	防火区画面積
2階	既存校舎	階段-4	7.310 ＊ 3.675		26.864	
		廊下-1	別式参照		197.116	
		PS	2.953 ＊ 0.816		2.410	
	既存屋内運動場	部室-3	4.560 ＊ 3.710		16.918	
		廊下-5	5.330 ＊ 2.954	15.745	32.733	
			33.310 ＊ 0.510	16.988		

		室　名	計　算　式	面　積
1階	既存校舎	①	= 3.141*15.000*15.000*8/360 - 3.141*14.600*14.600*8/360 0.8265	0.83
		②	= 3.141*15.000*15.000*17.580/360 - 15.000*4.289/2 2.3442	2.34
		③	= 3.141*15.000*15.000*13.816/360 - 14.496*3.462/2 2.0300	2.03
		町民ｷﾞｬﾗﾘｰ （一部除く）	= 24.750*22.000 - 3.141*15.000*15.000*112.540/360 - 13.854*5.750/2 + 4.881*2.745 + 4.881*0.755 + 2.490*0.359 + 7.710*3.000 + 1.785*1.500 + 2.953*3.212 + 5.375*3.660 +①*3 +②+③ 363.5358	363.536
2階	既存校舎	廊下-1	= 5.357*2.490 + 2.953*2.077 + 3.000*30.500 + 1.000*6.887 + 30.760*2.490 +0.300*8.880 197.1157	197.116



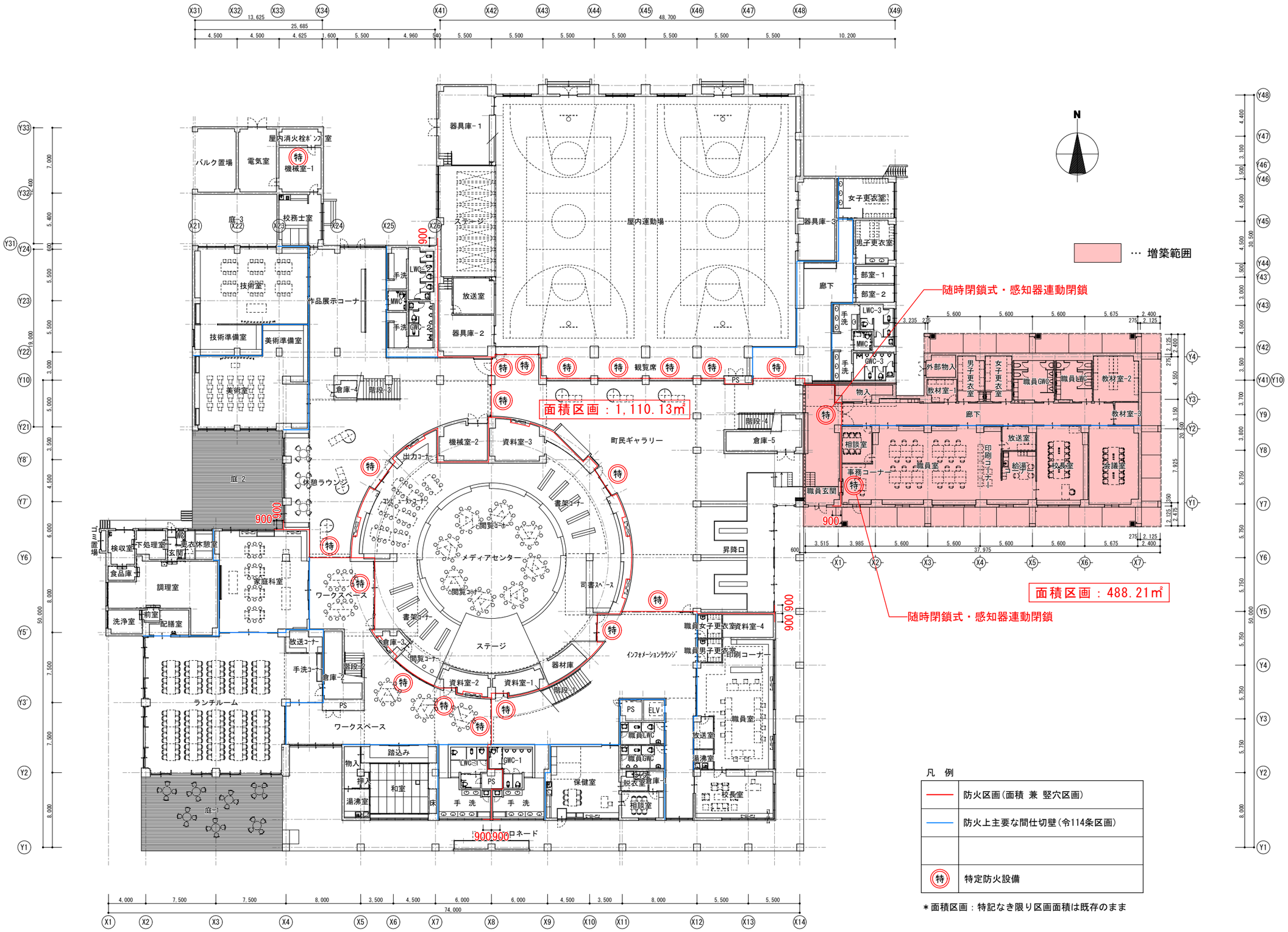
2　　階



1　　階

		室　名	計　算　式		面　積
1階	既存改修（既存校舎）	普通教室（1）	8.605 ＊ 5.280		45.434
		普通教室（2）	8.6725 ＊ 5.550		48.132
		普通教室（3）	8.3875 ＊ 5.590		46.886
		普通教室（4）	8.3875 ＊ 5.605		47.012
		会議室	7.9295 ＊ 8.000		63.436
2階	既存改修（既存校舎）	普通教室（5）	8.310 ＊ 5.960	49.528	58.721
			1.490 ＊ 6.170	9.193	
		普通教室（6）	8.310 ＊ 5.750		47.783
		普通教室（7）	8.310 ＊ 5.960		49.528
		特別支援学級	6.110 ＊ 8.880	54.257	62.078
			2.200 ＊ 3.555	7.821	

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　　吉田　典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 法-03	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:400
						図面名称 各室面積表（既存改修部）	

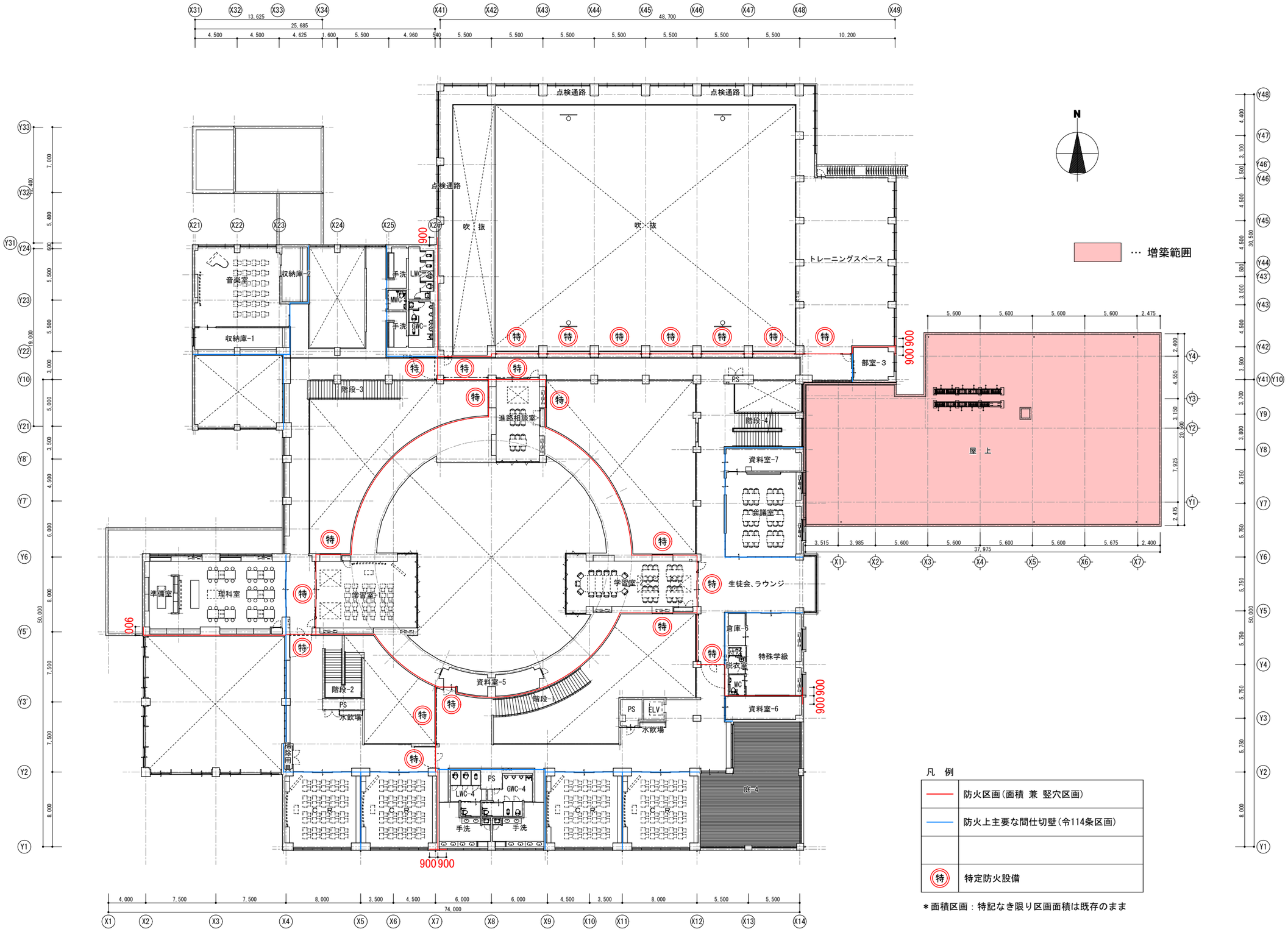


凡　例

――	防火区画(面積 兼 竪穴区画)
――	防火上主要な間仕切壁(令114条区画)
特	特定防火設備

＊面積区画：特記なき限り区画面積は既存のまま

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 法-04	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:400
					図面名称	1階　防災計画図（増築棟完成時）	

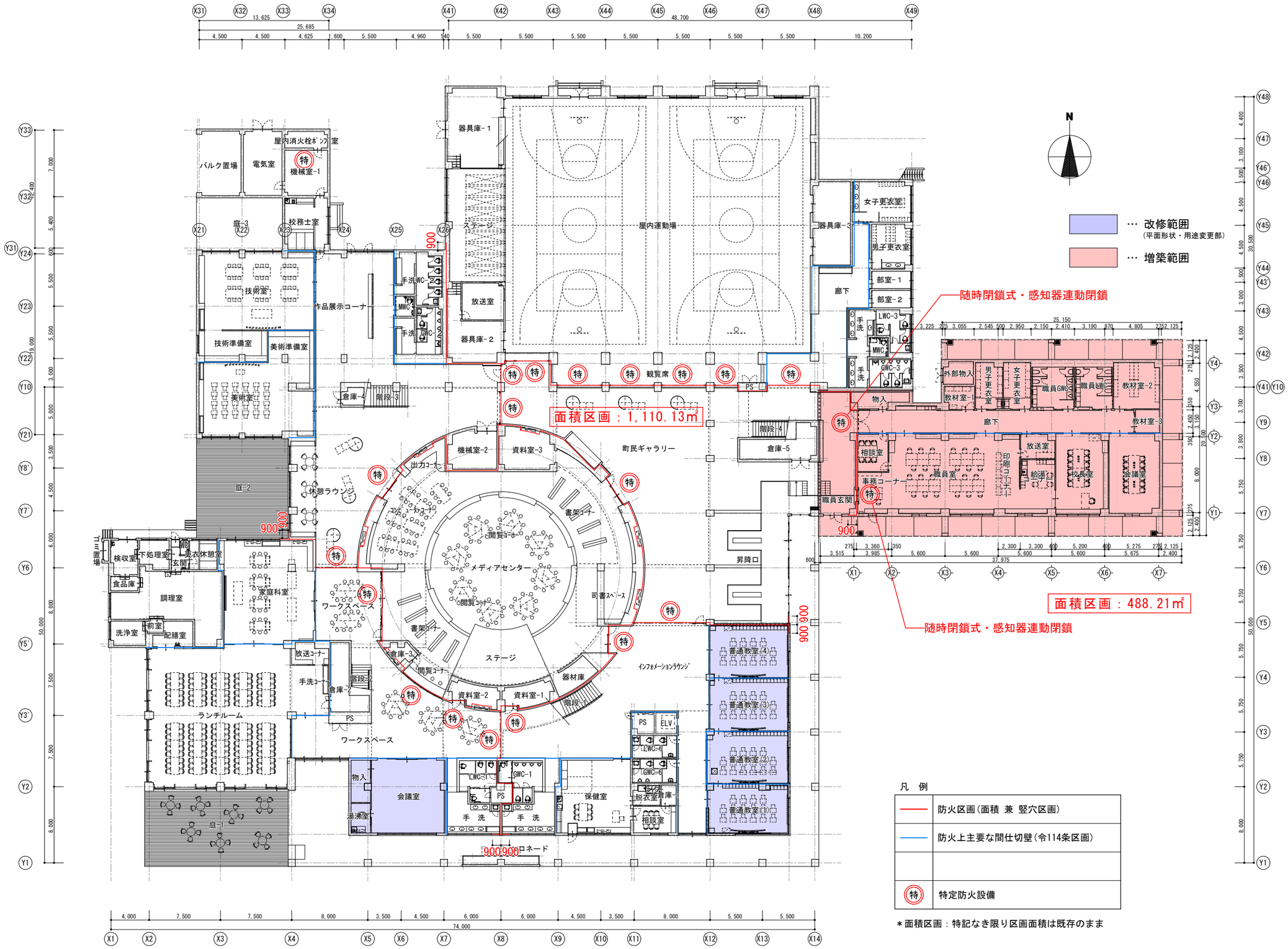


凡 例

赤線	防火区画（面積 兼 竪穴区画）
青線	防火上主要な間仕切壁（令114条区画）
特	特定防火設備

＊面積区画：特記なき限り区画面積は既存のまま

株式会社 釣谷建築事務所	１級建築士 第１１９８１６号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 法-05	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:400
						図面名称 2階 防災計画図（増築棟完成時）	

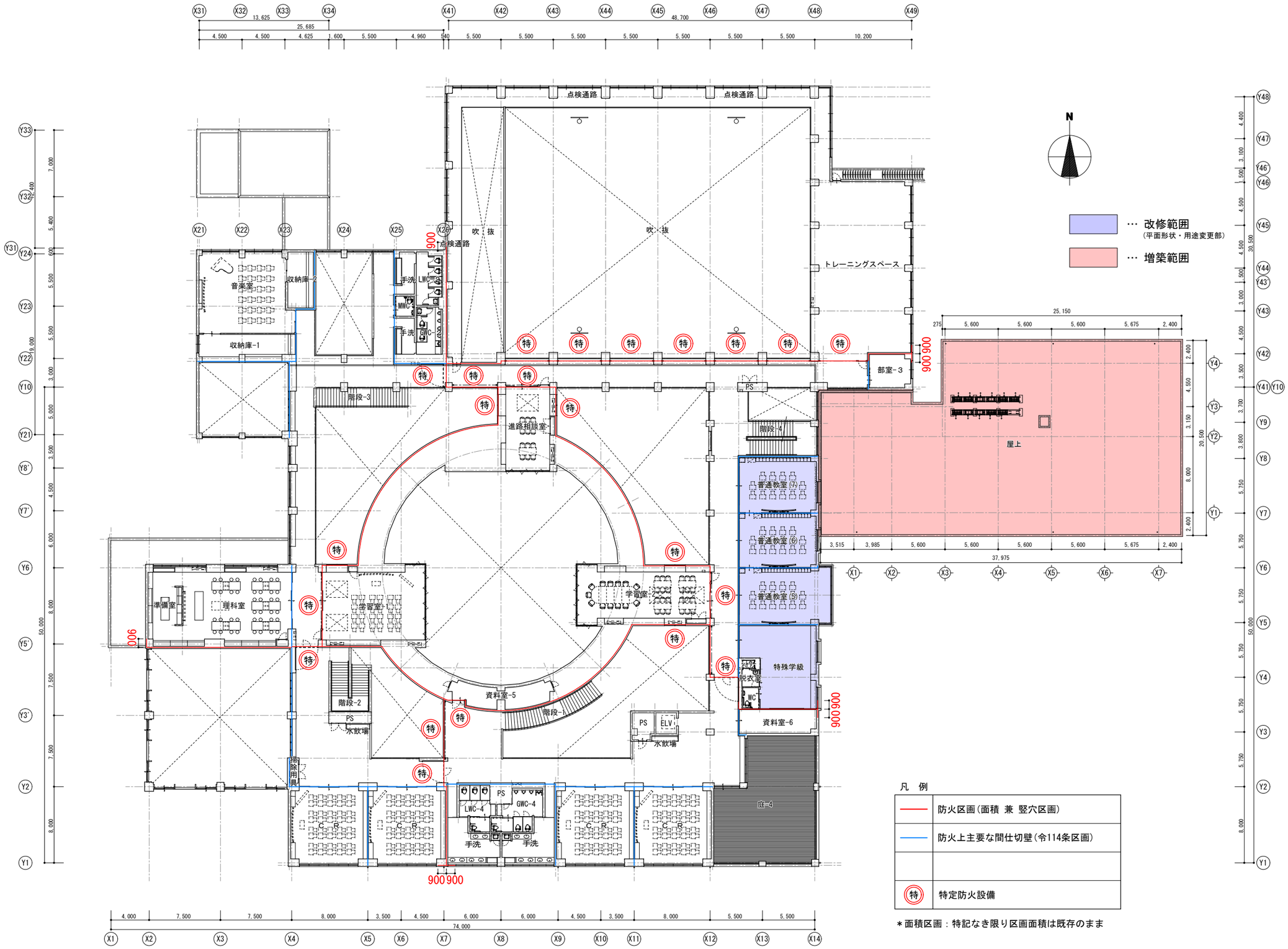


凡　例

――	防火区画（面積 兼 竪穴区画）
――	防火上主要な間仕切壁（令114条区画）
特	特定防火設備

＊面積区画：特記なき限り区画面積は既存のまま

株式会社　釣谷建築事務所	１級建築士　第１１９８１６号　吉田　典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 法-06	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:400
					図面名称	1階　防災計画図（最終）	



凡 例

	防火区画(面積 兼 竪穴区画)
	防火上主要な間仕切壁(令114条区画)
特	特定防火設備

＊面積区画：特記なき限り区画面積は既存のまま

株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 法-07	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:400
						図面名称 2階 防災計画図（最終）	

■LVSの検証

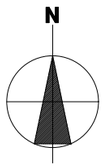
階別	室名	居室・非居室	面積	採光 必要面積 (A/20)	採光 有効面積 対象建具	採光 根拠式 有効幅	採光 根拠式 高さ	採光 根拠式 採光補正係数	採光 根拠式 個数	採光 根拠式 有効面積	採光 有効面積 合計	採光 判定	採光 備考	換気 必要面積 (A/20)	換気 有効面積 対象建具	換気 根拠式 有効幅	換気 根拠式 高さ	換気 根拠式 個数	換気 根拠式 有効面積	換気 有効面積 合計	換気 判定	換気 備考	内装制限 必要面積 (A/50)	内装制限 有効面積 対象建具	内装制限 根拠式 有効幅	内装制限 根拠式 高さ	内装制限 根拠式 個数	内装制限 根拠式 有効面積	内装制限 有効面積 合計	内装制限 判定	内装制限 備考
増築棟1階	職員玄関	非居室	35.19																												
	昇降口	非居室	159.78																												
	職員室	居室	156.57	15.66	AW-2	0.800	1.700	3	1	4.080	42.17	OK	D≧1.6、H＝2.95	7.83	AW-2	0.800	1.700	1	1.360	7.65	NG	占有面積156.57/26=6(m2/人)	3.13	AW-2	0.800	0.700	1	0.560	3.15	OK	
					AW-3	1.500	1.700	3	2	15.300			((D/2.9)×10－1)×0.7≧3		AW-3	0.750	1.700	2	2.550			機械換気(HEA-3)360×2=720		AW-3	0.750	0.700	2	1.050			
					AW-4	4.470	1.700	3	1	22.797			採光補正係数 3		AW-4	2.200	1.700	1	3.740			20×156.57/6=521.9≦720…OK		AW-4	2.200	0.700	1	1.540			
	相談室	居室	13.69	1.37								NG	平成7年住指発第153号	0.68	20×13.69/2≒136.9						NG	占有面積13.69/6=2.3(m2/人)	0.27							NG	建設省告示第1436号四項へ(5)…壁、天井仕上げ・下地→不燃
															(HEA-2)180×1=180							機械換気(HEA-2)180×1=180									
													…OK		136.9≦180…OK							20×13.69/2.3=119≦180…OK									…OK
	放送室	居室	10.08	1.01								NG	平成7年住指発第153号	0.50	20×10.08/3≒67.2						NG	占有面積10.08/2=5.04(m2/人)	0.20							NG	建設省告示第1436号四項へ(5)…壁、天井仕上げ・下地→不燃
															(HEA-1)90×1=90							機械換気(HEA-1)90×1=90									
													…OK		67.2≦90…OK							20×10.08/5.04=40≦90…OK									…OK
	校長室	居室	48.87	4.89	AW-4	4.470	1.700	3	1	22.797	22.79	OK	D≧1.6、H＝2.95	2.44	AW-4	2.200	1.700	1.00	3.740	3.74	OK		0.98	AW-4	2.200	0.700	1.00	1.540	1.54	OK	
													((D/2.9)×10－1)×0.7≧3																		
													採光補正係数 3																		
	会議室	居室	47.87	4.79	AW-3	1.500	1.700	3	1	7.650	7.65	OK	D≧1.6、H＝2.95	2.39	AW-3	0.750	1.700	1.00	1.275	1.27	NG	占有面積47.78/12=4(m2/人)	0.96	AW-3	0.750	0.700	1.00	0.525	0.52	NG	建設省告示第1436号四項へ(5)…壁、天井仕上げ・下地→不燃
													((D/2.9)×10－1)×0.7≧3									機械換気(HEA-4)400×1=400									
													採光補正係数 3									20×47.87/4=239≦400…OK									…OK
	教材室-1	非居室	9.00																												
	教材室-2	非居室	26.08																												
	教材室-3	非居室	7.20																												
	男子更衣室	非居室	15.50																												
	女子更衣室	非居室	15.27																												
	職員GWC	非居室	23.60																												
	職員LWC	非居室	21.01																												
	物入	非居室	10.90																												
	廊下	非居室	74.65																												
	外部物入	非居室	8.49																												

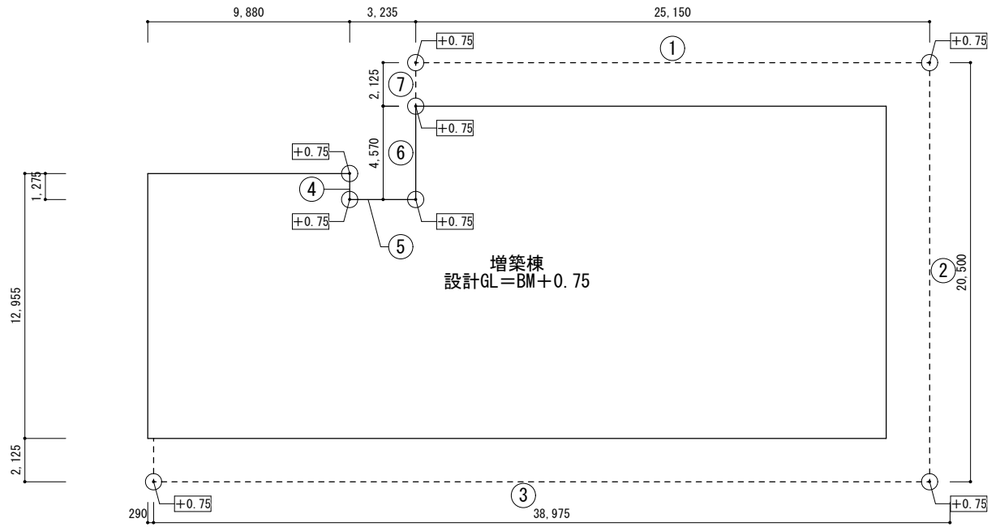
株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉 田 典 生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 法-08	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事
					図面名称 LVS計算表-1(増築棟)
					縮尺 NO-SCALE

■LVSの検証

階別	室名	居室・非居室	面積	採光									換気									内装制限								
				必要面積	有効面積						判定	備考	必要面積	有効面積					判定	備考	必要面積	有効面積					判定	備考
				(A/5) 準教室 (A/10)	対象建具	根拠式				合計			(A/20)	対象建具	根拠式			合計			(A/50)	対象建具	根拠式			合計		
						有効幅	高さ	採光補正係数	個数	有効面積					有効幅	高さ	個数	有効面積					有効幅	高さ	個数	有効面積		
既存校舎1階（既存改修部）	普通教室(1)	居室	45.43	9.09		1.800	1.765	3	2	19.062	19.06	OK	D≧4.3、H＝8.1	2.27		0.900	1.765	2	3.177	3.17	OK		0.91		0.900	0.765	2	1.377	1.37	OK	
													((D/8.1)×10−1)×0.7≧3																		
													採光補正係数 3																		
	普通教室(2)	居室	48.13	9.63		1.800	1.765	3	2	19.062	19.06	OK	D≧4.3、H＝8.1	2.41		0.900	1.765	2	3.177	3.17	OK		0.96		0.900	0.765	2	1.377	1.37	OK	
													((D/8.1)×10−1)×0.7≧3																		
													採光補正係数 3																		
	普通教室(3)	居室	46.89	9.38		1.800	1.765	3	2	19.062	19.06	OK	D≧4.3、H＝8.1	2.34		0.900	1.765	2	3.177	3.17	OK		0.94		0.900	0.765	2	1.377	1.37	OK	
													((D/8.1)×10−1)×0.7≧3																		
													採光補正係数 3																		
	普通教室(4)	居室	47.01	9.40		1.800	1.765	3	1	9.531	9.53	OK	D≧4.3、H＝8.1	2.35		0.900	1.765	2	3.177	3.17	OK		0.94		0.900	0.765	2	1.377	1.37	OK	
													((D/8.1)×10−1)×0.7≧3																		
													採光補正係数 3																		
	会議室	居室（準教室）	63.44	6.34		1.710	1.800	3	3	27.702	27.70	OK	D≧4.3、H＝8.1	3.17		0.850	1.800	3	4.590	4.59	OK		1.27		0.850	0.465	3	1.185	1.31	OK	
													((D/8.1)×10−1)×0.7≧3												0.850	0.050	3	0.127			
													採光補正係数 3																		
既存校舎2階（既存改修部）	普通教室(5)	居室	58.72	11.74	AWK−4	1.840	1.365	3	3	22.604	22.60	OK	D≧2.6、H＝4.9	2.94	AWK−4	0.92	1.365	3	3.767	3.76	OK		1.17	AWK−4	0.92	0.315	3.00	0.869	0.86	NG	建設省告示第1436号四項へ(5)
													((D/4.9)×10−1)×0.7≧3																		…壁、天井仕上げ・下地→不燃
													採光補正係数 3																		…OK
	普通教室(6)	居室	47.78	9.56		2.200	1.030	3	1	6.798	13.59	OK	D≧1.8、H＝3.4	2.39		1.100	1.030	1.00	1.133	2.26	NG	占有面積47.78/17=2.8(m2/人)	0.96		1.100	0.765	1.00	0.841	0.84	NG	建設省告示第1436号四項へ(5)
						2.200	1.030	3	1	6.798			((D/3.4)×10−1)×0.7≧3			1.100	1.030	1.00	1.133			機械換気(HEA−4)400×1=400								…壁、天井仕上げ・下地→不燃
													採光補正係数 3									20×47.87/2.8=341≦400…OK								…OK
	普通教室(7)	居室	49.53	9.91		2.200	1.030	3	1	6.798	13.59	OK	D≧1.8、H＝3.4	2.48		1.100	1.030	1.00	1.133	2.26	NG	占有面積49.53/17=2.9(m2/人)	0.99		1.100	0.765	1.00	0.841	0.84	NG	建設省告示第1436号四項へ(5)
						2.200	1.030	3	1	6.798			((D/3.4)×10−1)×0.7≧3			1.100	1.030	1.00	1.133			機械換気(HEA−4)400×1=400								…壁、天井仕上げ・下地→不燃
													採光補正係数 3									20×49.53/2.9=342≦400…OK								…OK
	特別支援学級	居室	62.08	12.42		2.200	1.030	3	1	6.798	13.59	OK	D≧1.8、H＝3.4	3.10		1.100	1.030	2.00	2.266	4.53	OK		1.24		1.100	0.765	2.00	1.683	1.68	OK	
						2.200	1.030	3	1	6.798			((D/3.4)×10−1)×0.7≧3			1.100	1.030	2.00	2.266											
													採光補正係数 3																		

株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉 田 典 生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 法−09	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 NO−SCALE
					図面名称 LVS計算表−2(既存改修部)	





No.	計算式	高低面積	建物が接する長さ
①	(0.75 + 0.75) × 25.150 ÷ 2	18.863	25.150
②	(0.75 + 0.75) × 20.500 ÷ 2	15.375	20.500
③	(0.75 + 0.75) × 38.975 ÷ 2	29.231	38.975
④	(0.75 + 0.75) × 1.275 ÷ 2	0.956	1.275
⑤	(0.75 + 0.75) × 3.235 ÷ 2	2.426	3.235
⑥	(0.75 + 0.75) × 4.570 ÷ 2	3.428	4.570
⑦	(0.75 + 0.75) × 2.125 ÷ 2	1.594	2.125
合計		71.87	95.83

1FL	= BM	+	0.9		
増築棟平均GL	= BM	+	A	÷	L
	= BM	+	71.87	÷	95.83
	= BM	+	0.75		
	= 1FL	−	0.15		

株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 法-10	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:300
						図面名称 平均地盤算定図	